

第 14 回  
野 田 市 民 意 識 調 査  
報 告 書

平成24年 3 月  
野 田 市



## はじめに

今回実施しました「第14回野田市民意識調査」は、広聴活動の一環として4年ごとに行っているもので、市民の皆様のまちづくりに対する意識の変化や、市政についてのご意見等を幅広くお聞きし、市政運営に役立てようとするものです。

近年、少子高齢化やライフスタイルの多様化に伴い、行政需要も変化しつつあり、将来を見極めた各種施策を展開するに当たっては、市民の皆様の要望等を的確に捉えることが不可欠です。

市では、現総合計画が平成27年度で終了することから、次期総合計画の策定に向けて、昨年9月に公募委員も含めた総合計画審議会をスタートさせ、12月には同審議会でご決定いただいた6つの分野ごとに、全員公募のメンバー154人による分野別検討組織も立ち上げました。

今年は地区別懇談会や各界別懇談会を開催するなど、徹底した市民参加による次期総合計画策定に向けた作業を本格化させてまいります。

今後とも、15万市民の皆様との協働のもと、安全安心で魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

今回の調査にあたり、ご協力いただきました市民の皆様を始め、関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成24年3月

野 田 市 長   根   本   崇



# 目 次

第 1 章 調査実施の概要	1
第 2 章 調査回答者の属性	7
第 3 章 調査結果の分析	13
1. 住み心地と生活環境	15
(1) 住みよさ意識	15
(2) 定住意識	18
(2-1) 定住理由	21
(2-2) 移転理由	24
(3) 誇り・愛着意識	27
(4) 生活環境評価	30
(5) 公共施設への要望	63
2. 野田市の景観	73
(1) 野田市の景観の魅力	73
(2) 野田市の景観に対する満足度	76
3. 地域での社会活動	96
(1) 自治会・町内会への加入状況	96
(1-1) 加入していない理由	98
(2) 団体・サークル活動への参加状況	100
4. 文化やスポーツ活動	103
(1) 余暇の時間の過ごし方	103
5. ごみや環境	106
(1) 日常生活で心掛けていること	106
(2) 資源回収への参加	109
(2-1) 知りながら参加していない理由	112
(3) ごみの減量化対策	113
6. 福祉やボランティア活動	116
(1) 老後の生きがい	116
(2) 高齢社会に向けての市への期待	119
(3) ボランティア活動への参加	121
(4) やってみたいと思うボランティア活動	123
7. 男女共同参画	126
(1) 「女性は家事・育児を行い、男性は仕事を行う」という考え方	126
(2) 男女共同参画社会実現において重要なこと	128
8. 市政への参加意識	130
(1) 市政への関心度	130

(2) 市政への意見や不満の伝達	132
(3) 市からの情報の媒体	135
(4) 「市報のだ」の入手方法	138
(5) 「市報のだ」の閲読度	140
(6) 「市報のだ」でよく読む記事	142
(7) 自治会未加入者への配布	145
9. 市政全般	148
(1) よくなった施策と力を入れるべき施策	148
10. 市役所のこと	159
(1) 市政で改善してほしいこと	159
(2) 市役所職員の対応評価	162
11. 自由意見	164
<b>第4章 調査票</b>	<b>171</b>

# 第 1 章 調査実施の概要



## 1. 調査の目的

この調査は、市民の皆様のまちづくりに対する意識の変化や、これまでの施策の変化、市政についてのご意見・ご要望を幅広くお聞きし、市政運営に役立てていこうとするものである。

## 2. 調査設計

- (1) 調査地域 野田市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間 平成23年11月2日(木)～11月18日(金)

## 3. 調査内容

- (1) 住み心地と生活環境
- (2) 野田市の景観
- (3) 地域での社会活動
- (4) 文化やスポーツ活動
- (5) ごみや環境
- (6) 福祉やボランティア活動
- (7) 男女共同参画
- (8) 市政への参加意識
- (9) 市政全般
- (10) 市役所のこと
- (11) 自由意見

## 4. 回収結果

標本数 (A)	回収数 (B)		有効回収数 (B - C)	回収率 (B / A)	有効回収率 (B - C) / A
		無効数 (C)			
3,000	1,888	44	1,844	62.9%	61.5%

全く記入がされていない調査票や記入率が極端に低い調査票は無効とした。

有効回収数は実際に集計に含めた数。

## 5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 質問の回答者数は [n] として掲載した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と異なる場合がある。
- (6) 集計の分析軸には下記の項目を用いている。

〈分析軸〉

- ・ F 1 性別
- ・ F 2 年齢別
- ・ F 3 職業別
- ・ F 4 地区別
- ・ F 5 居住年数別

## 6. 標本誤差

標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次式により算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
n = 比率算出の基数 (回答者数)  
N = 母集団数 (野田市20歳以上人口)  
P = 回答比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は、下記のようになる。

回答比率	標本誤差
10%または90%	±1.40
20%または80%	±1.86
30%または70%	±2.13
40%または60%	±2.28
50%	±2.33

これを今回の調査にあてはめてみると、設問1の「住みよさ意識」という質問に答えた人 (n) は1,844人であり、そのうち、選択肢で「1. 住みよい」を選んだ人が20%であった場合、その回答に対する誤差範囲は±1.86%以内となる。

## 7. 前回調査からの主な変更点

- (1) 景観に関する項目を2問追加（問6、問7）
- (2) 居住地区による結果の相違を把握するために地区別を追加  
（問1、問2、問2-1、問2-2、問3、問5、問8、問12、問27）
- (3) 地区別加重平均を追加（問4）
- (4) 前回調査、今回調査ともに同様の項目がある場合に過年度比較を追加  
（問2-1、問2-2、問11、問12-1、問13、問14、問21、問22、問23、問25、問26、問27）

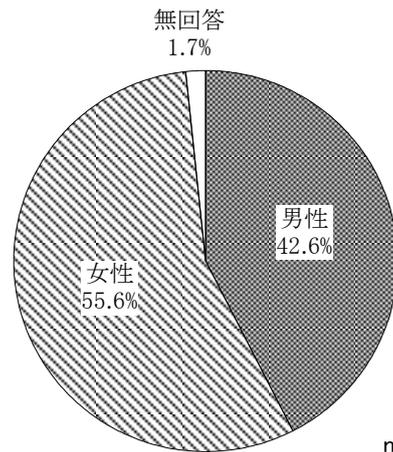


## 第2章 調査回答者の属性



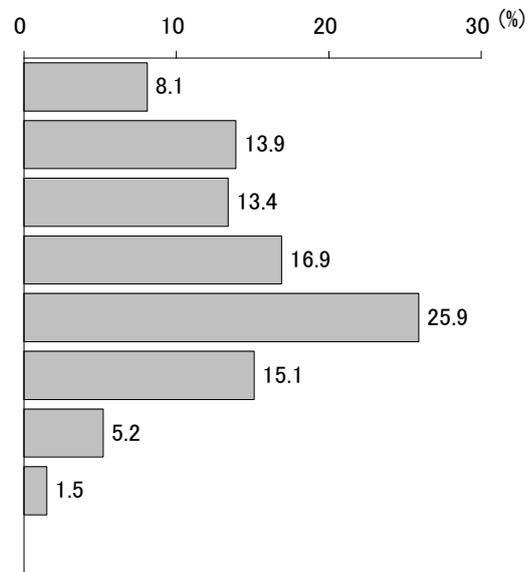
## 1. 性別

	基数	構成比
男性	786	42.6%
女性	1,026	55.6%
無回答	32	1.7%
全 体	1,844	100.0%



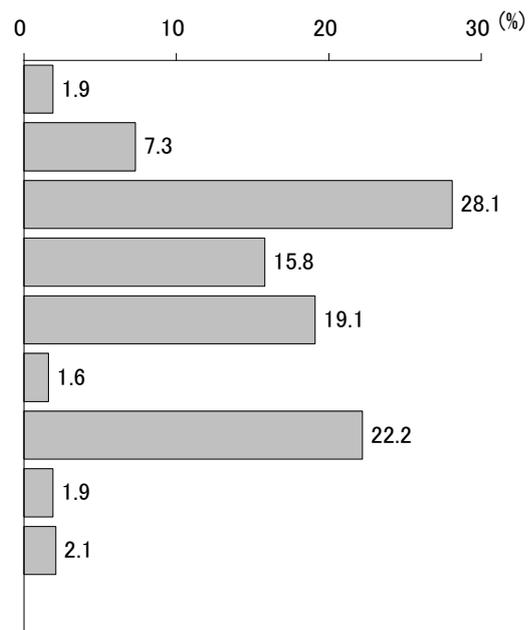
## 2. 年齢

	基数	構成比
20歳代	150	8.1%
30歳代	256	13.9%
40歳代	248	13.4%
50歳代	311	16.9%
60歳代	477	25.9%
70歳代	278	15.1%
80歳以上	96	5.2%
無回答	28	1.5%
全 体	1,844	100.0%



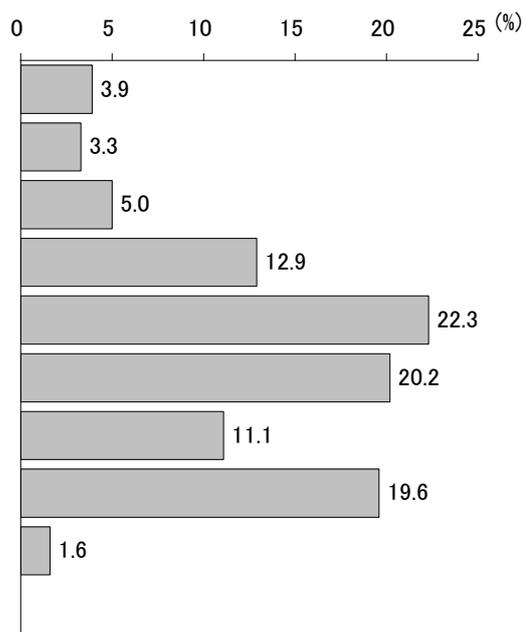
## 3. 職業

	基数	構成比
農業	35	1.9%
自営業	134	7.3%
会社員・公務員	518	28.1%
パート・アルバイト	291	15.8%
専業主婦	353	19.1%
学生	30	1.6%
無職	410	22.2%
その他	35	1.9%
無回答	38	2.1%
全 体	1,844	100.0%



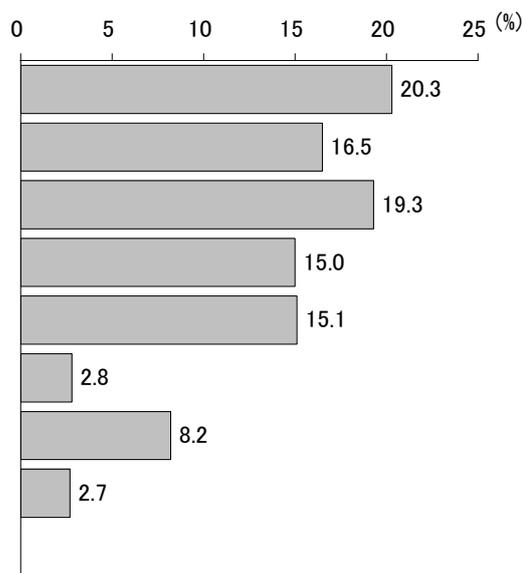
#### 4. 居住年数

	基数	構成比
3年未満	72	3.9%
3年以上～5年未満	61	3.3%
5年以上～10年未満	93	5.0%
10年以上～20年未満	237	12.9%
20年以上～30年未満	412	22.3%
30年以上～40年未満	373	20.2%
40年以上～50年未満	204	11.1%
50年以上	362	19.6%
無回答	30	1.6%
全 体	1,844	100.0%



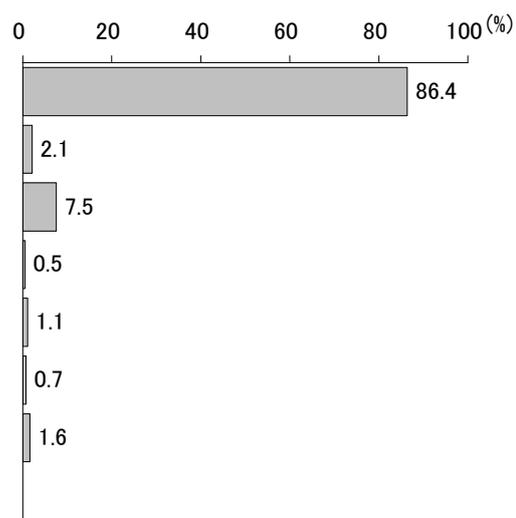
#### 5. 以前の居住地

	基数	構成比
生まれてからずっと今のところ	374	20.3%
市内の別のところ	305	16.5%
県内他市町村	355	19.3%
東京都	277	15.0%
埼玉県	279	15.1%
茨城県	52	2.8%
その他	152	8.2%
無回答	50	2.7%
全 体	1,844	100.0%



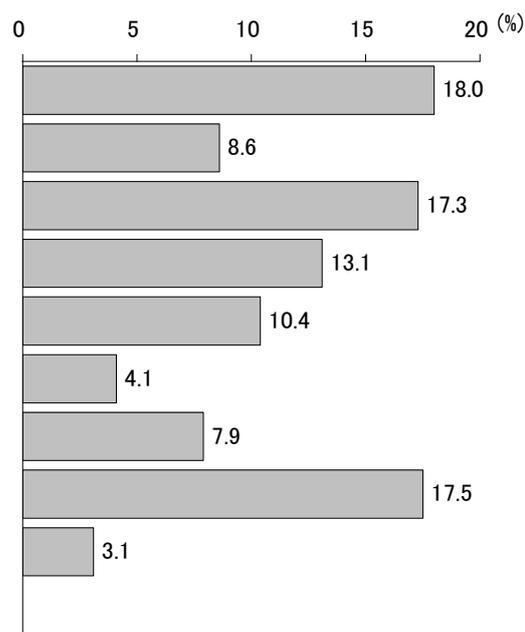
## 6. 住まいの形態

	基数	構成比
戸建て持ち家	1,594	86.4%
分譲マンション	39	2.1%
民間の賃貸住宅(戸建て・アパート)	139	7.5%
社宅・公務員住宅などの給与住宅	9	0.5%
公営の賃貸住宅	21	1.1%
その他	12	0.7%
無回答	30	1.6%
全体	1,844	100.0%



## 7. 地区

	基数	構成比
野田地区	332	18.0%
中地区	158	8.6%
南地区	319	17.3%
北地区	241	13.1%
川間地区	191	10.4%
東地区	76	4.1%
福田地区	146	7.9%
関宿地区	323	17.5%
無回答	58	3.1%
全体	1,844	100.0%



<地区区分図>



## 第3章 調査結果の分析



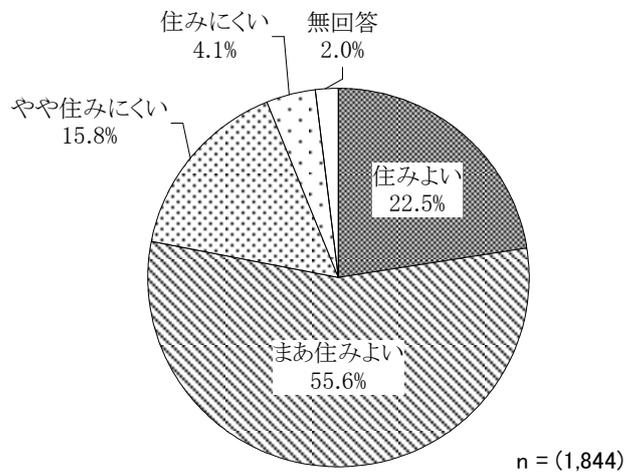
# 1. 住み心地と生活環境

## (1) 住みよさ意識

◇『住みよい (計)』は約8割

【問1】あなたにとって、現在の野田市の住み心地はいかがですか。次の中から1つだけ選んでください。

			(n=1,844)
1. 住みよい	22.5%	3. やや住みにくい	15.8
2. まあ住みよい	55.6	4. 住みにくい (無回答)	4.1 2.0



野田市の住み心地を聞いたところ、「住みよい」(22.5%)と「まあ住みよい」(55.6%)を合わせた『住みよい (計)』(78.1%)は約8割となっている。

一方、「やや住みにくい」(15.8%)と「住みにくい」(4.1%)を合わせた『住みにくい (計)』(19.9%)は約2割となっている。

### 〈性別〉

『住みよい (計)』は女性 (79.4%) と男性 (76.5%) では大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

『住みよい (計)』は50代までは男女ともに7割台となっているが、60歳以上では男性で80.0%、女性で83.0%となっている。

### 〈地区別〉

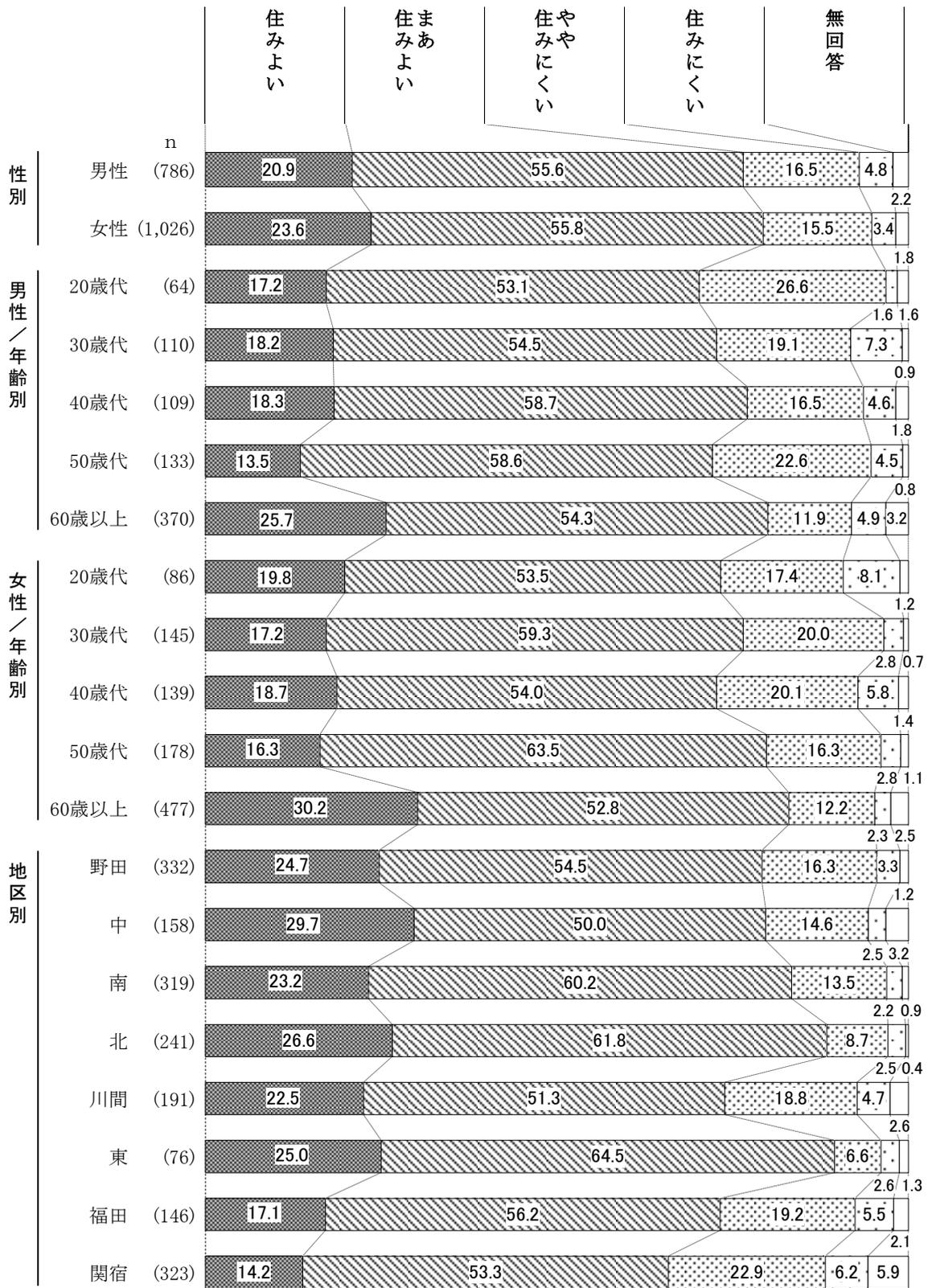
『住みよい (計)』は南地区、北地区、東地区で8割台と高くなっている。

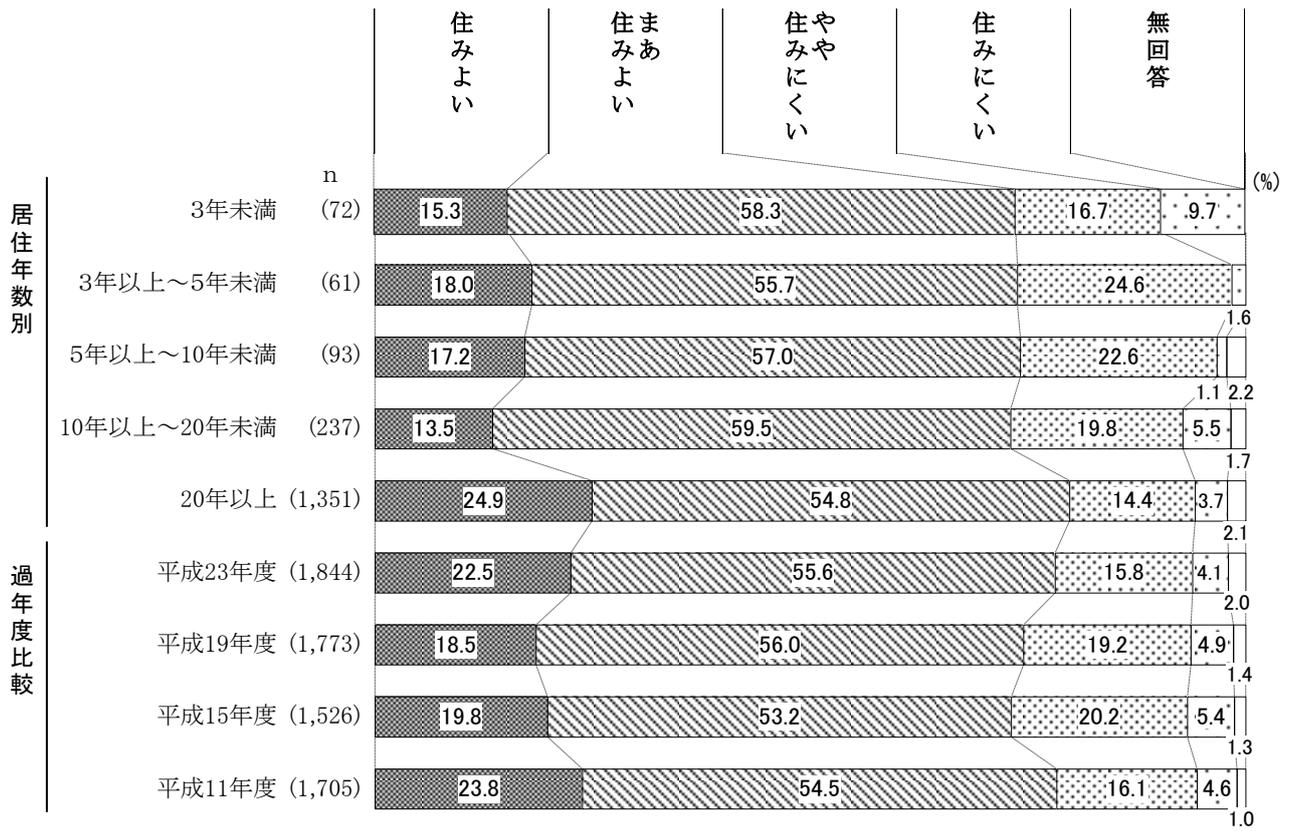
### 〈居住年数別〉

『住みよい (計)』は20年以上で79.7%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『住みよい (計)』は3.6ポイント増加している。





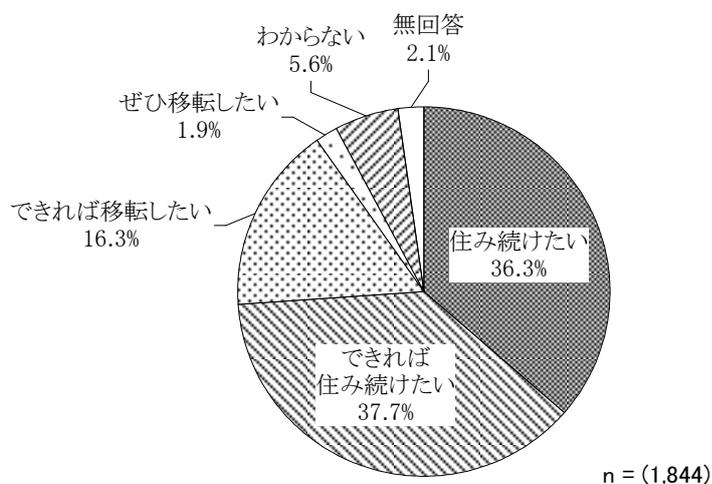
## (2) 定住意識

◇ 『住み続けたい (計)』は7割台半ば

【問2】あなたは、現在お住まいの地域に、今後もずっと住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n = 1,844)

1. 住み続けたい	36.3%	3. できれば移転したい	16.3
2. できれば住み続けたい	37.7	4. ぜひ移転したい	1.9
		5. わからない	5.6
		(無回答)	2.1



現在居住している地域への定住意識を聞いたところ、「住み続けたい」(36.3%)と「できれば住み続けたい」(37.7%)を合わせた『住み続けたい (計)』(74.0%)は7割台半ばとなっている。

一方、「できれば移転したい」(16.3%)と「ぜひ移転したい」(1.9%)を合わせた『移転したい (計)』(18.2%)は約2割となっている。

### 〈性別〉

『住み続けたい (計)』は男性 (72.4%) と女性 (74.9%) では大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

『住み続けたい (計)』は男女ともに60歳以上で最も高くなっており、男性で78.6%、女性で84.0%となっている。

### 〈地区別〉

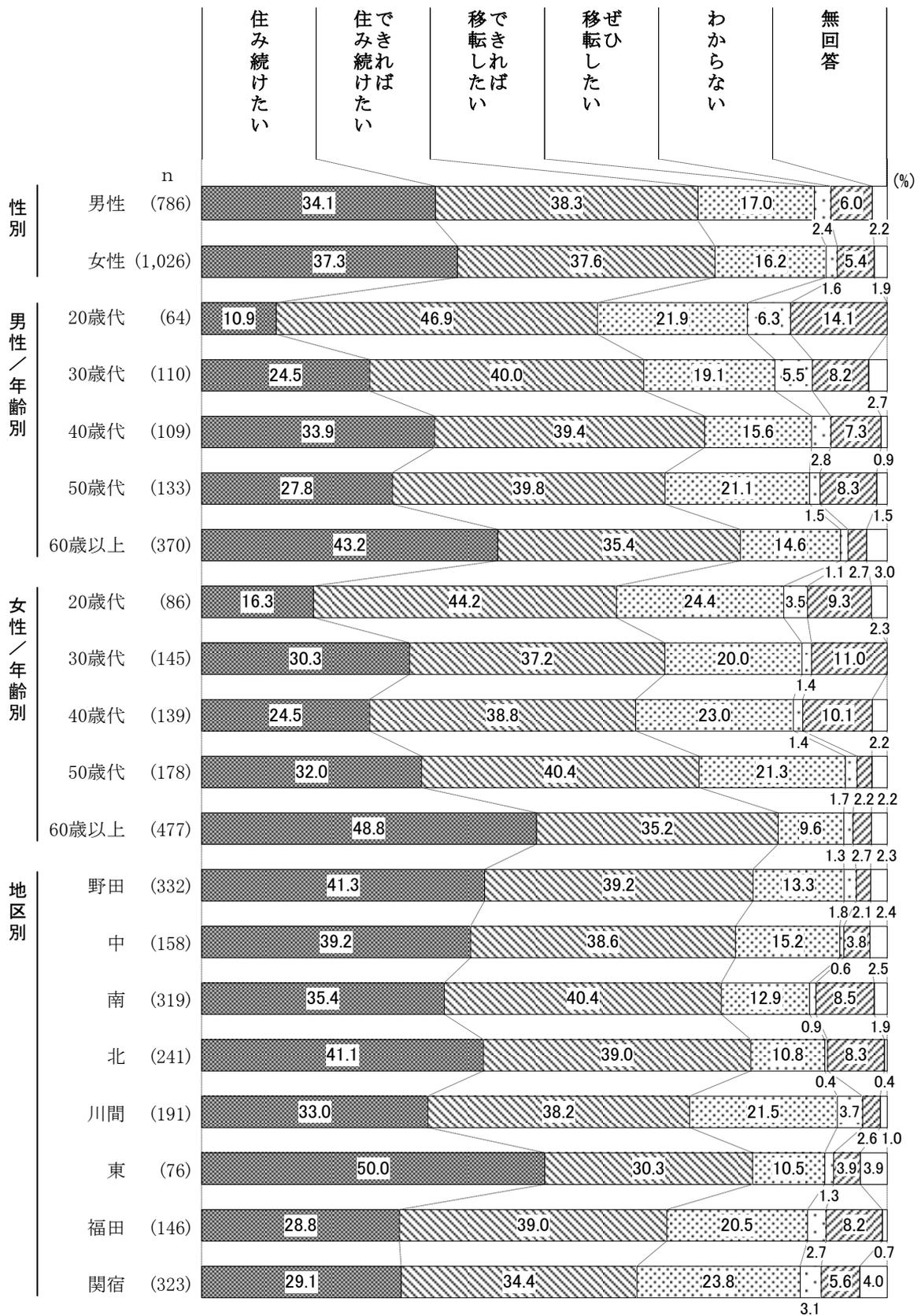
『住み続けたい (計)』は野田地区、北地区、東地区で8割台と高くなっている。

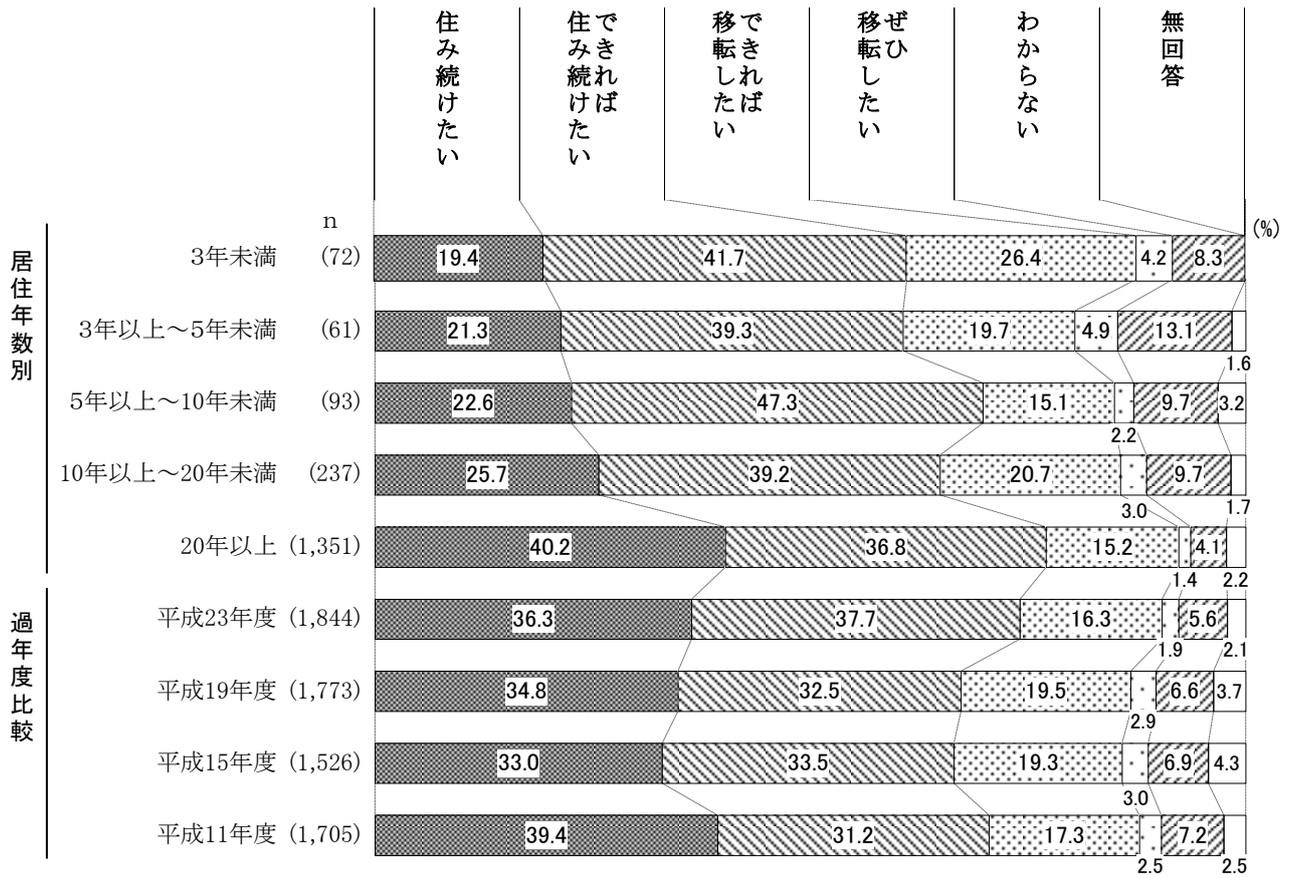
### 〈居住年数別〉

『住み続けたい (計)』は20年未満までは6割台となっているが、20年以上では77.0%と高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『住み続けたい (計)』は6.7ポイント増加している。





## (2-1) 定住理由

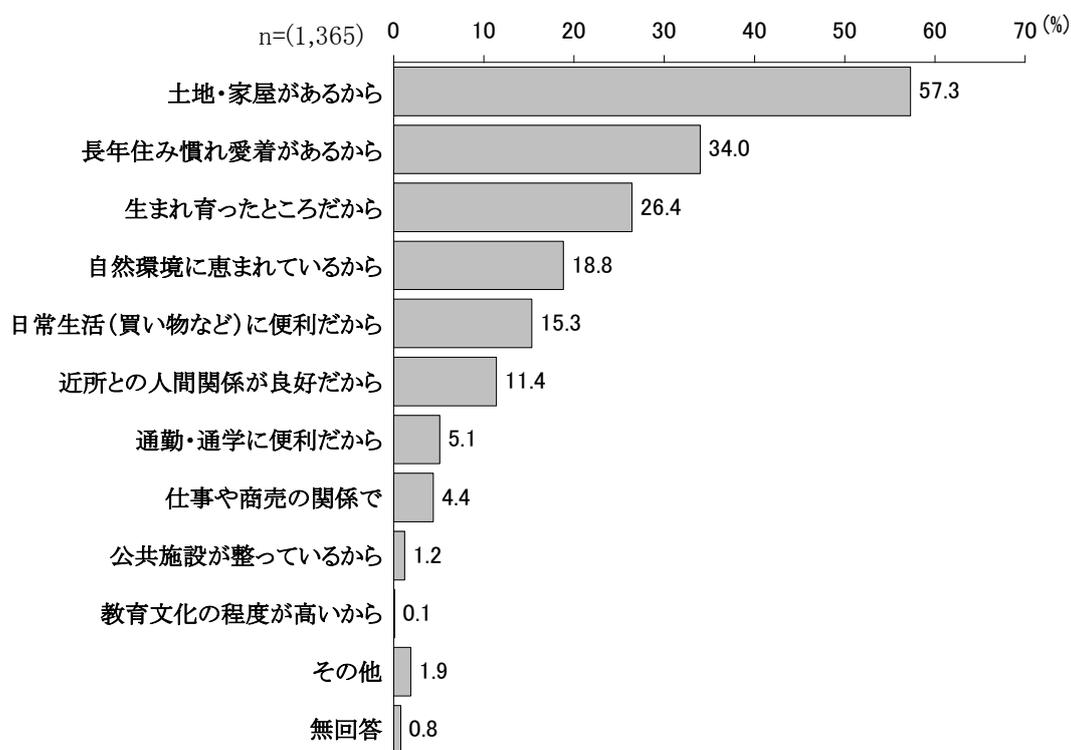
◇ 「土地・家屋があるから」が約6割

〈問2で「1. 住み続けたい」または「2. できれば住み続けたい」とお答えの方におうかがいします。〉

【問2-1】住み続けたいと思う主な理由は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。

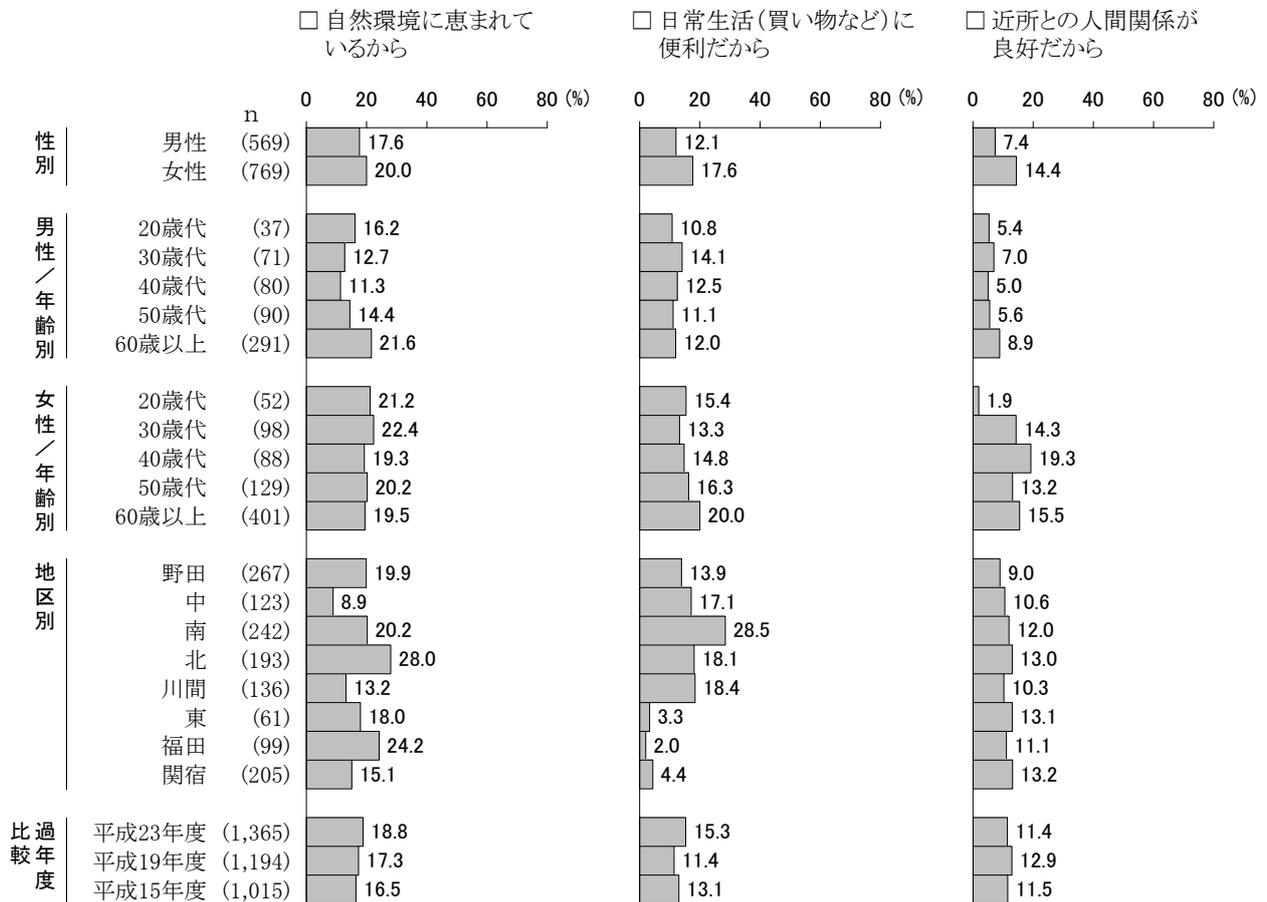
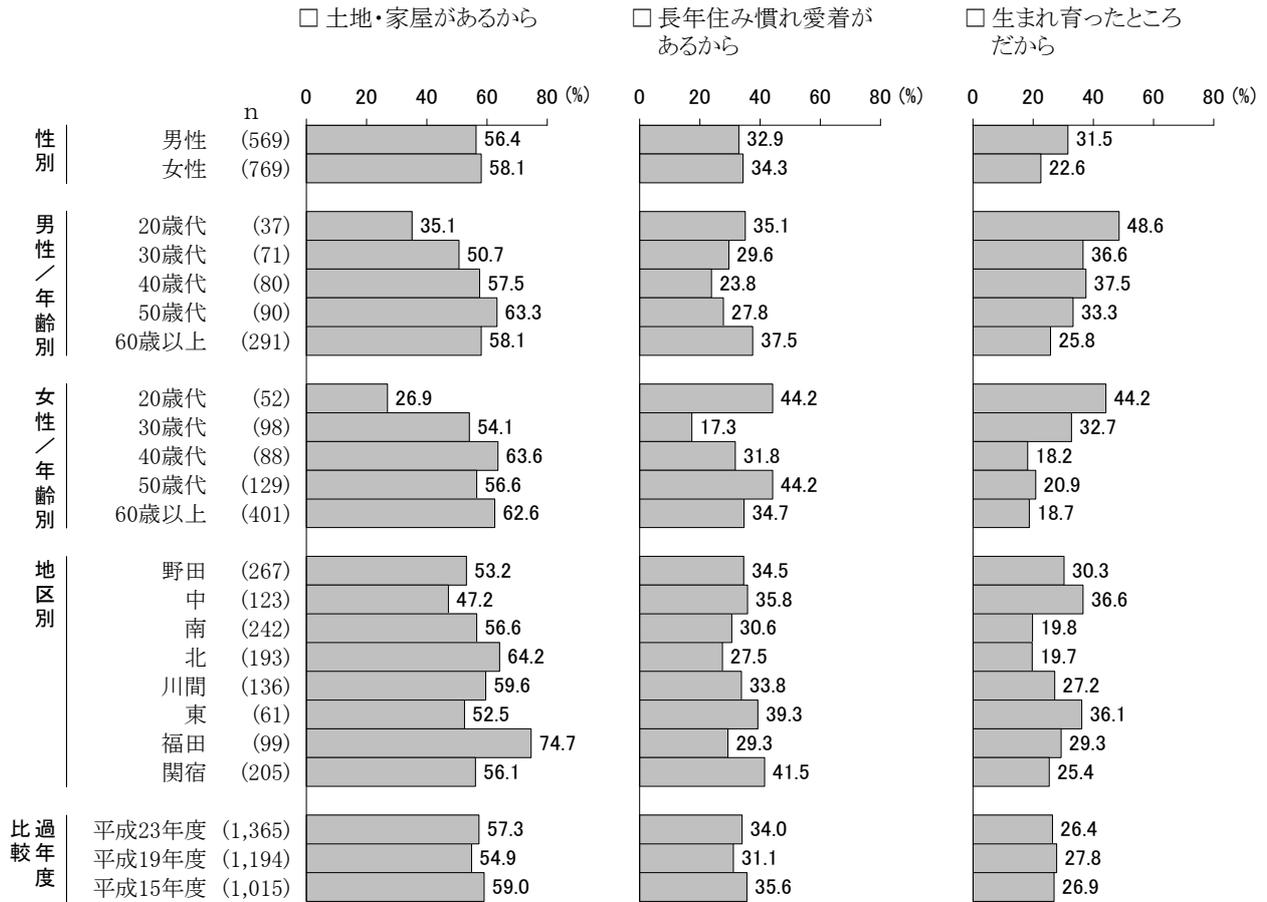
(n=1,365)

1. 生まれ育ったところだから	26.4%	7. 日常生活（買い物など）に便利だから	15.3
2. 長年住み慣れ愛着があるから	34.0	8. 公共施設が整っているから	1.2
3. 通勤・通学に便利だから	5.1	9. 教育文化の程度が高いから	0.1
4. 土地・家屋があるから	57.3	10. 仕事や商売の関係で	4.4
5. 自然環境に恵まれているから	18.8	11. その他	1.9
6. 近所との人間関係が良好だから	11.4	(無回答)	0.8



住み続けたいと思う主な理由として、「土地・家屋があるから」が57.3%と最も高くなっている。次いで「長年住み慣れ愛着があるから」(34.0%)、「生まれ育ったところだから」(26.4%)、「自然環境に恵まれているから」(18.8%)などの順となっている。

## 上位6項目の属性別



### 〈性別〉

「生まれ育ったところだから」は男性（31.5%）が女性（22.6%）を8.9ポイント上回っている。一方、「日常生活（買い物など）に便利だから」と「近所との人間関係が良好だから」は女性が男性をそれぞれ5.5ポイント、7.0ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「土地・家屋があるから」は男性では50歳代で63.3%と最も高く、女性では40歳代と60歳以上で6割台と高くなっている。「長年住み慣れ愛着があるから」は女性の20歳代と50歳代で44.2%と高くなっている。

### 〈地区別〉

「土地・家屋があるから」は福田地区で74.7%と高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「日常生活（買い物など）に便利だから」は3.9ポイント増加している。

## (2-2) 移転理由

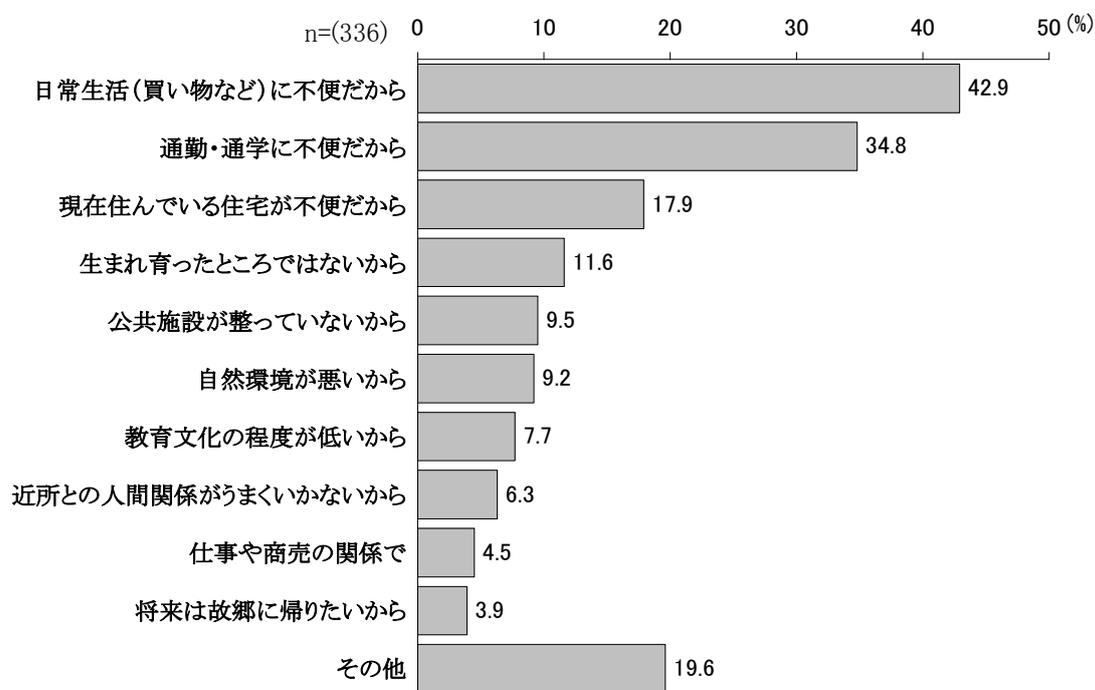
◇ 「日常生活（買い物など）に不便だから」は4割を超えている

〈問2で「3. できれば移転したい」または「4. ぜひ移転したい」とお答えの方におうかがいします。〉

【問2-2】移転したいと思う主な理由は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。

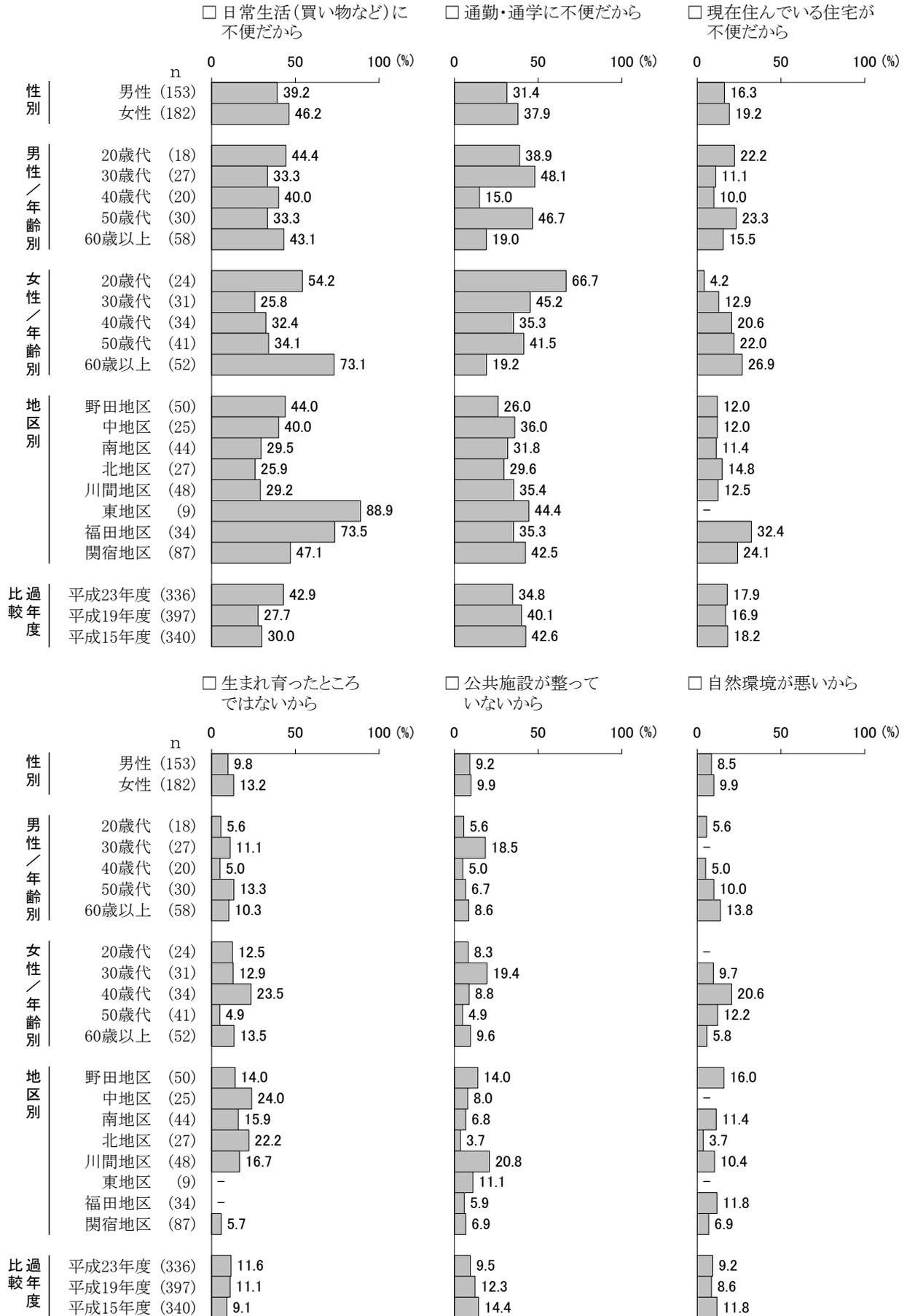
(n=336)

1. 生まれ育ったところではないから	11.6%	7. 日常生活（買い物など）に不便だから	42.9
2. 将来は故郷に帰りたいから	3.9	8. 公共施設が整っていないから	9.5
3. 通勤・通学に不便だから	34.8	9. 教育文化の程度が低いから	7.7
4. 現在住んでいる住宅が不便だから	17.9	10. 仕事や商売の関係で	4.5
5. 自然環境が悪いから	9.2	11. その他	19.6
6. 近所との人間関係がうまくいかないから	6.3		



移転したいと思う主な理由として、「日常生活（買い物など）に不便だから」が42.9%と最も高くなっている。次いで「通勤・通学に不便だから」（34.8%）、「現在住んでいる住宅が不便だから」（17.9%）、「生まれ育ったところではないから」（11.6%）などの順となっている。

## 上位6項目の属性別



原則として、nの数が30未満のものについては、本文中ではふれず、参考までに掲載するものとする。

### 〈性別〉

「日常生活（買い物など）に不便だから」と「通勤・通学に不便だから」は女性が男性をそれぞれ7.0ポイント、6.5ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

男性はnの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

女性では「日常生活（買い物など）に不便だから」は60歳以上で73.1%と高くなっている。「現在住んでいる住宅が不便だから」は年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

### 〈地区別〉

「日常生活（買い物など）に不便だから」は福田地区で73.5%と高くなっている。「通勤・通学に不便だから」は関宿地区で42.5%と高くなっている。「現在住んでいる住宅が不便だから」は福田地区で32.4%と高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「日常生活（買い物など）に不便だから」は15.2ポイント増加、「通勤・通学に不便だから」は5.3ポイント減少している。

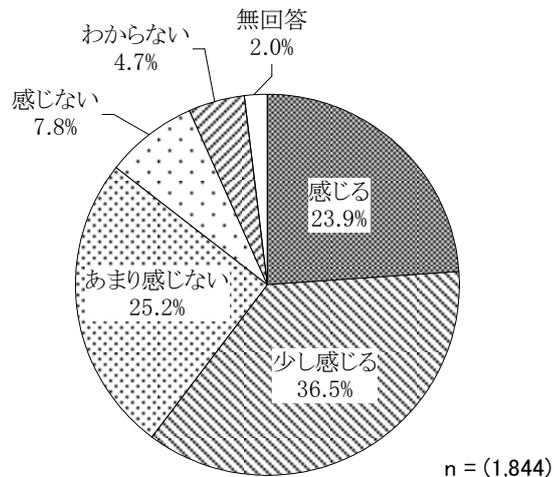
### (3) 誇り・愛着意識

◇ 『誇りや愛着を感じる (計)』は約6割

【問3】あなたは、野田市に誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n = 1,844)

1. 感じる	23.9%	4. 感じない	7.8
2. 少し感じる	36.5	5. わからない	4.7
3. あまり感じない	25.2	(無回答)	2.0



野田市への誇りや愛着については、「感じる」(23.9%)と「少し感じる」(36.5%)を合わせた『誇りや愛着を感じる (計)』(60.4%)は約6割となっている。

一方、「あまり感じない」(25.2%)と「感じない」(7.8%)を合わせた『誇りや愛着を感じない (計)』(33.0%)は3割台半ばとなっている。

#### 〈性別〉

『誇りや愛着を感じる (計)』は女性 (62.5%) が男性 (57.4%) を5.1ポイント上回っている。

#### 〈年齢別〉

『誇りや愛着を感じる (計)』は男性では60歳以上で61.4%と最も高く、女性では20歳代と50歳以上で6割台半ばと高くなっている。

#### 〈地区別〉

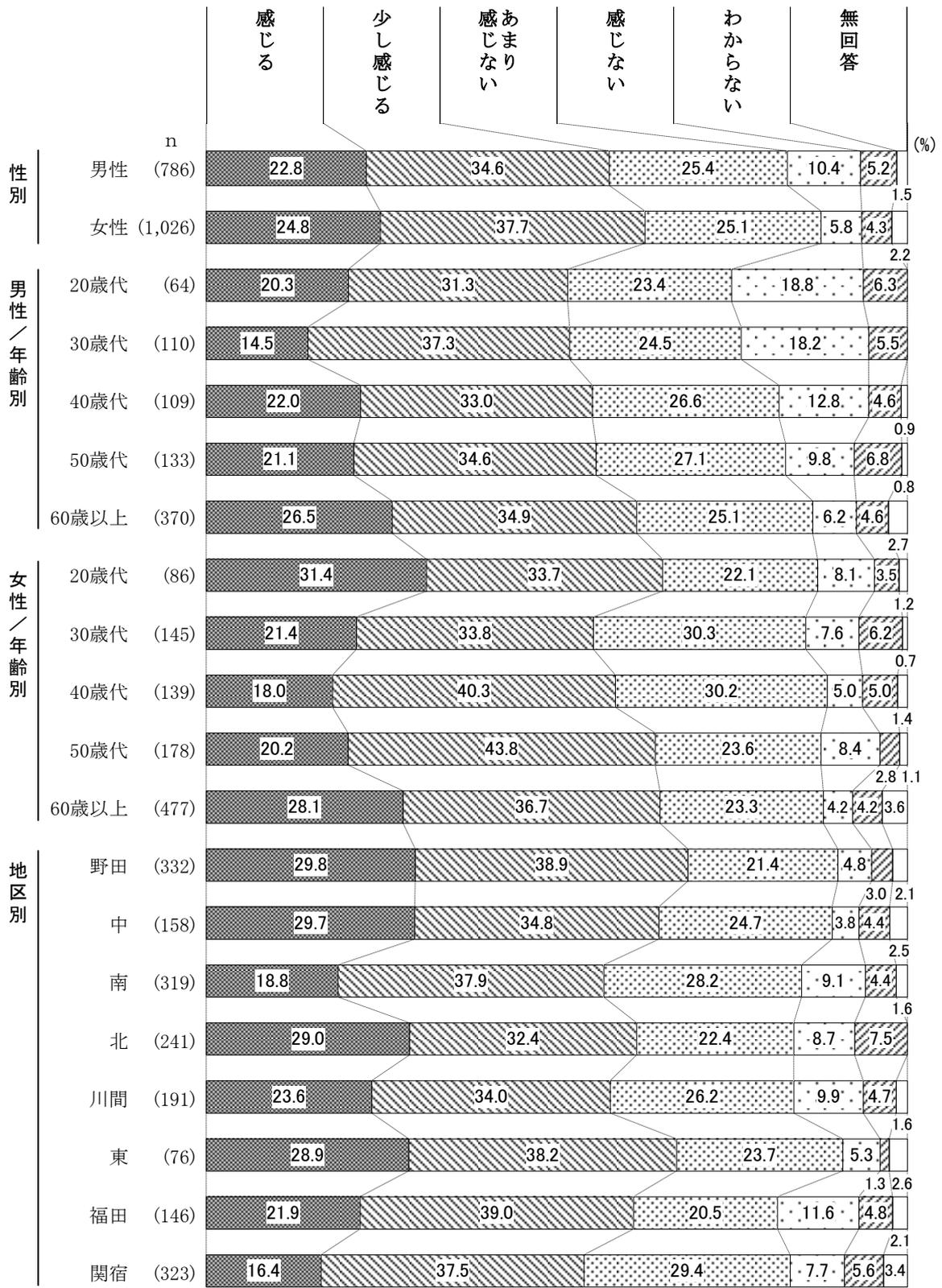
『誇りや愛着を感じる (計)』は野田地区で68.7%、東地区で67.1%と高くなっている。

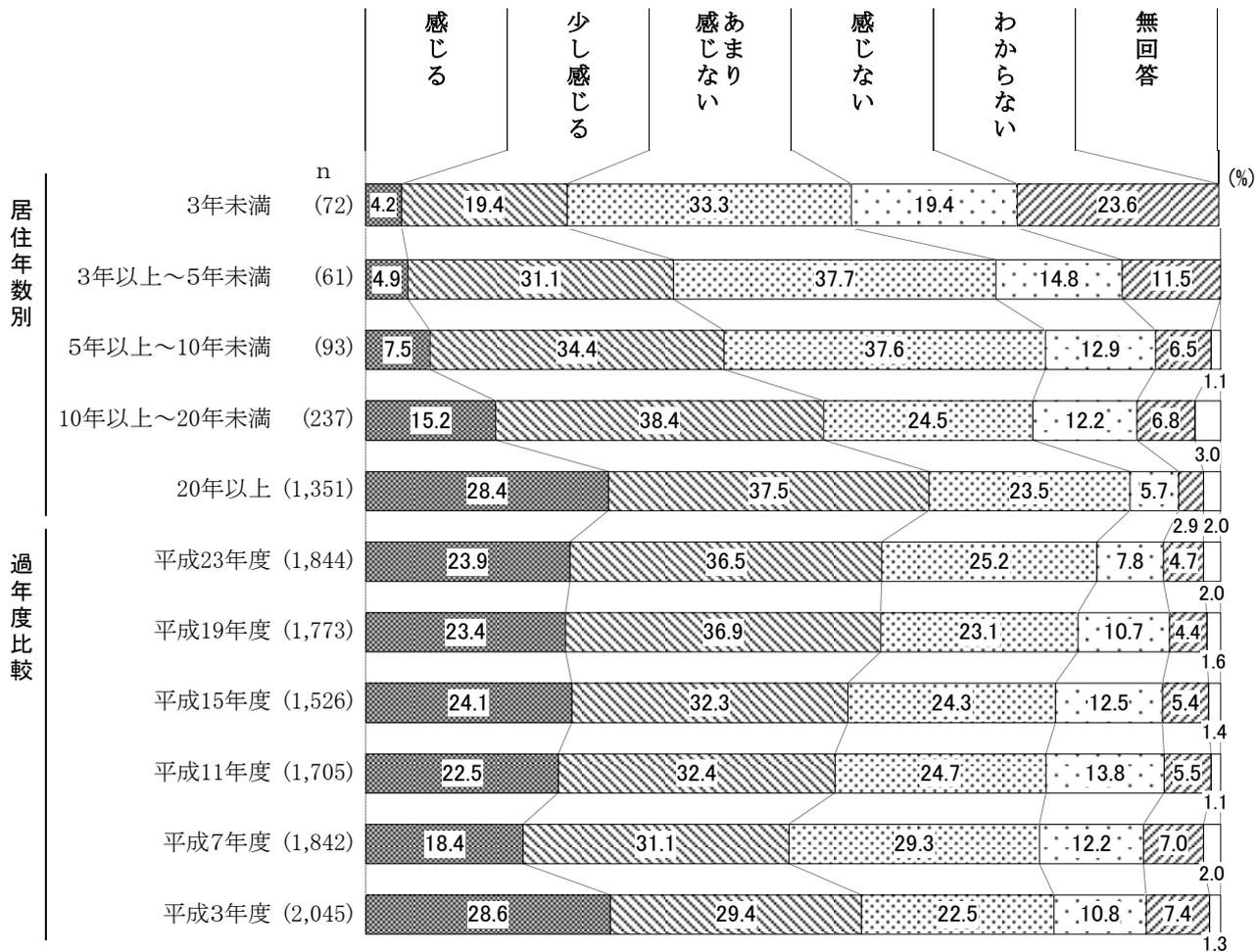
#### 〈居住年数別〉

『誇りや愛着を感じる (計)』は居住年数が長くなるほど割合は高く、20年以上で65.9%と最も高くなっている。

#### 〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『誇りや愛着を感じる (計)』はほとんど変化はみられない。





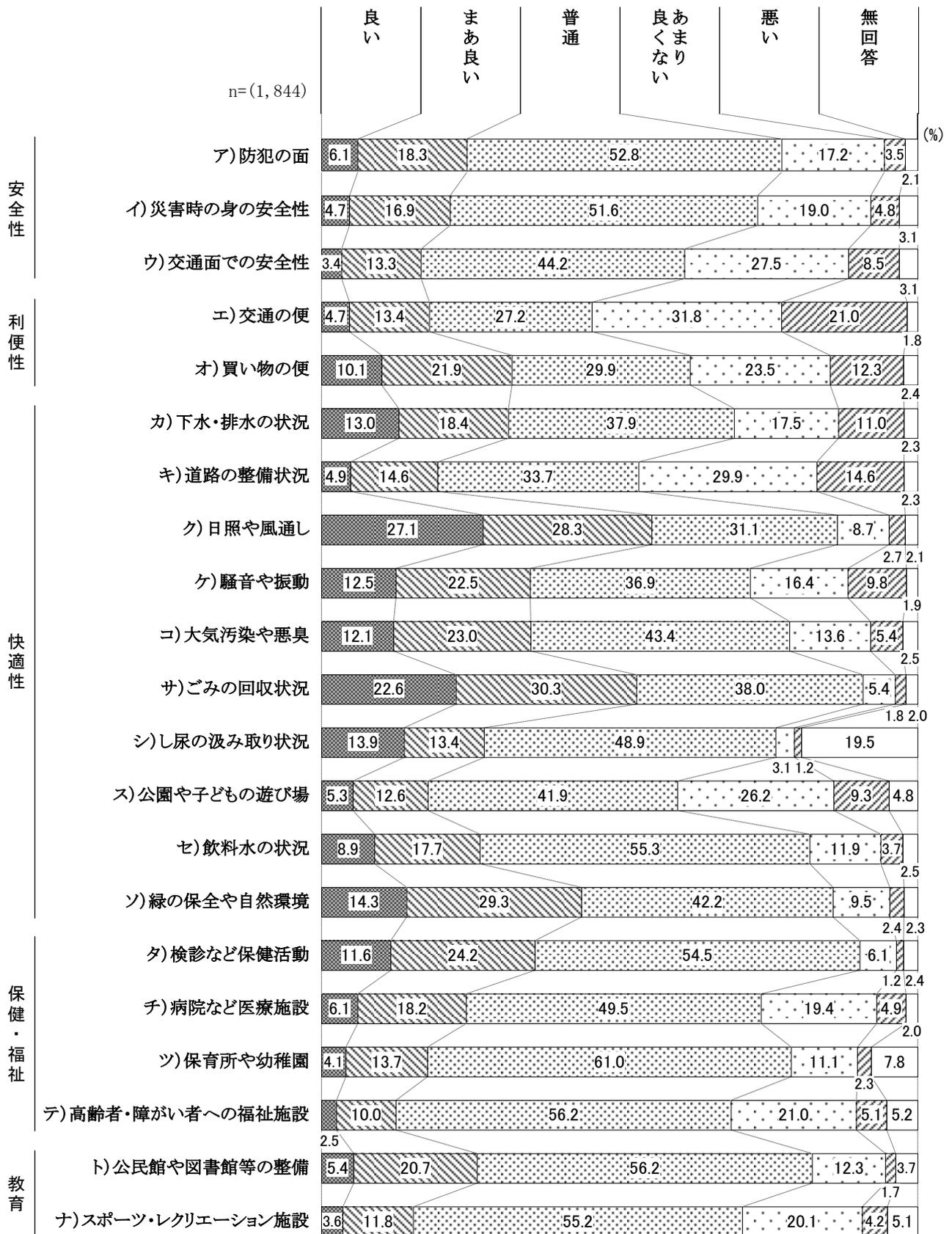
#### (4) 生活環境評価

◇ 『良い (計)』は、「日照や風通し」と「ごみの回収状況」で5割台半ば

【問4】あなたの生活環境についておうかがいします。下記の項目（ア～ナ）について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。

(n=1,844) (%)

		良い	まあ良い	普通	良 あ ま り く な い	悪い	無 回 答
安全性	ア) 防犯の面はどうですか	6.1	18.3	52.8	17.2	3.5	2.1
	イ) 地震や火災、水害等の災害が起きたときの身の安全性はどうですか	4.7	16.9	51.6	19.0	4.8	3.1
	ウ) 交通面での安全性はどうですか	3.4	13.3	44.2	27.5	8.5	3.1
利便性	エ) 交通の便はどうですか	4.7	13.4	27.2	31.8	21.0	1.8
	オ) 買い物の便はどうですか	10.1	21.9	29.9	23.5	12.3	2.4
快適性	カ) 下水・排水の状況はどうですか	13.0	18.4	37.9	17.5	11.0	2.3
	キ) 道路の整備状況はどうですか	4.9	14.6	33.7	29.9	14.6	2.3
	ク) 日照や風通しはどうですか	27.1	28.3	31.1	8.7	2.7	2.1
	ケ) 騒音や振動はどうですか	12.5	22.5	36.9	16.4	9.8	1.9
	コ) 大気汚染や悪臭はどうですか	12.1	23.0	43.4	13.6	5.4	2.5
	サ) ごみの回収状況はどうですか	22.6	30.3	38.0	5.4	1.8	2.0
	シ) し尿の汲み取り状況はどうですか	13.9	13.4	48.9	3.1	1.2	19.5
	ス) 公園や子どもの遊び場はどうですか	5.3	12.6	41.9	26.2	9.3	4.8
	セ) 飲料水の状況はどうですか	8.9	17.7	55.3	11.9	3.7	2.5
	ソ) 緑の保全や自然環境はどうですか	14.3	29.3	42.2	9.5	2.4	2.3
保健・福祉	タ) 検診など保健活動はどうですか	11.6	24.2	54.5	6.1	1.2	2.4
	チ) 病院など医療施設はどうですか	6.1	18.2	49.5	19.4	4.9	2.0
	ツ) 保育所や幼稚園はどうですか	4.1	13.7	61.0	11.1	2.3	7.8
	テ) 高齢者・障がい者への福祉施設はどうですか	2.5	10.0	56.2	21.0	5.1	5.2
教育	ト) 公民館や図書館等の整備はどうですか	5.4	20.7	56.2	12.3	1.7	3.7
	ナ) スポーツ・レクリエーション施設はどうですか	3.6	11.8	55.2	20.1	4.2	5.1



身近な21項目の生活環境について、5段階での評価をみると、「良い」の割合が最も高かったのは、「日照や風通し」で27.1%となっている。次いで「ごみの回収状況」(22.6%)、「緑の保全や自然環境」(14.3%)などの順となっている。

また、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い(計)』は、「日照や風通し」(55.4%)、「ごみの回収状況」(52.9%)が5割台半ばとなっている。

一方、「悪い」の割合が最も高かったのは、「交通の便」で21.0%となっている。次いで「道路の整備状況」(14.6%)、「買い物の便」(12.3%)などの順となっている。

「良い」と「まあ良い」を『満足』に、「悪い」と「あまり良くない」を『不満足』に分けて、それぞれの上位7項目をあげると次のようになる。

『満足』		『不満足』	
① 日照や風通し	55.4%	① 交通の便	52.8%
② ごみの回収状況	52.9	② 道路の整備状況	44.5
③ 緑の保全や自然環境	43.6	③ 交通面での安全性	36.0
④ 検診など保健活動	35.8	④ 買い物の便	35.8
⑤ 大気汚染や悪臭	35.1	⑤ 公園や子どもの遊び場	35.5
⑥ 騒音や振動	35.0	⑥ 下水・排水の状況	28.5
⑦ 買い物の便	32.0	⑦ 騒音や振動	26.2

### 加重平均値

下記の計算式にあるように、5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する「加重平均値」でみると、評価点の高いものと、低いものの上位7項目は次のようになっている。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「良い」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ + \text{「まあ良い」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \text{「あまり良くない」の回答者数} \times \blacktriangle 1 \text{点} \\ + \text{「悪い」の回答者数} \times \blacktriangle 2 \text{点} \end{array}}{\text{回答者数}}$$

高いもの		低いもの	
① 日照や風通し	+0.70	① 交通の便	▲0.52
② ごみの回収状況	+0.68	② 道路の整備状況	▲0.36
③ 緑の保全や自然環境	+0.45	③ 交通面での安全性	▲0.25
④ し尿の汲み取り状況	+0.44	④ 公園や子どもの遊び場	▲0.23
⑤ 検診など保健活動	+0.40	⑤ 高齢者・障がい者への福祉施設	▲0.17
⑥ 大気汚染や悪臭	+0.24	⑥ スポーツ・レクリエーション施設	▲0.10
⑦ 飲料水の状況、公民館や図書館等の整備	+0.17	⑦ 買い物の便	▲0.06

また、21項目の合計点を居住地区別に比較すると、次のようになる。(市全体の平均点は+0.09点)

① 北	+4.69	⑤ 川間	+1.00
② 野田	+3.65	⑥ 福田	+0.63
③ 南	+3.51	⑦ 東	+0.43
④ 中	+3.27	⑧ 関宿	▲2.96

■地区別加重平均値

居住地区	全 体	野 田	中	南	北	川 間	東	福 田	関 宿
防犯の面	0.06	0.15	0.19	0.05	0.16	▲0.05	0.09	0.10	▲0.08
災害時の身の安全性	▲0.02	0.12	0.12	0.05	0.03	▲0.05	0.14	▲0.04	▲0.38
交通面での安全性	▲0.25	▲0.14	▲0.21	▲0.22	▲0.19	▲0.26	▲0.31	▲0.21	▲0.46
交通の便	▲0.52	▲0.34	▲0.23	▲0.17	▲0.31	▲0.50	▲0.85	▲1.06	▲1.05
買い物の便	▲0.06	▲0.02	0.00	0.36	0.41	0.06	▲0.58	▲0.79	▲0.57
下水・排水の状況	0.05	0.32	0.21	0.16	0.40	▲0.07	▲0.39	▲0.03	▲0.45
道路の整備状況	▲0.36	▲0.30	▲0.30	▲0.21	▲0.07	▲0.51	▲0.48	▲0.49	▲0.61
日照や風通し	0.70	0.66	0.67	0.69	0.88	0.69	0.88	0.72	0.62
騒音や振動	0.12	0.17	0.07	0.24	0.11	0.12	0.20	0.18	▲0.03
大気汚染や悪臭	0.24	0.41	0.41	0.37	0.40	0.27	0.23	▲0.24	▲0.05
ごみの回収状況	0.68	0.76	0.79	0.71	0.63	0.64	0.59	0.72	0.57
し尿の汲み取り状況	0.44	0.49	0.36	0.54	0.55	0.32	0.44	0.46	0.35
公園や子どもの遊び場	▲0.23	▲0.20	▲0.25	▲0.09	0.11	▲0.28	▲0.53	0.06	▲0.69
飲料水の状況	0.17	0.26	0.19	0.26	0.28	0.09	▲0.05	0.18	▲0.03
緑の保全や自然環境	0.45	0.50	0.34	0.43	0.51	0.44	0.59	0.63	0.32
検診など保健活動	0.40	0.50	0.43	0.37	0.51	0.32	0.48	0.38	0.27
病院など医療施設	0.01	0.12	0.21	0.07	0.03	▲0.01	0.11	▲0.06	▲0.23
保育所や幼稚園	0.07	0.03	0.18	0.10	0.15	▲0.02	0.03	0.04	0.02
高齢者・障がい者への福祉施設	▲0.17	▲0.16	▲0.09	▲0.12	▲0.12	▲0.20	0.01	▲0.05	▲0.36
公民館や図書館等の整備	0.17	0.33	0.17	0.16	0.22	0.12	0.08	0.16	0.03
スポーツ・レクリエーション施設	▲0.10	▲0.01	0.01	▲0.24	0.00	▲0.12	▲0.25	▲0.03	▲0.15
合 計	0.09	3.65	3.27	3.51	4.69	1.00	0.43	0.63	▲2.96

次ページからは、21項目の加重平均値を8地区ごとに、市全体と対比させてグラフで表示する。

市全体と比べて、0.10点以上の開きがあるものを、上回るものと下回るものに分けて抽出してみた。

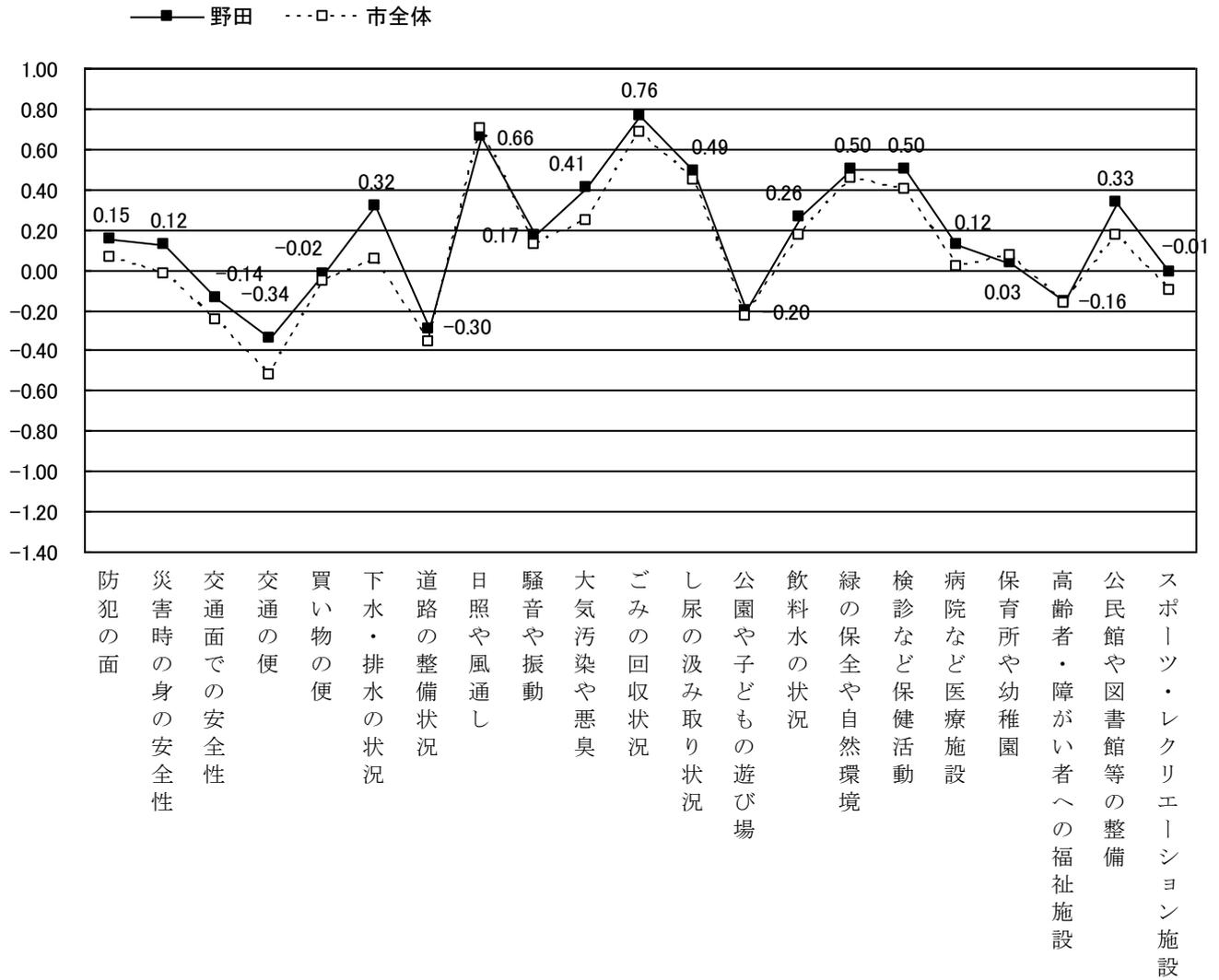
( ) 内の数字が市全体との点差である。

生活環境満足度（加重平均）

野田地区

上回るもの……下水・排水の状況（0.27）／交通の便（0.18）／大気汚染や悪臭（0.17）／公民館や図書館等の整備（0.16）／災害時の身の安全性（0.14）／病院など医療施設（0.11）／交通面での安全性（0.11）／検診など保健活動（0.10）

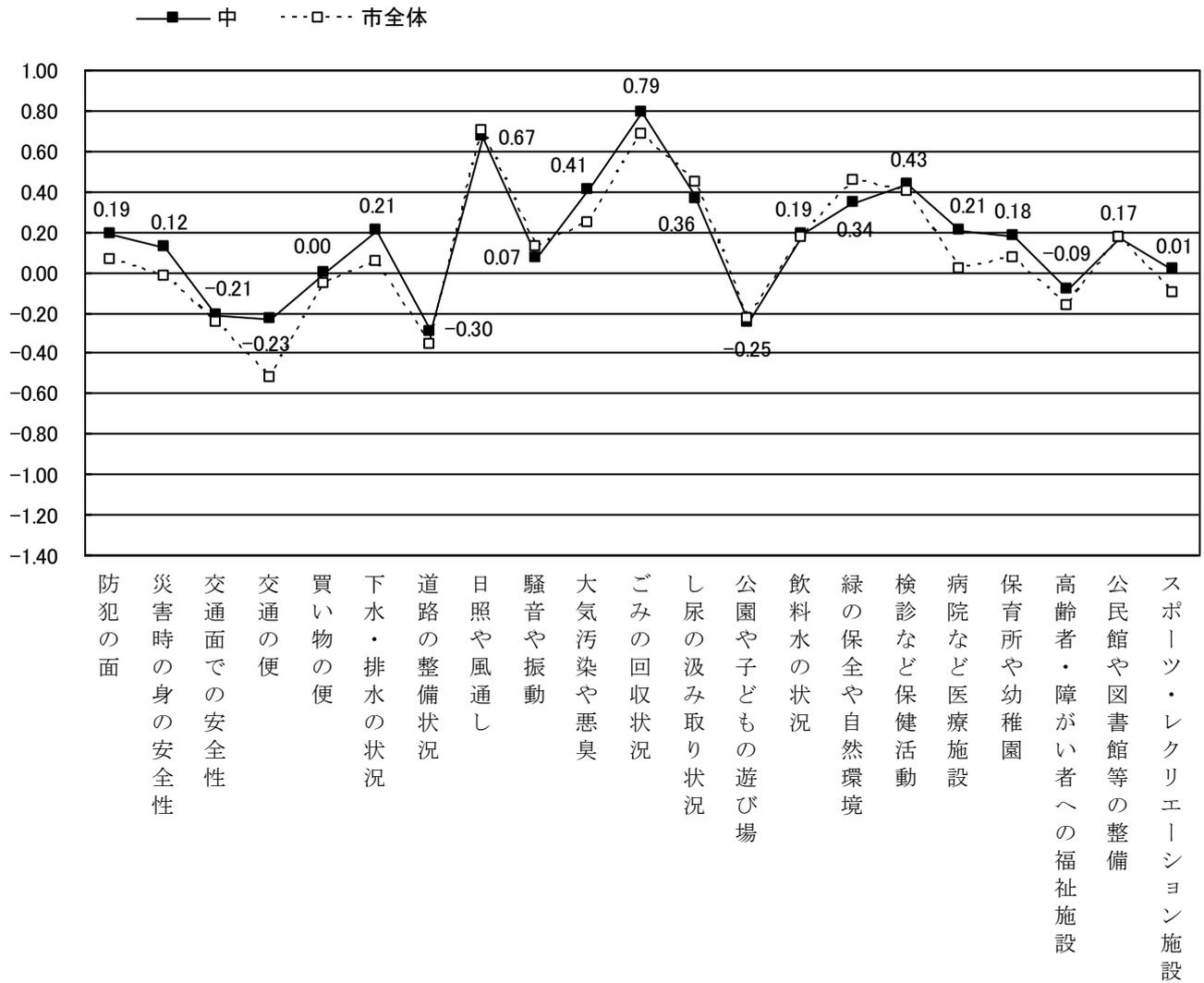
下回るもの……なし



生活環境満足度（加重平均）

中地区

上回るもの……交通の便（0.29）／病院など医療施設（0.20）／大気汚染や悪臭（0.17）／下水・排水の状況（0.16）／災害時の身の安全性（0.14）／防犯の面（0.13）／スポーツ・レクリエーション施設（0.11）／ごみの回収状況（0.11）／保育所や幼稚園（0.11）  
 下回るもの……緑の保全や自然環境（▲0.11）

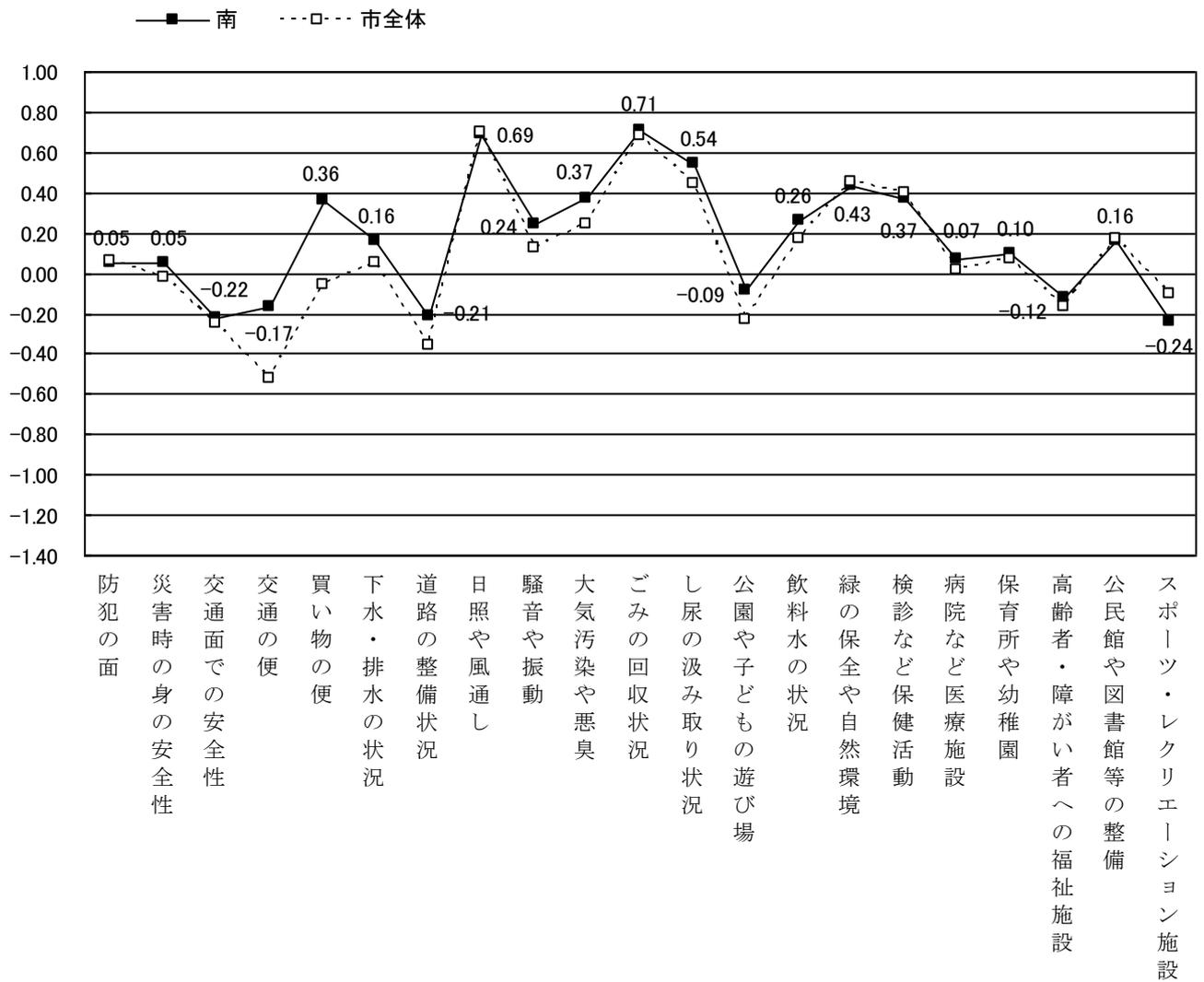


生活環境満足度（加重平均）

南地区

上回るもの……買い物の便（0.42）／交通の便（0.35）／道路の整備状況（0.15）／公園や子どもの遊び場（0.14）／大気汚染や悪臭（0.13）／騒音や振動（0.12）／下水・排水の状況（0.11）／し尿の汲み取り状況（0.10）

下回るもの……スポーツ・レクリエーション施設（▲0.14）

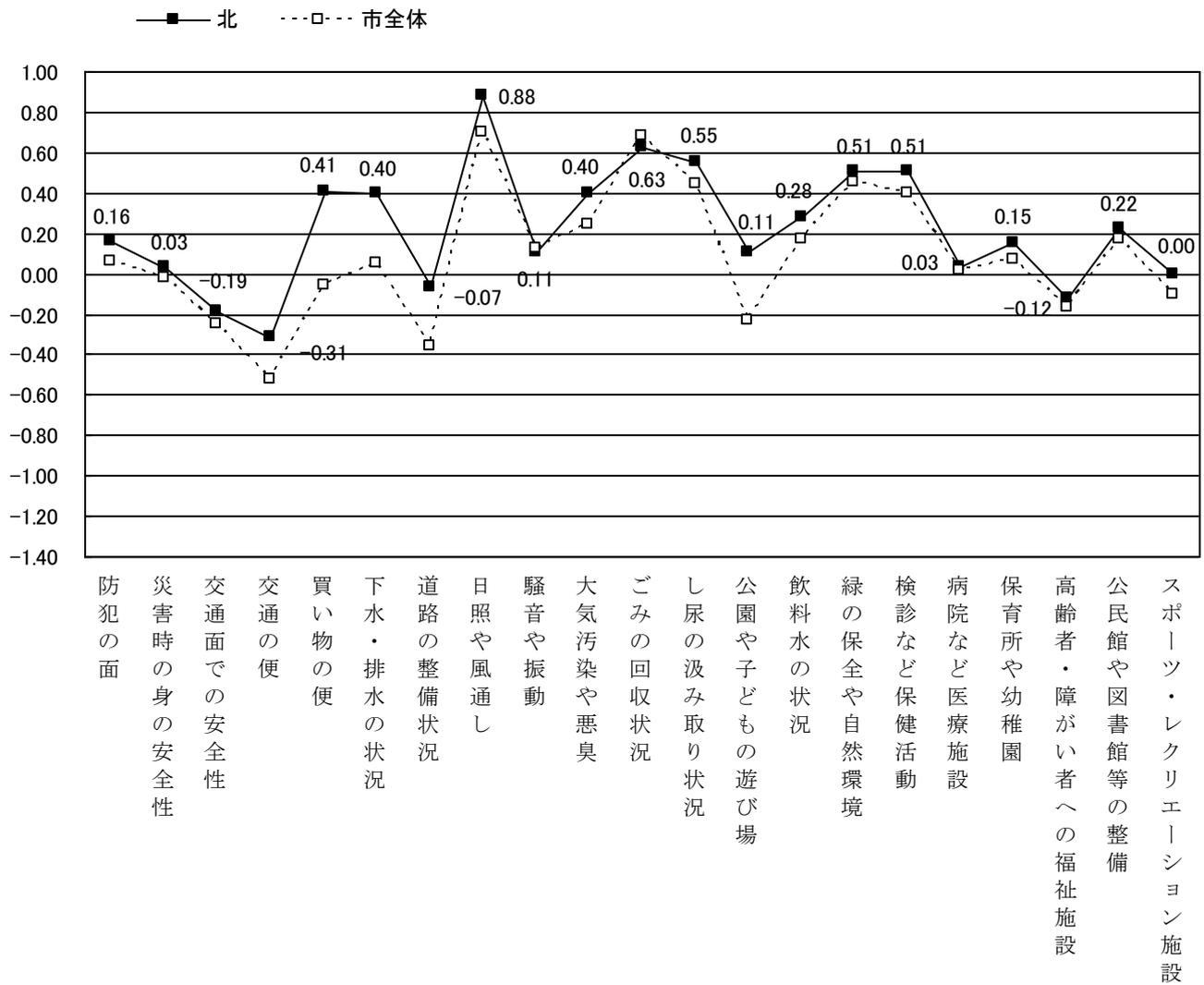


生活環境満足度（加重平均）

北地区

上回るもの……買い物の便（0.47）／下水・排水の状況（0.35）／公園や子どもの遊び場（0.34）／道路の整備状況（0.29）／交通の便（0.21）／日照や風通し（0.18）／大気汚染や悪臭（0.16）／し尿の汲み取り状況（0.11）／飲料水の状況（0.11）／検診など保健活動（0.11）／防犯の面（0.10）／スポーツ・レクリエーション施設（0.10）

下回るもの……なし

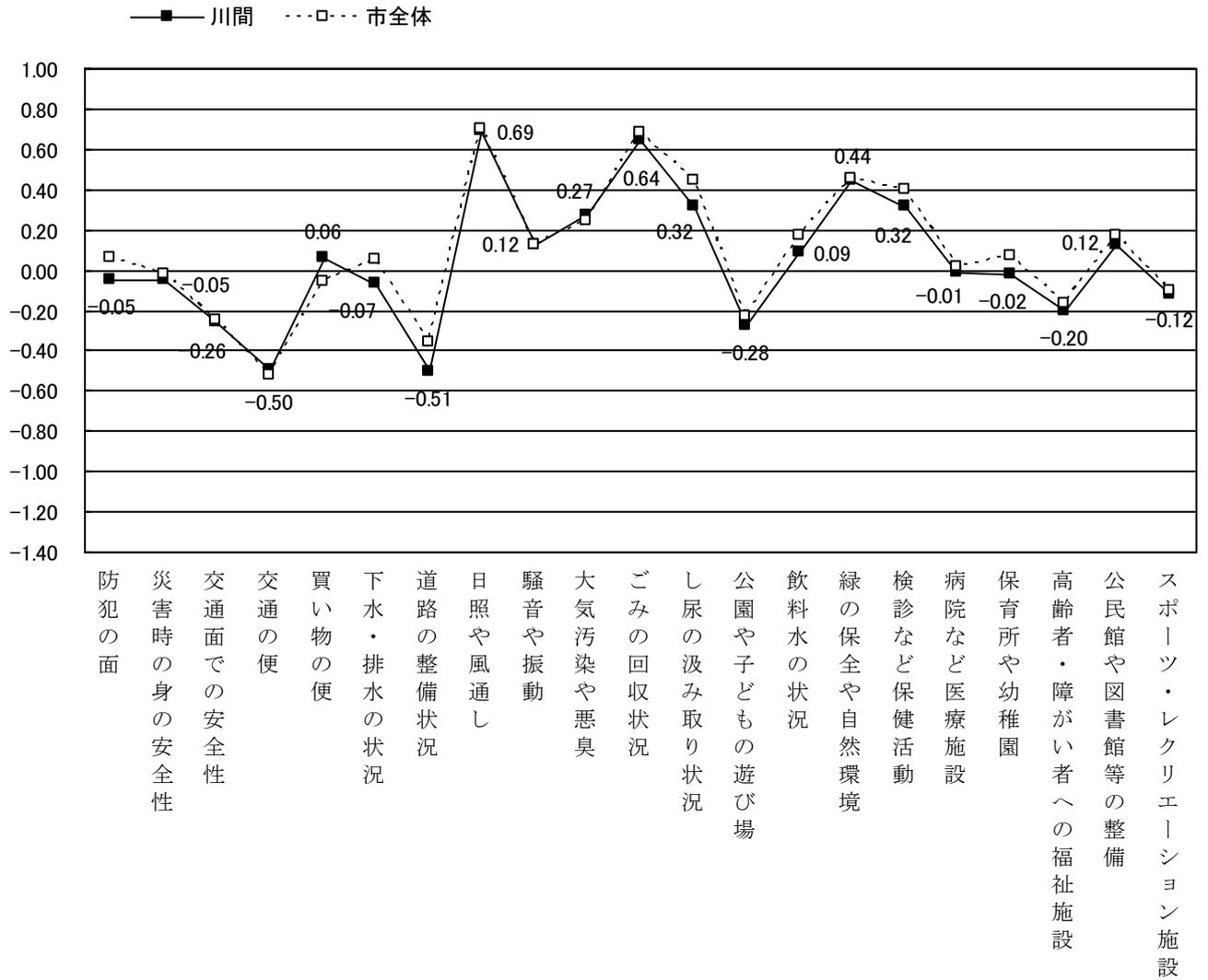


生活環境満足度（加重平均）

川間地区

上回るもの……買い物の便（0.12）

下回るもの……道路の整備状況（▲0.15）／下水・排水の状況（▲0.12）／し尿の汲み取り状況（▲0.12）  
 ／防犯の面（▲0.11）

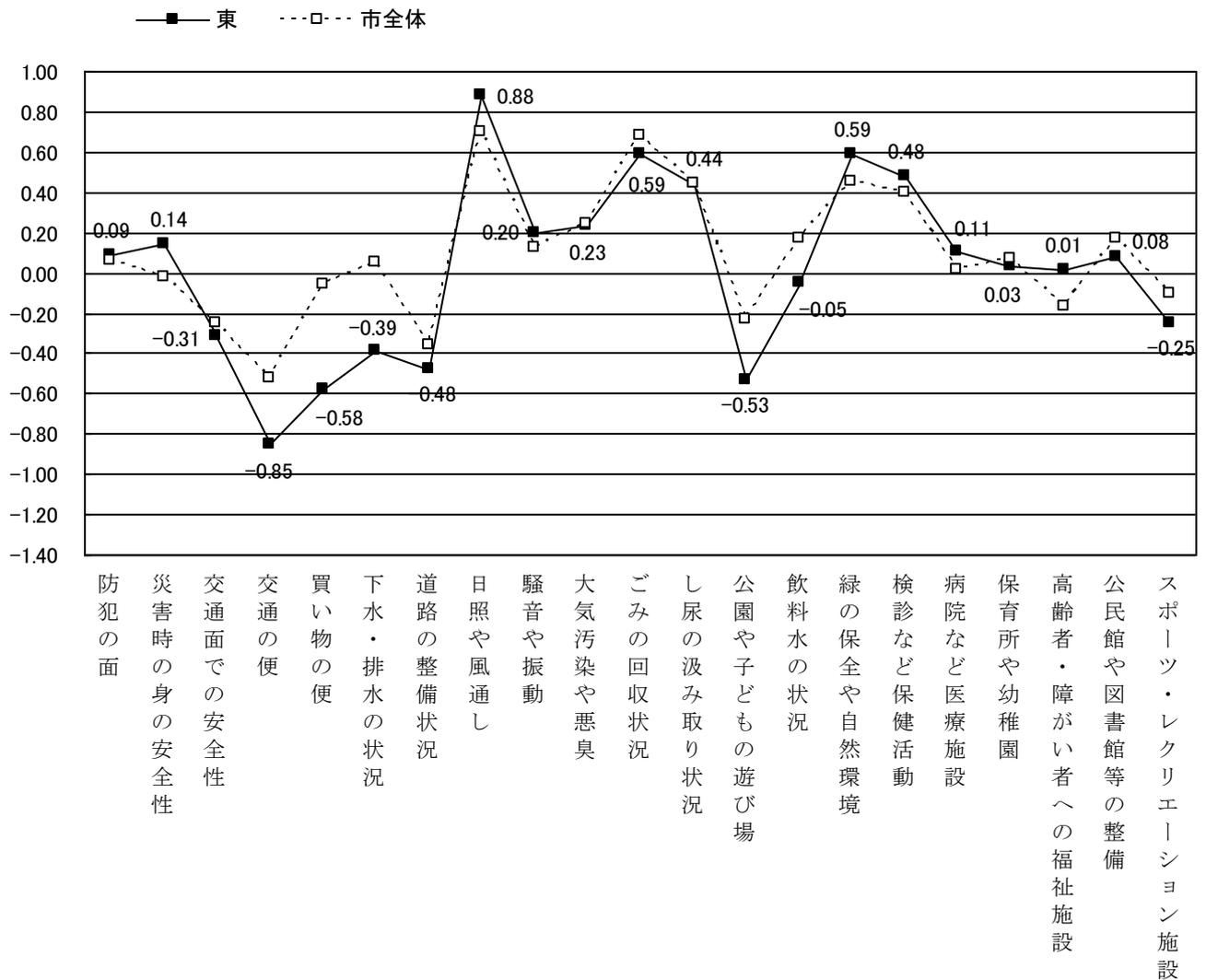


生活環境満足度（加重平均）

東地区

上回るもの……日照や風通し（0.18）／高齢者・障がい者への福祉施設（0.18）／災害時の身の安全性（0.16）／緑の保全や自然環境（0.14）／病院など医療施設（0.10）

下回るもの……買い物の便（▲0.52）／下水・排水の状況（▲0.44）／交通の便（▲0.33）／公園や子どもの遊び場（▲0.30）／飲料水の状況（▲0.22）／スポーツ・レクリエーション施設（▲0.15）／道路の整備状況（▲0.12）

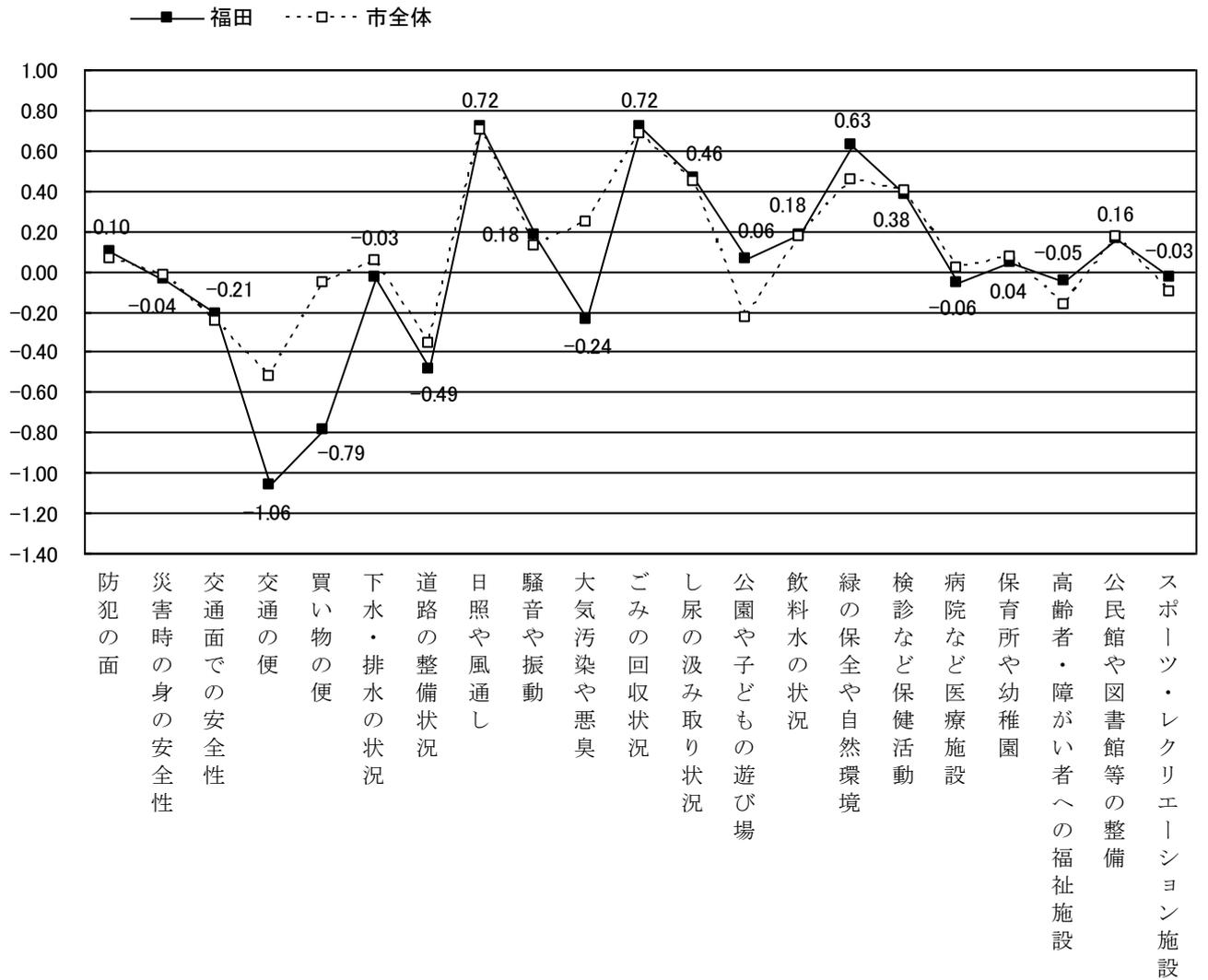


生活環境満足度（加重平均）

福田地区

上回るもの……公園や子どもの遊び場（0.29）／緑の保全や自然環境（0.18）／高齢者・障がい者への福祉施設（0.12）

下回るもの……買い物の便（▲0.73）／交通の便（▲0.54）／大気汚染や悪臭（▲0.48）／道路の整備状況（▲0.13）

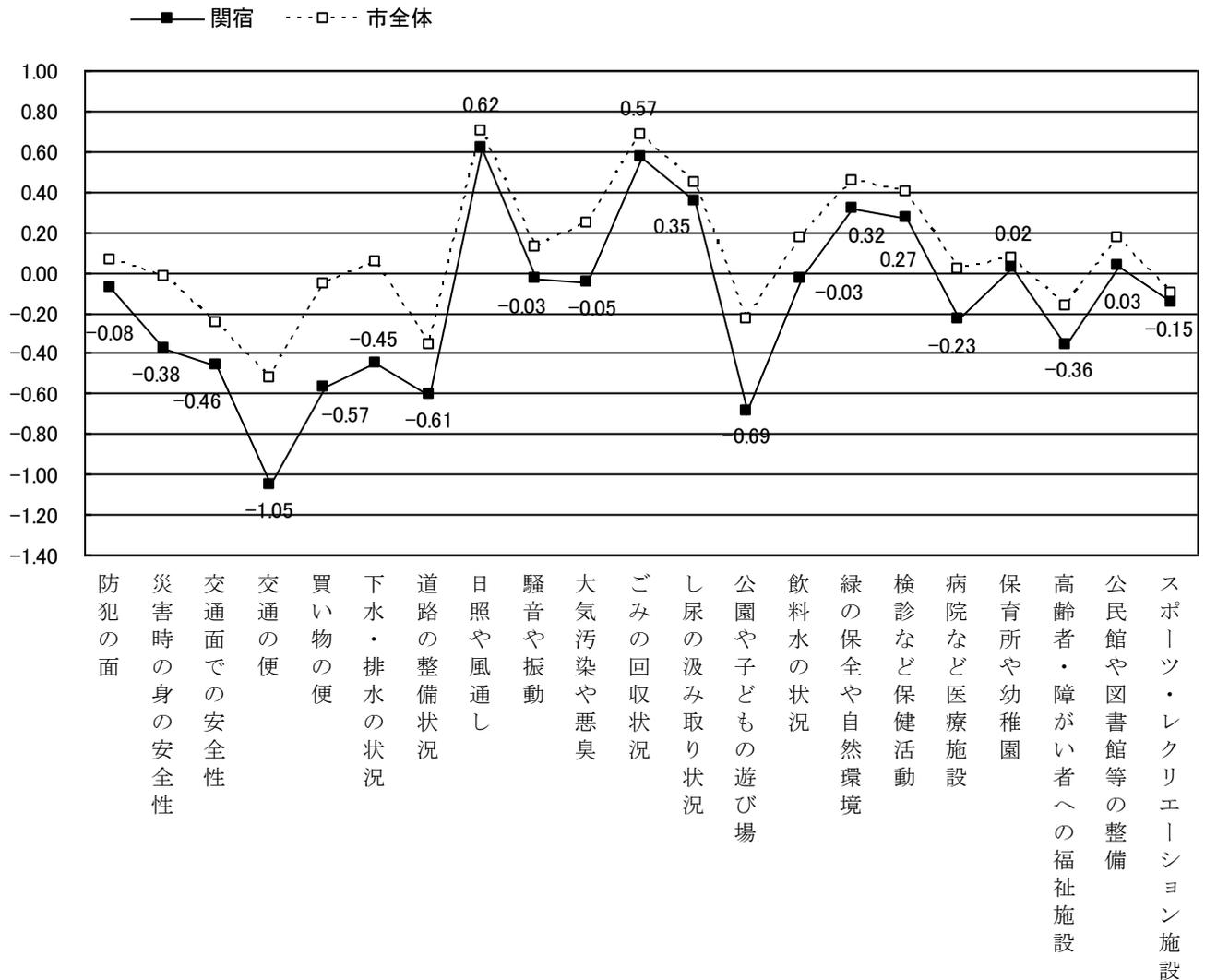


生活環境満足度（加重平均）

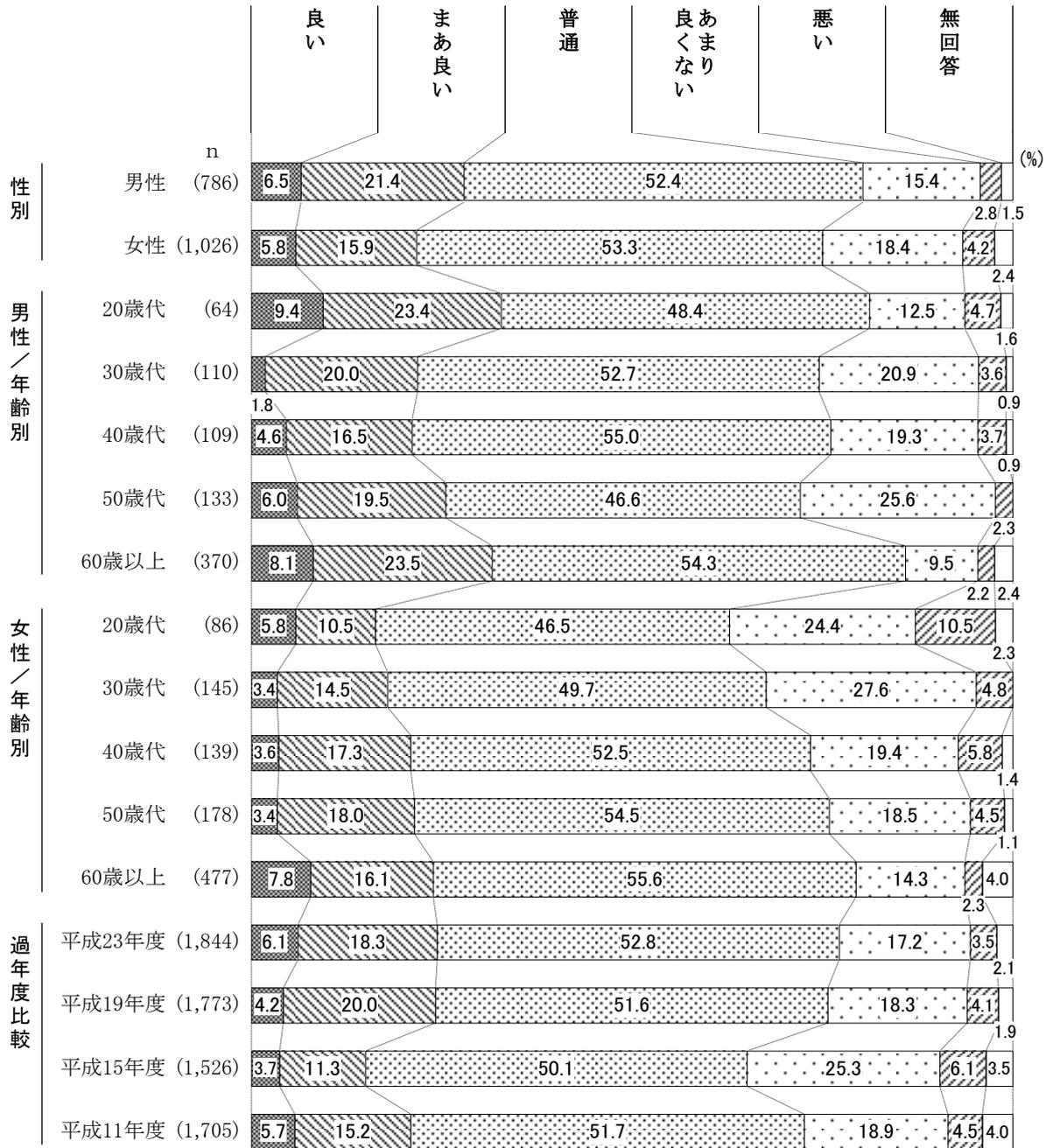
関宿地区

上回るもの……なし

下回るもの……交通の便（▲0.53）／買い物の便（▲0.51）／下水・排水の状況（▲0.50）／公園や子どもの遊び場（▲0.46）／災害時の身の安全性（▲0.36）／大気汚染や悪臭（▲0.29）／道路の整備状況（▲0.25）／病院など医療施設（▲0.24）／交通面での安全性（▲0.21）／飲料水の状況（▲0.20）／高齢者・障がい者への福祉施設（▲0.19）／騒音や振動（▲0.15）／防犯の面（▲0.14）／公民館や図書館等の整備（▲0.14）／緑の保全や自然環境（▲0.13）／検診など保健活動（▲0.13）／ごみの回収状況（▲0.11）



ア) 防犯の面



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (27.9%) が女性 (21.7%) を6.2ポイント上回っている。

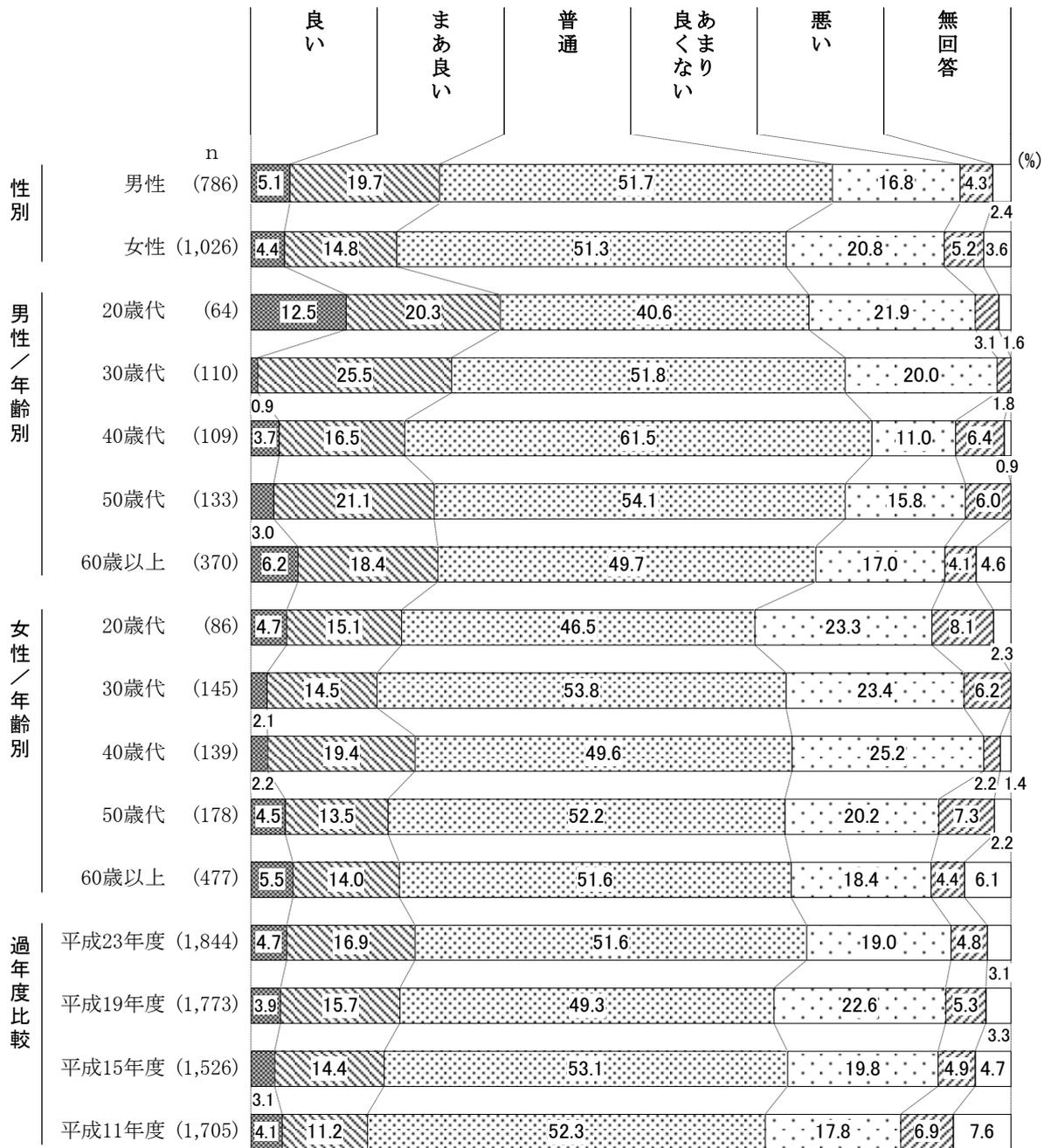
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では20歳代と60歳以上で3割を超えて高くなっている。また、女性では40歳以上で2割台と高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

イ) 地震や火災、水害等の災害が起きたときの身の安全性



〈性別〉

『良い（計）』は男性（24.8%）が女性（19.2%）を5.6ポイント上回っている。

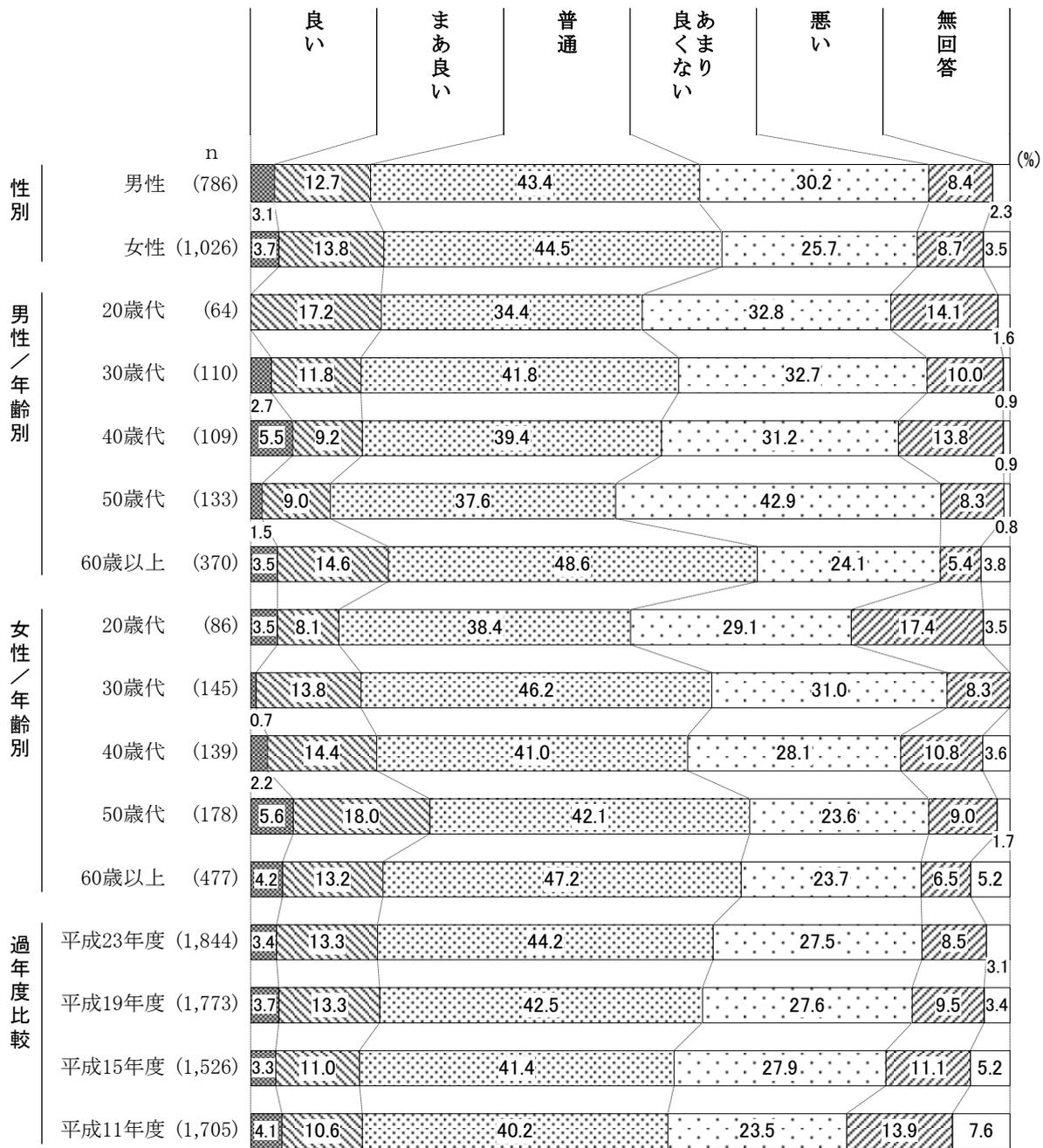
〈年齢別〉

『良い（計）』は男性では20歳代で32.8%と最も高くなっている。また、女性では40歳代で21.6%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、『良い（計）』はほとんど変化はみられない。

## ウ) 交通面での安全性



### 〈性別〉

『良い (計)』は男性 (15.8%) と女性 (17.5%) では大きな差はみられない。一方、『悪い (計)』は男性 (38.6%) が女性 (34.4%) を4.2ポイント上回っている。

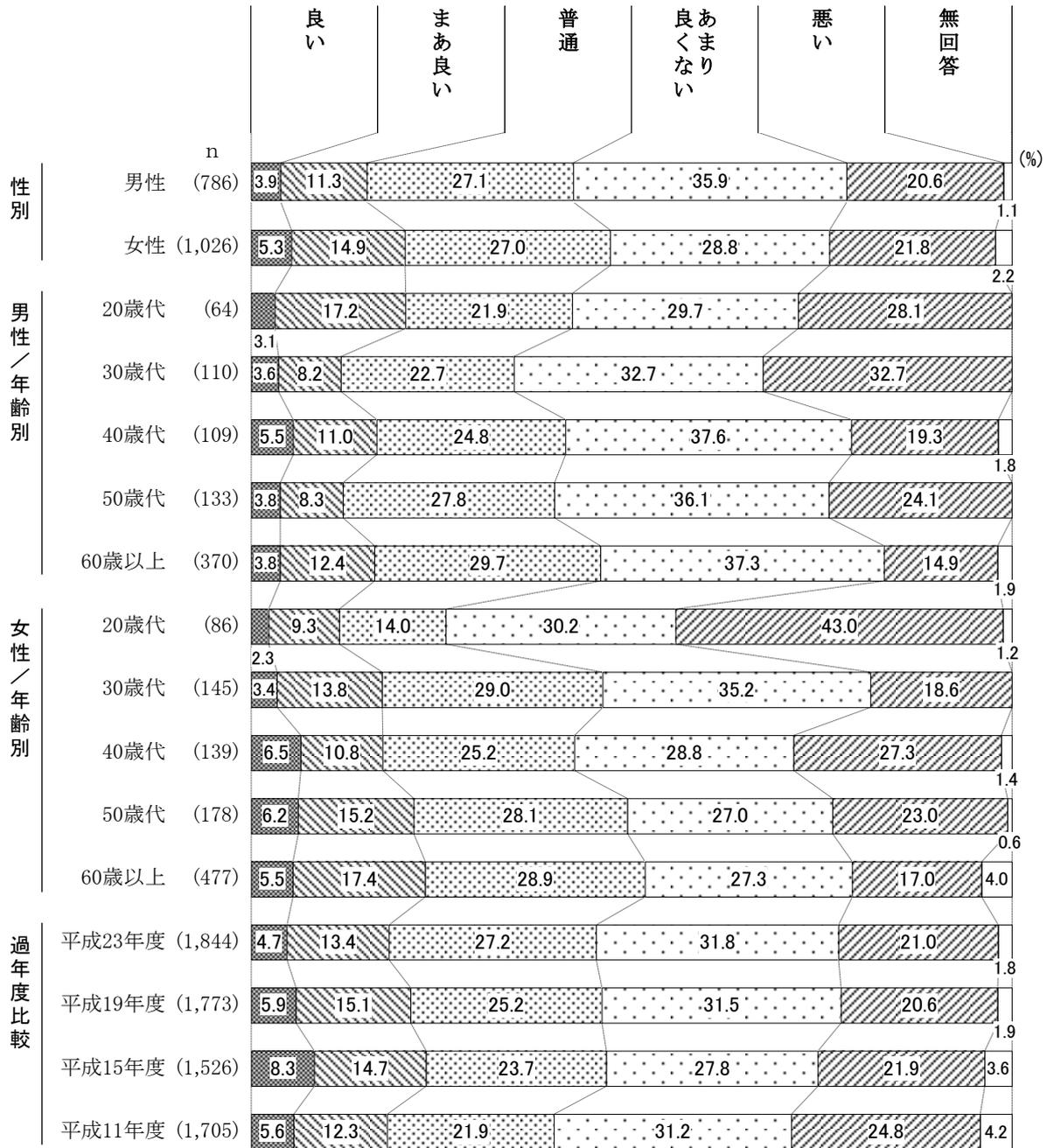
### 〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では50歳代で10.5%と最も低くなっている。また、女性では50歳代で23.6%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

エ) 交通の便



〈性別〉

『良い (計)』は、女性 (20.2%) が男性 (15.2%) を5.0ポイント上回っている。

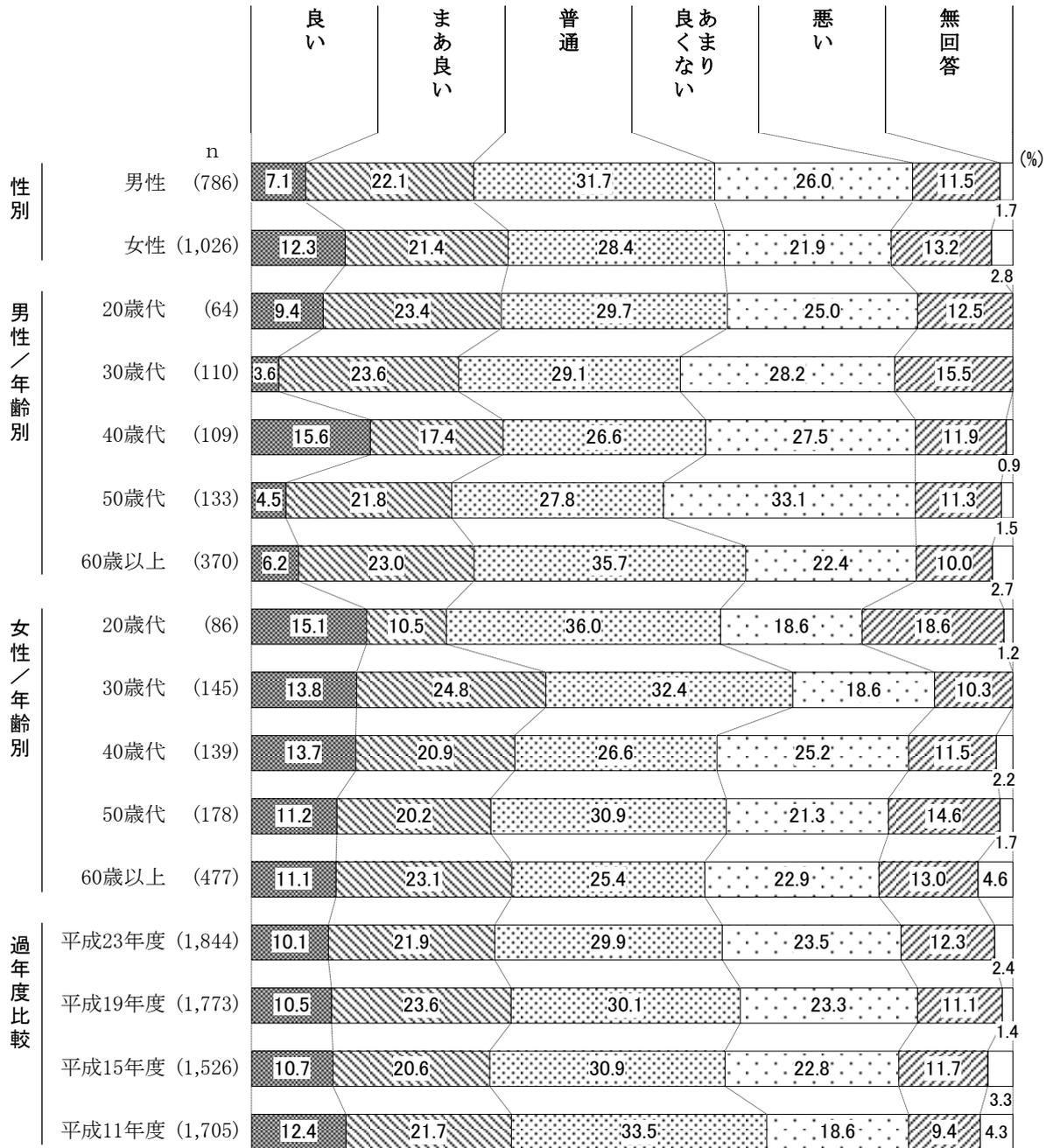
〈年齢別〉

『良い (計)』は、男性では20歳代で20.3%と最も高くなっている。また、女性では50歳以上で2割台と高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

オ) 買い物の便



〈性別〉

『良い (計)』は女性 (33.7%) が男性 (29.2%) を4.5ポイント上回っている。

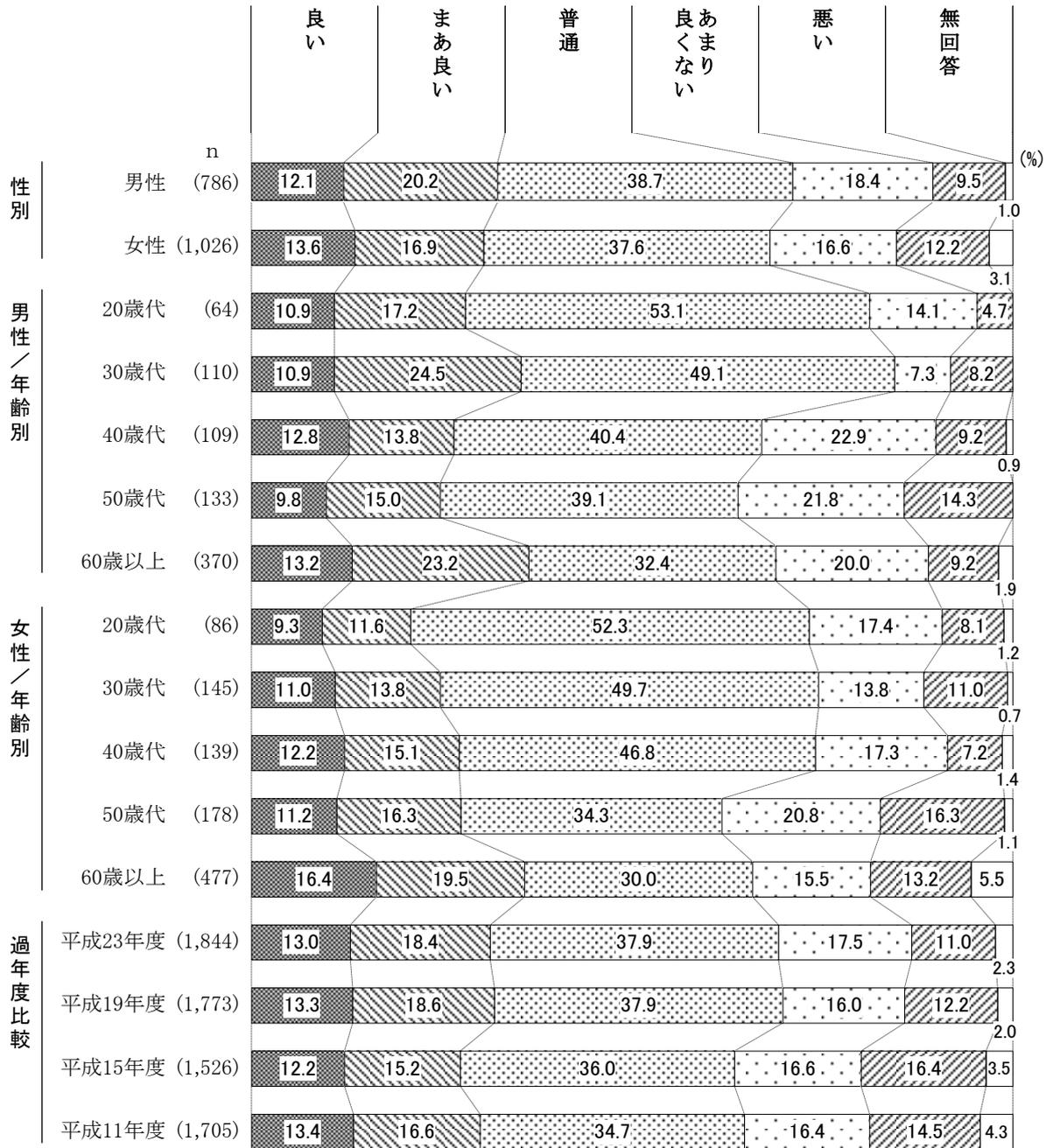
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では20歳代と40歳代で3割台と高くなっている。また、女性では30歳代で38.6%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

カ) 下水・排水の状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (32.3%) と女性 (30.5%) では、大きな差はみられない。

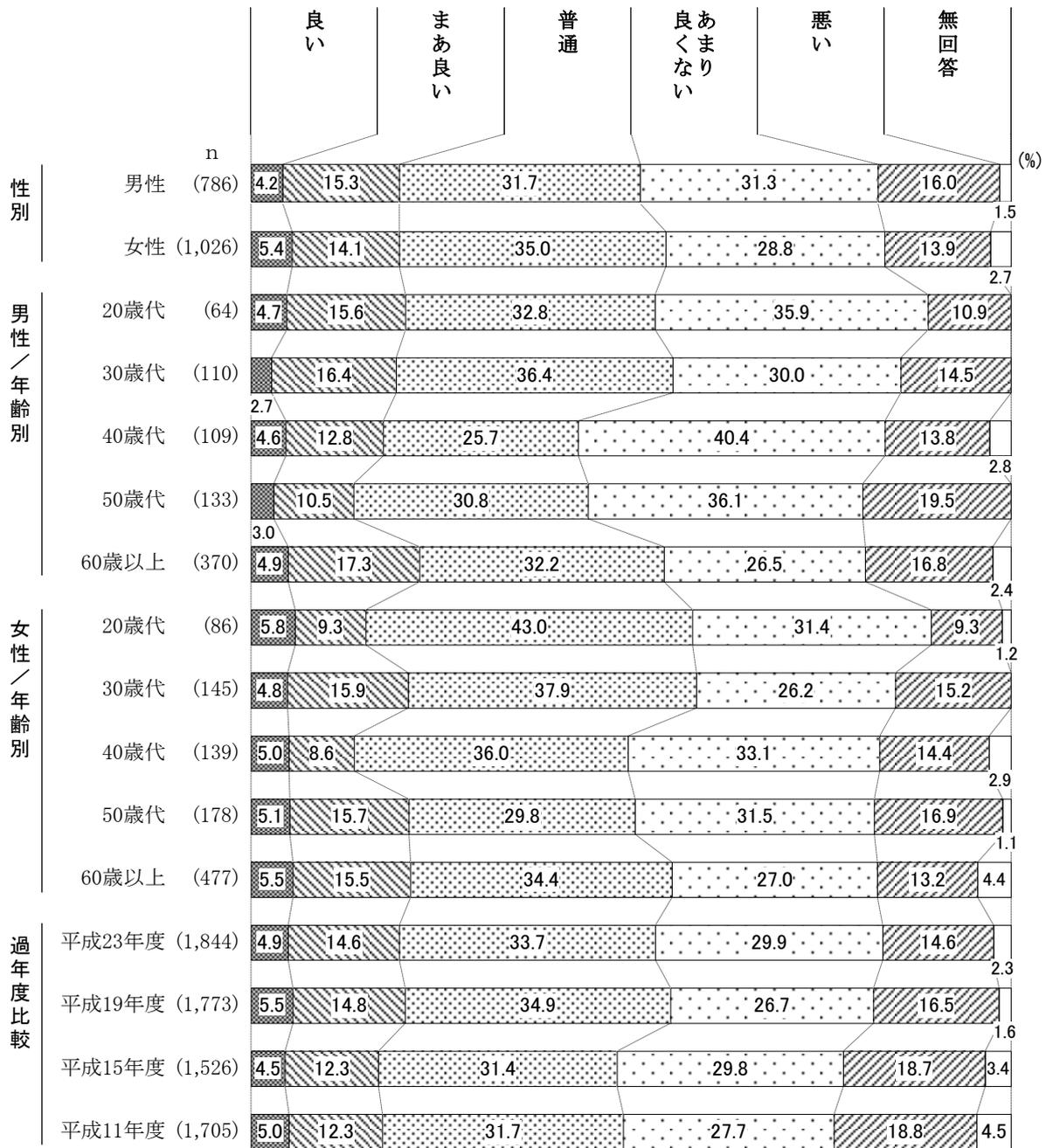
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では30歳代と60歳以上で3割台半ばと高くなっている。また、女性では60歳以上で35.9%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

キ) 道路の整備状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (19.5%) と女性 (19.5%) は、同じ割合となっている。

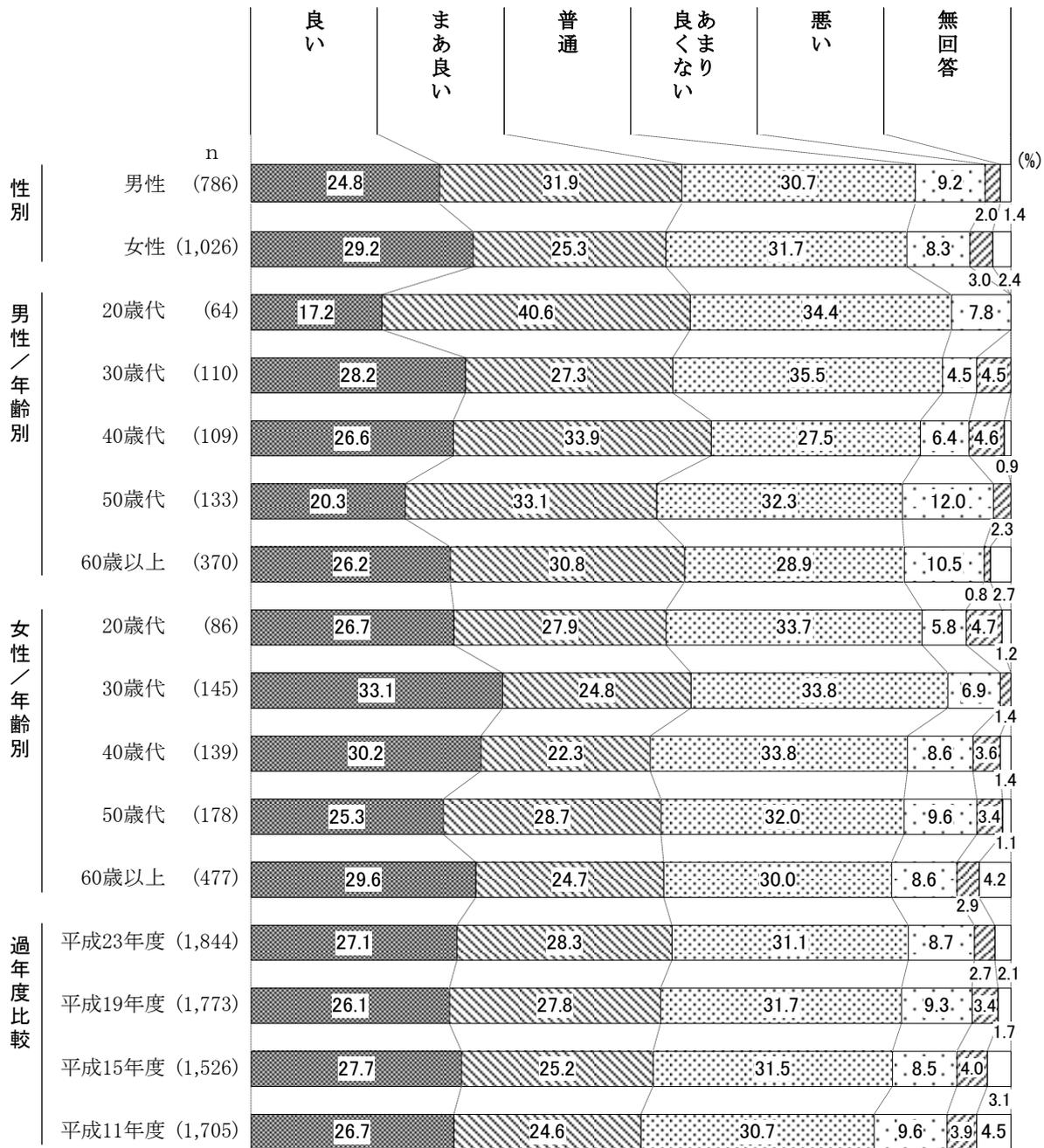
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では50歳代で13.5%と最も低くなっている。また、女性では20歳代と40歳代で1割台と低くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

ク) 日照や風通し



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (56.7%) と女性 (54.5%) では大きな差はみられない。

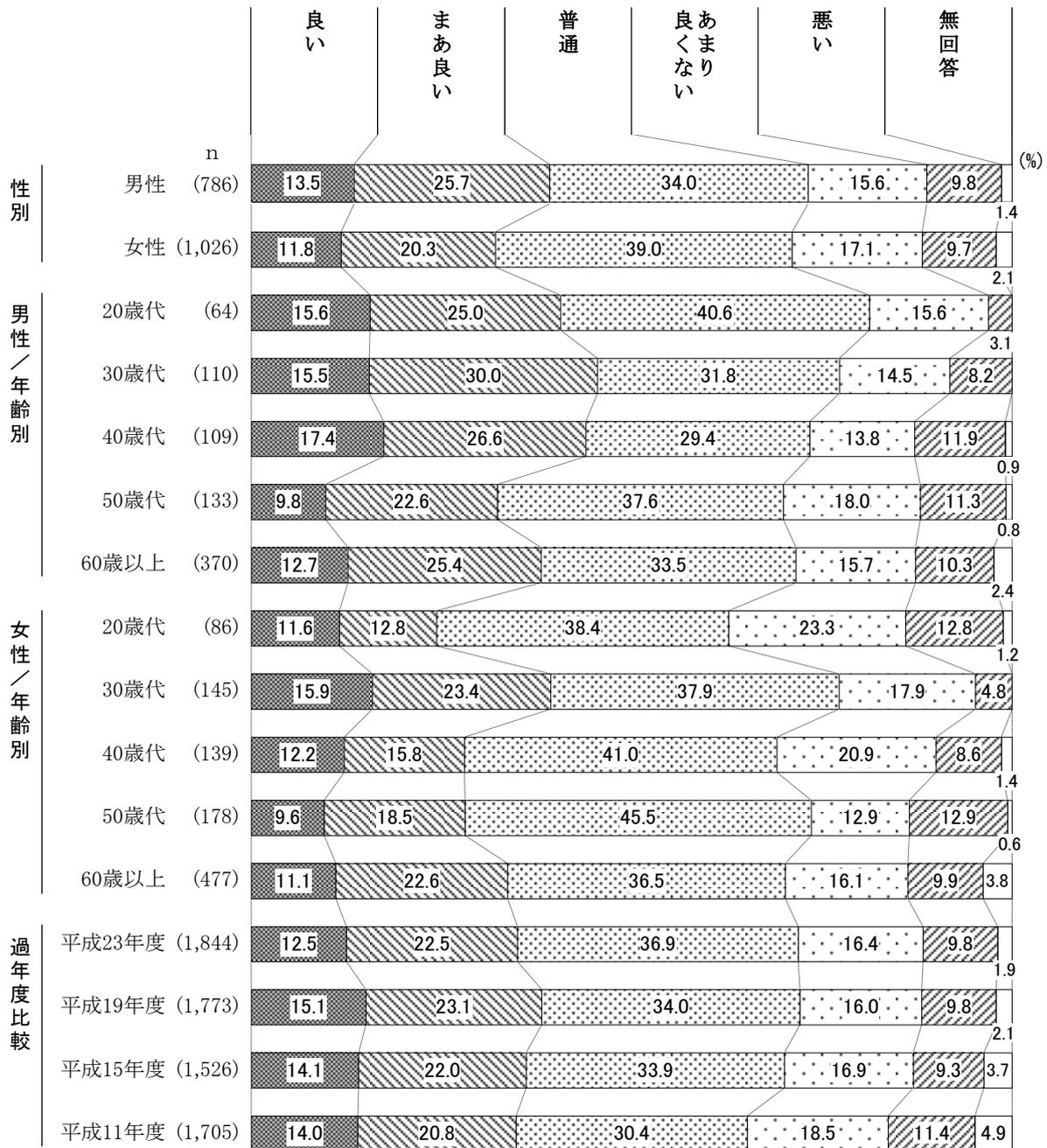
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では40歳代で60.5%と最も高くなっている。また、女性では30歳代で57.9%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

## ケ) 騒音や振動



### 〈性別〉

『良い (計)』は男性 (39.2%) が女性 (32.1%) を7.1ポイント上回っている。

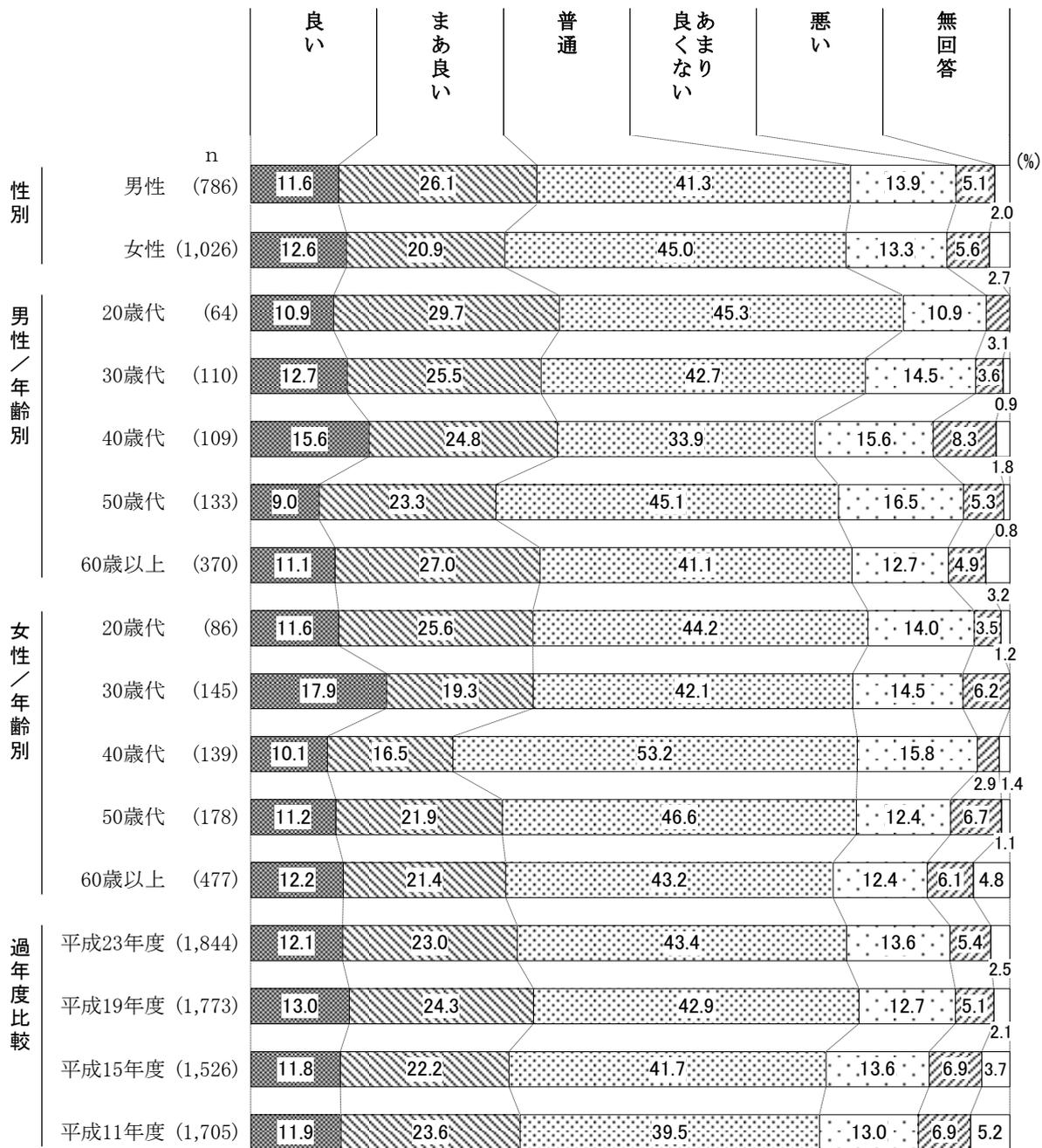
### 〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では30歳代と40歳代で4割台半ばと高くなっている。女性では30歳代で39.3%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』は3.2ポイント減少している。

コ) 大気汚染や悪臭



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (37.7%) が女性 (33.5%) を4.2ポイント上回っている。

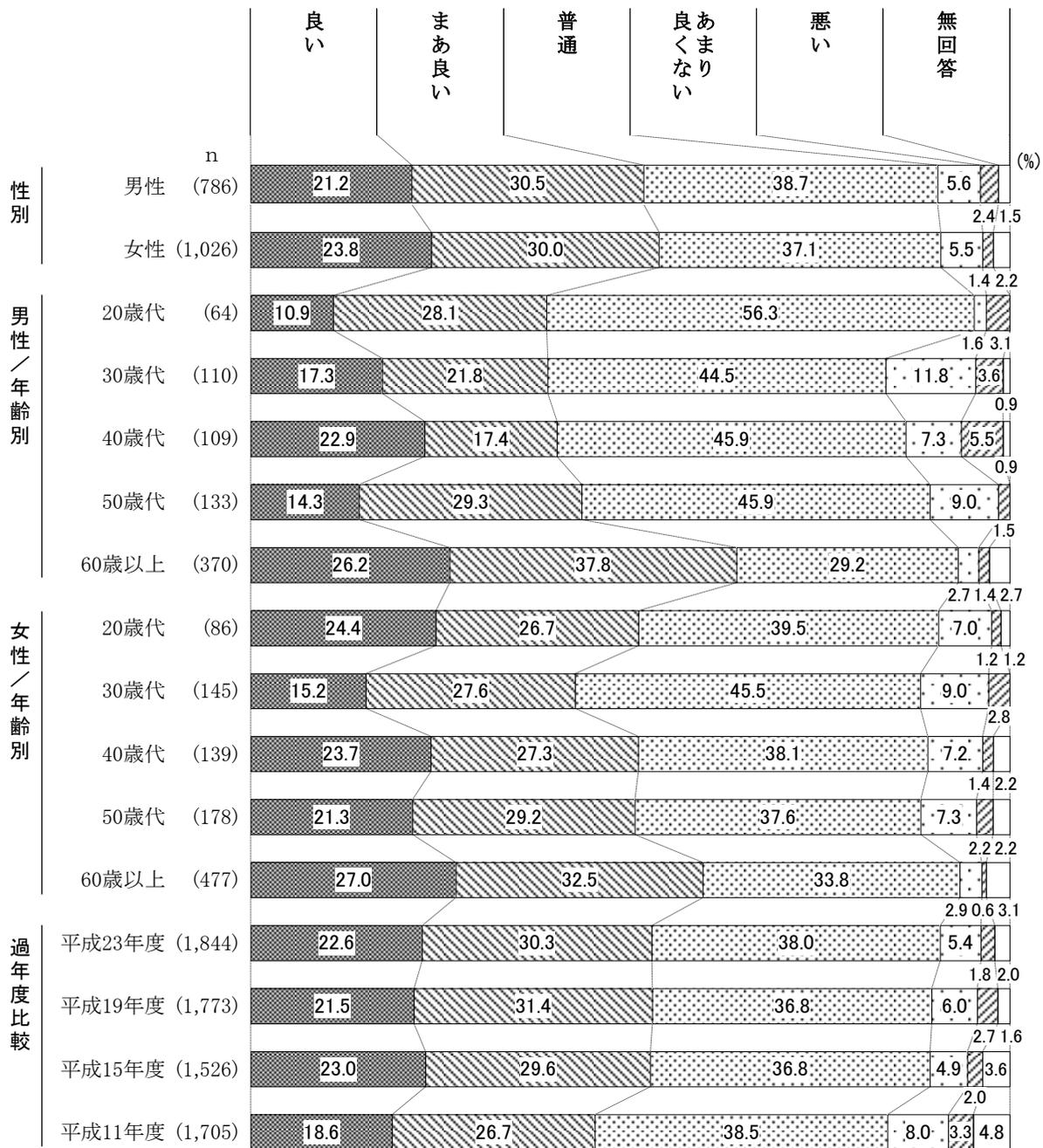
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では20歳代と40歳代で約4割と高くなっている。また、女性では40歳代で26.6%と最も低くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

サ) ごみの回収状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (51.7%) と女性 (53.8%) では大きな差はみられない。

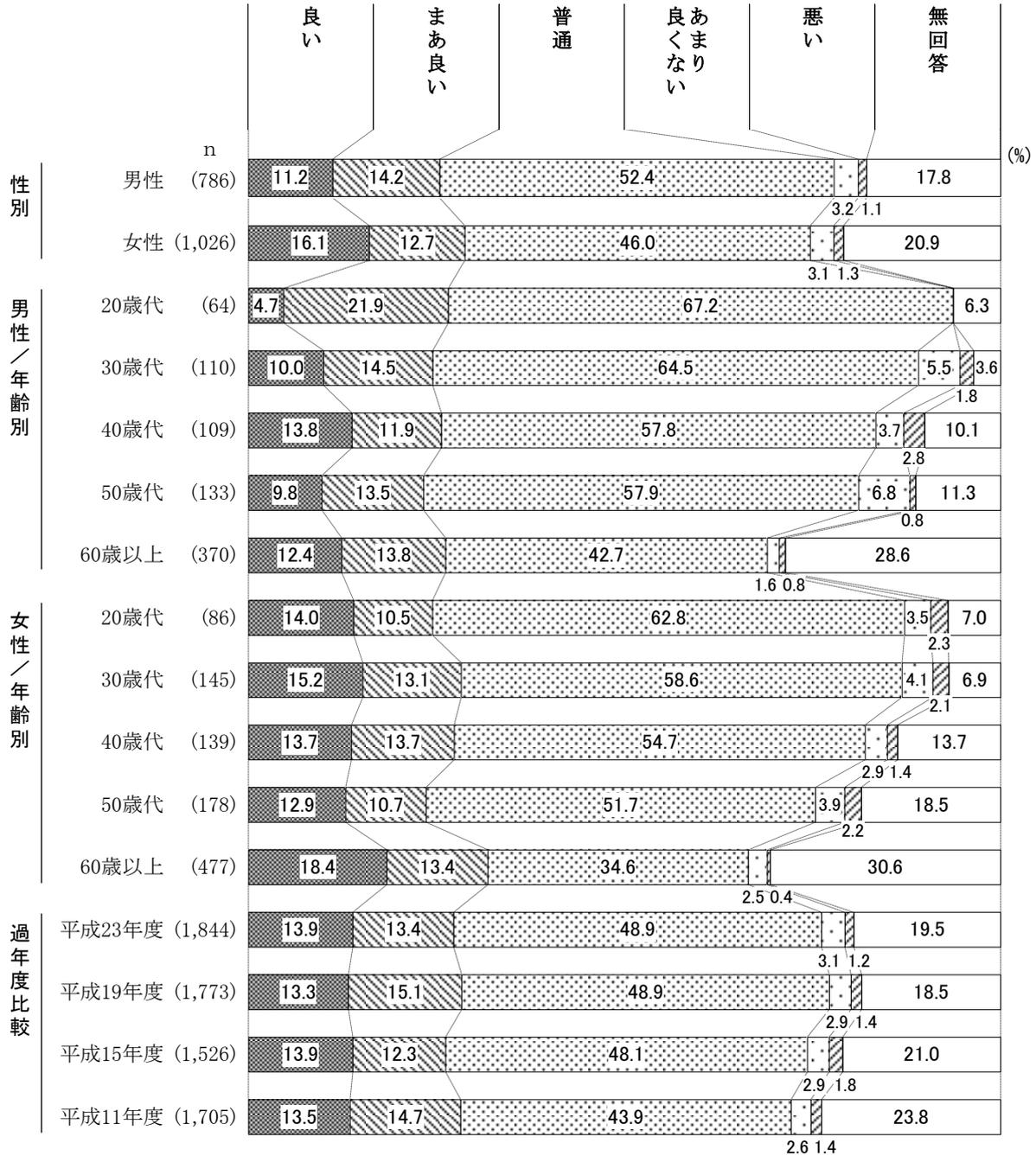
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では60歳以上で64.0%と最も高くなっている。また、女性では30歳代で42.8%と最も低くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

シ) し尿の汲み取り状況



〈性別〉

『良い（計）』は女性（28.8%）が男性（25.4%）を3.4ポイント上回っている。

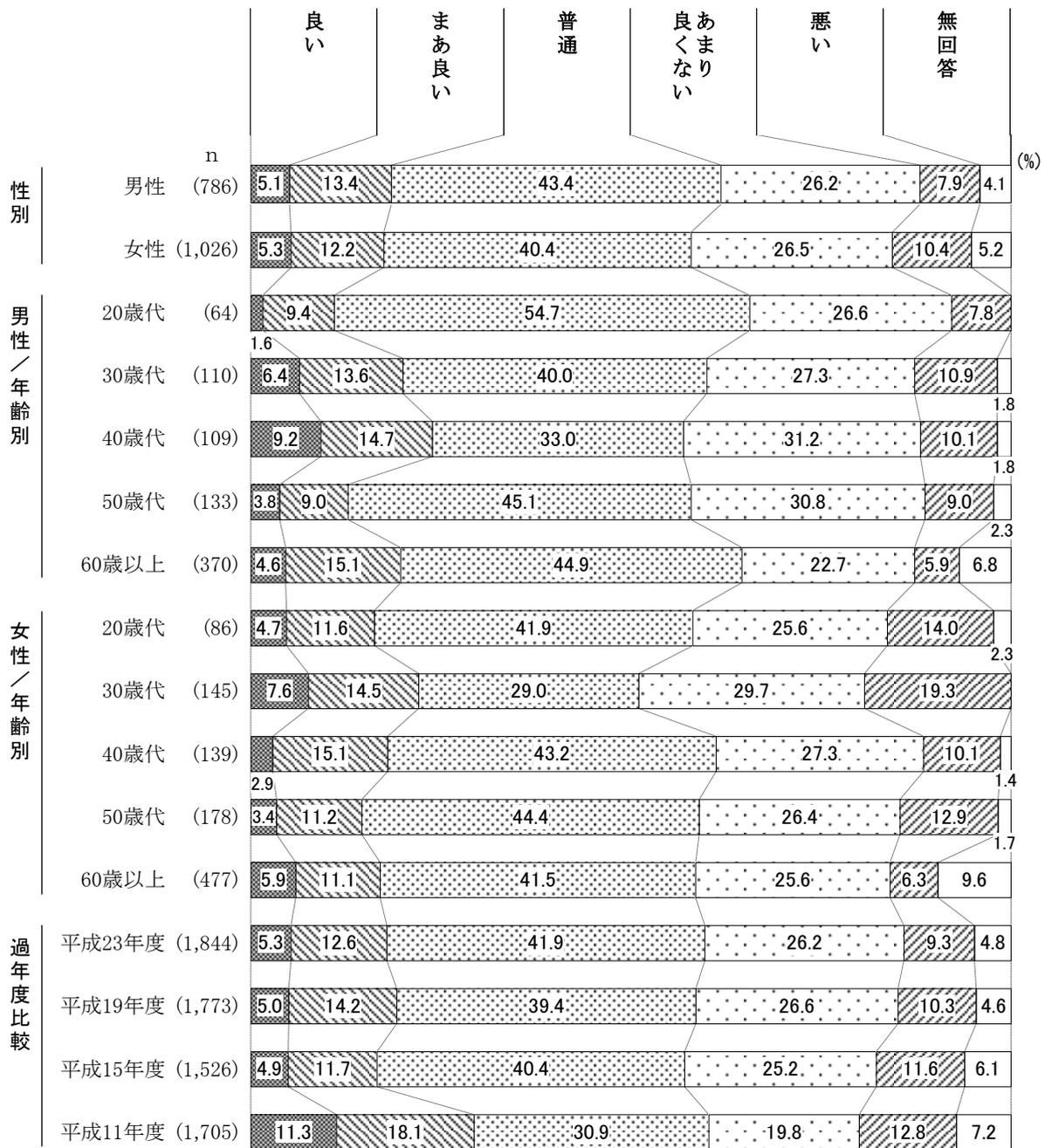
〈年齢別〉

『良い（計）』は男性では年齢による大きな差はみられない。また、女性では60歳以上で31.8%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、『良い（計）』はほとんど変化はみられない。

ス) 公園や子どもの遊び場



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (18.5%) と女性 (17.5%) では大きな差はみられない。

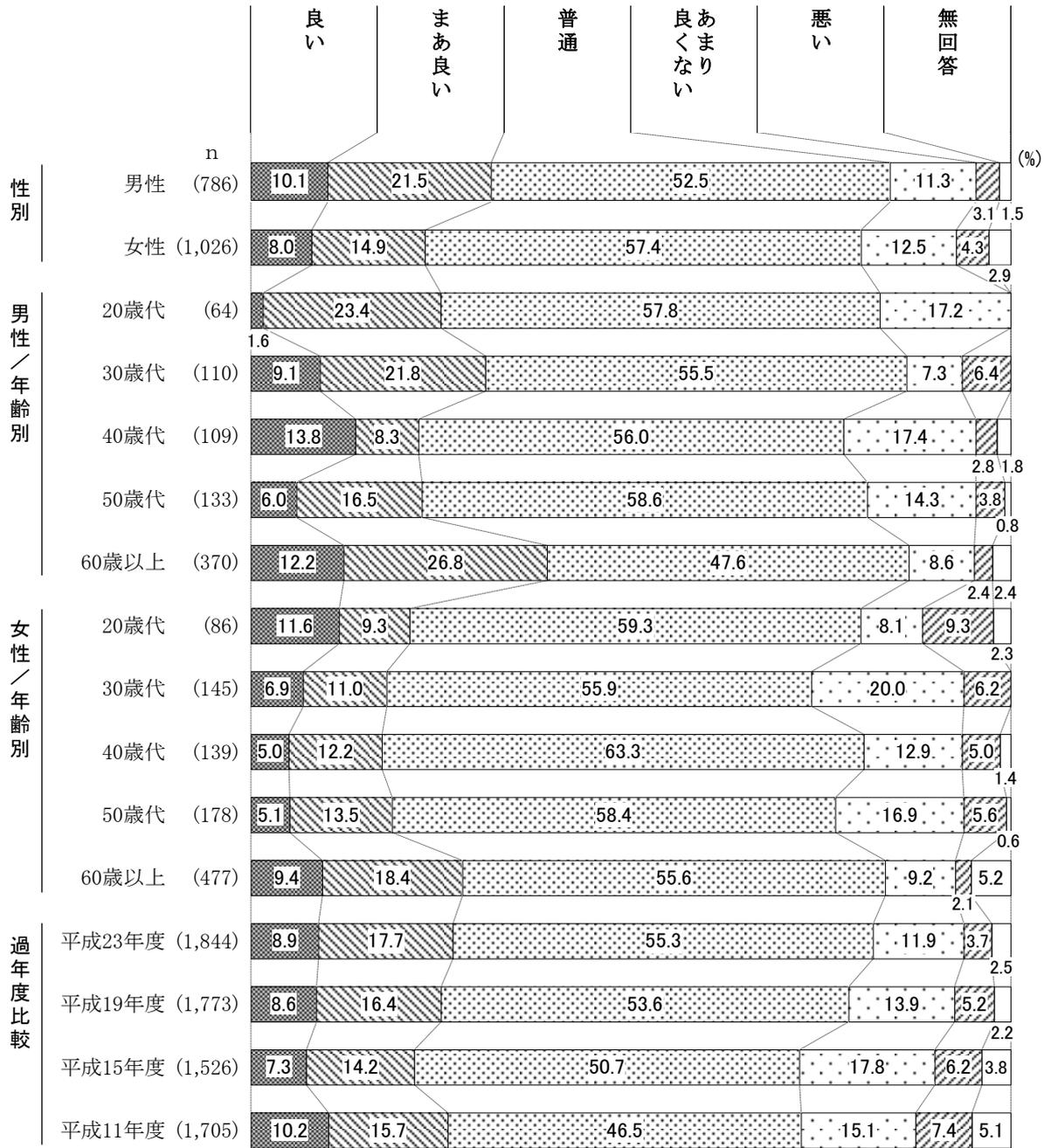
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では30歳代と40歳代で2割台と高くなっている。女性では30歳代で22.1%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

セ) 飲料水の状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (31.6%) が女性 (22.9%) を8.7ポイント上回っている。

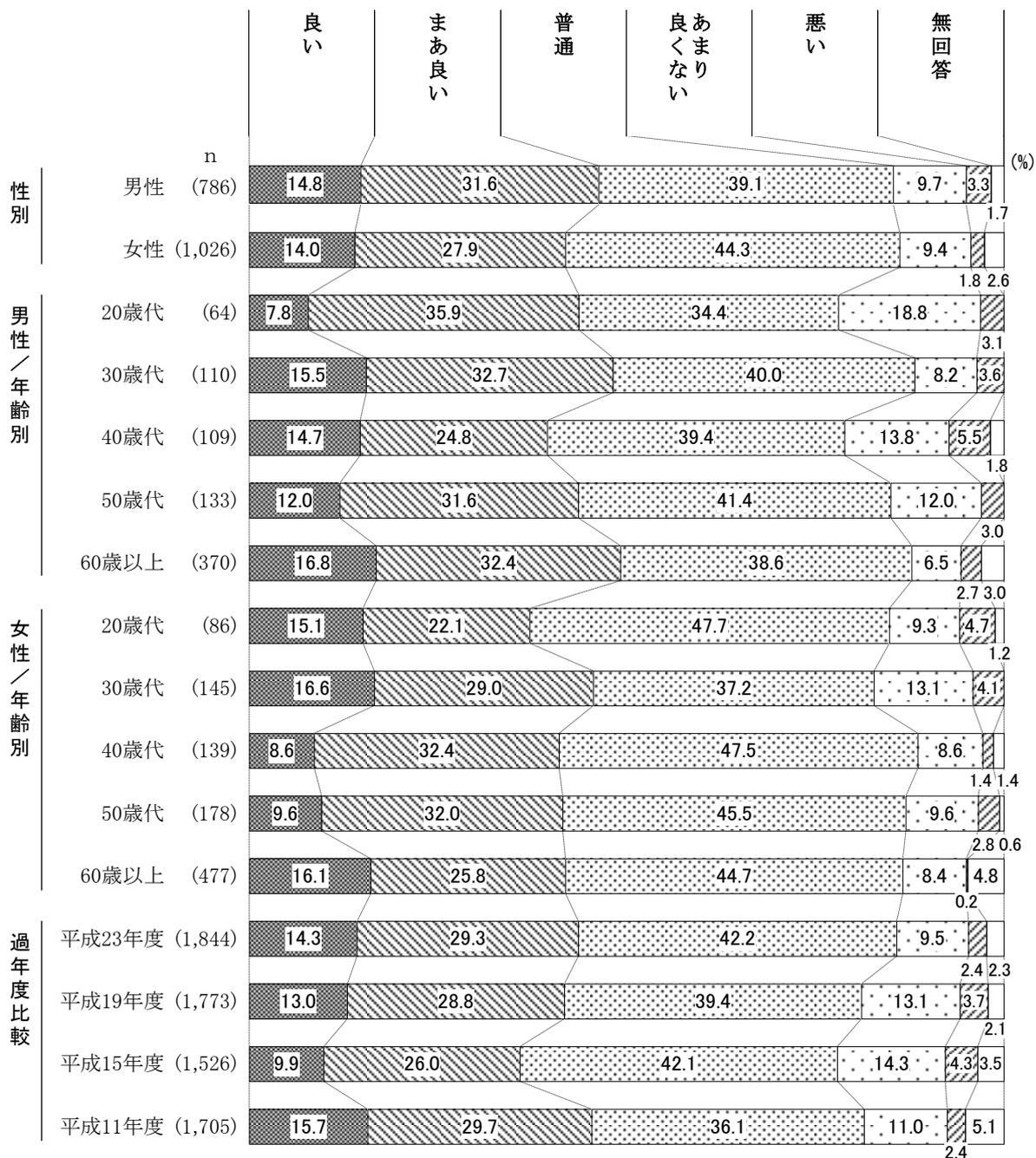
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに60歳以上で最も高くなっており、特に男性では39.0%と高くなっている。女性では27.8%となっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

ソ) 緑の保全や自然環境



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (46.4%) が女性 (41.9%) を4.5ポイント上回っている。

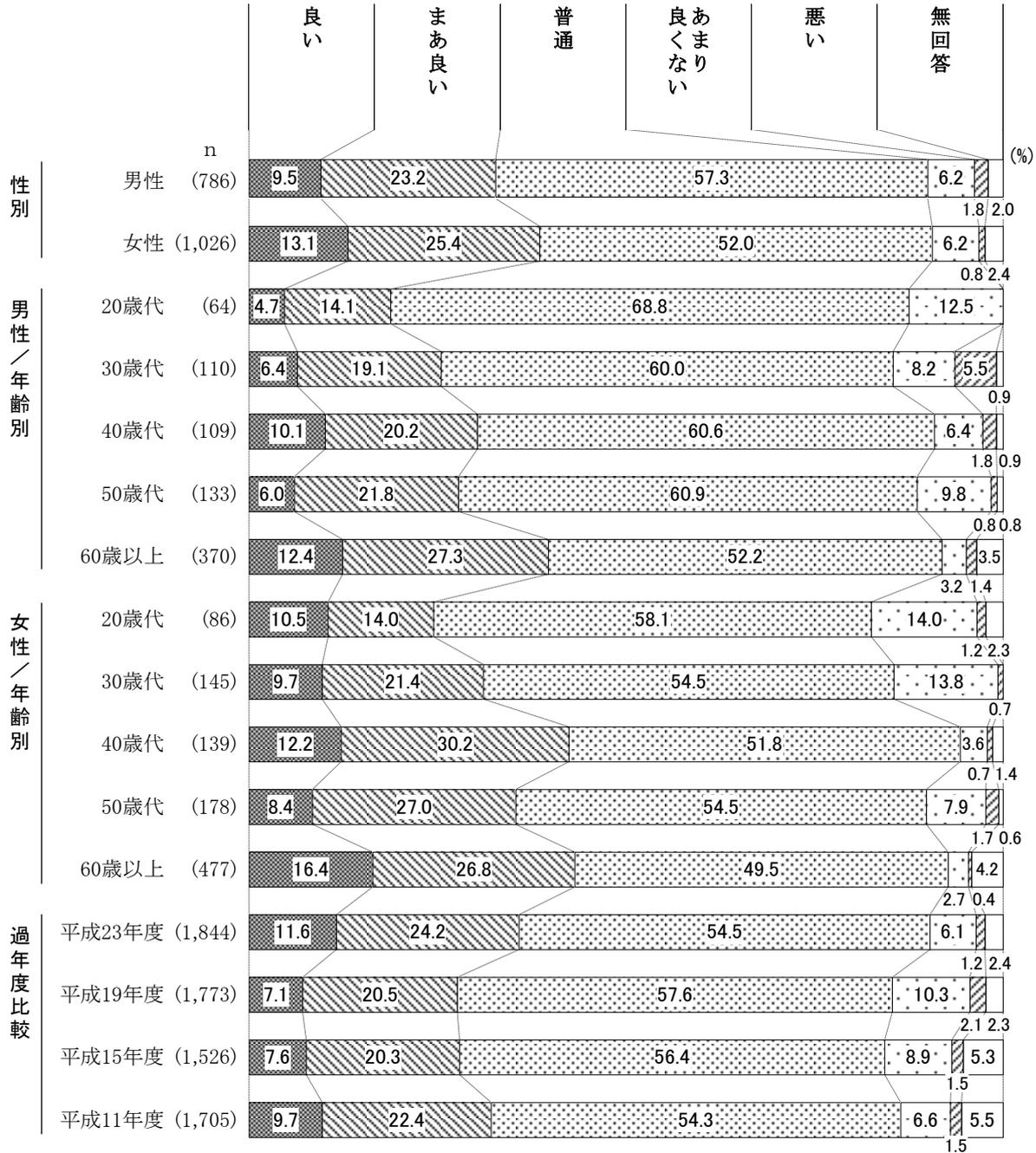
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では30歳代と60歳以上で約5割と高くなっている。女性では30歳代で45.6%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

タ) 検診など保健活動



〈性別〉

『良い (計)』は女性 (38.5%) が男性 (32.7%) を5.8ポイント上回っている。

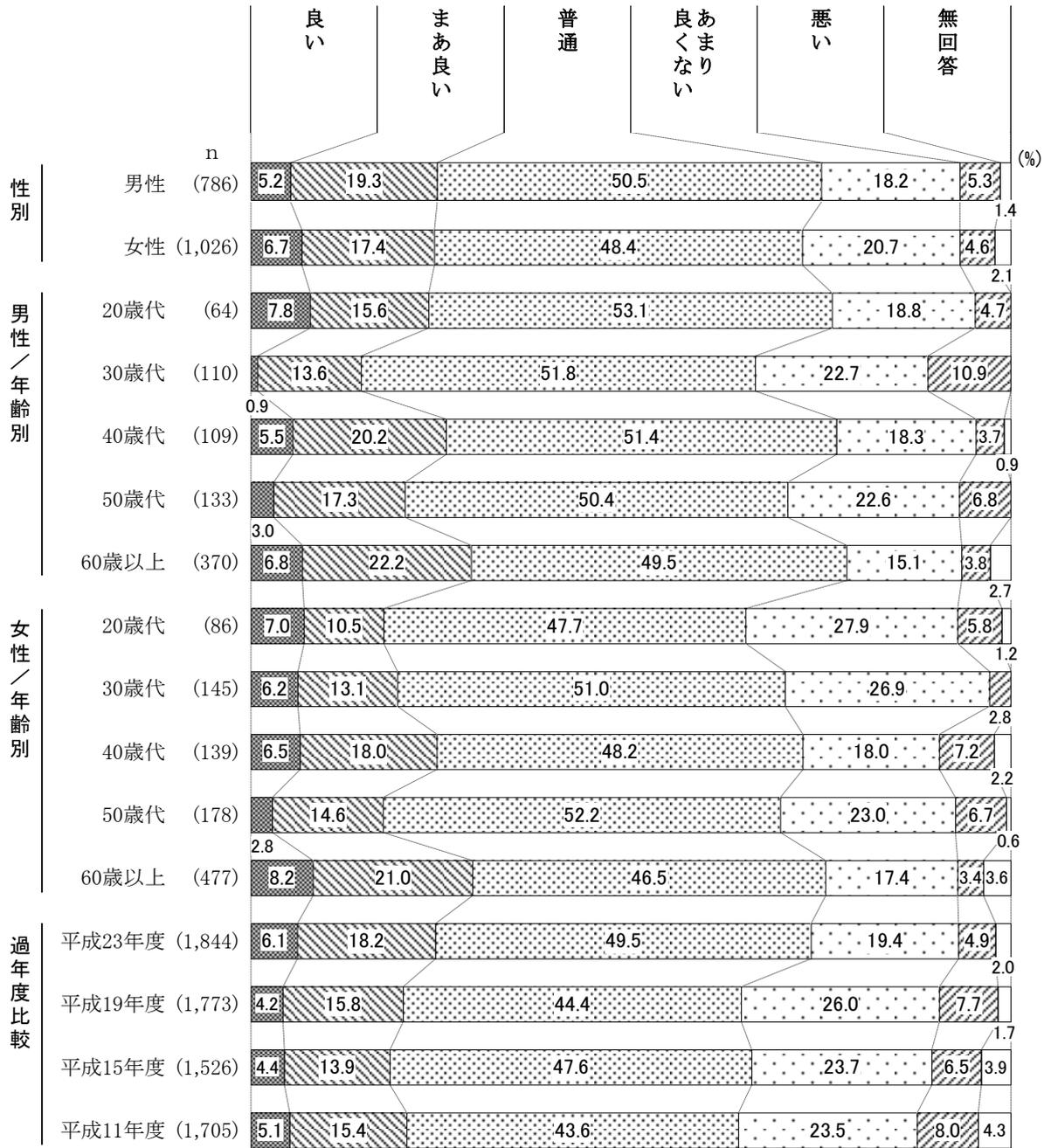
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では60歳以上で39.7%と最も高くなっている。また、女性では40歳代と60歳以上で4割を超えて高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』は8.2ポイント増加している。

チ) 病院など医療施設



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (24.5%) と女性 (24.1%) ではほとんど差はみられない。

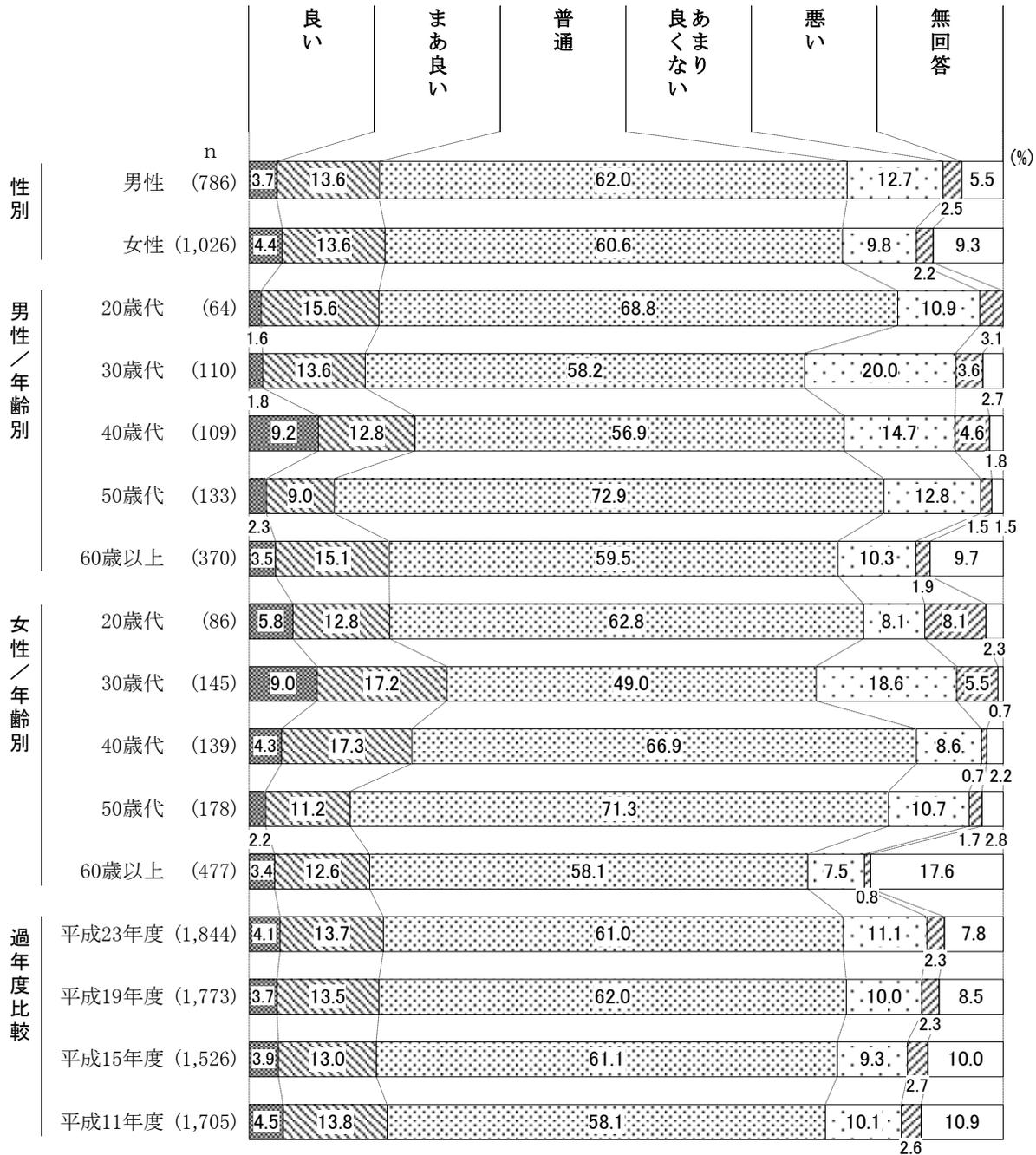
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに60歳以上で最も高くなっており、ともに約3割となっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』は4.3ポイント増加している。

ツ) 保育所や幼稚園



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (17.3%) と女性 (18.0%) では大きな差はみられない。

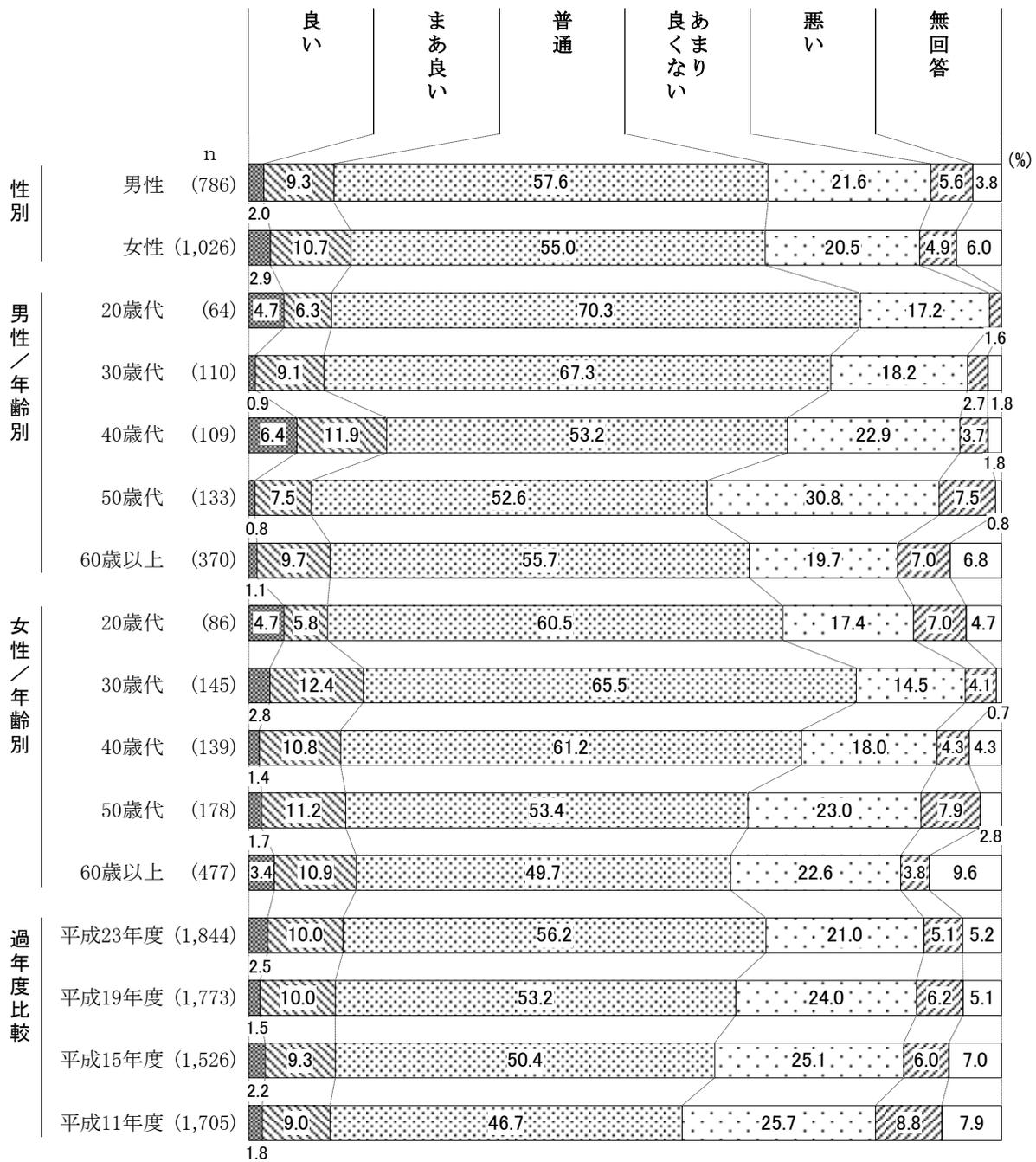
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では40歳代で22.0%と最も高くなっている。また、女性では30歳代で26.2%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

テ) 高齢者・障がい者への福祉施設



〈性別〉

『良い（計）』は男性（11.3%）と女性（13.6%）では大きな差はみられない。

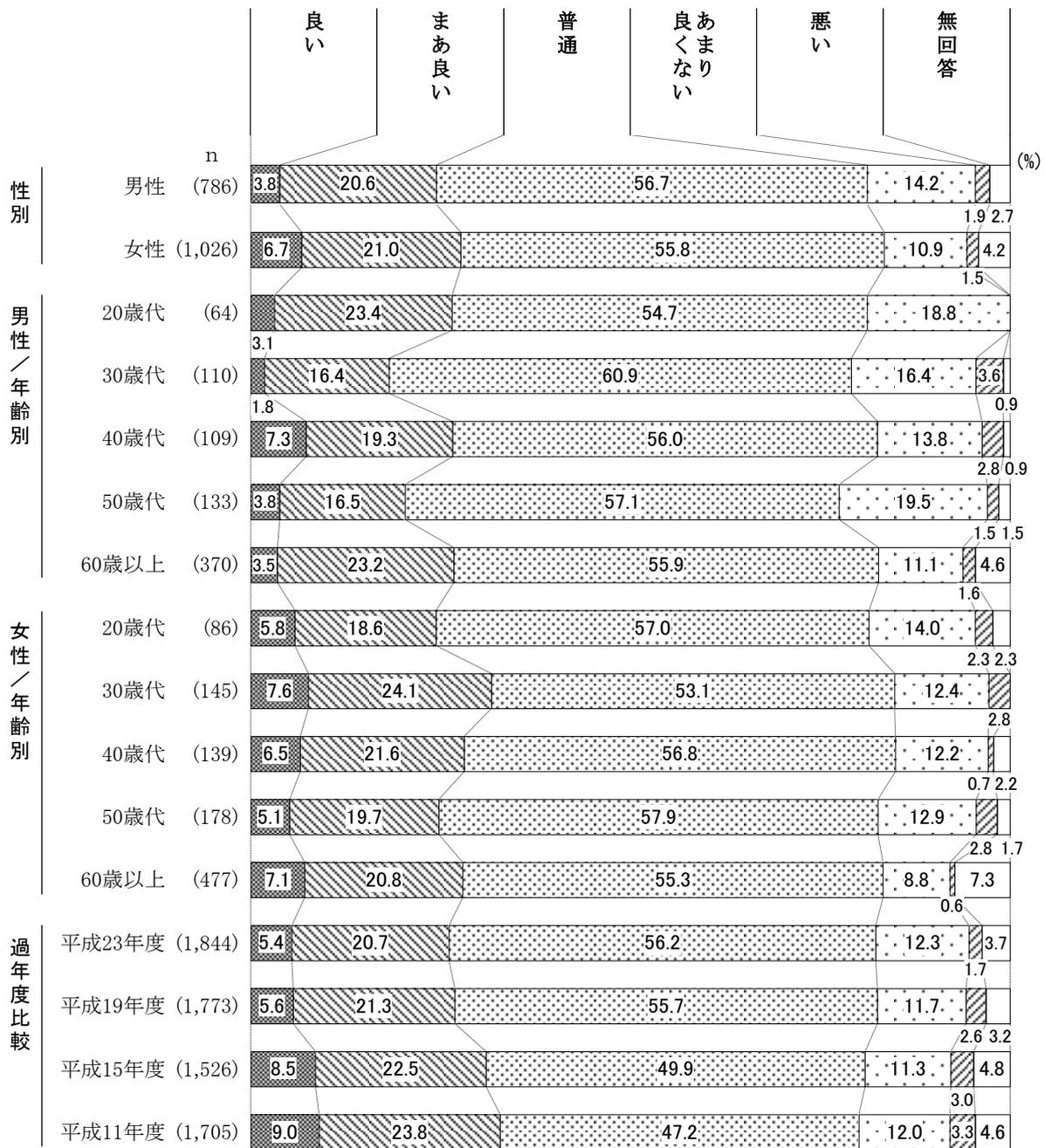
〈年齢別〉

『良い（計）』は男性では40歳代で18.3%と最も高くなっている。また、女性では30歳代で15.2%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、『良い（計）』はほとんど変化はみられない。

ト) 公民館や図書館等の整備



〈性別〉

『良い (計)』は女性 (27.7%) が男性 (24.4%) を3.3ポイント上回っている。

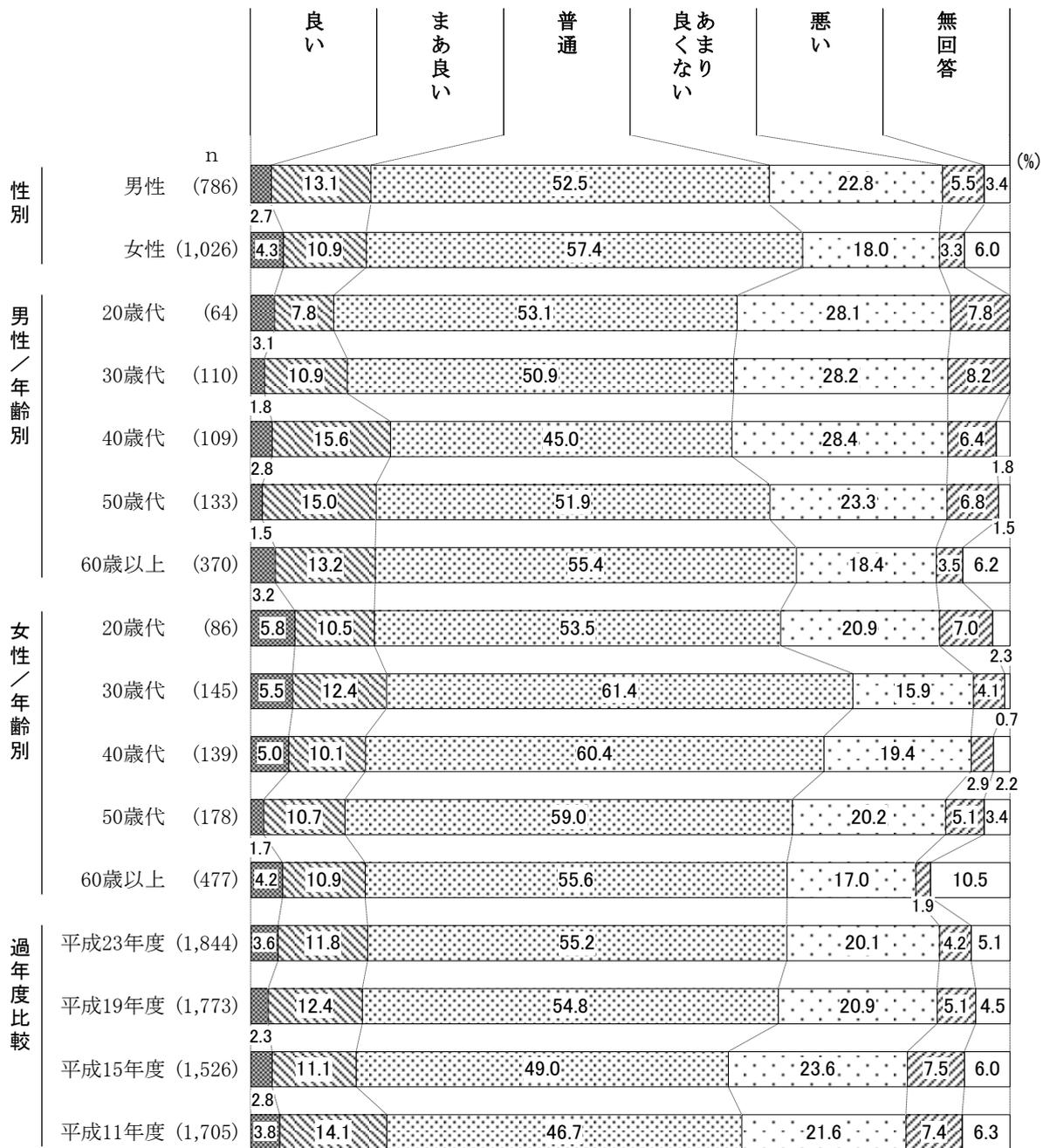
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では30歳代で18.2%と唯一2割を下回っている。また、女性では30歳代で31.7%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

ナ) スポーツ・レクリエーション施設



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (15.8%) と女性 (15.2%) では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では40歳代で18.4%と最も高くなっている。また、女性では30歳代で17.9%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

## (5) 公共施設への要望

- ◇ 「医療施設（病院・診療所）」が7割を超え、「道路（歩道）」が6割を超え、「老人福祉施設」が約6割

【問5】あなたが、次の①「保健・医療・福祉施設」、②「教育・文化・スポーツ施設」、③「生活環境施設」のそれぞれの公共施設の中で、特に充実を望むものをそれぞれ2つ以内で選んでください。

(n=1,844)

### ①「保健・医療・福祉施設」

1. 老人福祉施設	57.8%	4. 医療施設（病院・診療所）	71.6
2. 障がい者施設	9.6	5. 公営住宅	5.6
3. 児童館（子ども館）	11.7	6. 保育所	13.4
		（無回答）	2.5

### ②「教育・文化・スポーツ施設」

1. 幼稚園	10.2%	8. 体育館	11.0
2. 小・中学校	18.8	9. 陸上競技場	1.5
3. 高校・大学	14.4	10. サイクリングコース	15.7
4. 図書館	25.8	11. テニスコート	3.1
5. 博物館	8.2	12. サッカー場	4.4
6. 文化会館	16.5	13. 野球場	2.5
7. 美術館	16.7	（無回答）	10.8

### ③「生活環境施設」

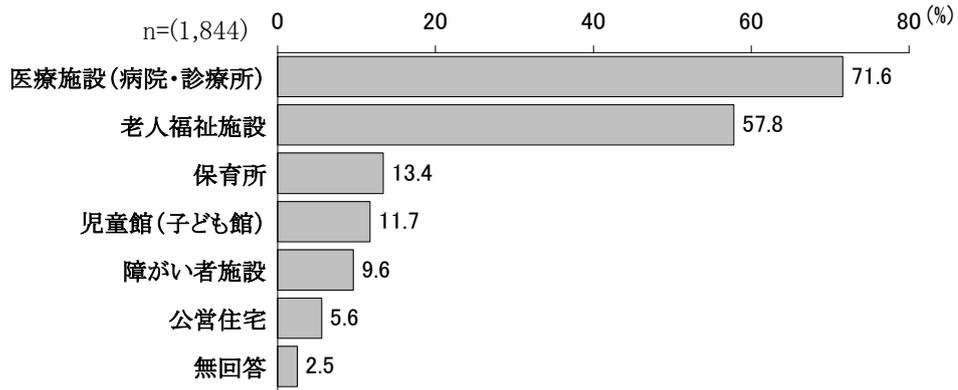
1. 通学路	17.7%	6. 排水溝	15.2
2. 公園	16.1	7. 子どもの遊び場	16.7
3. 駐車場	8.0	8. コミュニティセンター	10.2
4. 道路（歩道）	61.9	9. 墓地公園	3.7
5. 公共下水道	16.2	（無回答）	3.5

公共施設を3部門に分けて、それぞれ特に充実を望むものを聞いたところ、保健・医療・福祉施設では、「医療施設（病院・診療所）」が71.6%で最も高くなっている。次いで「老人福祉施設」（57.8%）、「保育所」（13.4%）、「児童館（子ども館）」（11.7%）などの順となっている。

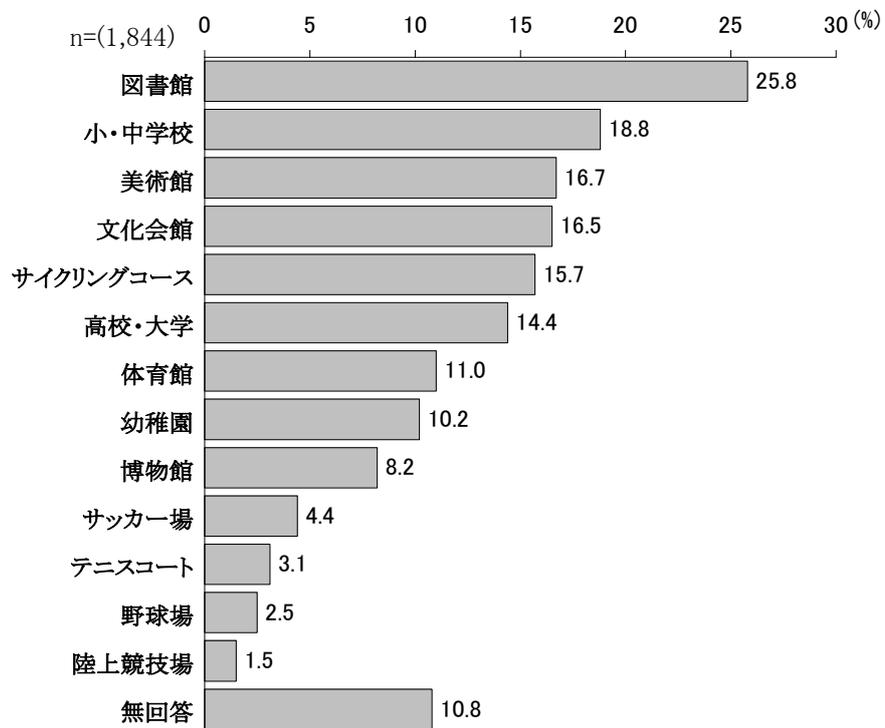
教育・文化・スポーツ施設では、「図書館」が25.8%で最も高くなっている。次いで「小・中学校」（18.8%）、「美術館」（16.7%）、「文化会館」（16.5%）、「サイクリングコース」（15.7%）などの順となっている。

生活環境施設では、「道路（歩道）」が61.9%で最も高くなっている。次いで「通学路」（17.7%）、「子どもの遊び場」（16.7%）、「公共下水道」（16.2%）、「公園」（16.1%）、「排水溝」（15.2%）などの順となっている。

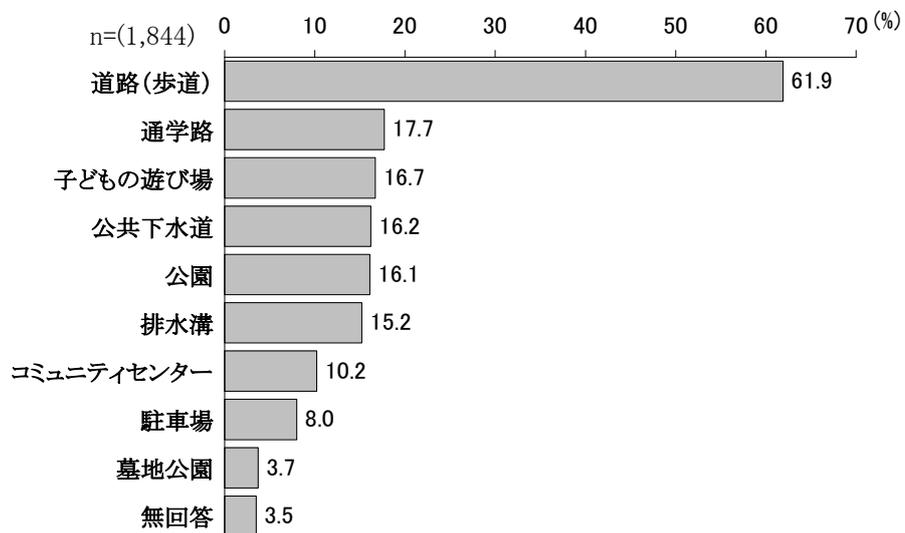
①保健・医療・福祉施設



②教育・文化・スポーツ施設

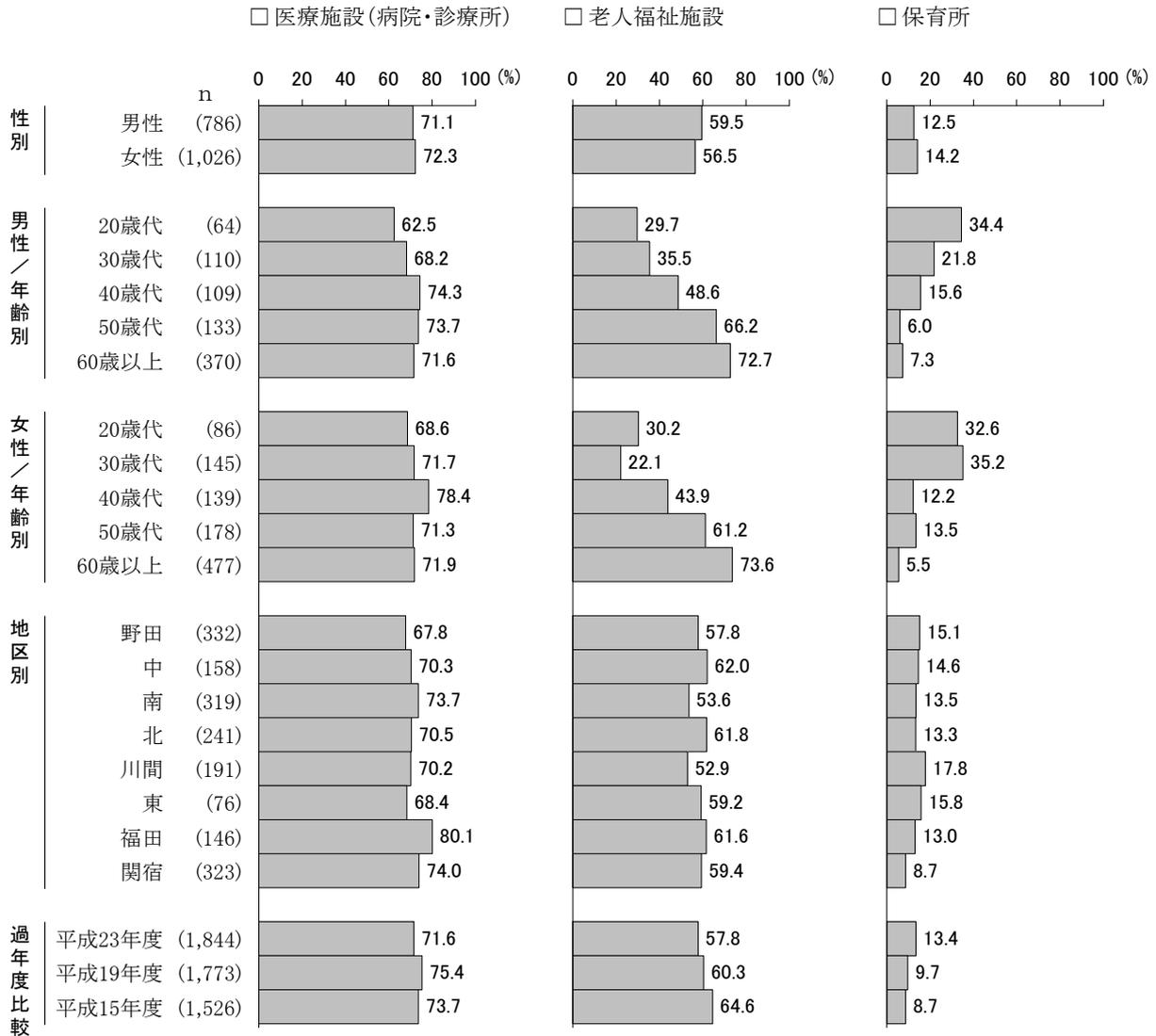


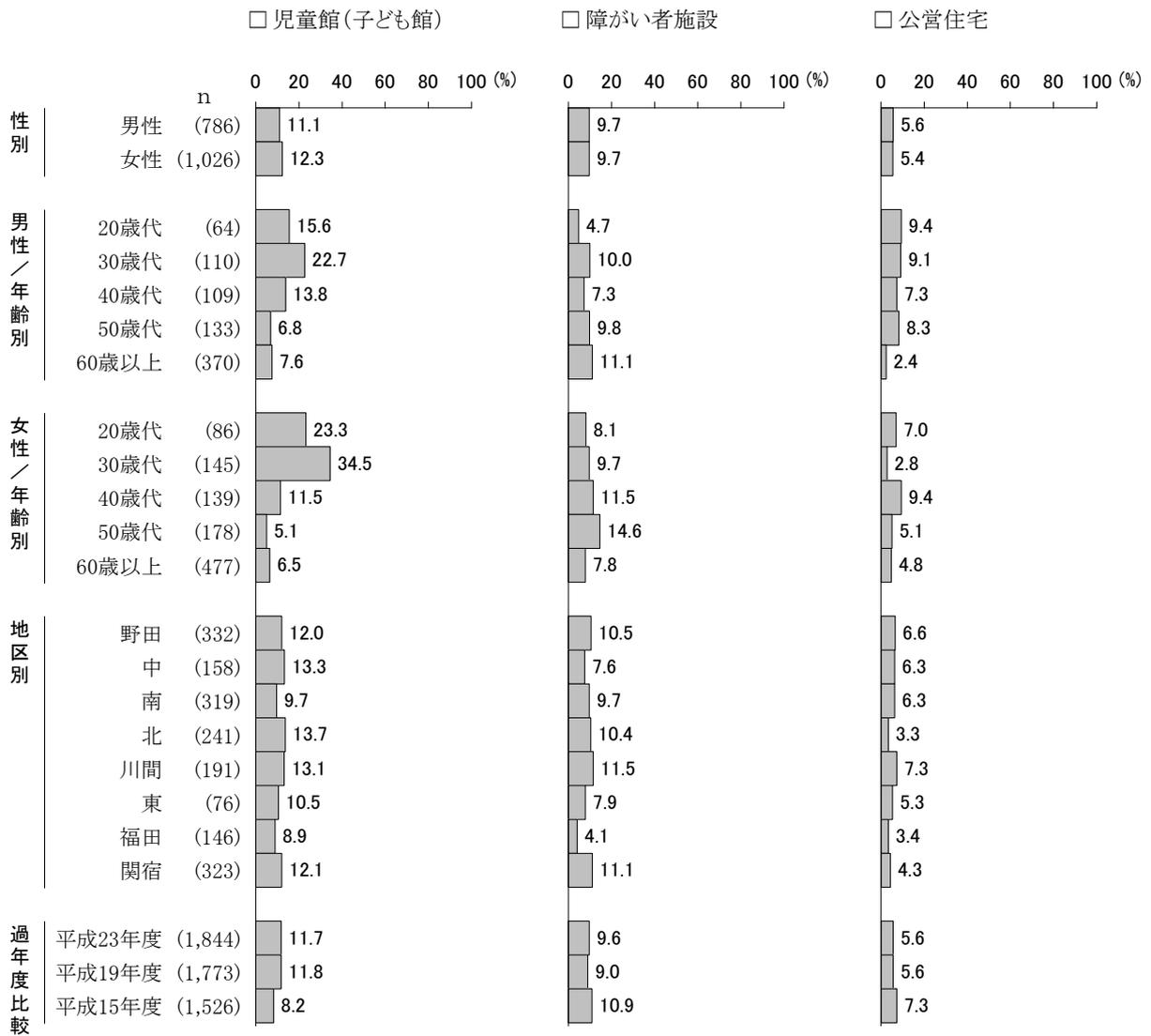
③生活環境施設



## 上位6項目の属性別

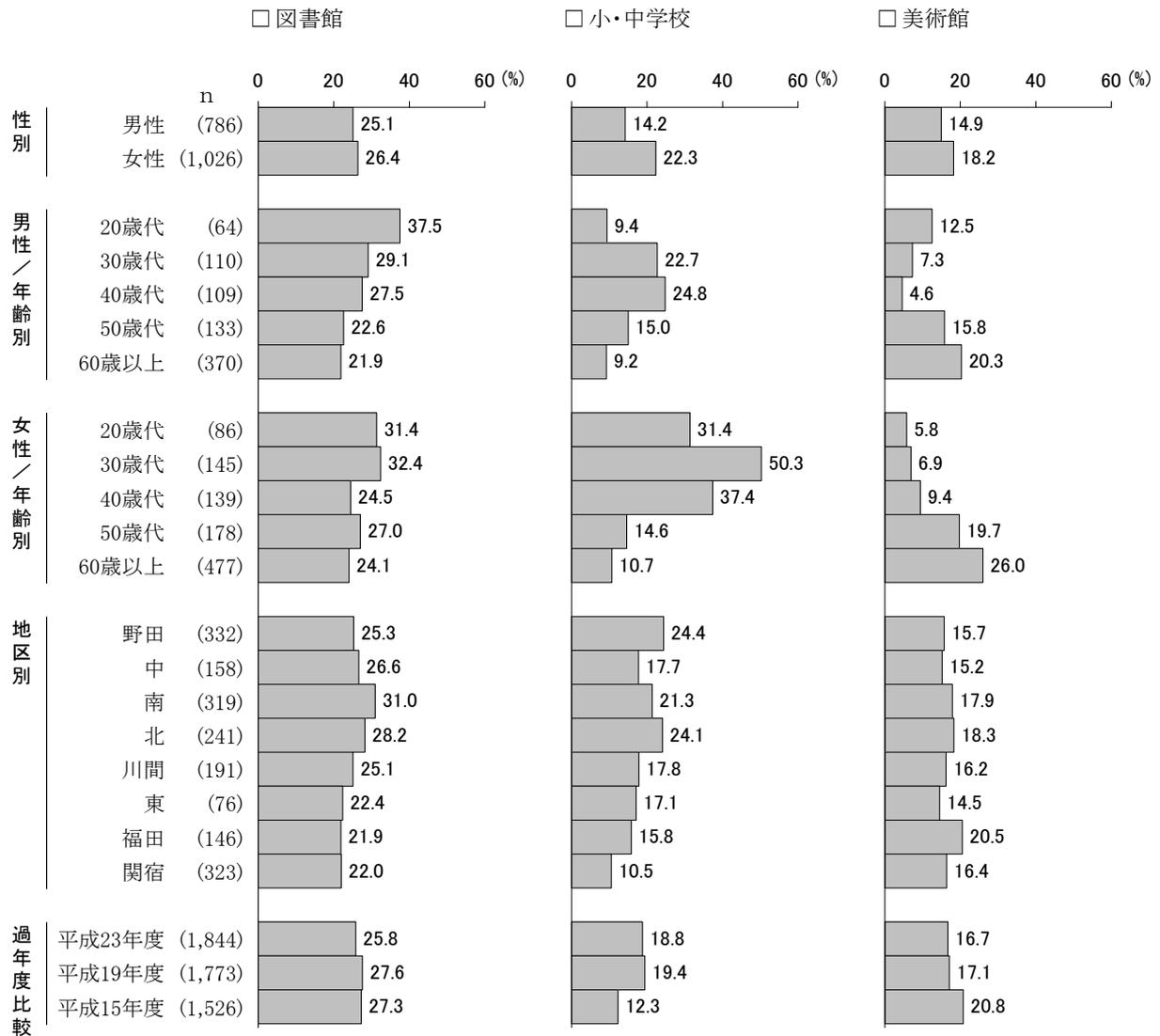
### ①保健・医療・福祉施設

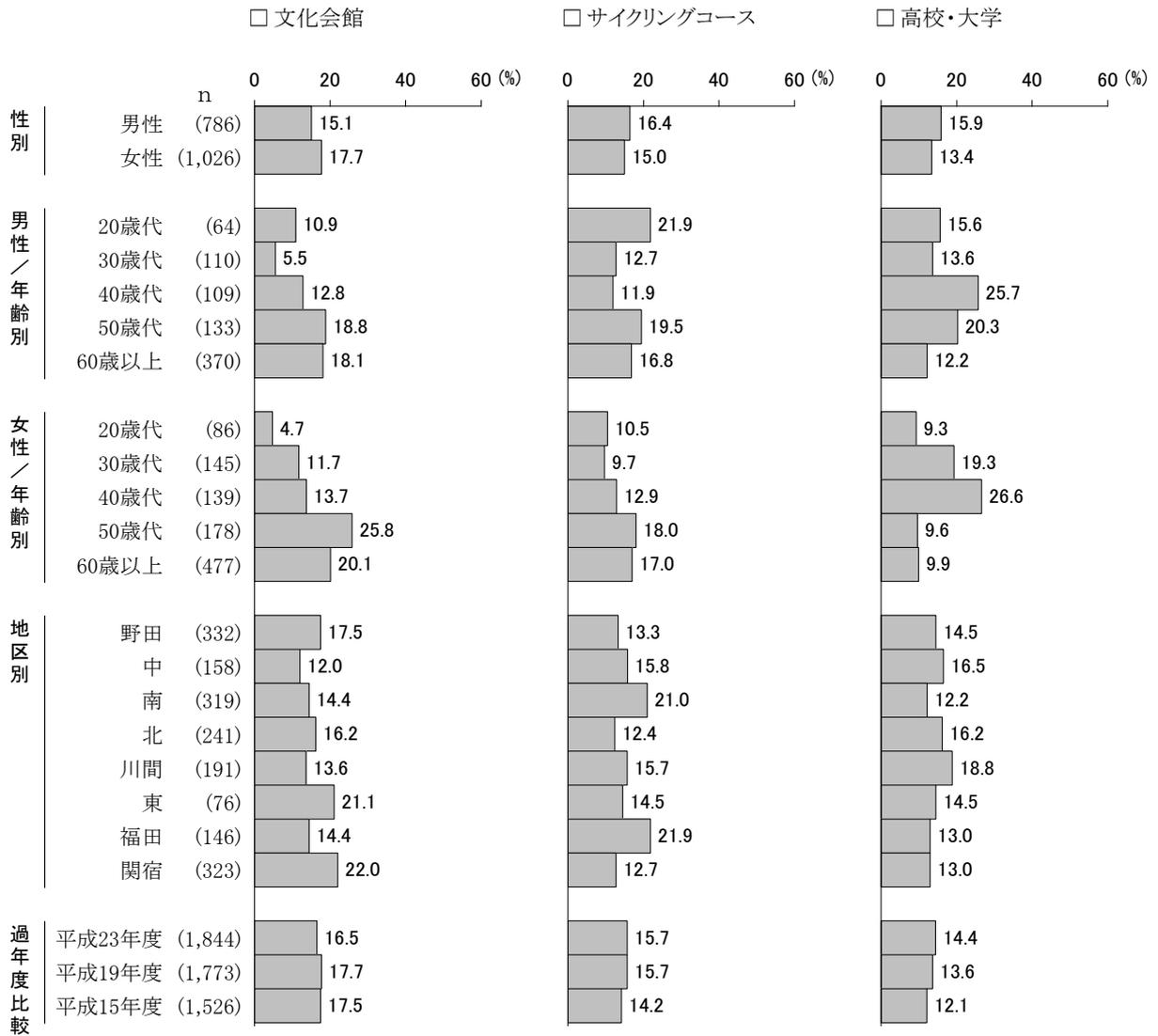




## 上位6項目の属性別

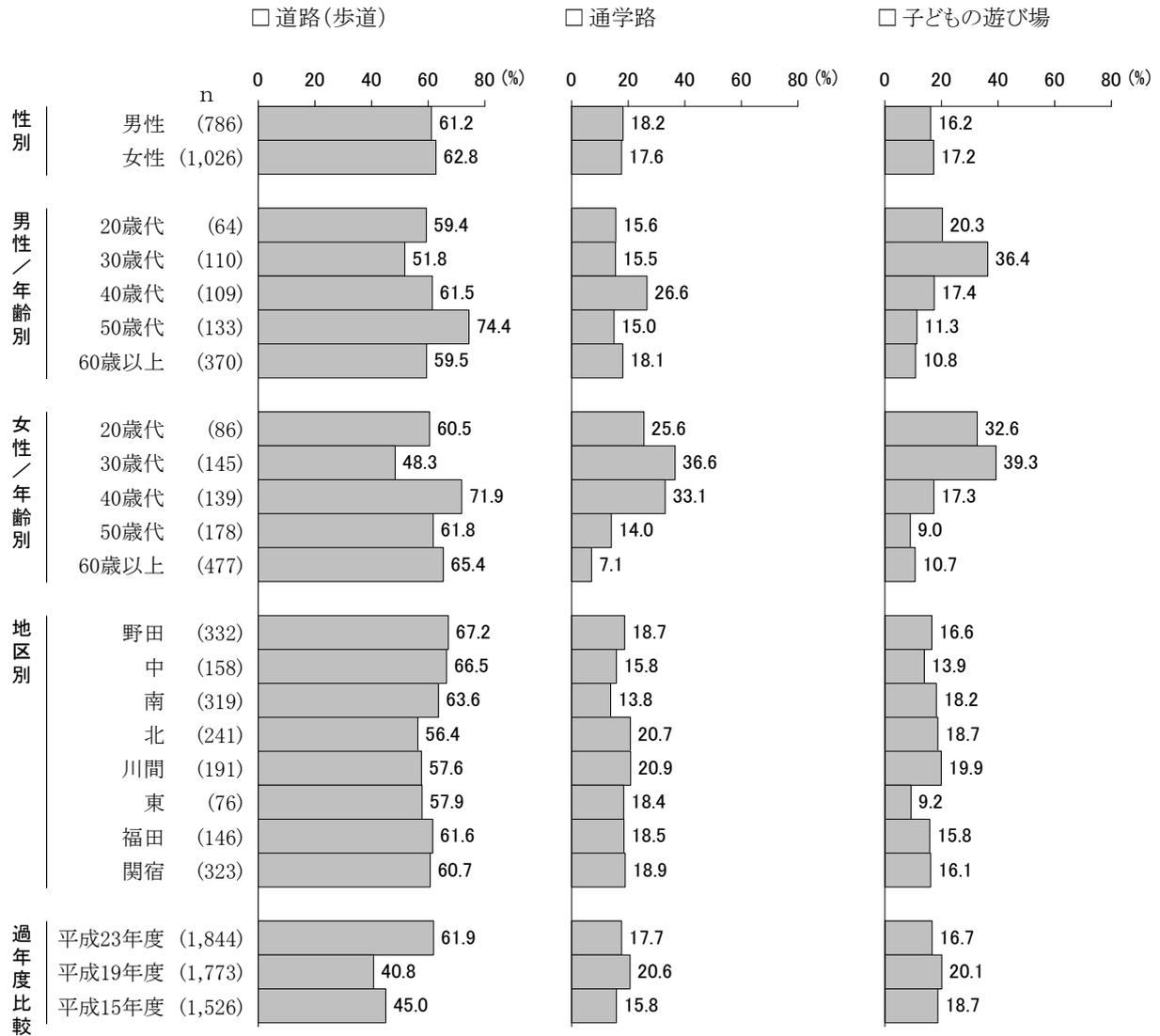
### ②教育・文化・スポーツ施設

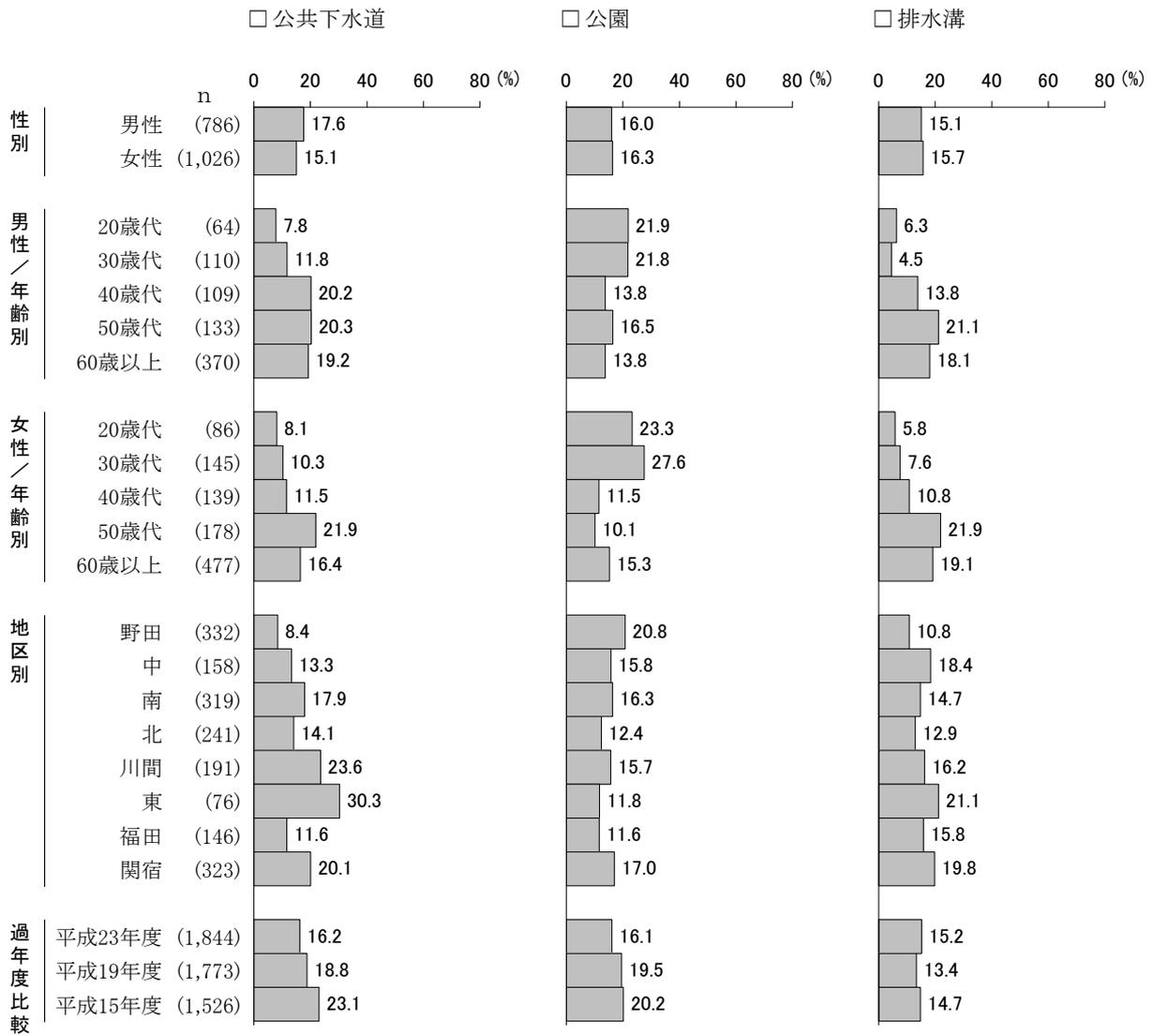




## 上位6項目の属性別

### ③生活環境施設





## ①保健・医療・福祉施設

### 〈性別〉

どの項目でも大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

「老人福祉施設」は男性では年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられ、60歳以上では72.7%と最も高くなっている。また、女性でも30歳以上では年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられ、60歳以上で73.6%と最も高くなっている。

### 〈地区別〉

「医療施設（病院・診療所）」は福田地区で80.1%と最も高くなっている。「保育所」は関宿地区で1割未満と極端に低くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「医療施設（病院・診療所）」は3.8ポイント減少し、「保育所」は3.7ポイント増加している。

## ②教育・文化・スポーツ施設

### 〈性別〉

「小・中学校」は女性（22.3%）が男性（14.2%）を8.1ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「図書館」は男性では年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。「小・中学校」は男性では40歳以上で、女性では30歳以上で年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。「美術館」は女性では年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

### 〈地区別〉

「図書館」は南地区で31.0%と最も高くなっている。「小・中学校」は野田地区と北地区で2割台半ばと高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

## ③生活環境施設

### 〈性別〉

どの項目でも大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

「道路（歩道）」は男性では50歳代で、女性では40歳代で7割台と高くなっている。「通学路」は女性では30歳以上では年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。「子どもの遊び場」は男性では30歳代で、女性では20歳代と30歳代で3割台と極端に高くなっている。「公園」は男女ともに20歳代と30歳代でほかの年齢層よりも高くなっている。

### 〈地区別〉

「道路（歩道）」は野田地区で67.2%、中地区で66.5%と高く、南地区、福田地区、関宿地区で6割台となっている。

## 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「道路（歩道）」は21.1ポイント増加している。

※今回、選択肢の一部変更あり（「道路」→「道路（歩道）」）

この設問では、選択肢にないものについては自由記入としたが、要望としてあげられたものは以下のようになっている。

（回答数が2以上あったもの。数字は件数）

### ①保健・医療・福祉施設

病院・診療所	8
保健センター	4
デイサービス	2

### ②教育・文化・スポーツ施設

（温水）プール	24	カルチャーセンター	4
スポーツジム（スポーツセンター）	14	パソコンルーム	4
公民館・自治会館	10	高齢者用のスポーツ・レクリエーション施設	3
グランドゴルフ場	8		
コンサートホール・音楽施設	4	劇場	2

### ③生活環境施設

駅の整備	34	レストラン・飲食店	5
鉄道の整備（複線化等）	26	駐輪場	4
バスの整備	24	ペットの遊び場	4
自転車専用道路	22	公衆トイレ	4
ショッピングセンター（スーパーマーケット）	21	道の駅	4
		信号	4
街灯	13	銀行	3
派出所・交番	10	ベンチ	3
ごみ処理施設	8	集会所	3
遊歩道	7	映画館	2
交流施設・憩いの場	7	商店街の整備	2
商業施設	7	公共下水道	2
避難場所	6	防災無線	2

## 2. 野田市の景観

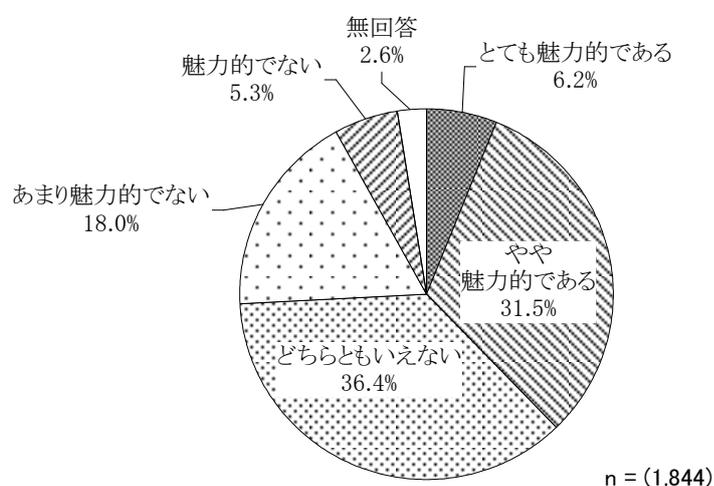
### (1) 野田市の景観の魅力

◇ 『魅力的である (計)』 が約 4 割

【問6】あなたは、野田市の景観（自然や歴史、文化、街並みなどを見たり、感じたりすること）を魅力的だと感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

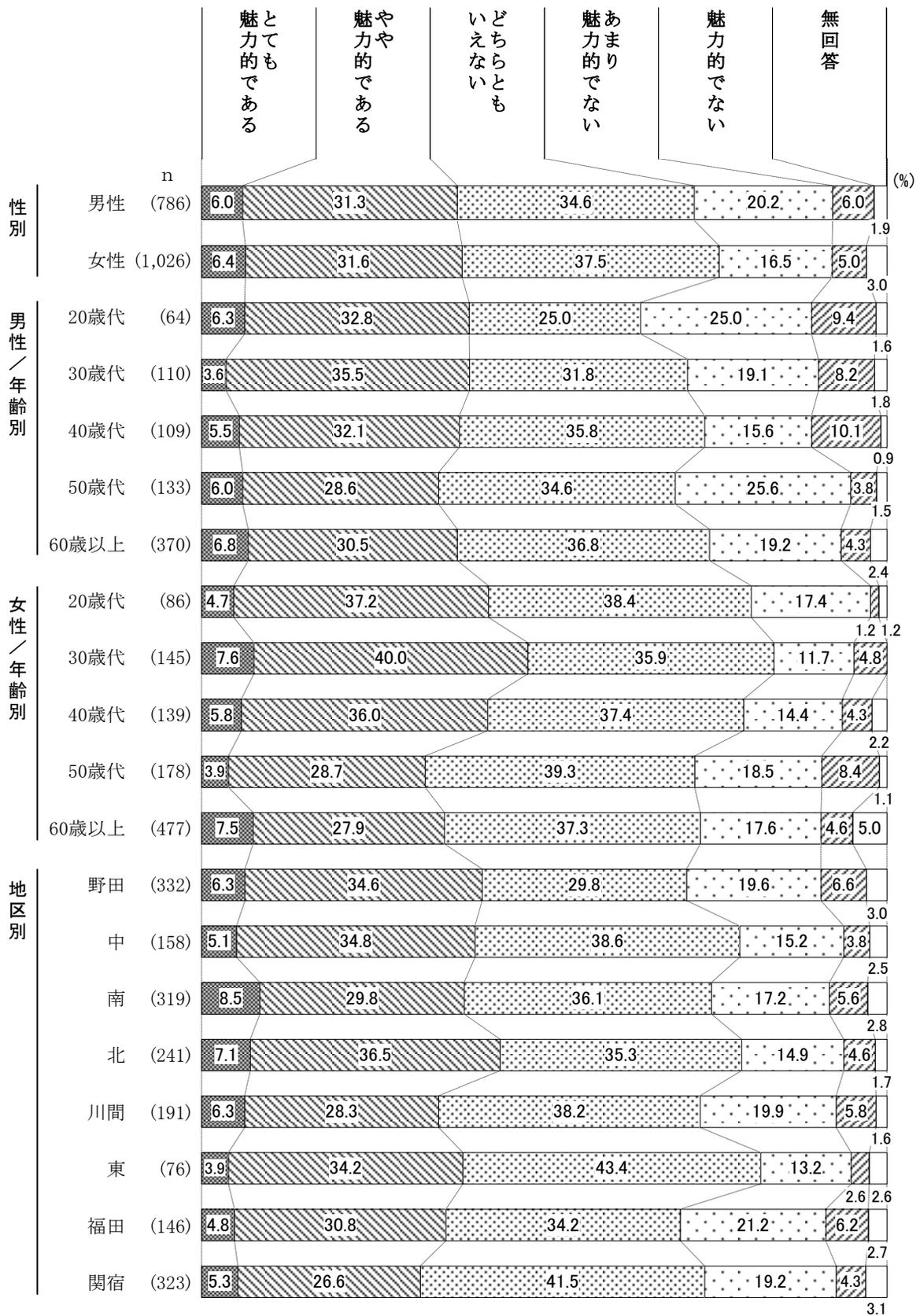
(n = 1,844)

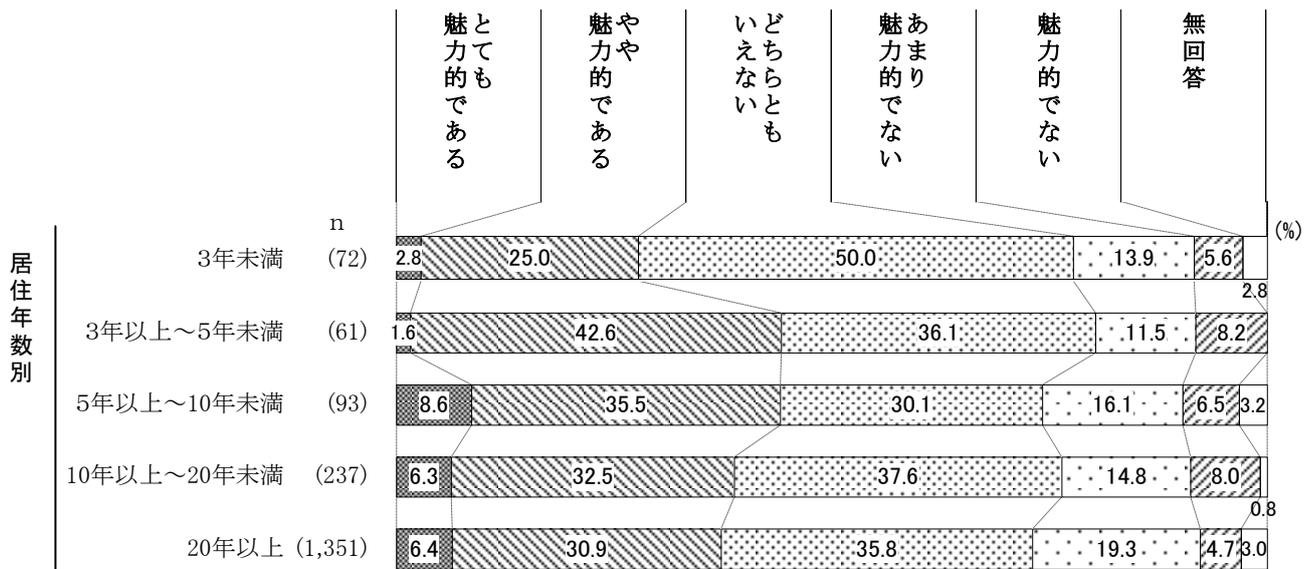
1. とても魅力的である	6.2%	4. あまり魅力的でない	18.0
2. やや魅力的である	31.5	5. 魅力的でない	5.3
3. どちらともいえない	36.4	(無回答)	2.6



野田市の景観については、「とても魅力的である」(6.2%)と「やや魅力的である」(31.5%)を合わせた『魅力的である (計)』(37.7%)は約4割となっている。

一方、「あまり魅力的でない」(18.0%)と「魅力的でない」(5.3%)を合わせた『魅力的でない (計)』(23.3%)は2割台半ばとなっている。





#### 〈性別〉

『魅力的である（計）』は男性（37.3%）と女性（38.0%）では大きな差はみられない。

#### 〈年齢別〉

『魅力的である（計）』は20歳代から40歳代までは女性が男性を上回っている。女性では30歳代で47.6%と最も高くなっている。

#### 〈地区別〉

『魅力的である（計）』は北地区と野田地区で4割を超えて高くなっている。

#### 〈居住年数別〉

『魅力的である（計）』は3年以上～5年未満と5年以上～10年未満で4割台半ばと高くなっている。一方、3年未満では27.8%と低くなっている。

## (2) 野田市の景観に対する満足度

◇ 『満足（計）』は「自然の景観や眺望（里山や桜など）」で6割台半ば

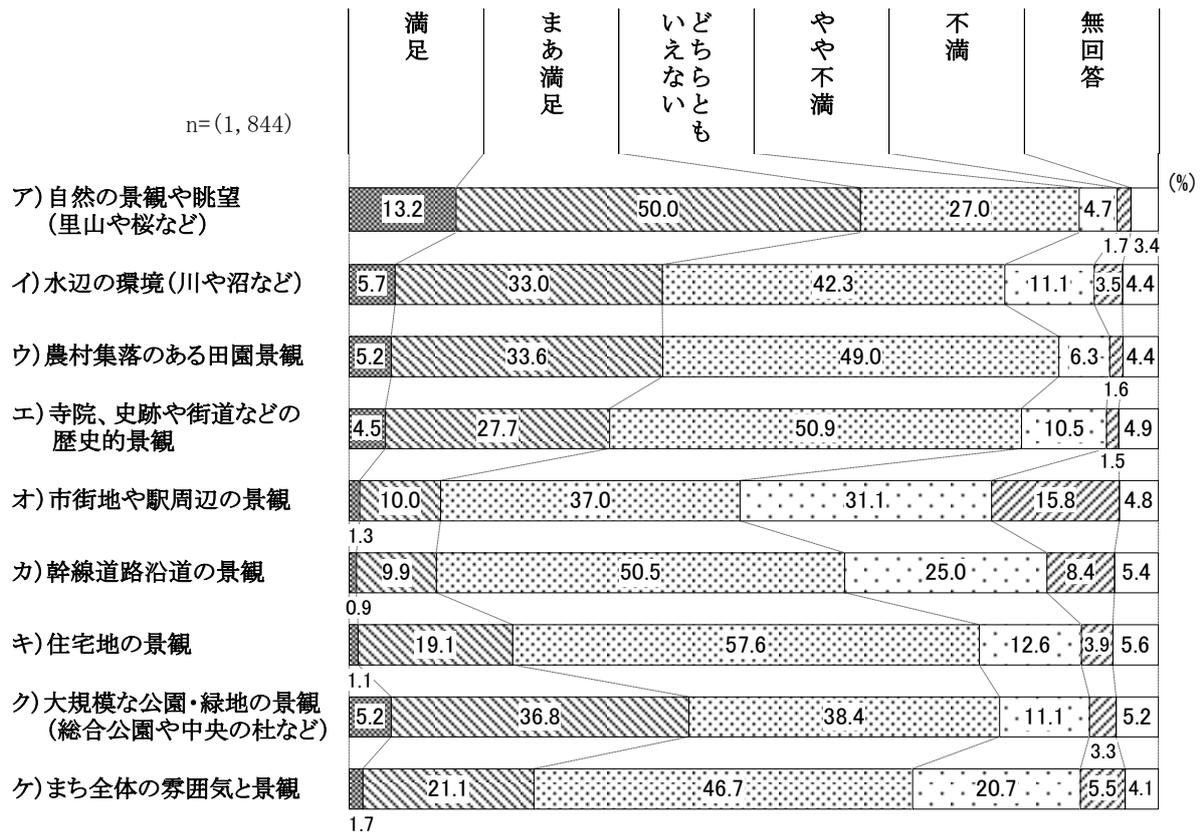
【問7】あなたは、野田市の景観にどのくらい満足していますか。下記の項目（ア～ケ）について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。

(n=1,844) (%)

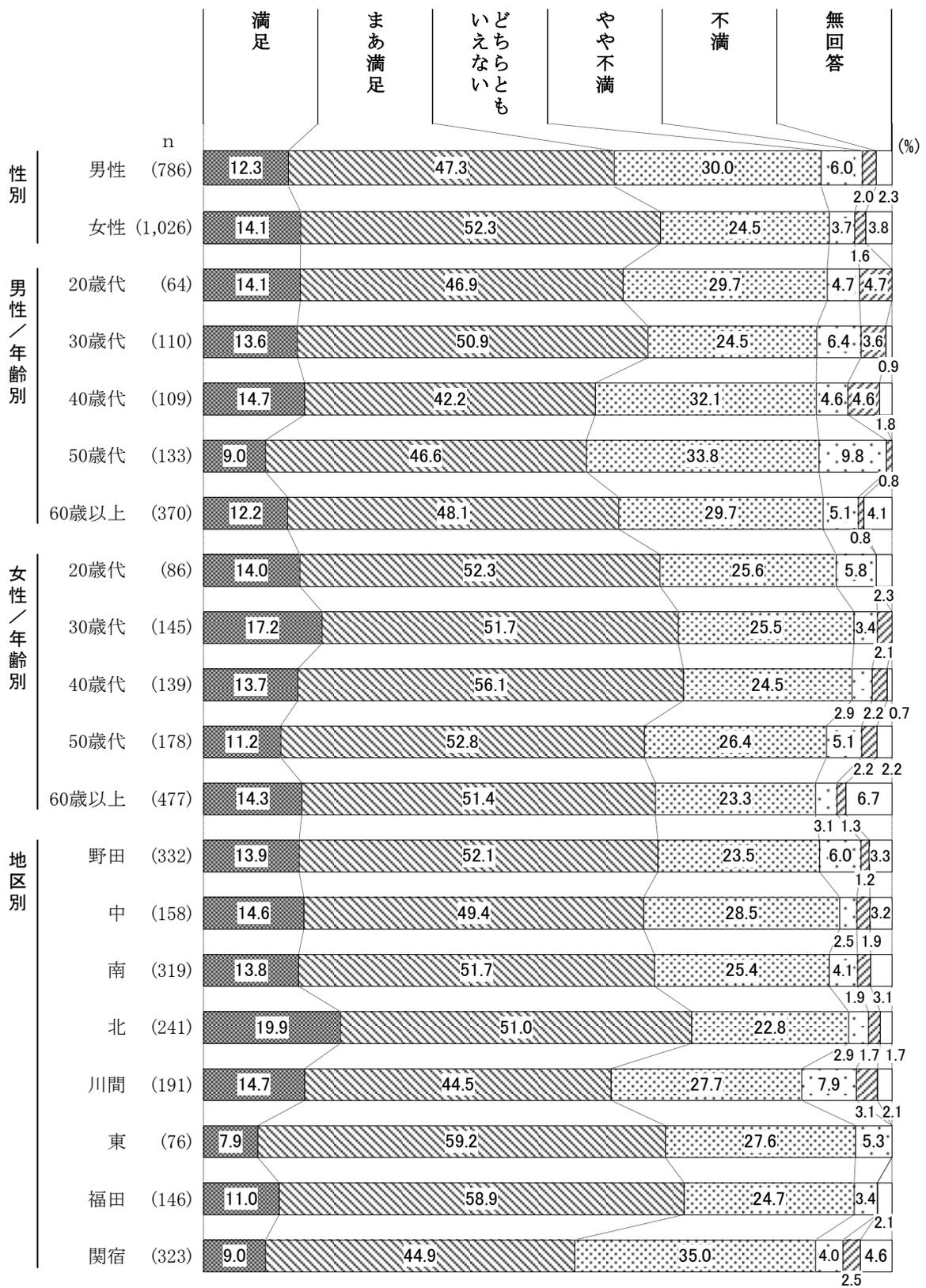
	満足	まあ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答
ア) 自然の景観や眺望（里山や桜など）	13.2	50.0	27.0	4.7	1.7	3.4
イ) 水辺の環境（川や沼など）	5.7	33.0	42.3	11.1	3.5	4.4
ウ) 農村集落のある田園景観	5.2	33.6	49.0	6.3	1.6	4.4
エ) 寺院、史跡や街道などの歴史的景観	4.5	27.7	50.9	10.5	1.5	4.9
オ) 市街地や駅周辺の景観	1.3	10.0	37.0	31.1	15.8	4.8
カ) 幹線道路沿道の景観	0.9	9.9	50.5	25.0	8.4	5.4
キ) 住宅地の景観	1.1	19.1	57.6	12.6	3.9	5.6
ク) 大規模な公園・緑地の景観 （総合公園や中央の杜など）	5.2	36.8	38.4	11.1	3.3	5.2
ケ) まち全体の雰囲気と景観	1.7	21.1	46.7	20.7	5.5	4.1

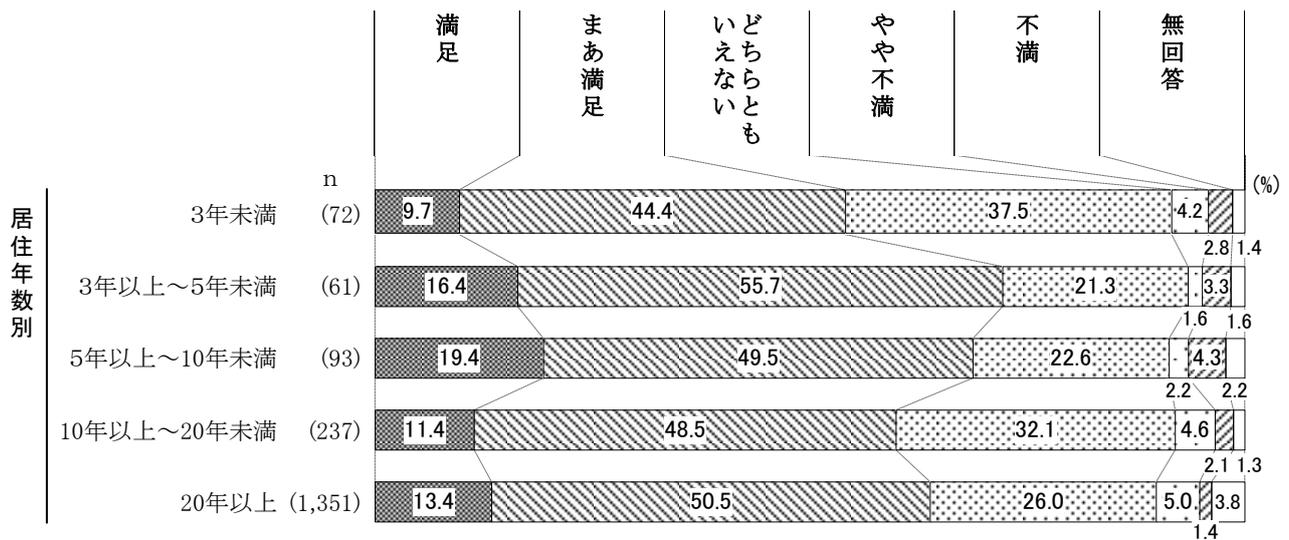
野田市の景観9項目について、5段階での評価をみると、「満足」の割合が最も高かったのは、「自然の景観や眺望（里山や桜など）」で13.2%となっている。次いで「水辺の環境（川や沼など）」（5.7%）、「農村集落のある田園景観」（5.2%）、「大規模な公園・緑地の景観（総合公園や中央の杜など）」（5.2%）などの順となっている。

また、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足（計）』は、「自然の景観や眺望（里山や桜など）」で63.2%と最も高くなっている。次いで「大規模な公園・緑地の景観（総合公園や中央の杜など）」（42.0%）、「農村集落のある田園景観」（38.8%）、「水辺の環境（川や沼など）」（38.7%）などの順となっている。一方、「不満」の割合が最も高かったのは、「市街地や駅周辺の景観」で15.8%となっている。次いで「幹線道路沿道の景観」（8.4%）、「まち全体の雰囲気と景観」（5.5%）などの順となっている。



ア) 自然の景観や眺望（里山や桜など）





### 〈性別〉

『満足（計）』は女性（66.4%）が男性（59.6%）を6.8ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』はどの年齢層でも女性が男性を上回っており、特に女性の30歳代と40歳代では約7割と高くなっている。

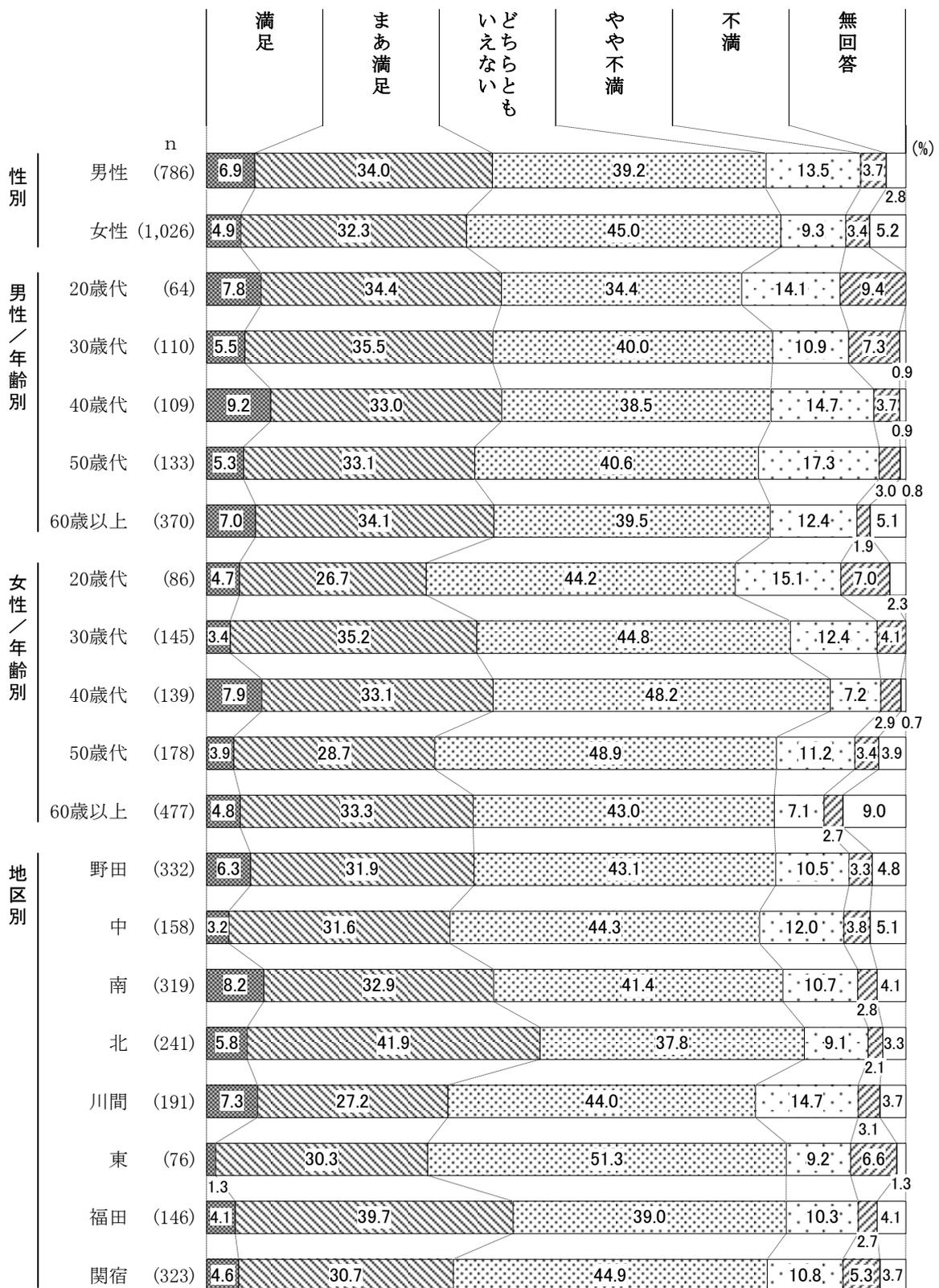
### 〈地区別〉

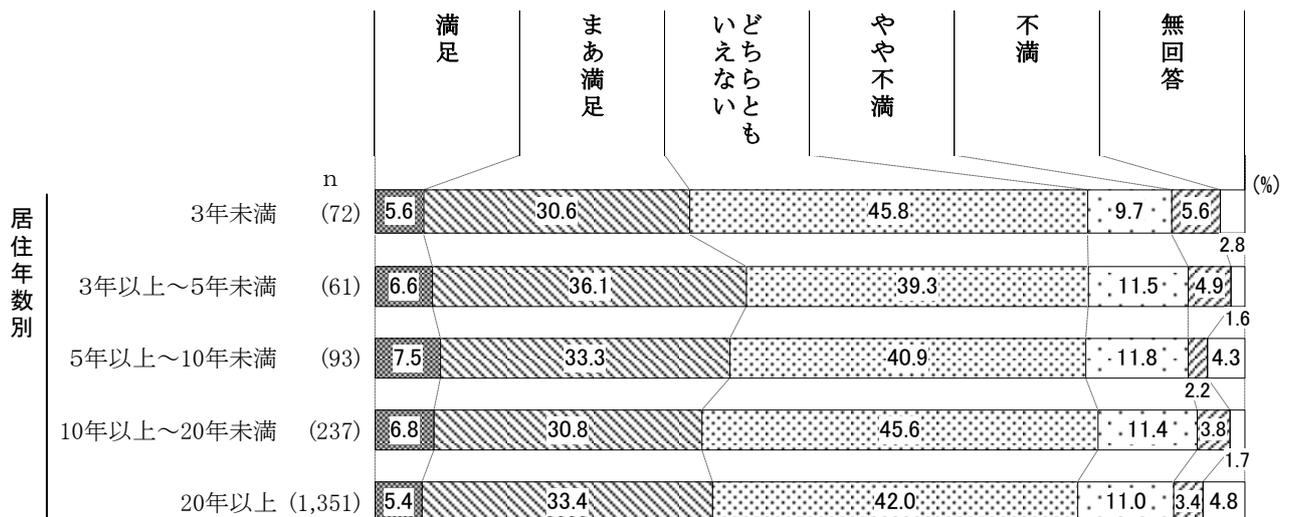
『満足（計）』は北地区、福田地区、東地区で約7割と高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は3年以上～5年未満で72.1%と最も高くなっている。

イ) 水辺の環境（川や沼など）





### 〈性別〉

『満足（計）』は男性（40.9%）が女性（37.2%）を3.7ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』は男性では50歳代で38.4%と唯一4割未満で低くなっている。また、女性では20歳代と50歳代で3割台前半と低くなっている。

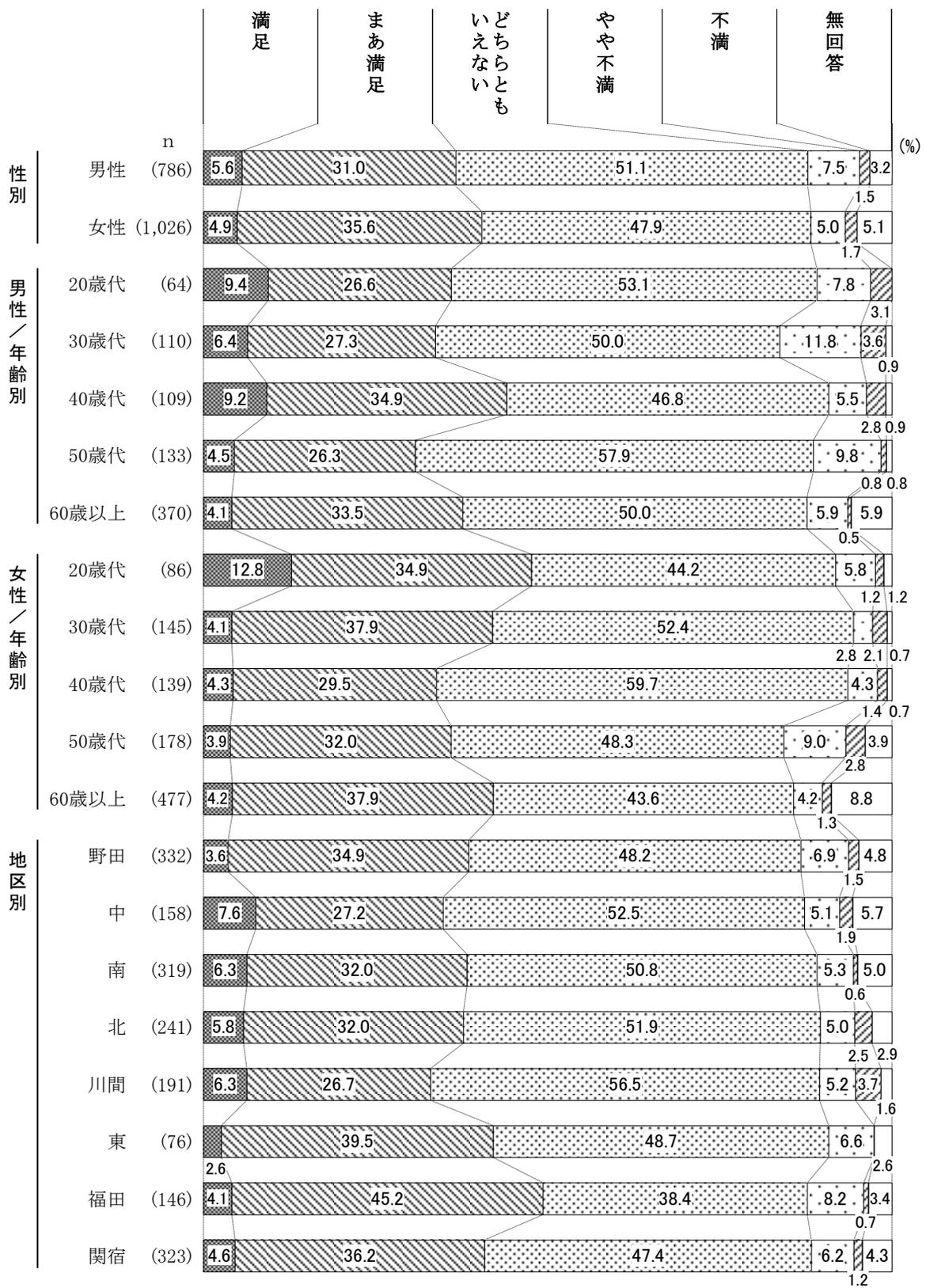
### 〈地区別〉

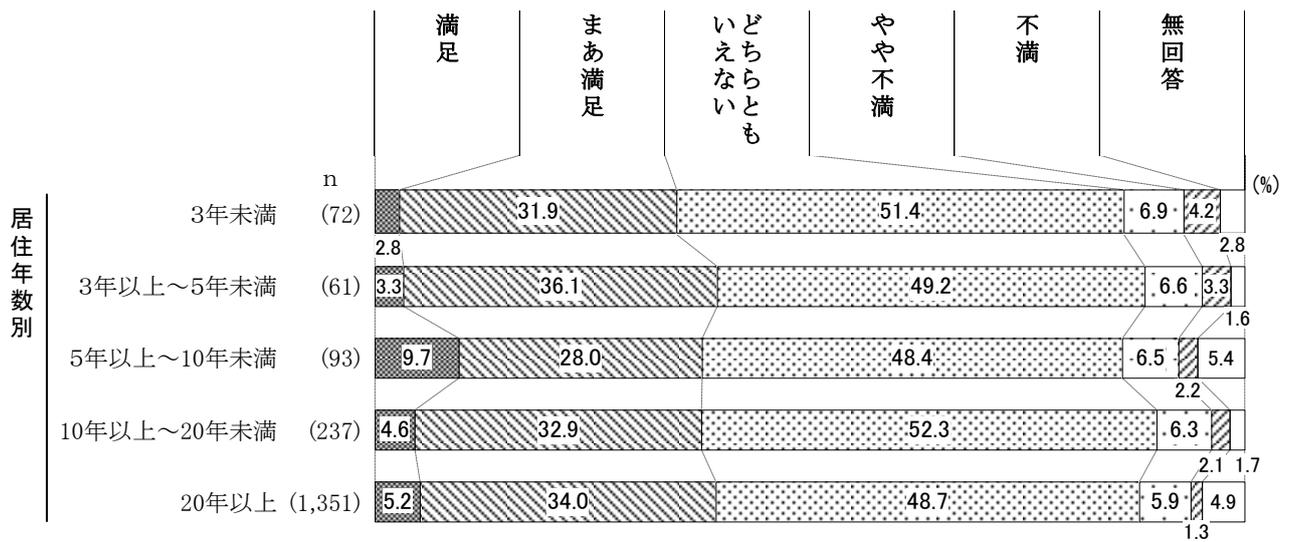
『満足（計）』は北地区で47.7%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は3年以上～5年未満と5年以上～10年未満で4割を超えて高くなっている。

ウ) 農村集落のある田園景観





### 〈性別〉

『満足（計）』は女性（40.5%）が男性（36.6%）を3.9ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』は男性では40歳代で44.1%と最も高くなっている。また、女性では20歳代で47.7%と最も高くなっている。

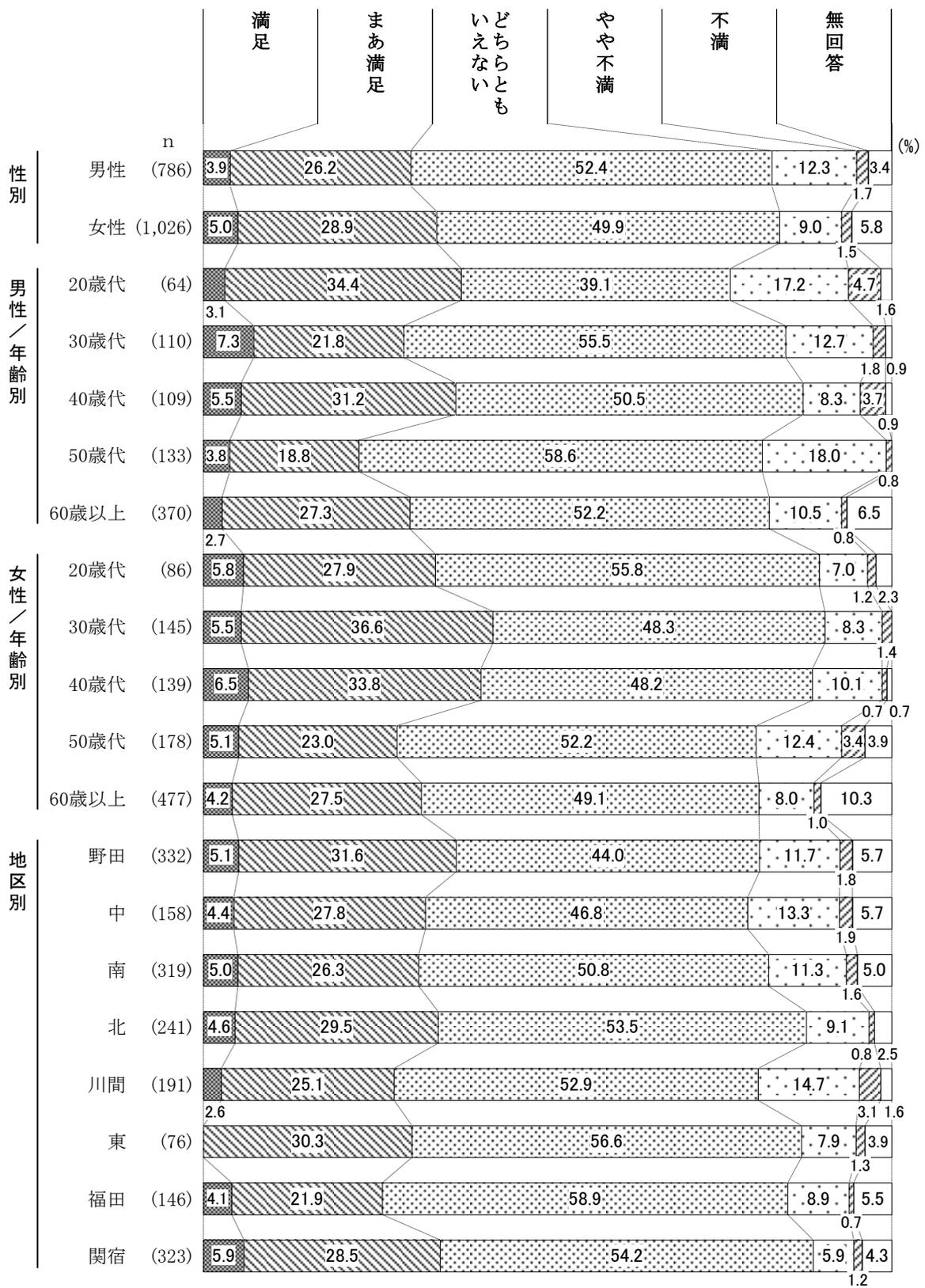
### 〈地区別〉

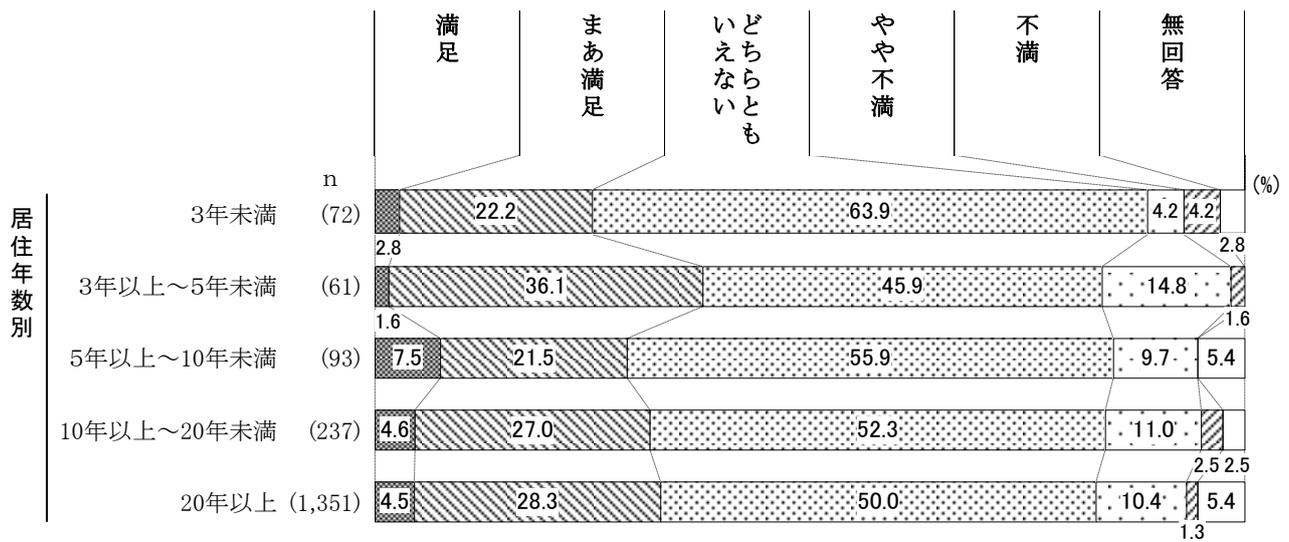
『満足（計）』は福田地区で49.3%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は大きな差はみられない。

工) 寺院、史跡や街道などの歴史的景観





### 〈性別〉

『満足（計）』は女性（33.9%）が男性（30.1%）を3.8ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』は20歳代を除く層で女性が男性を上回っており、特に女性の30歳代と40歳代では4割を超えて高くなっている。

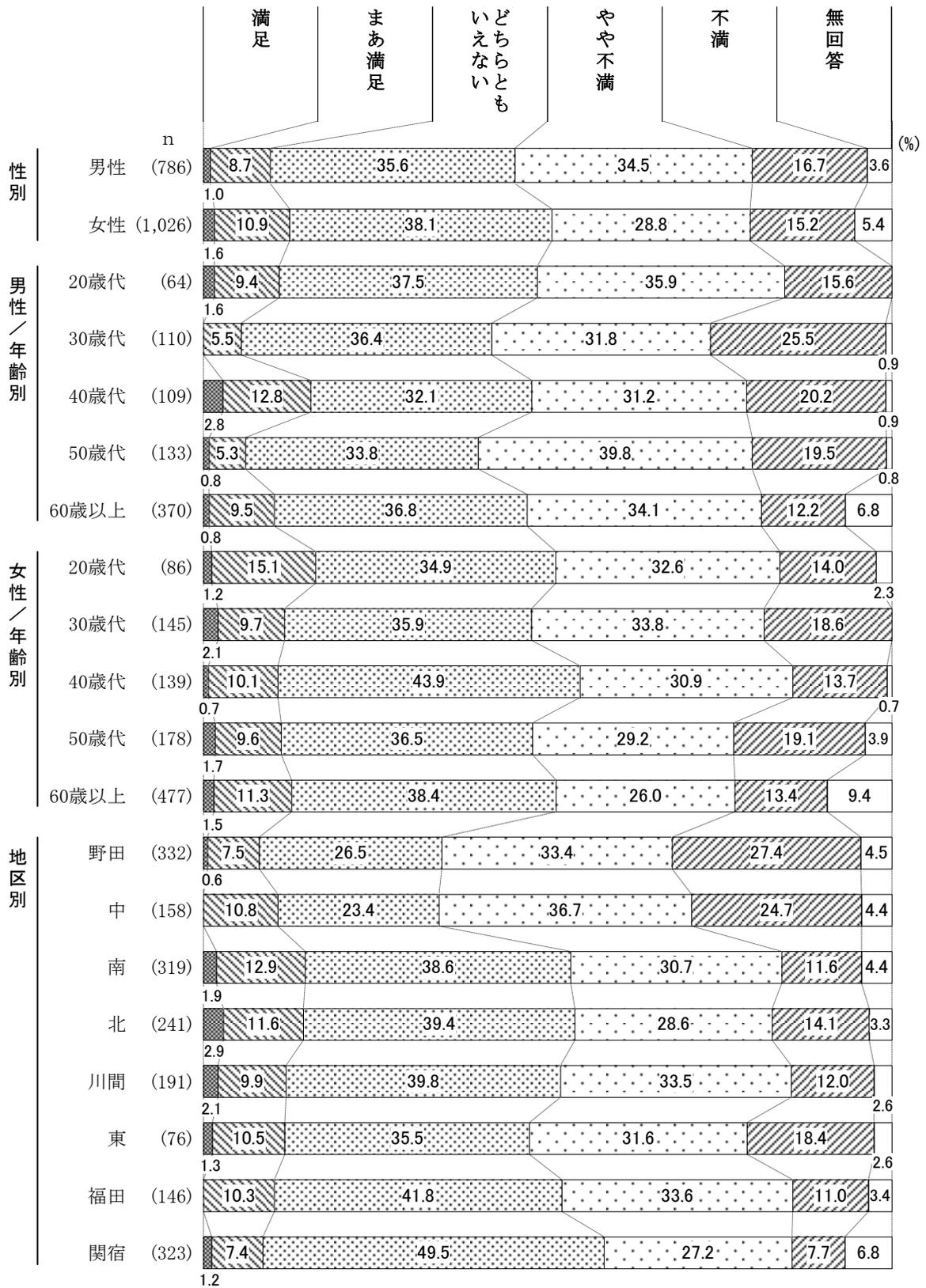
### 〈地区別〉

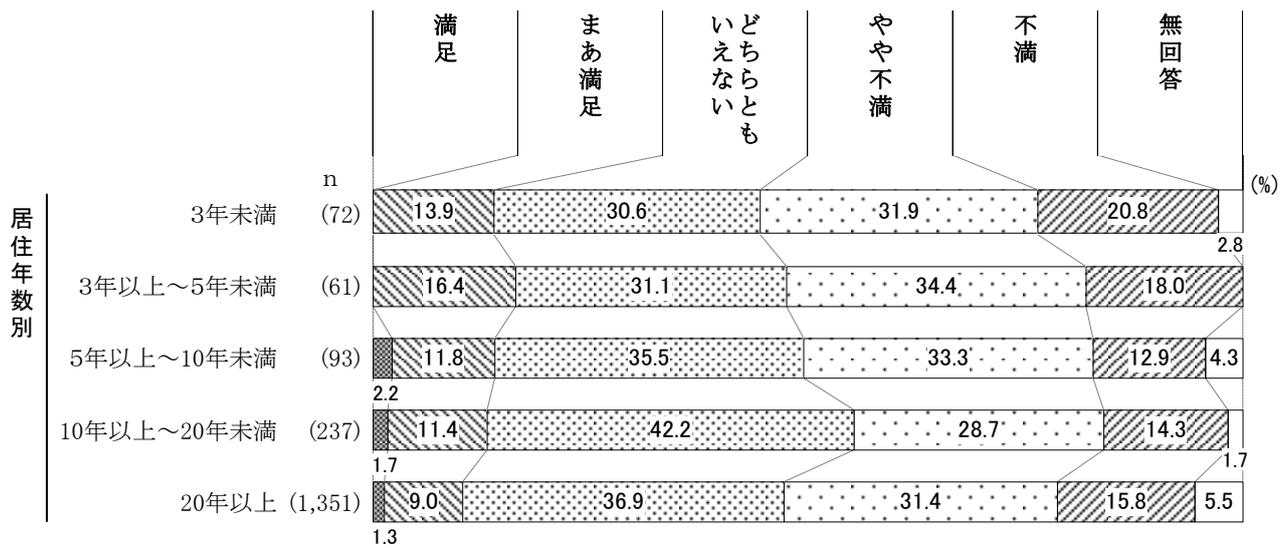
『満足（計）』は野田地区、関宿地区、北地区で3割台半ばと高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は3年以上～5年未満で37.7%と最も高くなっている。

オ) 市街地や駅周辺の景観





### 〈性別〉

『満足（計）』は女性（12.5%）と男性（9.7%）では大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』は男性では40歳代で15.6%と最も高くなっている。また、女性では20歳代で16.3%と最も高くなっている。

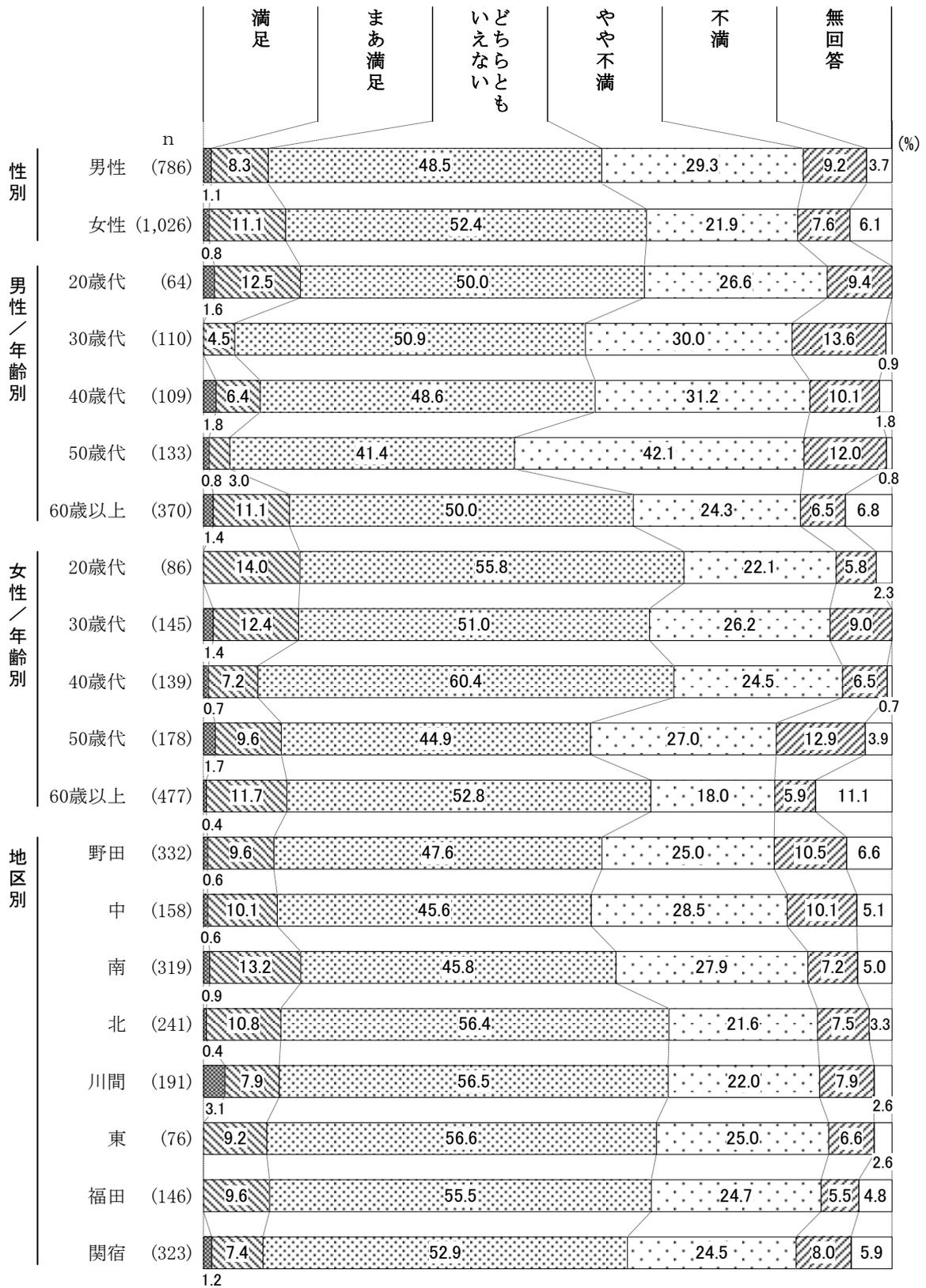
### 〈地区別〉

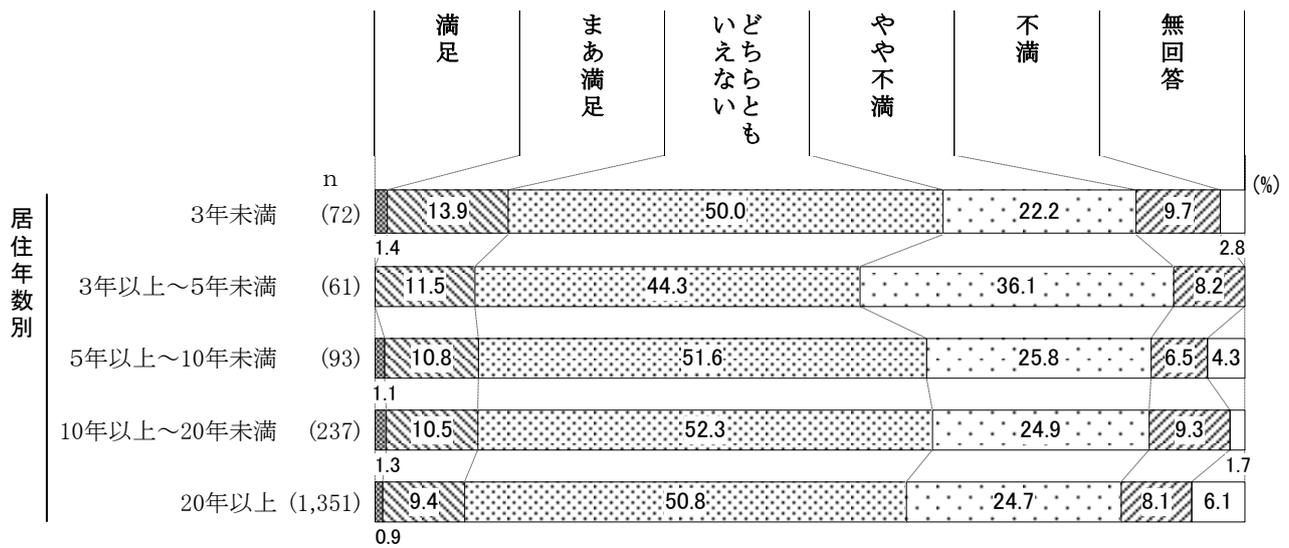
『満足（計）』は南地区と北地区で1割台半ばと高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は20年以上で10.3%と最も低くなっている。

力) 幹線道路沿道の景観





### 〈性別〉

『満足（計）』は女性（11.9%）と男性（9.4%）では大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』は男性では20歳代で14.1%と最も高くなっている。また、女性では40歳代で7.9%と唯一1割未満で低くなっている。

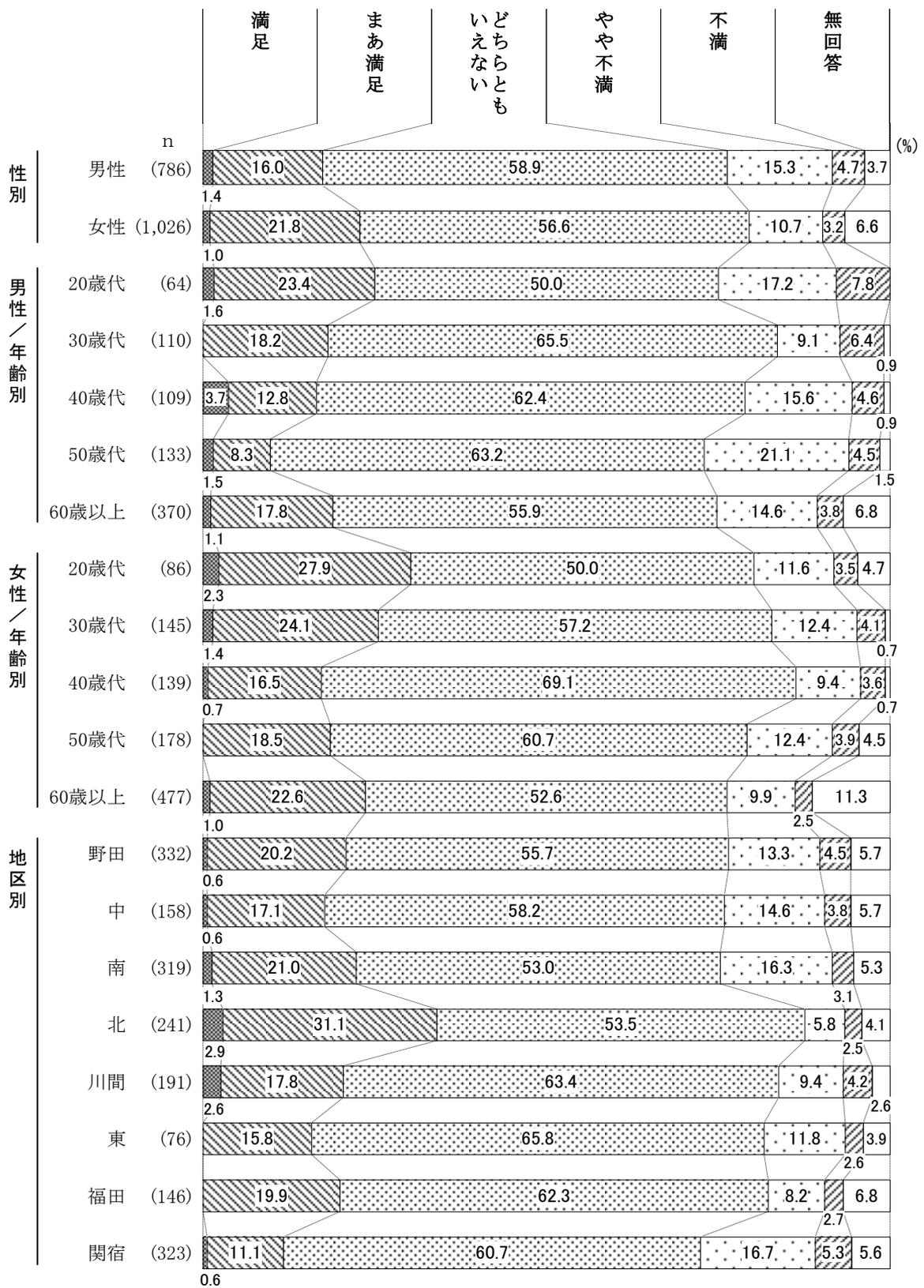
### 〈地区別〉

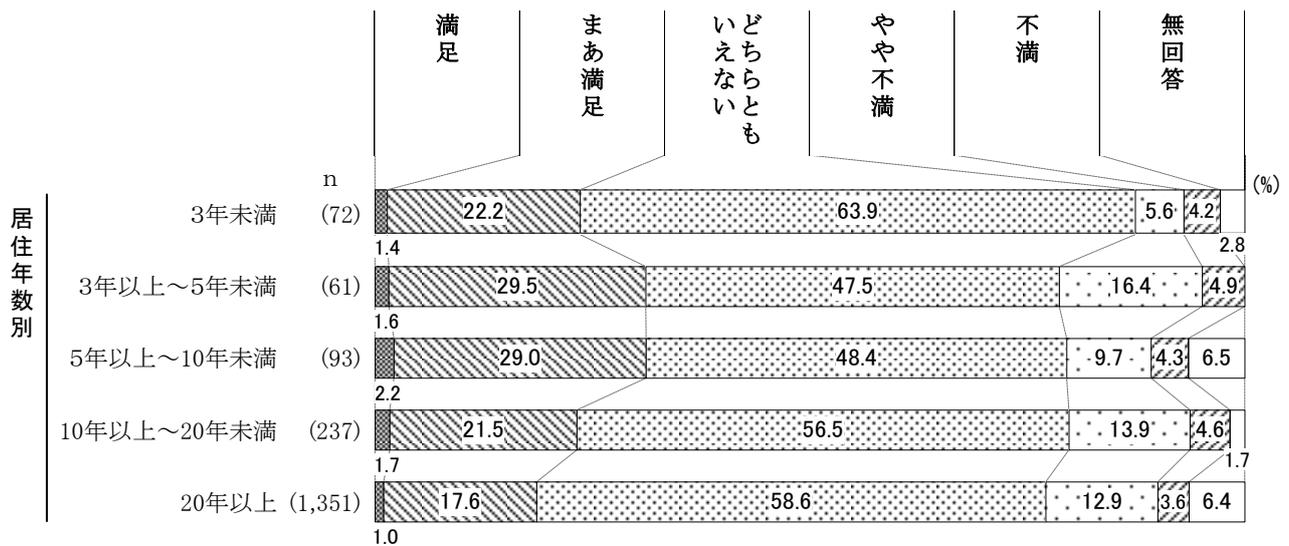
『満足（計）』は南地区で14.1%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は3年未満で15.3%と最も高くなっている。

キ) 住宅地の景観





### 〈性別〉

『満足（計）』は女性（22.8%）が男性（17.4%）を5.4ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』は全ての年齢層で女性が男性よりも高くなっており、特に、女性20歳代で30.2%と最も高くなっている。

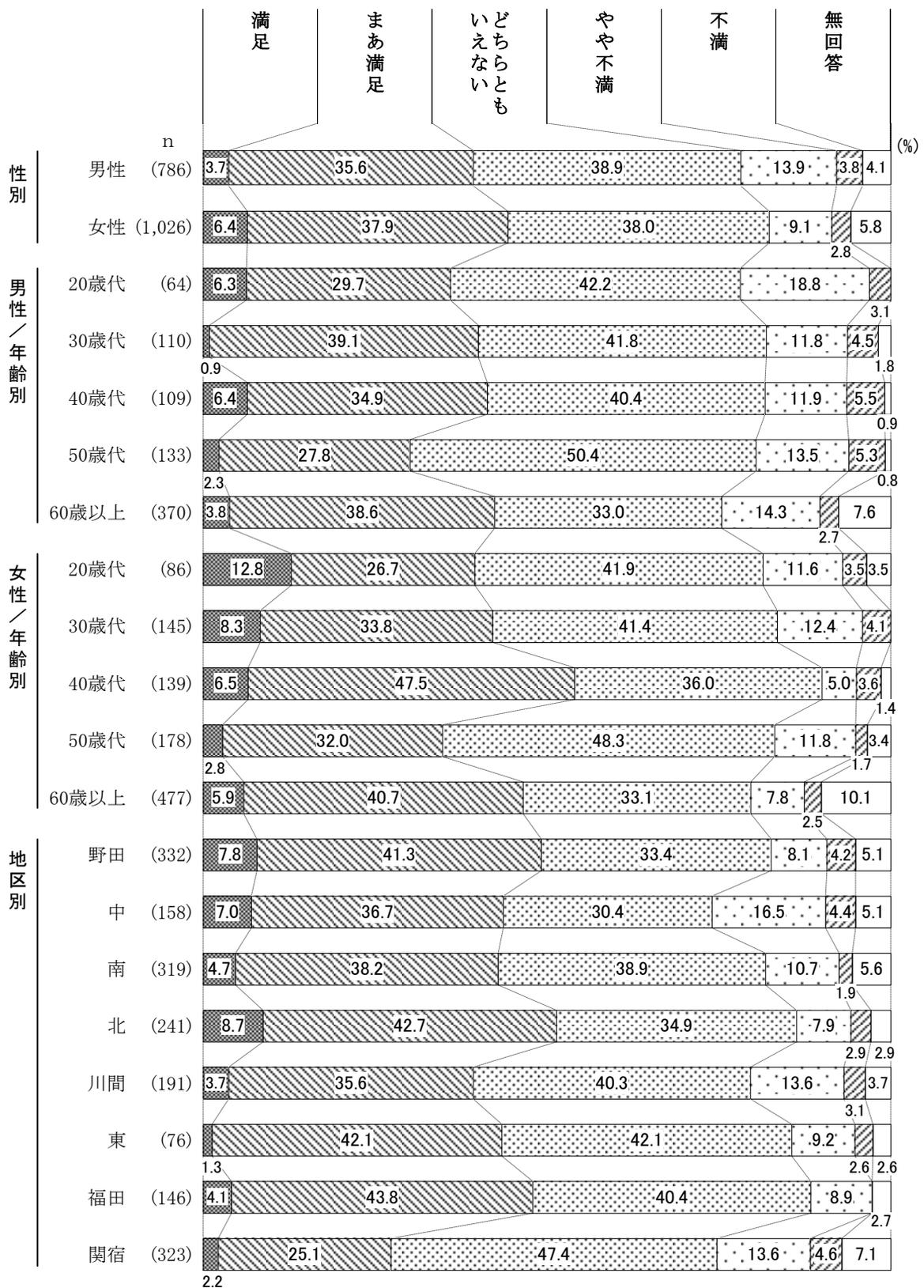
### 〈地区別〉

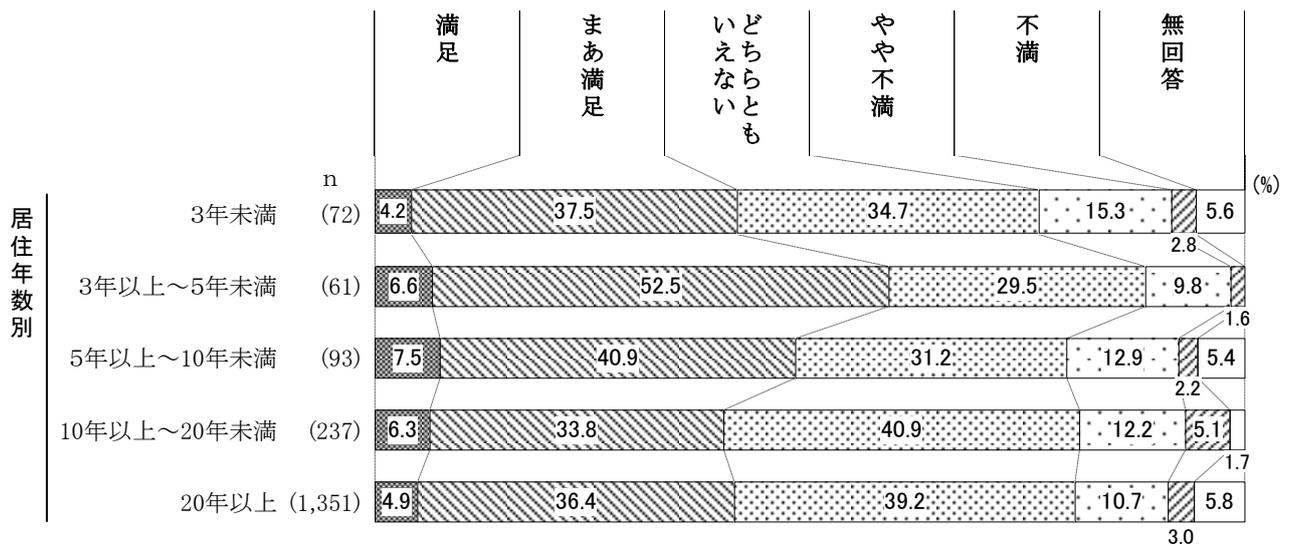
『満足（計）』は北地区で34.0%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は3年以上～5年未満と5年以上～10年未満で3割を超えて高くなっている。

ク) 大規模な公園・緑地の景観（総合公園や中央の杜など）





### 〈性別〉

『満足（計）』は女性（44.3%）が男性（39.3%）を5.0ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』は全ての年齢層で女性が男性よりも高くなっており、特に、女性40歳代で54.0%と最も高くなっている。

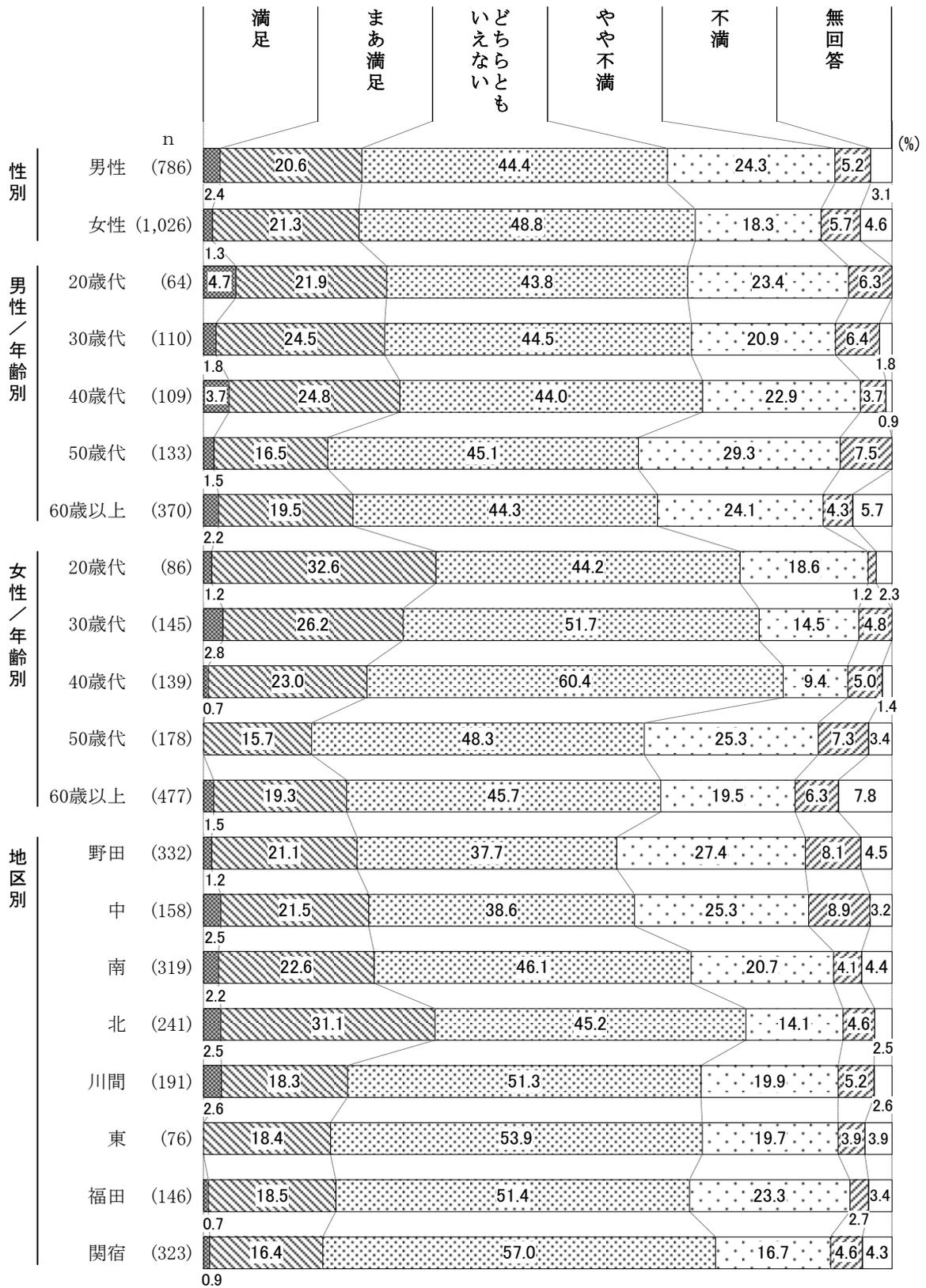
### 〈地区別〉

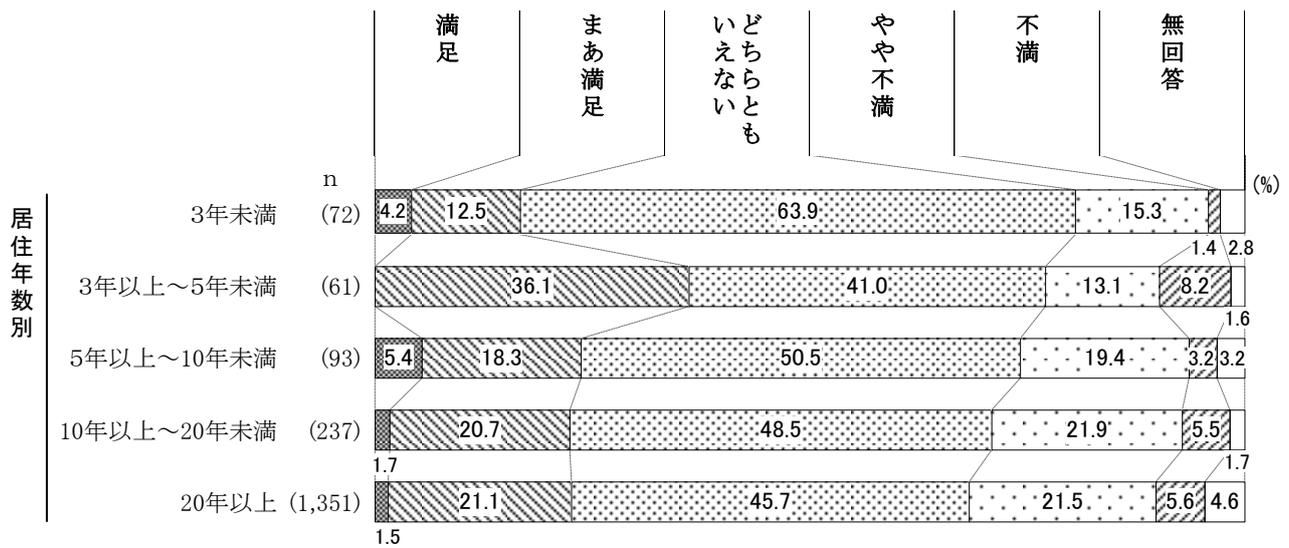
『満足（計）』は北地区で51.4%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は3年以上～5年未満で59.1%と最も高くなっている。

ケ) まち全体の雰囲気と景観





### 〈性別〉

『満足（計）』は男性（23.0%）と女性（22.6%）では大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

『満足（計）』は男性では40歳代で28.5%と最も高くなっている。また、女性では20歳代で33.8%と最も高くなっている。

### 〈地区別〉

『満足（計）』は北地区で33.6%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『満足（計）』は3年以上～5年未満で36.1%と最も高くなっている。

### 3. 地域での社会活動

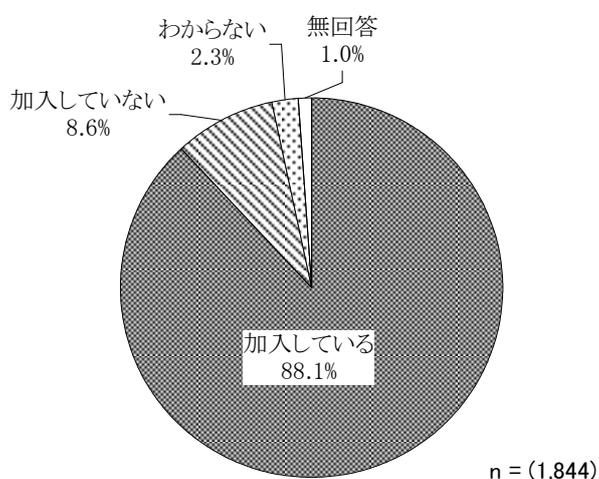
#### (1) 自治会・町内会への加入状況

◇ 「加入している」が約9割

【問8】あなたの家では、自治会や町内会に加入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,844)

1. 加入している	88.1%	3. わからない	2.3
2. 加入していない	8.6	(無回答)	1.0



自治会や町内会への加入状況は、「加入している」(88.1%)が約9割となっている。一方、「加入していない」(8.6%)が約1割となっている。

#### 〈地区別〉

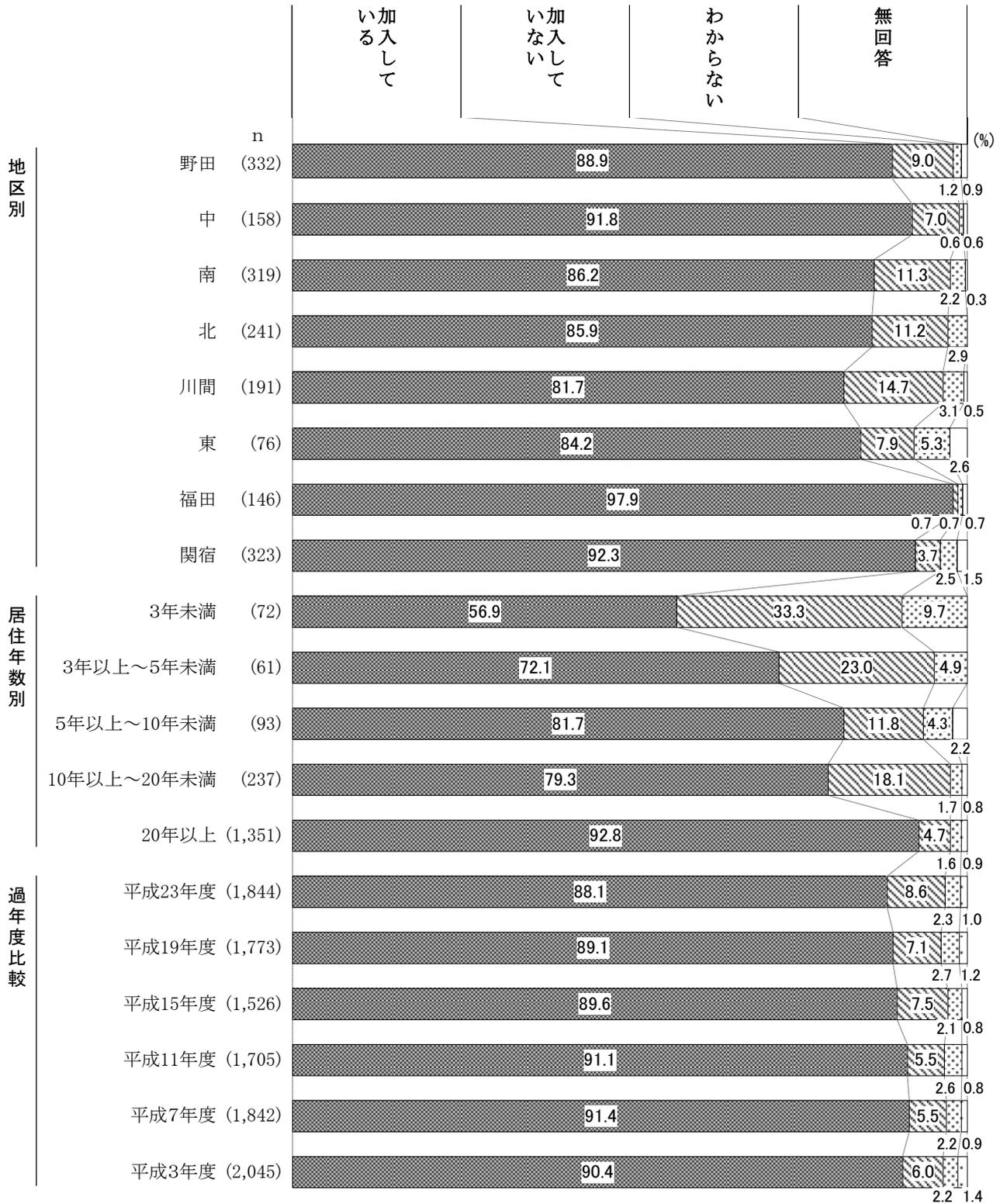
「加入している」は福田地区で97.9%と最も高く、中地区、関宿地区で9割台と高くなっている。

#### 〈居住年数別〉

「加入している」は20年以上で92.8%と最も高くなっている。

#### 〈過年度比較〉

前回調査(平成19年度)と比較すると、「加入している」はほとんど変化はみられない。



## (1-1) 加入していない理由

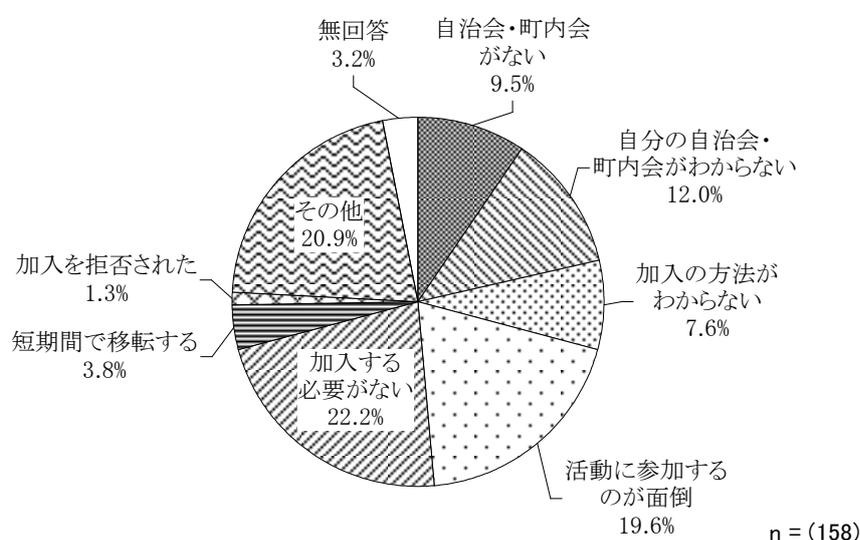
◇ 「加入する必要がある」が2割を超える

〈問8で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。〉

【問8-1】それはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=158)

1. 自治会・町内会がない	9.5%	5. 加入する必要がある	22.2
2. 自分の自治会・町内会がわからない	12.0	6. 短期間で移転する	3.8
3. 加入の方法がわからない	7.6	7. 加入を拒否された	1.3
4. 活動に参加するのが面倒	19.6	8. その他	20.9
		(無回答)	3.2



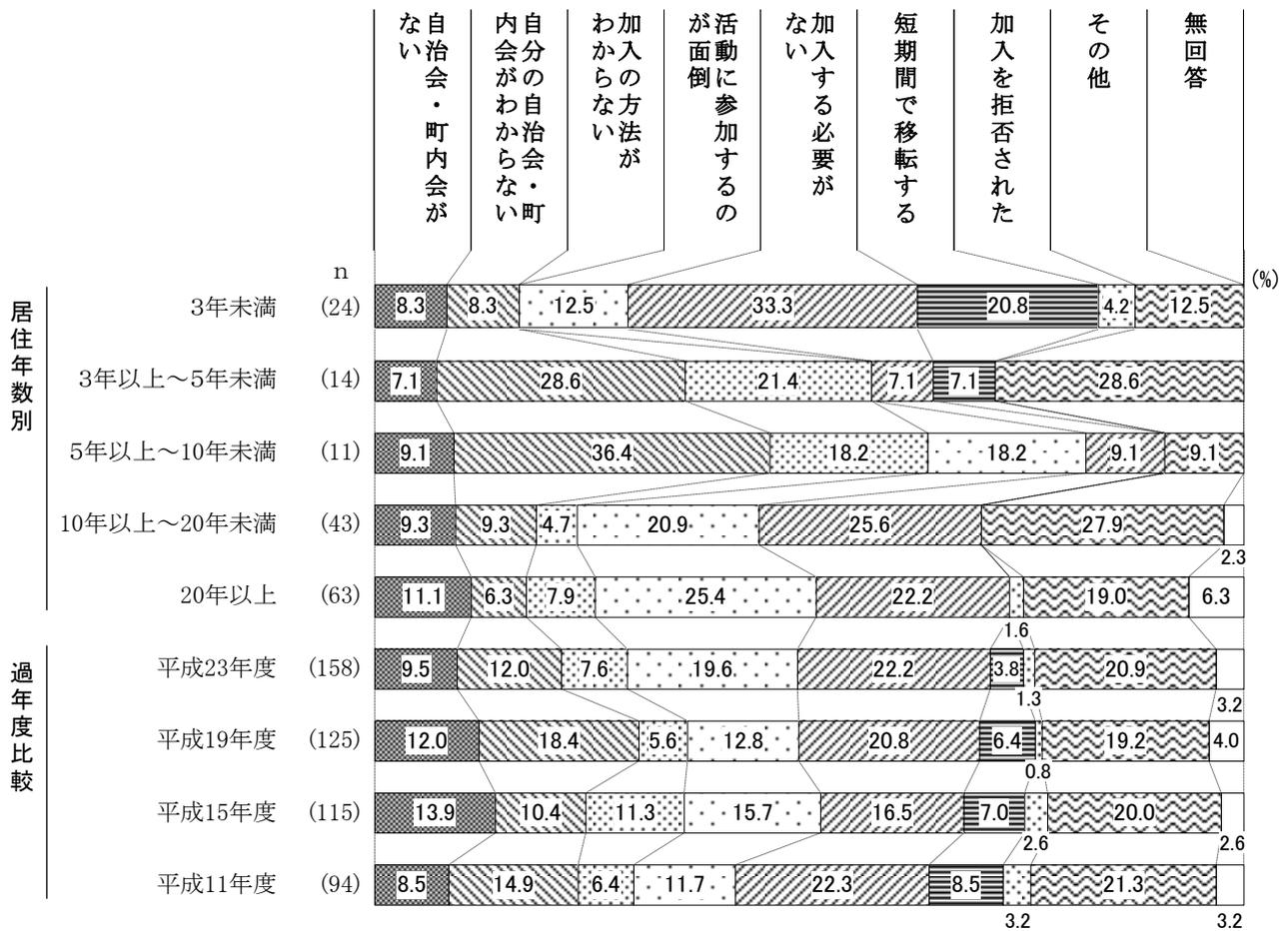
自治会や町内会に加入していない理由としては、「加入する必要がある」が22.2%と最も高くなっている。次いで「活動に参加するのが面倒」(19.6%)、「自分の自治会・町内会がわからない」(12.0%)、「自治会・町内会がない」(9.5%)などの順となっている。

### 〈居住年数別〉

nの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

### 〈過年度比較〉

前回調査(平成19年度)と比較すると、「活動に参加するのが面倒」は6.8ポイント増加している。一方、「自分の自治会・町内会がわからない」は6.4ポイント減少している。



原則として、nの数が30未満のものについては、本文中ではふれず、参考までに掲載するものとする。

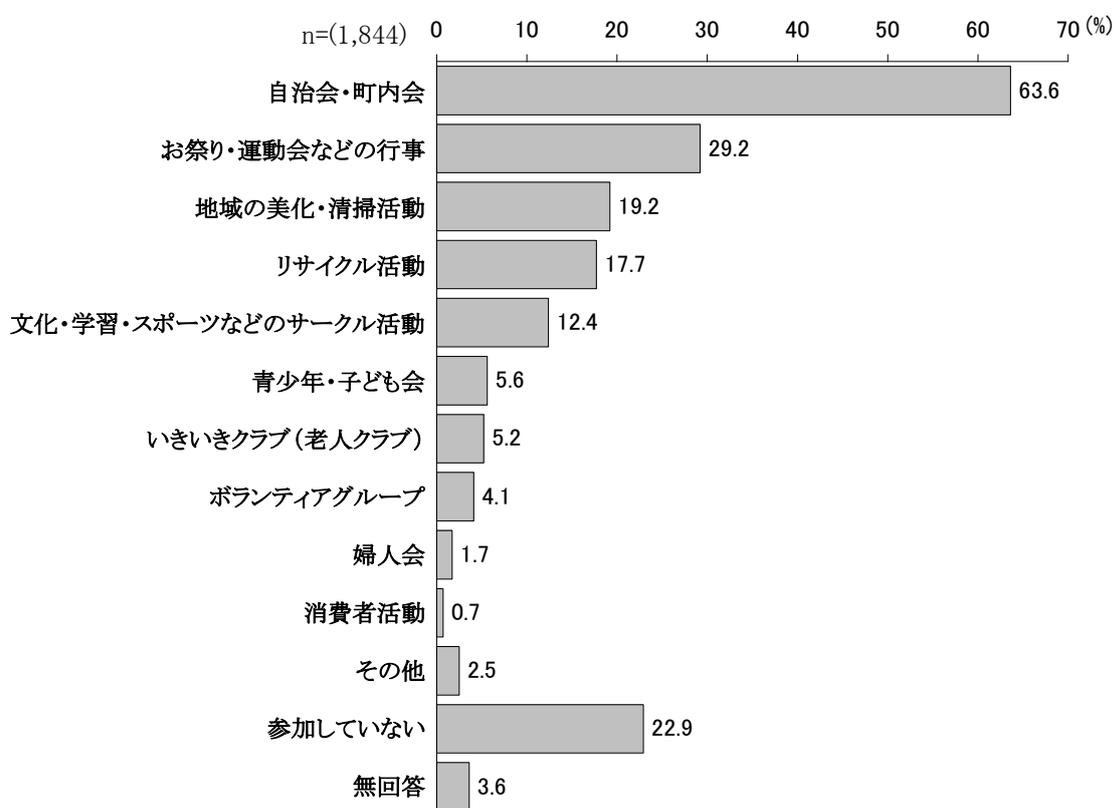
## (2) 団体・サークル活動への参加状況

◇ 「自治会・町内会」が6割台半ば

【問9】現在お住まいの地域や市内で、団体やサークル活動に参加していますか。参加しているものを次の中からすべて選んでください。

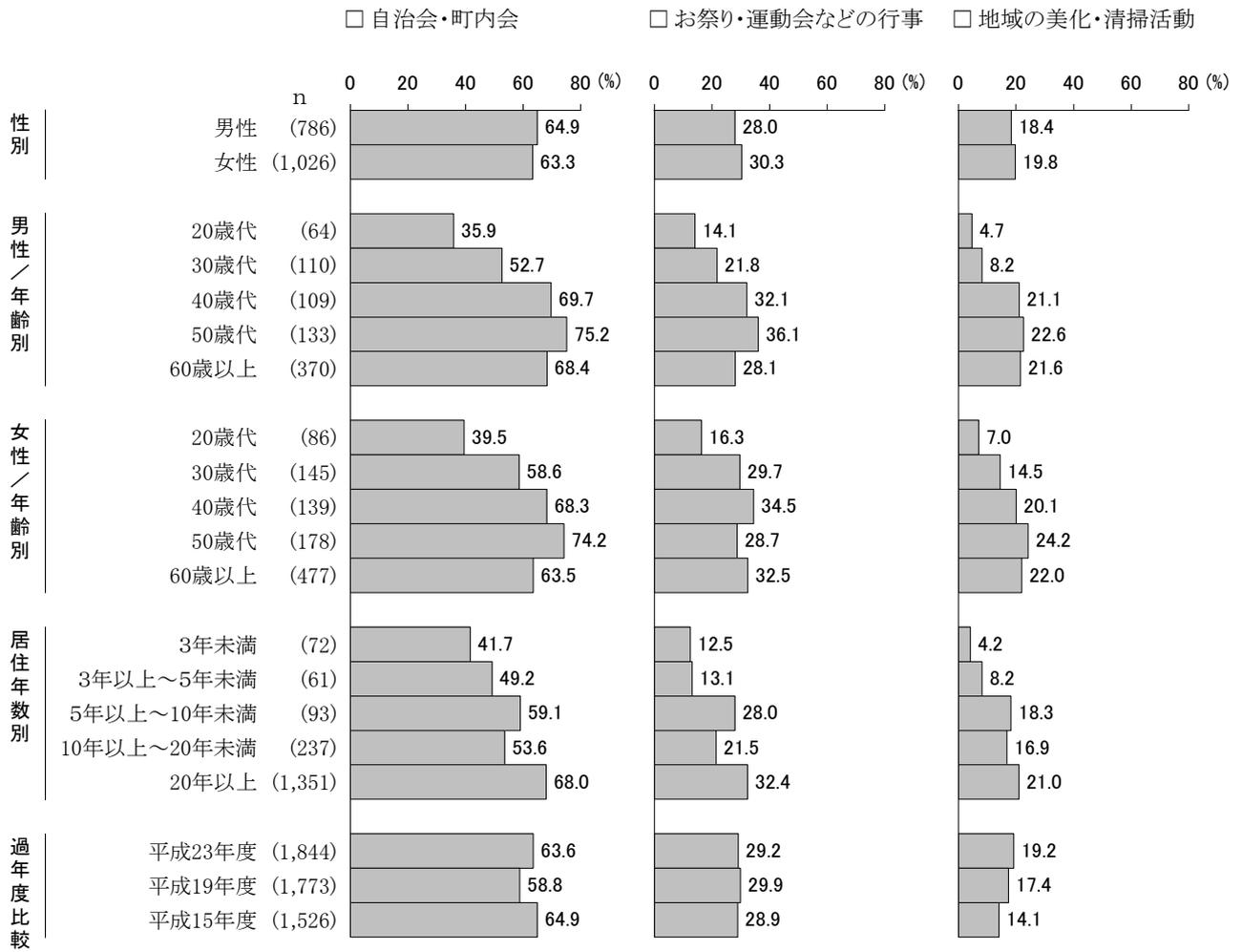
(n=1,844)

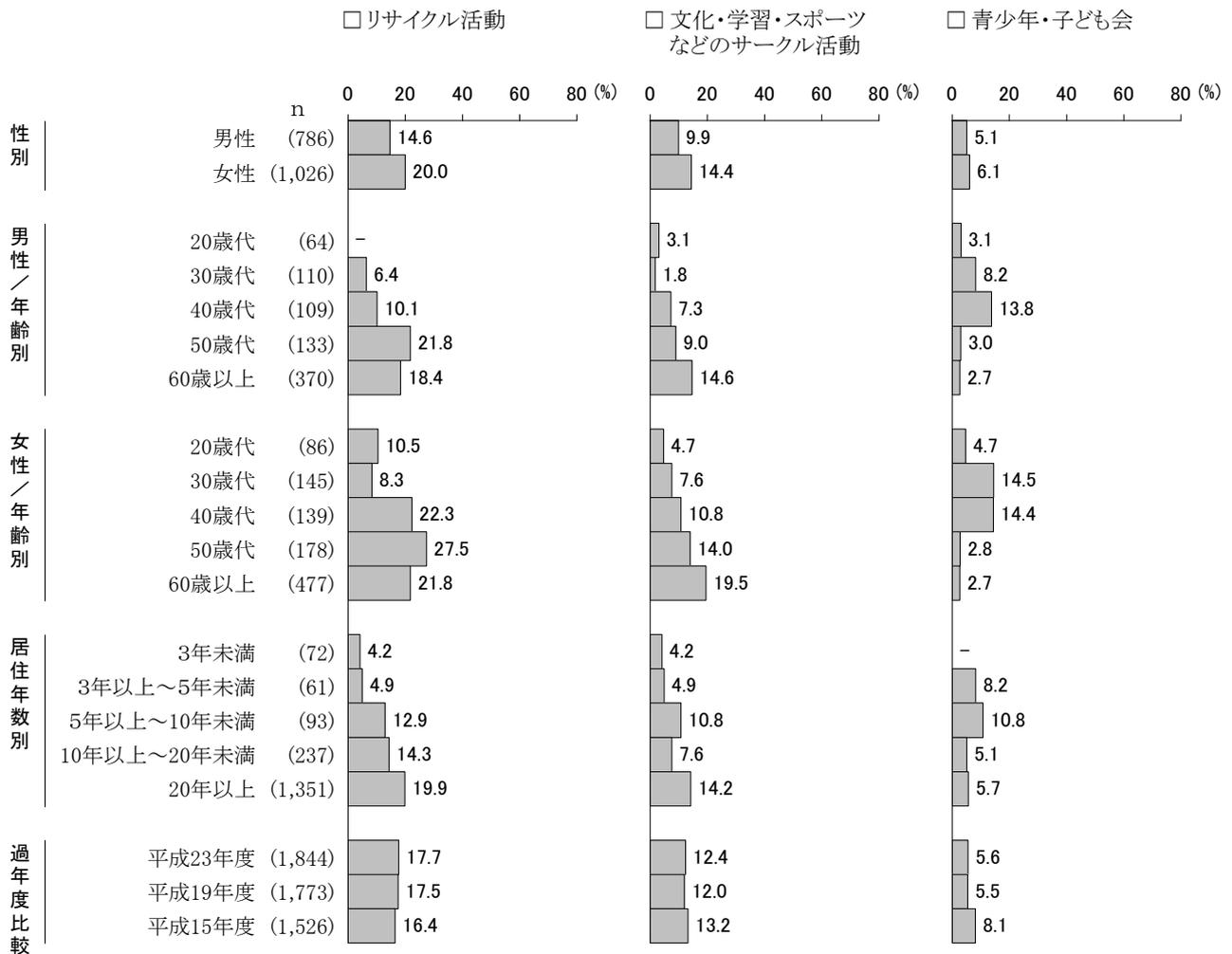
1. 自治会・町内会	63.6%	7. リサイクル活動	17.7
2. 青少年・子ども会	5.6	8. 消費者活動	0.7
3. 婦人会	1.7	9. 地域の美化・清掃活動	19.2
4. いきいきクラブ(老人クラブ)	5.2	10. お祭り・運動会などの行事	29.2
5. ボランティアグループ	4.1	11. その他	2.5
6. 文化・学習・スポーツなどのサークル活動	12.4	12. 参加していない	22.9
		(無回答)	3.6



団体やサークル活動として参加しているものについては、「自治会・町内会」が63.6%と最も高くなっている。次いで「お祭り・運動会などの行事」(29.2%)、「地域の美化・清掃活動」(19.2%)、「リサイクル活動」(17.7%)などの順となっている。

# 上位6項目の属性別





### 〈性別〉

「リサイクル活動」は女性（20.0%）が男性（14.6%）を5.4ポイント、「文化・学習・スポーツなどのサークル活動」でも女性（14.4%）が男性（9.9%）を4.5ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「自治会・町内会」は男女ともに50歳代までは年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。「お祭り・運動会などの行事」は男性では50歳代までは年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。「文化・学習・スポーツなどのサークル活動」は女性では年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。「青少年・子ども会」は男性では40歳代、女性では30歳代と40歳代で1割台半ばと高くなっている。

### 〈居住年数別〉

「自治会・町内会」は20年以上で68.0%と最も高くなっている。「リサイクル活動」は居住年数が長くなるほど割合は高く、20年以上で19.9%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「自治会・町内会」は4.8ポイント増加している。

## 4. 文化やスポーツ活動

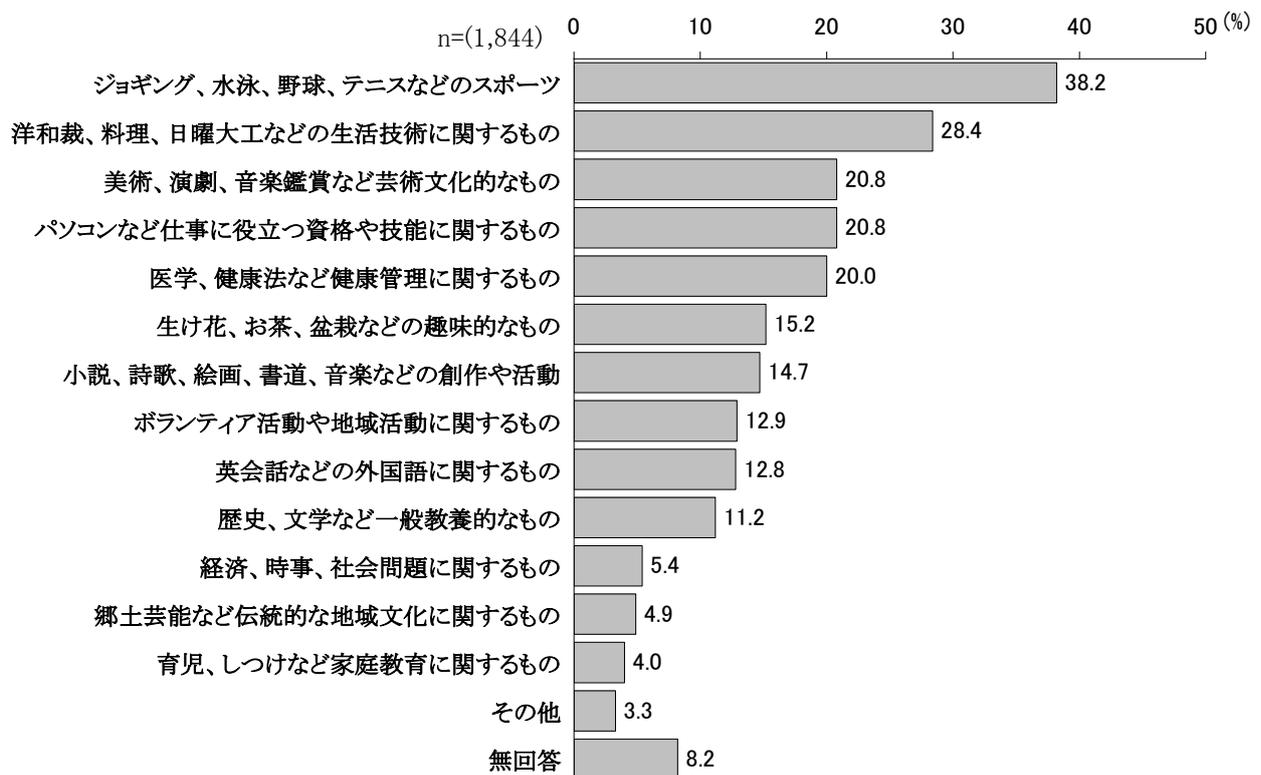
### (1) 余暇の時間の過ごし方

◇ 「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」が約4割

【問10】あなたは、余暇の時間が増えた場合、何かを学んだり、活動したりしてみたいと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

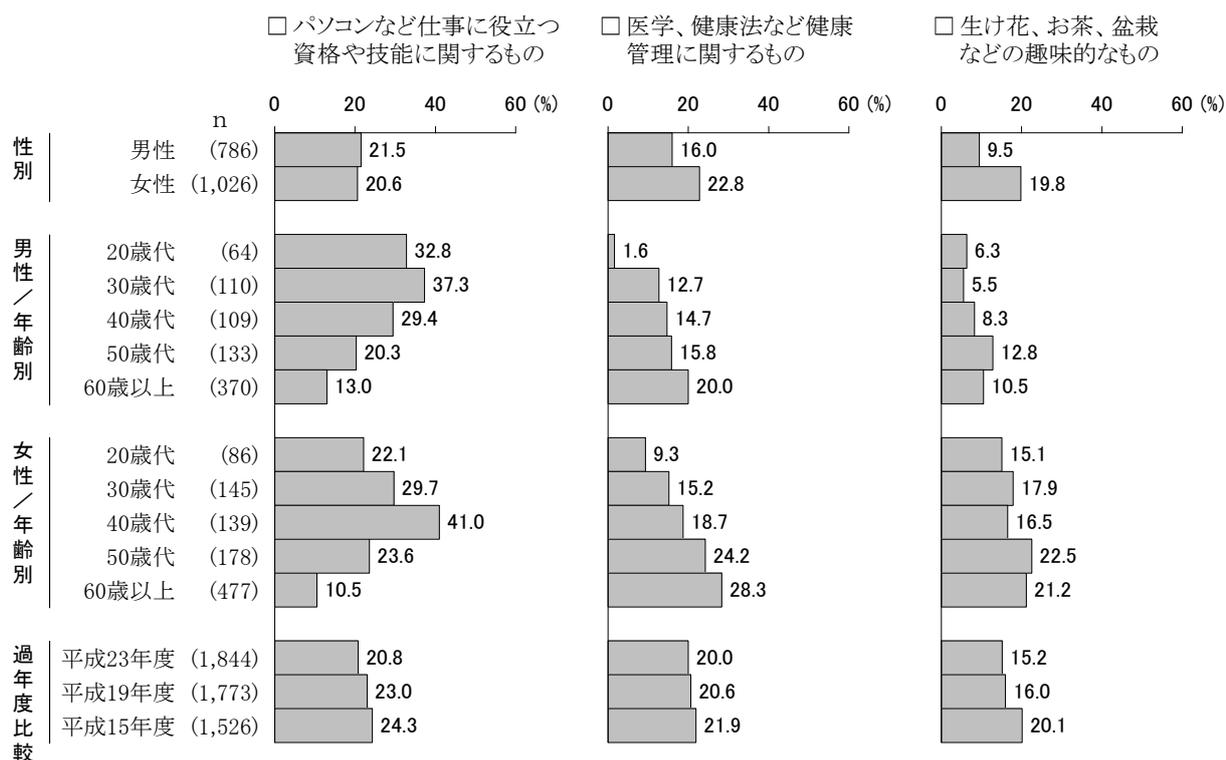
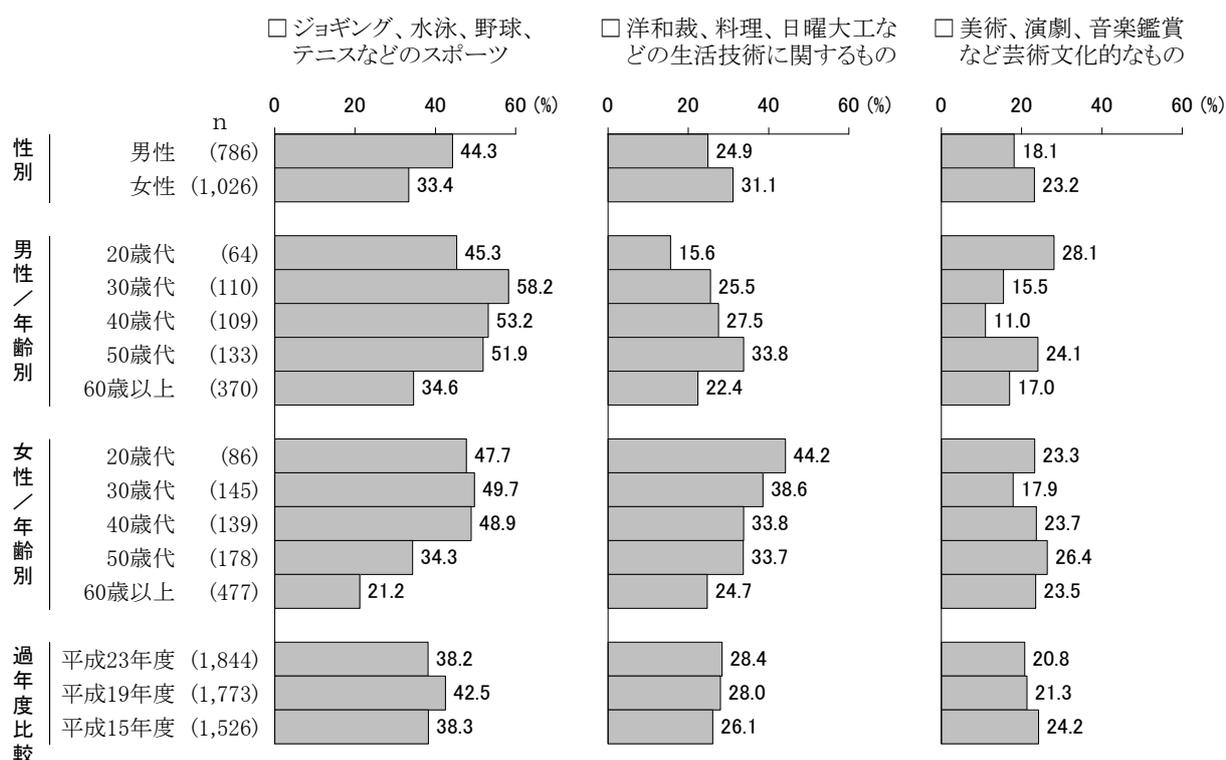
(n=1,844)

1. 洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの	28.4%
2. 生け花、お茶、盆栽などの趣味的なもの	15.2
3. ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ	38.2
4. 歴史、文学など一般教養的なもの	11.2
5. 美術、演劇、音楽鑑賞など芸術文化的なもの	20.8
6. 小説、詩歌、絵画、書道、音楽などの創作や活動	14.7
7. 郷土芸能など伝統的な地域文化に関するもの	4.9
8. 経済、時事、社会問題に関するもの	5.4
9. パソコンなど仕事に役立つ資格や技能に関するもの	20.8
10. ボランティア活動や地域活動に関するもの	12.9
11. 育児、しつけなど家庭教育に関するもの	4.0
12. 医学、健康法など健康管理に関するもの	20.0
13. 英会話などの外国語に関するもの	12.8
14. その他	3.3
(無回答)	8.2



余暇の時間の過ごし方については、「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」が38.2%と最も高くなっている。次いで「洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの」(28.4%)、「美術、演劇、音楽鑑賞など芸術文化的なもの」(20.8%)、「パソコンなど仕事に役立つ資格や技能に関するもの」(20.8%)、「医学、健康法など健康管理に関するもの」(20.0%)などの順となっている。

## 上位6項目の属性別



### 〈性別〉

「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」は男性（44.3%）が女性（33.4%）を10.9ポイント上回っている。「洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの」「美術、演劇、音楽鑑賞など芸術文化的なもの」「医学、健康法など健康管理に関するもの」「生け花、お茶、盆栽などの趣味的なもの」は女性が男性をそれぞれ6.2ポイント、5.1ポイント、6.8ポイント、10.3ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」は男女ともに30歳で最も高く、年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。「洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの」は男性では50歳代までは年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられるが、女性では年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。「パソコンなど仕事に役立つ資格や技能に関するもの」は男性では30歳代で最も高く、年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられ、女性では40歳代で41.0%と最も高くなっている。「医学、健康法など健康管理に関するもの」は男女ともに年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」は4.3ポイント減少している。

## 5. ごみや環境

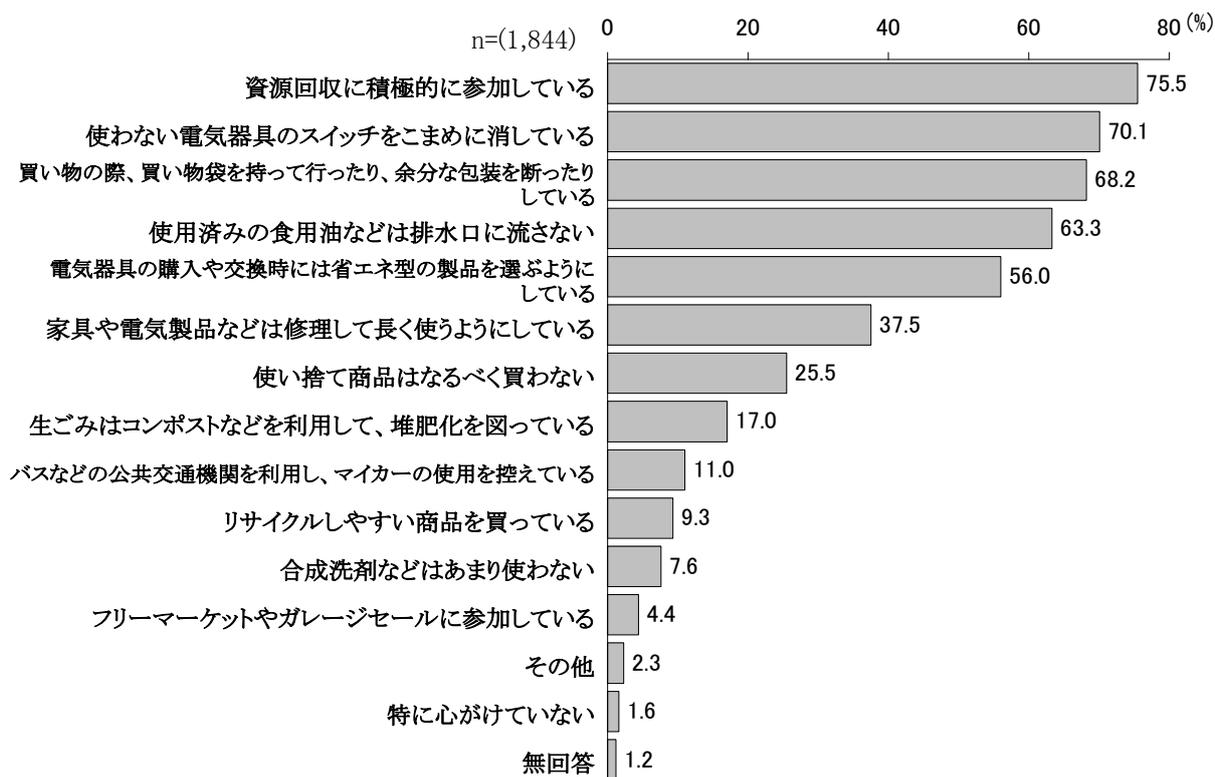
### (1) 日常生活で心掛けていること

◇ 「資源回収に積極的に参加している」が7割台半ば

【問11】あなたは、ごみ減量や環境をよくするために、日常生活の中でどのようなことを心がけていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

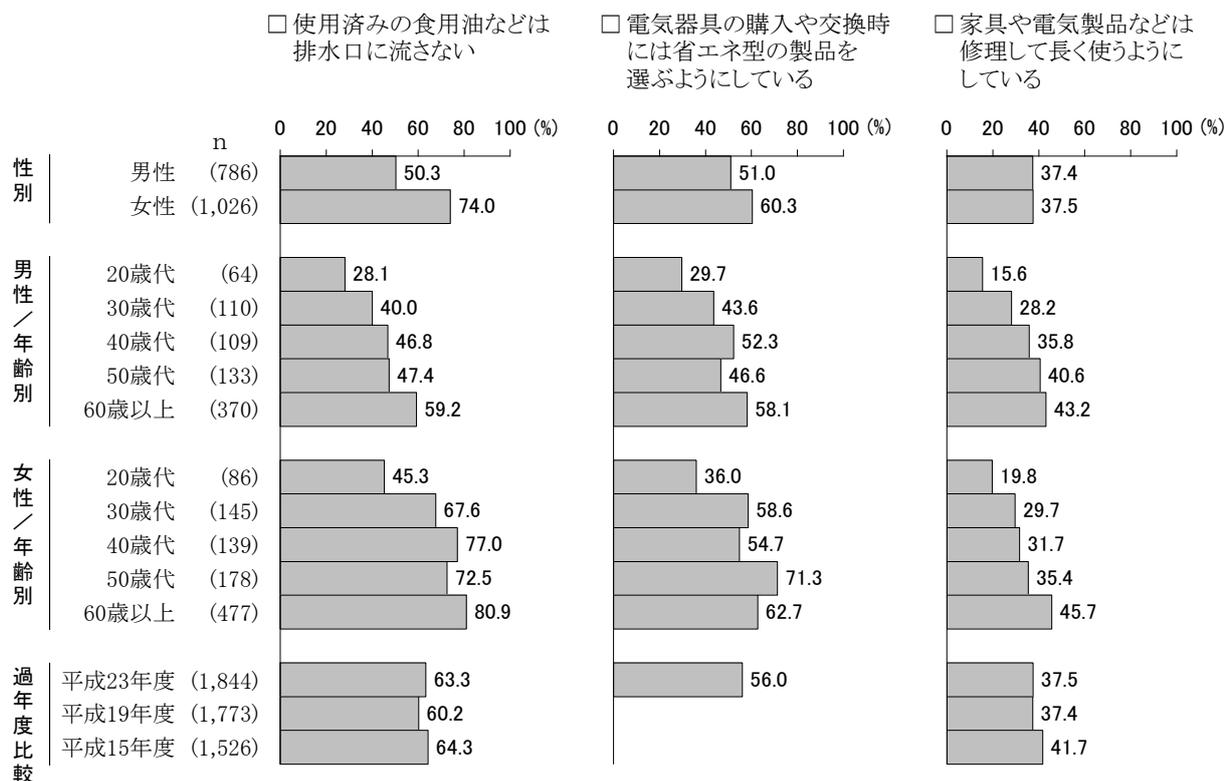
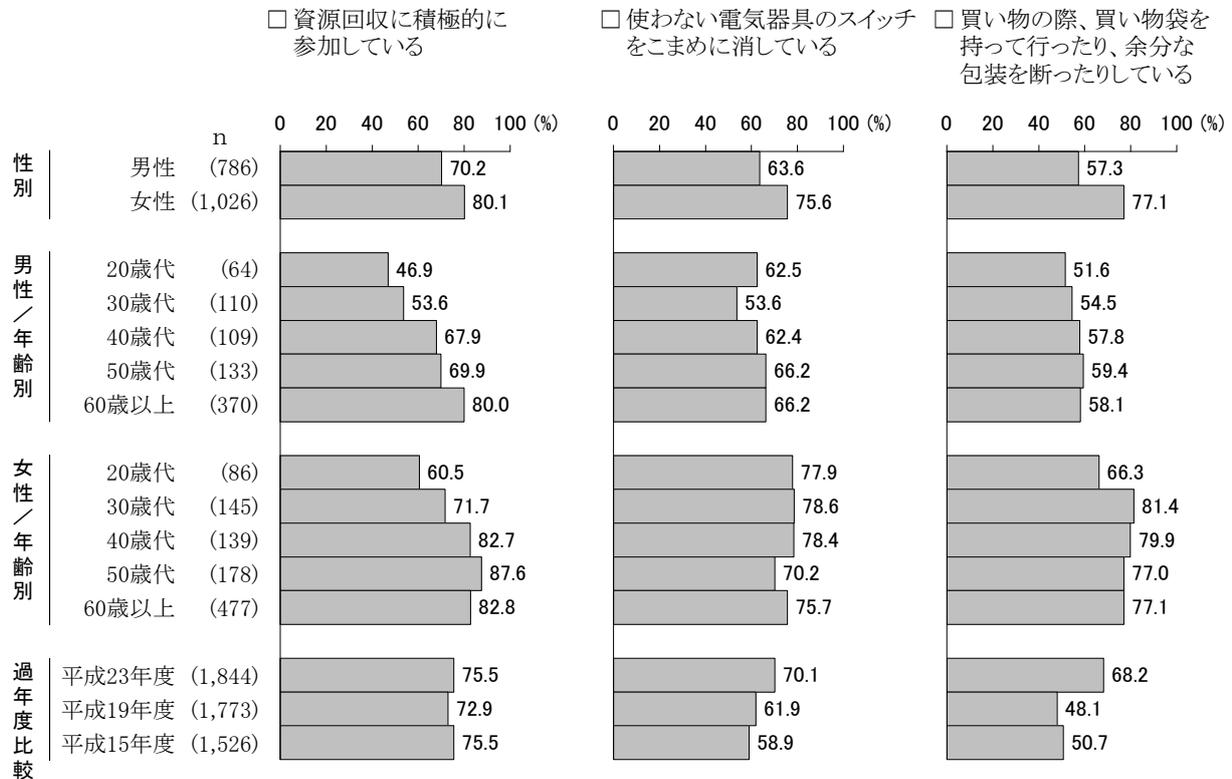
(n=1,844)

1. 資源回収に積極的に参加している	75.5%
2. 買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている	68.2
3. 使い捨て商品はなるべく買わない	25.5
4. 家具や電気製品などは修理して長く使うようにしている	37.5
5. 生ごみはコンポストなどを利用して、堆肥化を図っている	17.0
6. リサイクルしやすい商品を買っている	9.3
7. フリーマーケットやガレージセールに参加している	4.4
8. 合成洗剤などはあまり使わない	7.6
9. 使用済みの食用油などは排水口に流さない	63.3
10. バスなどの公共交通機関を利用し、マイカーの使用を控えている	11.0
11. 使わない電気器具のスイッチをこまめに消している	70.1
12. 電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている	56.0
13. その他	2.3
14. 特に心がけていない	1.6
(無回答)	1.2



ごみ減量や環境をよくするために心掛けていることについては、「資源回収に積極的に参加している」が75.5%と最も高くなっている。次いで「使わない電気器具のスイッチをこまめに消している」(70.1%)、「買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている」(68.2%)、「使用済みの食用油などは排水口に流さない」(63.3%)などの順となっている。

### 上位6項目の属性別



※「電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている」は今回調査から追加

### 〈性別〉

「資源回収に積極的に参加している」「使わない電気器具のスイッチをこまめに消している」「買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている」「使用済みの食用油などは排水口に流さない」「電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている」は女性が男性をそれぞれ9.9ポイント、12.0ポイント、19.8ポイント、23.7ポイント、9.3ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「資源回収に積極的に参加している」は男性では年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられる。「使用済みの食用油などは排水口に流さない」は男女ともに60歳以上で最も高く、男性では59.2%、女性では80.9%となっている。「家具や電気製品などは修理して長く使うようにしている」は男女ともに年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「使わない電気器具のスイッチをこまめに消している」は8.2ポイント、「買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている」は20.1ポイント増加している。

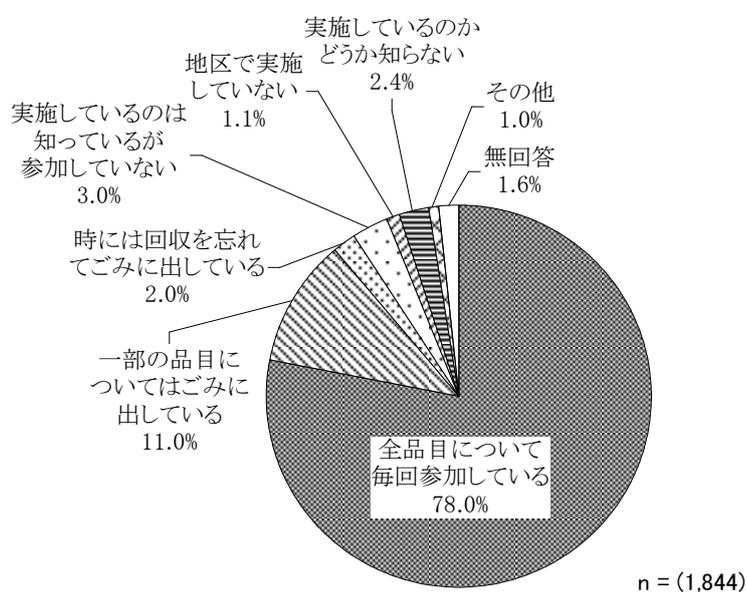
## (2) 資源回収への参加

◇ 『地域の資源回収に参加している (計)』は9割を超える

【問12】資源回収についておうかがいします。あなたは、地域の資源回収（品目：金属、空き缶、ビン、紙、布、ペットボトル）に参加していますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,844)

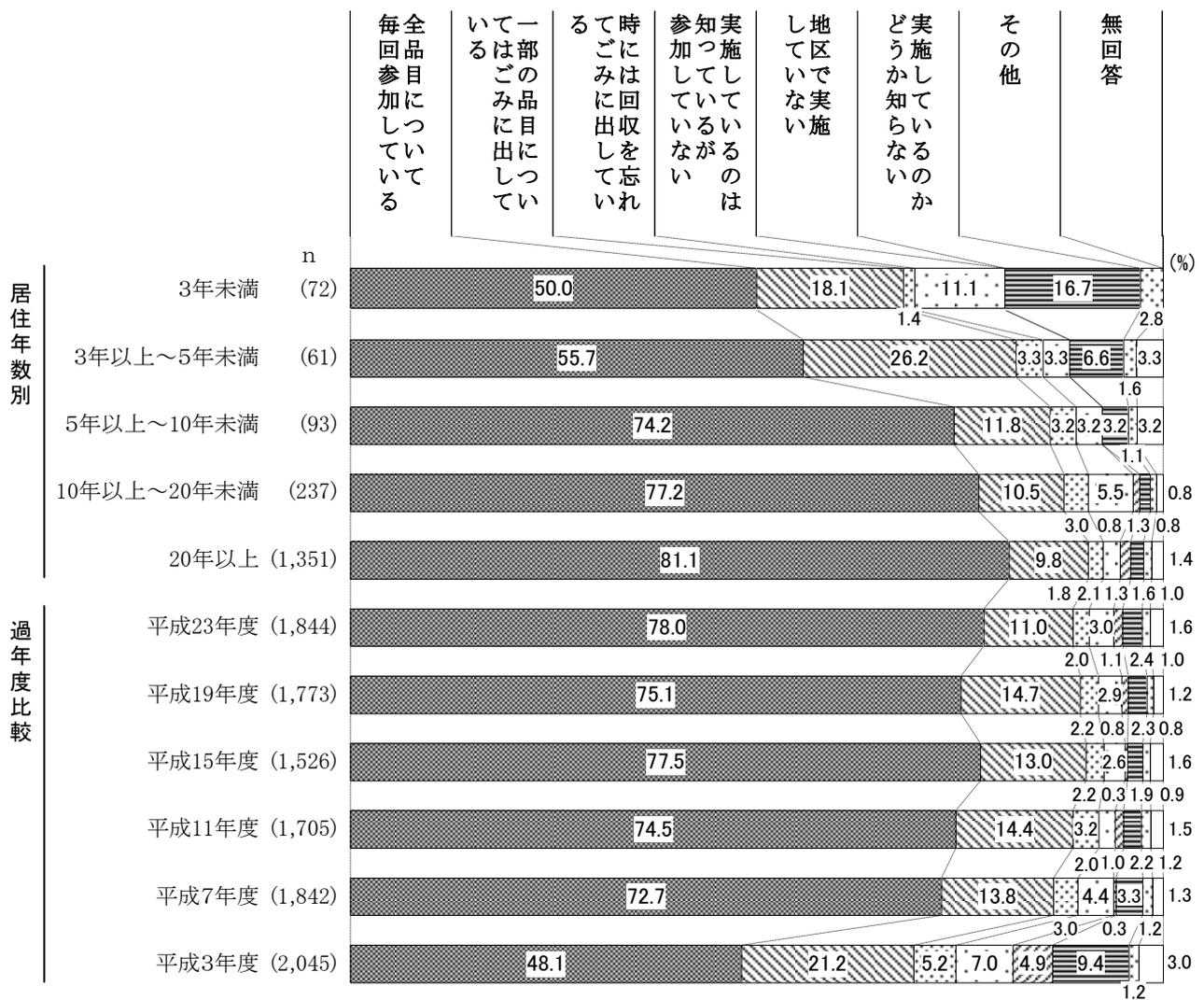
1. 全品目について毎回参加している	78.0%	5. 地区で実施していない	1.1
2. 一部の品目についてはごみに出している	11.0	6. 実施しているのかどうか知らない	2.4
3. 時には回収を忘れてごみに出している	2.0	7. その他	1.0
4. 実施しているのは知っているが参加していない	3.0	(無回答)	1.6



地域の資源回収への参加状況については、「全品目について毎回参加している」(78.0%)、「一部の品目についてはごみに出している」(11.0%)、「時には回収を忘れてごみに出している」(2.0%)を合わせた『地域の資源回収に参加している (計)』(91.0%)は9割を超えている。

一方、「実施しているのは知っているが参加していない」は3.0%となっている。





〈性別〉

「全品目について毎回参加している」は女性（79.6%）が男性（76.0%）を3.6ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「全品目について毎回参加している」は男女ともに年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。一方、「一部の品目についてはごみに出している」は男女ともに20歳代でそれぞれ21.9%、24.4%と最も高くなっている。

〈地区別〉

「全品目について毎回参加している」は北地区、福田地区、関宿地区で8割台と高くなっている。

〈居住年数別〉

「全品目について毎回参加している」は居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられ、20年以上では81.1%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

(2-1) 知らず参加していない理由

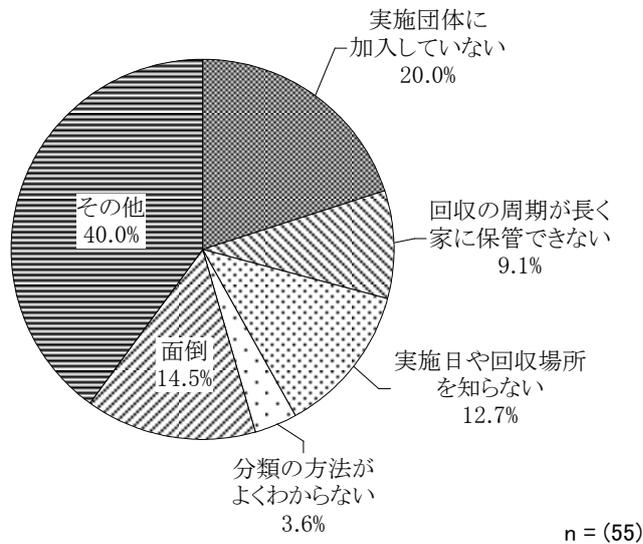
◇ 「実施団体に加入していない」は2割

〈問12で「4. 実施しているのは知っているが参加していない」とお答えの方におうかがいします。〉

【問12-1】それはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=55)

1. 実施団体に加入していない	20.0%	4. 分類の方法がよくわからない	3.6
2. 回収の周期が長く家に保管できない	9.1	5. 面倒	14.5
3. 実施日や回収場所を知らない	12.7	6. その他	40.0



資源回収の実施を知らず参加していない理由については、「実施団体に加入していない」が20.0%と最も高くなっている。次いで「面倒」(14.5%)、「実施日や回収場所を知らない」(12.7%)、「回収の周期が長く家に保管できない」(9.1%)などの順となっている。



〈過年度比較〉

前回調査(平成19年度)と比較すると、「面倒」は6.8ポイント、「実施団体に加入していない」は6.5ポイント増加している。一方、「回収の周期が長く家に保管できない」は14.0ポイント、「実施日や回収場所を知らない」は8.5ポイント減少している。

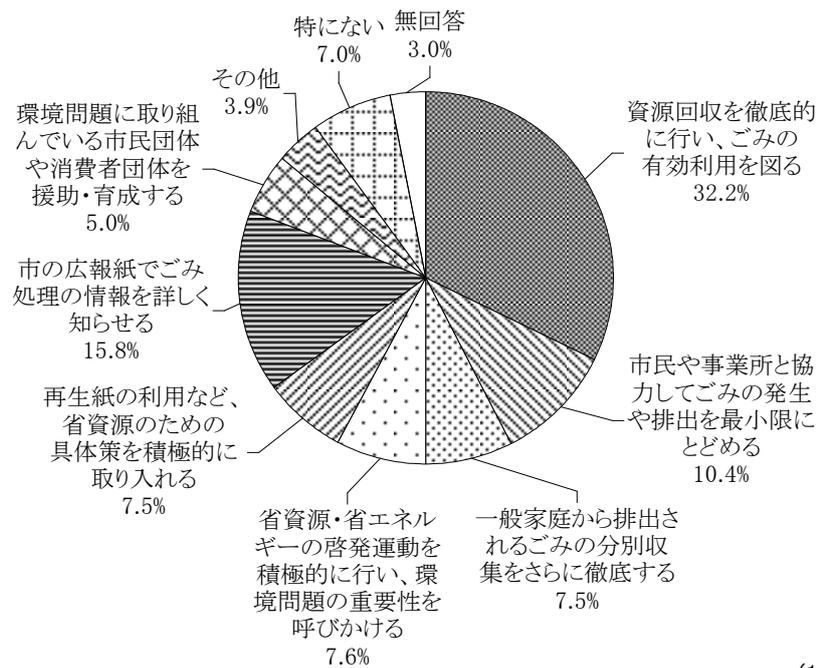
### (3) ごみの減量化対策

◇ 「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」が3割を超える

【問13】あなたは、ごみ減量化のために市にどのようなことに力を入れてほしいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

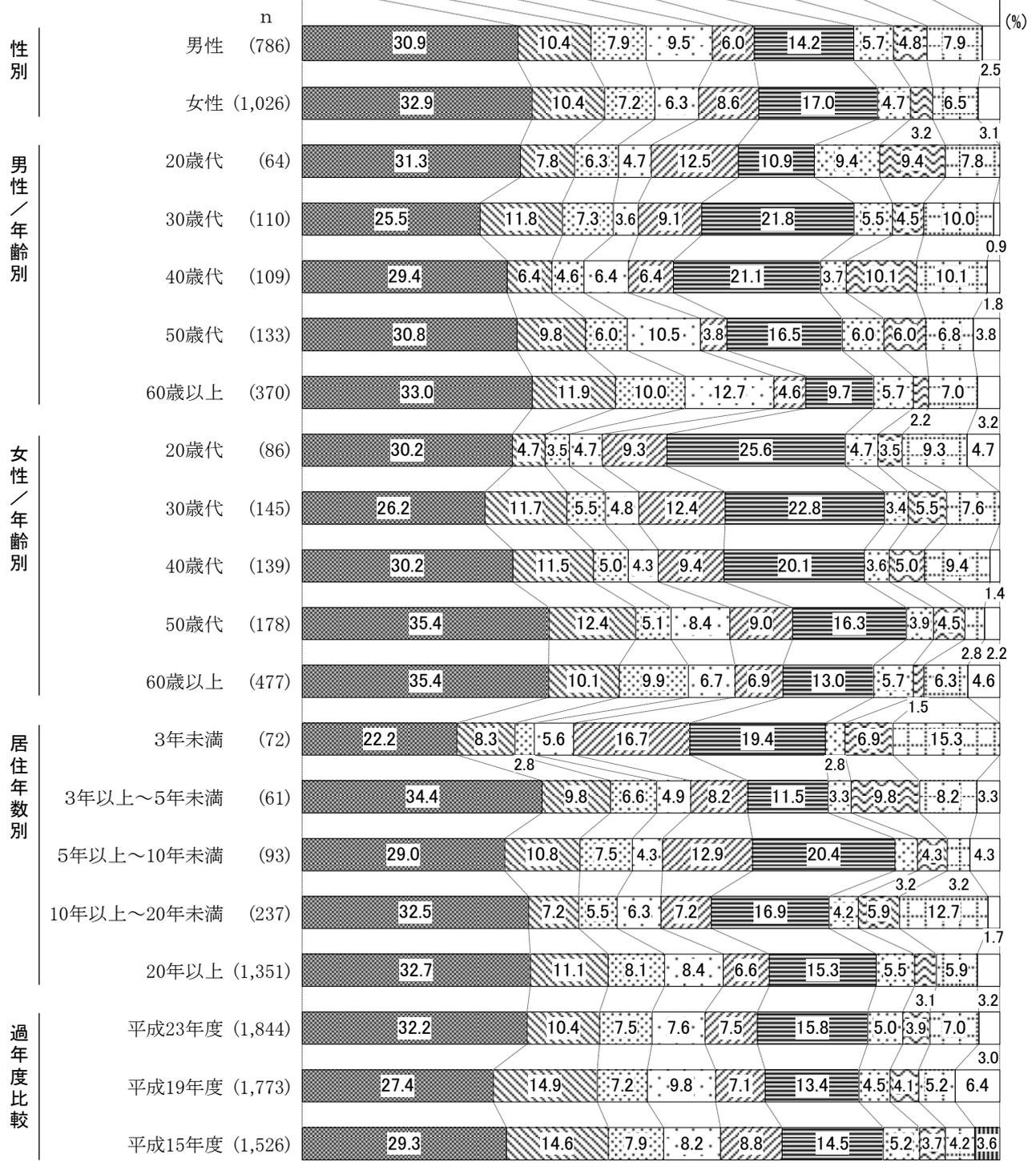
(n = 1,844)

1. 資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る	32.2%
2. 市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる	10.4
3. 一般家庭から排出されるごみの分別収集をさらに徹底する	7.5
4. 省資源・省エネルギーの啓発運動を積極的に行い、環境問題の重要性を呼びかける	7.6
5. 再生紙の利用など、省資源のための具体策を積極的に取り入れる	7.5
6. 市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる	15.8
7. 環境問題に取り組んでいる市民団体や消費者団体を援助・育成する	5.0
8. その他	3.9
9. 特にない	7.0
(無回答)	3.0



ごみ減量化のために市に望むことについては、「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」が32.2%と最も高くなっている。次いで「市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる」(15.8%)、「市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる」(10.4%)などの順となっている。

無回答  
 特にな  
 その他  
 環境問題や消費者団体が援助・育成する  
 市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる  
 再生紙の利用など、省資源のための具体策を積極的に取り入れる  
 省資源・省エネルギーの啓発運動の重要性を呼びかける  
 一般家庭から排出されるごみの分別収集をさらに徹底する  
 市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる  
 資源回収を徹底的に行い、ご



### 〈性別〉

「省資源・省エネルギーの啓発運動を積極的に行い、環境問題の重要性を呼びかける」は男性（9.5%）が女性（6.3%）を3.2ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」は女性では50歳以上で3割台半ばと高くなっている。「市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる」は男性では30歳代と40歳代で2割を超えて高くなっている。また、女性では年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。

### 〈居住年数別〉

「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」は3年以上～5年未満と10年以上～20年未満、20年以上では3割台と高くなっている。「市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる」は3年未満と5年以上～10年未満で2割前後と高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」は4.8ポイント増加している。「市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる」は4.5ポイント減少している。

## 6. 福祉やボランティア活動

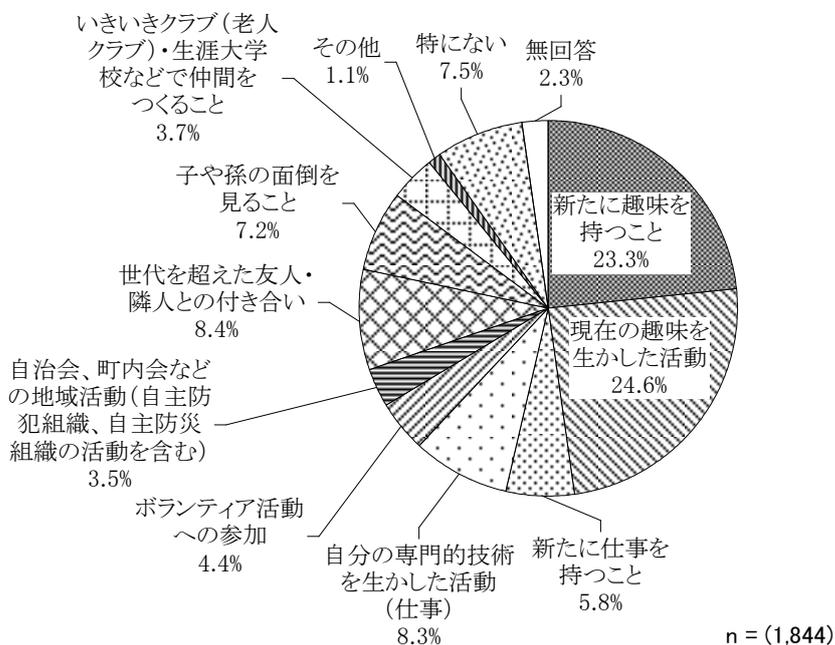
### (1) 老後の生きがい

◇ 「現在の趣味を生かした活動」と「新たに趣味を持つこと」が2割台半ば

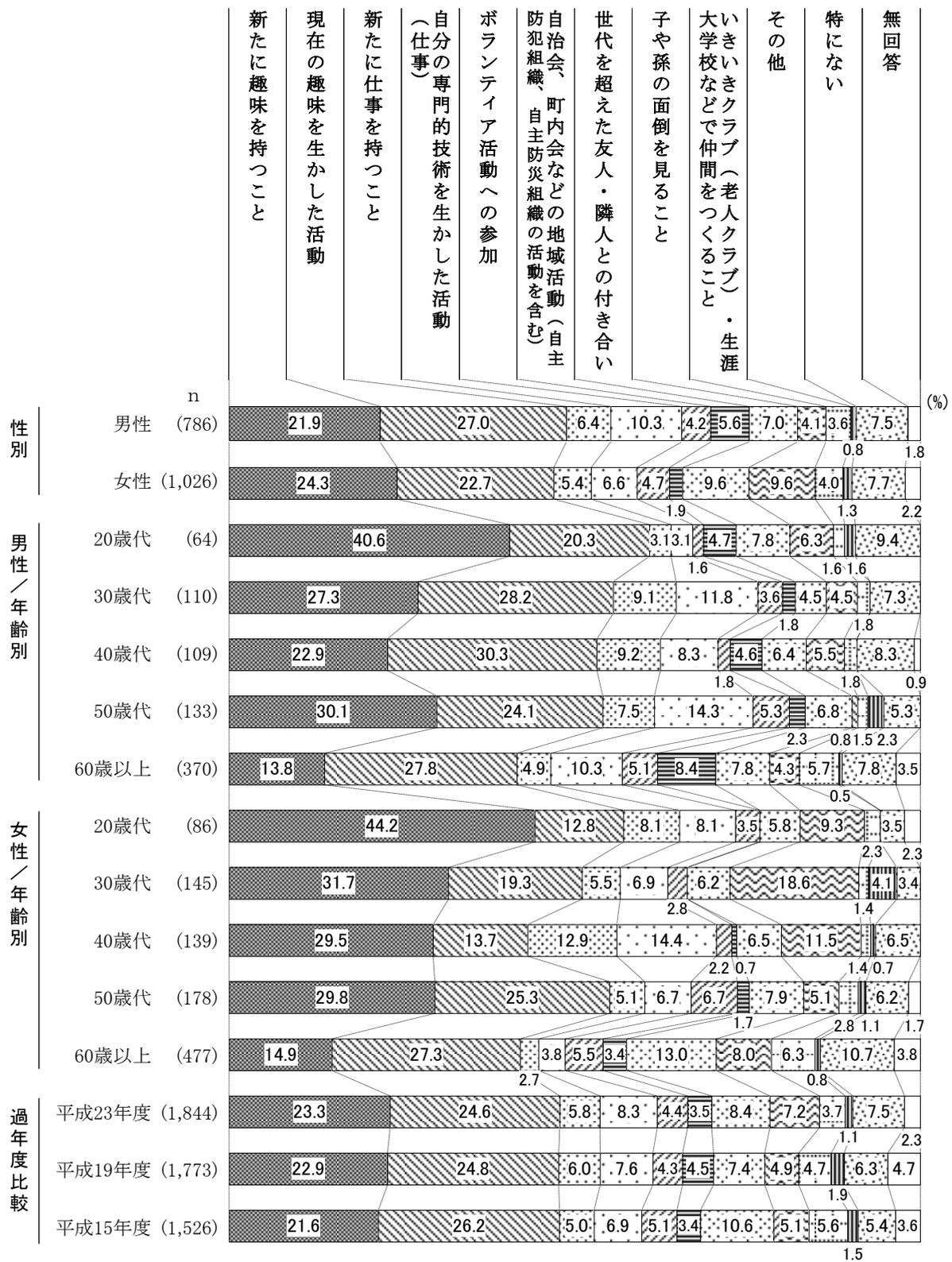
【問14】あなたは老後の生活として、どのようなことに生きがいを求めたいとお考えですか。  
次の中から1つだけ選んでください。

(n = 1,844)

1. 新たに趣味を持つこと	23.3%
2. 現在の趣味を生かした活動	24.6
3. 新たに仕事を持つこと	5.8
4. 自分の専門的技術を生かした活動（仕事）	8.3
5. ボランティア活動への参加	4.4
6. 自治会、町内会などの地域活動（自主防犯組織、自主防災組織の活動を含む）	3.5
7. 世代を超えた友人・隣人との付き合い	8.4
8. 子や孫の面倒を見ること	7.2
9. いきいきクラブ（老人クラブ）・生涯大学校などで仲間をつくること	3.7
10. その他	1.1
11. 特にない	7.5
（無回答）	2.3



老後の生きがいについては、「現在の趣味を生かした活動」が24.6%と最も高くなっている。次いで「新たに趣味を持つこと」(23.3%)、「世代を超えた友人・隣人との付き合い」(8.4%)、「自分の専門的技術を生かした活動（仕事）」(8.3%)などの順となっている。



### 〈性別〉

「現在の趣味を生かした活動」、「自分の専門的技術を生かした活動（仕事）」、「自治会、町内会などの地域活動（自主防犯組織、自主防災組織の活動を含む）」は男性が女性をそれぞれ4.3ポイント、3.7ポイント、3.7ポイント上回っている。一方、「子や孫の面倒を見ること」は女性が男性を5.5ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「現在の趣味を生かした活動」は男性では40歳代で30.3%と最も高く、女性では60歳以上で27.3%と最も高くなっている。「新たに趣味を持つこと」は男女ともに20歳代で4割を超えて最も高く、60歳以上では1割台半ばと最も低くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

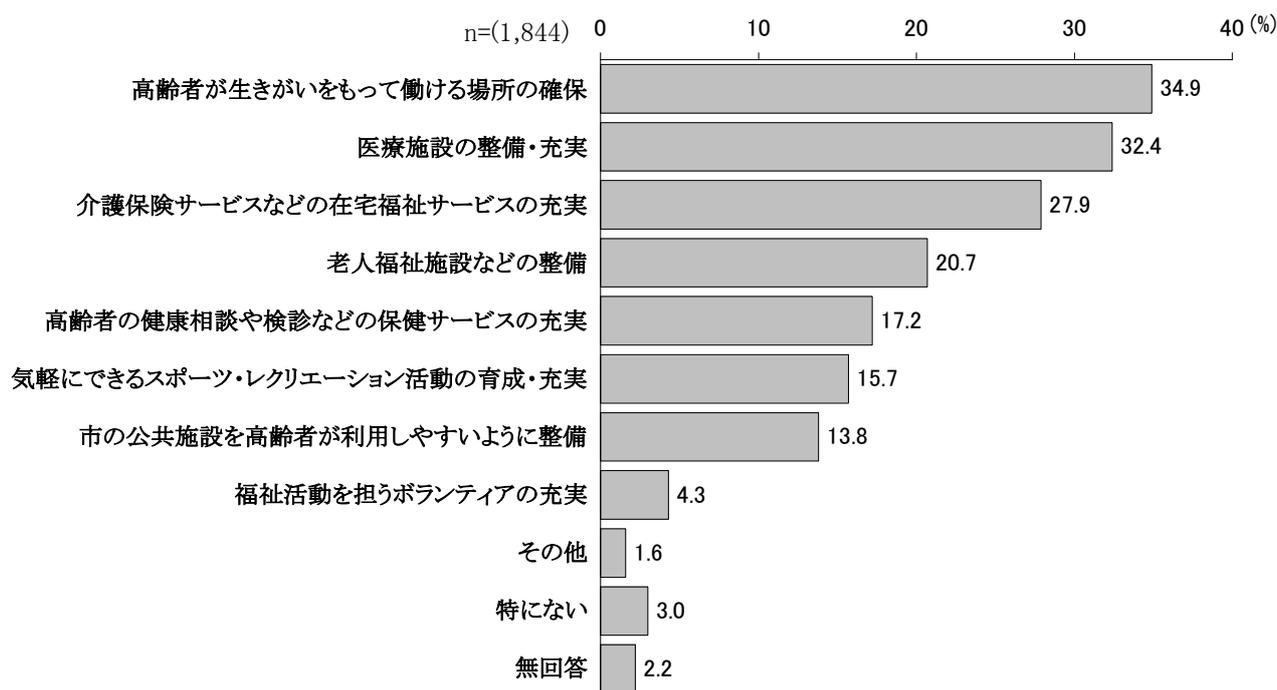
## (2) 高齢社会に向けての市への期待

◇ 「高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保」が3割台半ば

【問15】 高齢社会が進む中、あなたは市にどのようなことを期待しますか。次の中から2つ以内で選んでください。

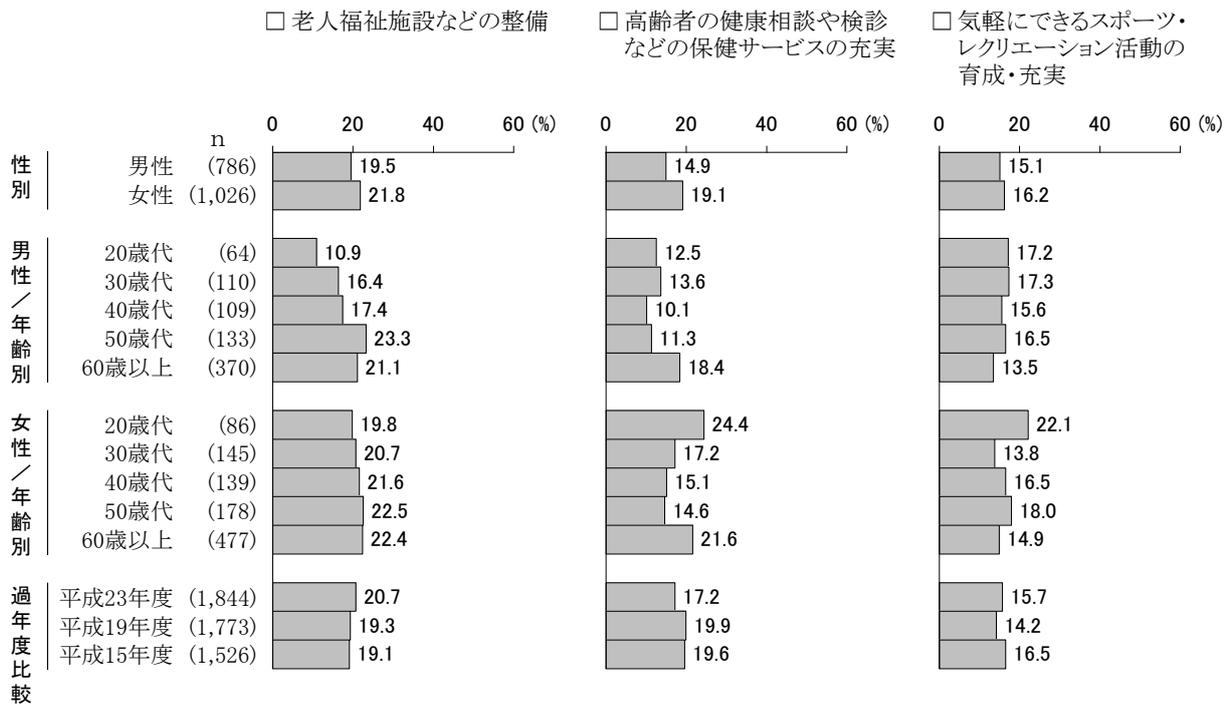
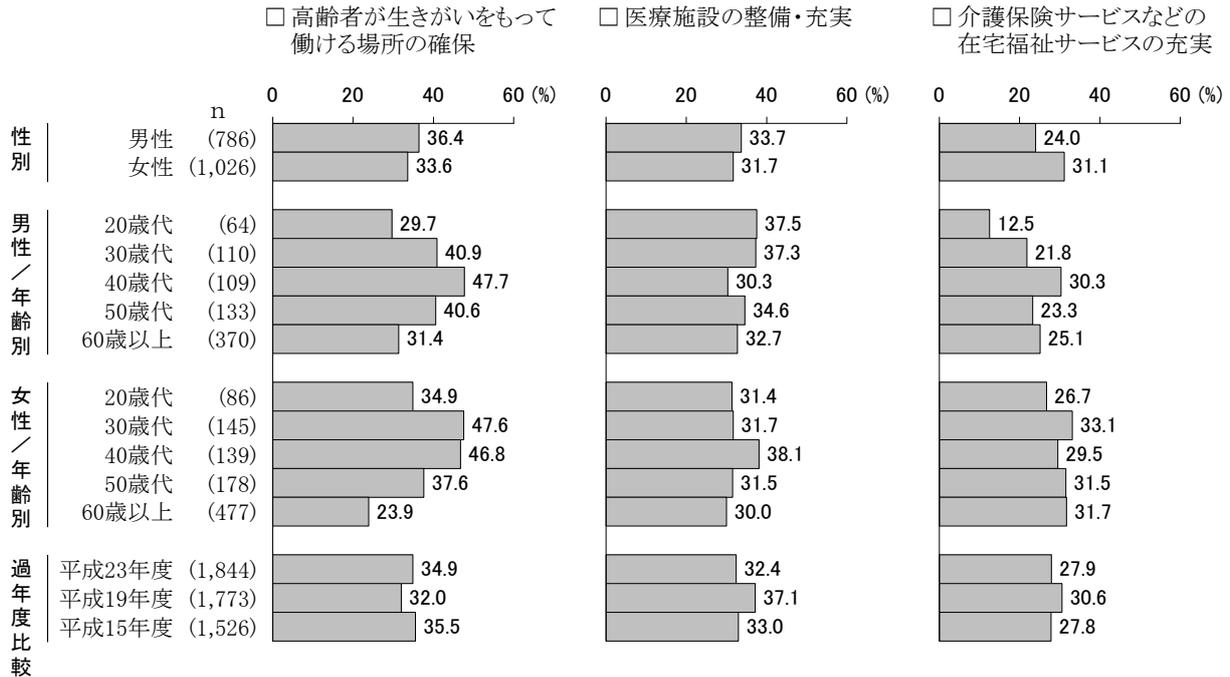
(n=1,844)

1. 高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保	34.9%
2. 医療施設の整備・充実	32.4
3. 介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実	27.9
4. 老人福祉施設などの整備	20.7
5. 高齢者の健康相談や検診などの保健サービスの充実	17.2
6. 市の公共施設を高齢者が利用しやすいように整備	13.8
7. 気軽にできるスポーツ・レクリエーション活動の育成・充実	15.7
8. 福祉活動を担うボランティアの充実	4.3
9. その他	1.6
10. 特にない	3.0
(無回答)	2.2



高齢社会が進む中、市に期待することについては、「高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保」が34.9%と最も高くなっている。次いで「医療施設の整備・充実」(32.4%)、「介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実」(27.9%)、「老人福祉施設などの整備」(20.7%)などの順となっている。

## 上位6項目の属性別



### 〈性別〉

「介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実」と「高齢者の健康相談や検診などの保健サービスの充実」は女性が男性をそれぞれ7.1ポイント、4.2ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保」は男性では40歳代で47.7%と最も高く、女性では30歳代と40歳代で4割台半ばを超えて高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「医療施設の整備・充実」は4.7ポイント減少している。

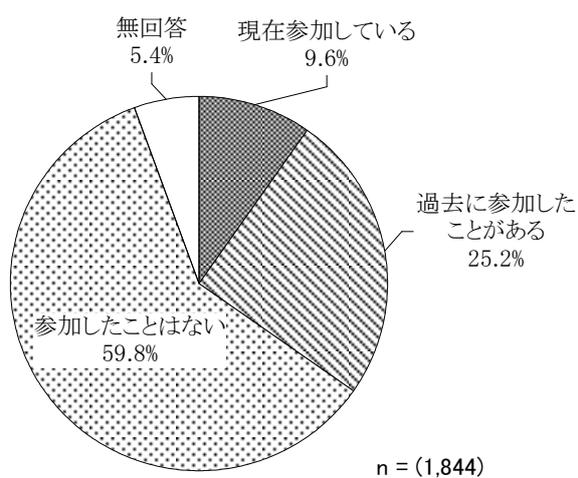
### (3) ボランティア活動への参加

◇ 『活動経験がある』は3割台半ば

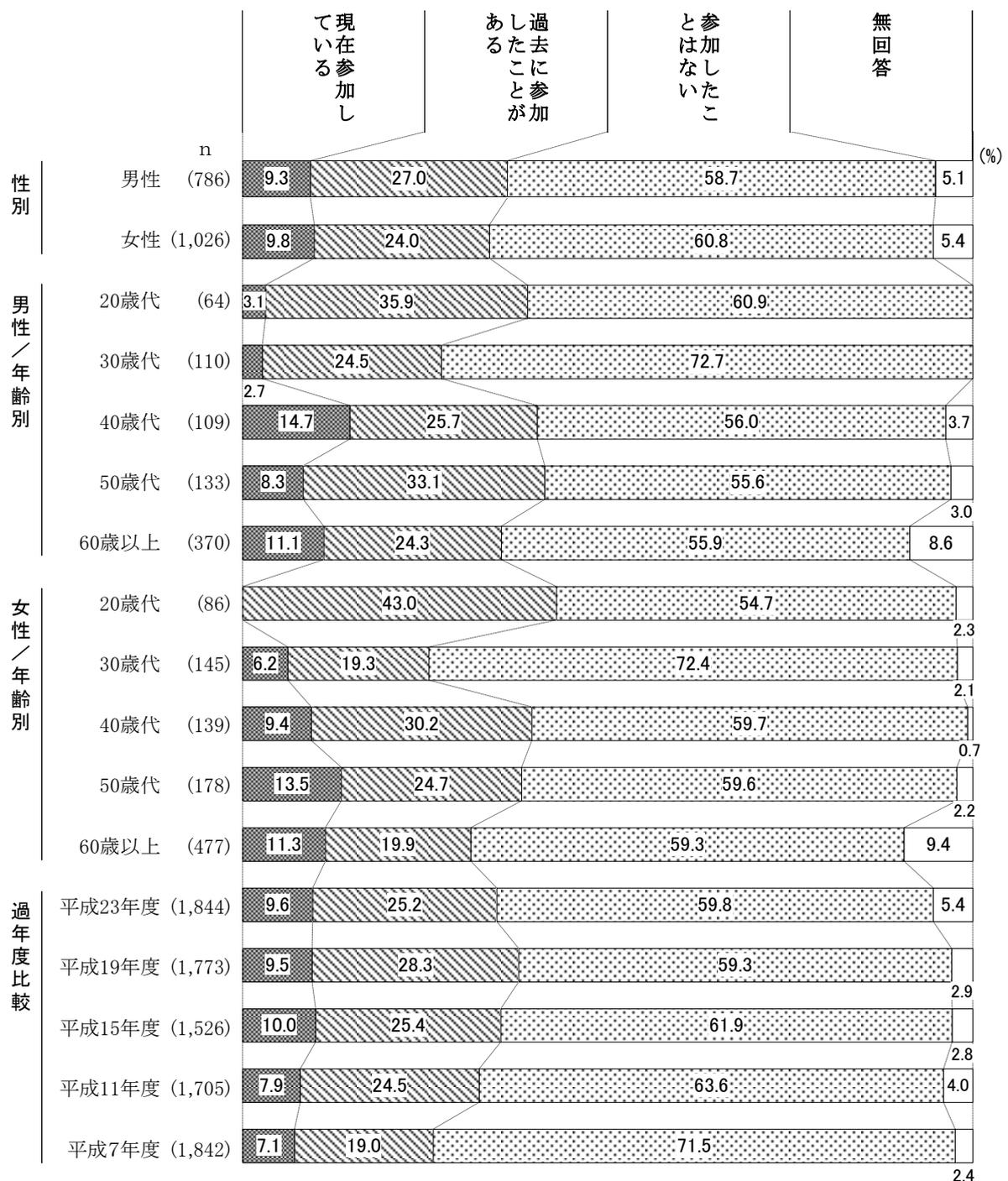
【問16】あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n = 1,844)

1. 現在参加している	9.6%	3. 参加したことはない	59.8
2. 過去に参加したことがある	25.2	(無回答)	5.4



ボランティア活動への参加状況は、「現在参加している」(9.6%)と「過去に参加したことがある」(25.2%)を合わせた『活動経験がある』(34.8%)は3割台半ばとなっている。一方、「参加したことはない」(59.8%)は約6割となっている。



### 〈性別〉

『活動経験がある』は男性（36.3%）と女性（33.8%）では大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

『活動経験がある』は男性では40歳代と50歳代で4割を超えて最も高くなっている。また、女性では20歳代で43.0%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、『活動経験がある』は3.0ポイント減少している。

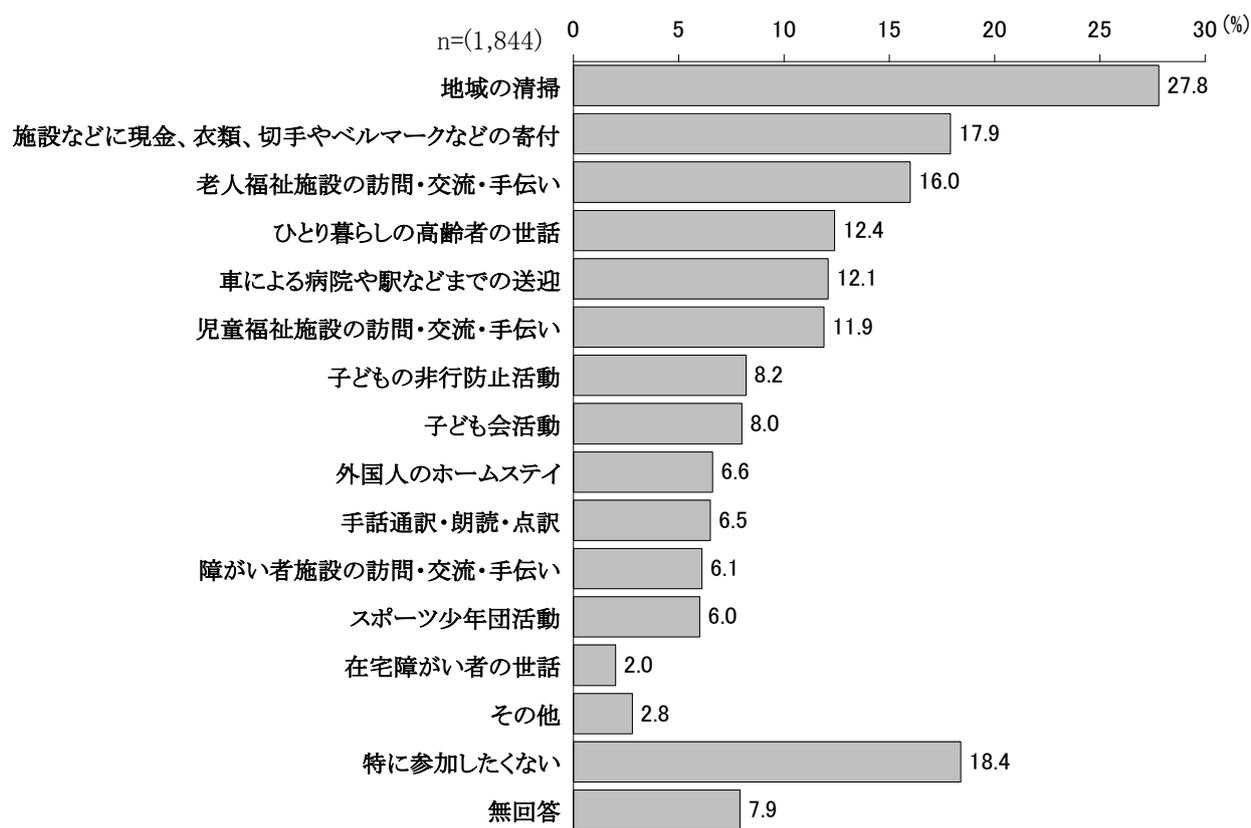
#### (4) やってみたいと思うボランティア活動

◇ 「地域の清掃」が約3割

【問17】 次のようなボランティア活動について、あなたがやってみたいと思われる活動はありますか。次の中から3つ以内で選んでください。

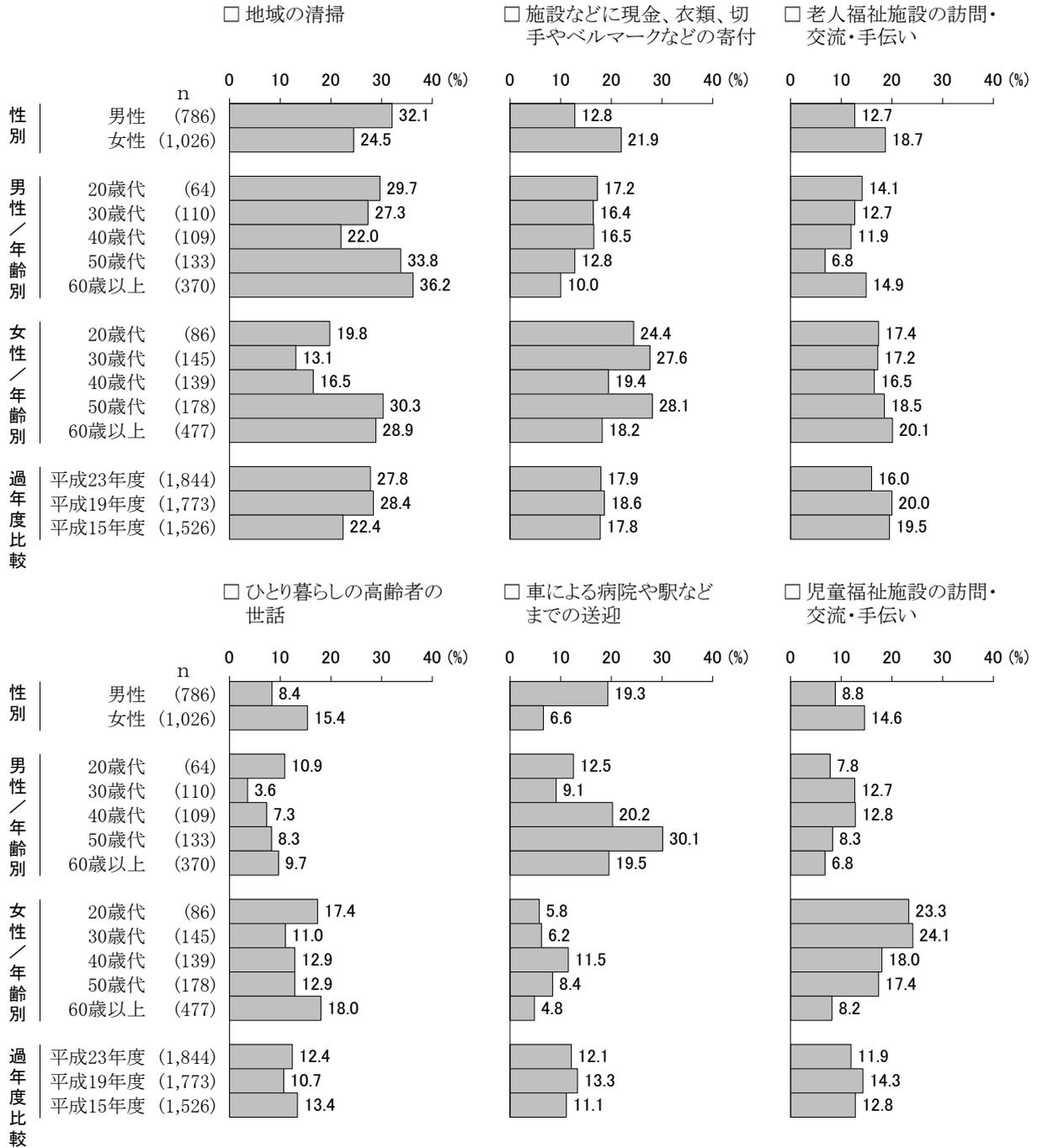
(n=1,844)

1. 老人福祉施設の訪問・交流・手伝い	16.0%	8. 手話通訳・朗読・点訳	6.5
2. 児童福祉施設の訪問・交流・手伝い	11.9	9. 外国人のホームステイ	6.6
3. 障がい者施設の訪問・交流・手伝い	6.1	10. 子ども会活動	8.0
4. 在宅障がい者の世話	2.0	11. 地域の清掃	27.8
5. ひとり暮らしの高齢者の世話	12.4	12. スポーツ少年団活動	6.0
6. 施設などに現金、衣類、切手や ベルマークなどの寄付	17.9	13. 子どもの非行防止活動	8.2
7. 車による病院や駅などまでの送迎	12.1	14. その他	2.8
		15. 特に参加したくない (無回答)	18.4 7.9



やってみたいボランティア活動では、「地域の清掃」が27.8%と最も高くなっている。次いで「施設などに現金、衣類、切手やベルマークなどの寄付」(17.9%)、「老人福祉施設の訪問・交流・手伝い」(16.0%)、「ひとり暮らしの高齢者の世話」(12.4%)、「車による病院や駅などまでの送迎」(12.1%)、「児童福祉施設の訪問・交流・手伝い」(11.9%)などの順となっている。

## 上位6項目の属性別



### 〈性別〉

「地域の清掃」と「車による病院や駅などまでの送迎」は男性が女性をそれぞれ7.6ポイント、12.7ポイント上回っている。一方、「施設などに現金、衣類、切手やベルマークなどの寄付」「老人福祉施設の訪問・交流・手伝い」「ひとり暮らしの高齢者の世話」「児童福祉施設の訪問・交流・手伝い」は女性が男性をそれぞれ9.1ポイント、6.0ポイント、7.0ポイント、5.8ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「地域の清掃」は男性では40歳代までは年齢が上がるほど割合は低くなり、50歳以上では大幅に高くなっている。また、女性でも30歳代と40歳代で他と比べて割合は低いが、50歳以上では大幅に高くなっている。「施設などに現金、衣類、切手やベルマークなどの寄付」は女性では30歳代と50歳代で約3割と高くなっている。「車による病院や駅などまでの送迎」は男性50歳代で30.1%と突出して高くなっている。「児童福祉施設の訪問・交流・手伝い」は女性ではおおむね年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「老人福祉施設の訪問・交流・手伝い」は4.0ポイント減少している。

## 7. 男女共同参画

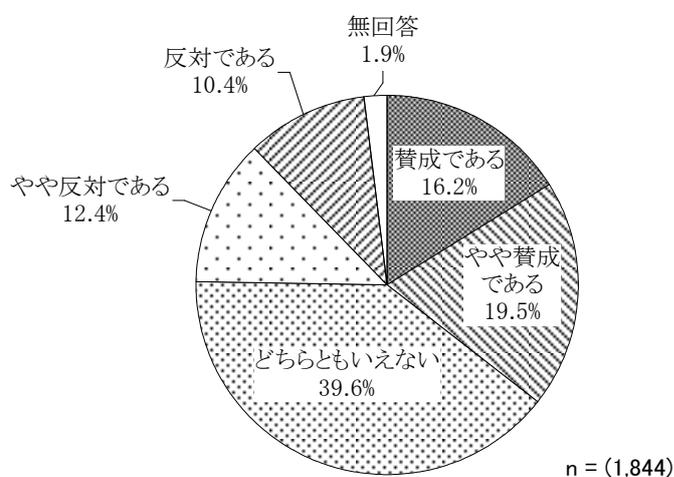
### (1) 「女性は家事・育児を行い、男性は仕事を行う」という考え方

◇ 『賛成である（計）』は3割台半ば

【問18】あなたは「女性が家事・育児を行い、男性が仕事を行う」という考え方について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,844)

1. 賛成である	16.2%	4. やや反対である	12.4
2. やや賛成である	19.5	5. 反対である	10.4
3. どちらともいえない	39.6	(無回答)	1.9



「女性が家事・育児を行い、男性が仕事を行う」という考え方については、「賛成である」(16.2%)と「やや賛成である」(19.5%)を合わせた『賛成である(計)』(35.7%)は3割台半ばとなっている。一方、「やや反対である」(12.4%)と「反対である」(10.4%)を合わせた『反対である(計)』(22.8%)は2割を超えている。

#### 〈性別〉

『賛成である(計)』は男性(39.4%)が女性(32.6%)を6.8ポイント上回っている。

#### 〈年齢別〉

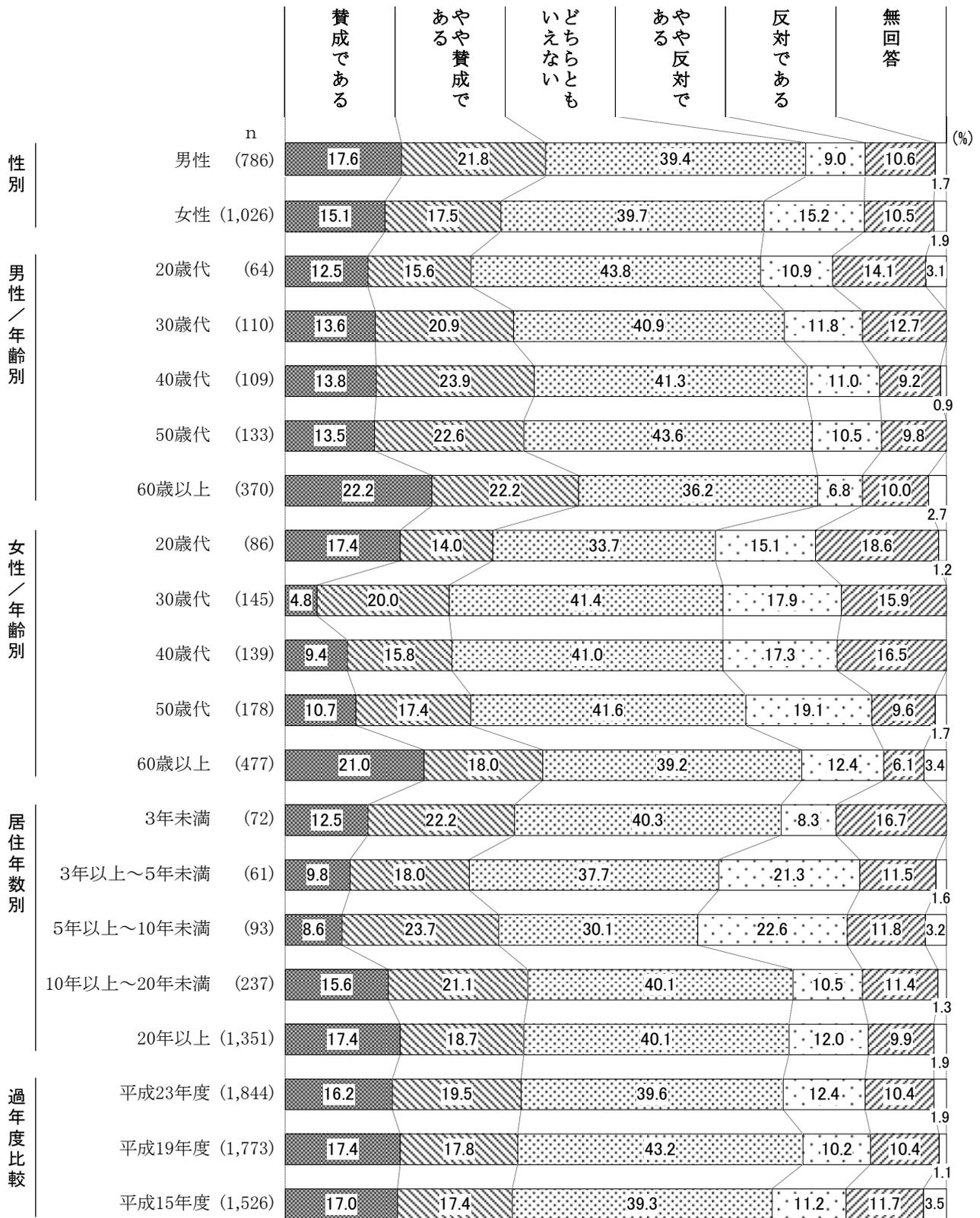
『賛成である(計)』は20歳代では女性が男性を上回っているが、他の年齢層では男性が女性を上回っている。男性では60歳以上で44.4%と最も高く、30歳以上の女性では年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

#### 〈居住年数別〉

『賛成である(計)』は3年以上5年未満で27.8%と3割未満で低くなっている。

#### 〈過年度比較〉

前回調査(平成19年度)と比較すると、ほとんど変化はみられない。



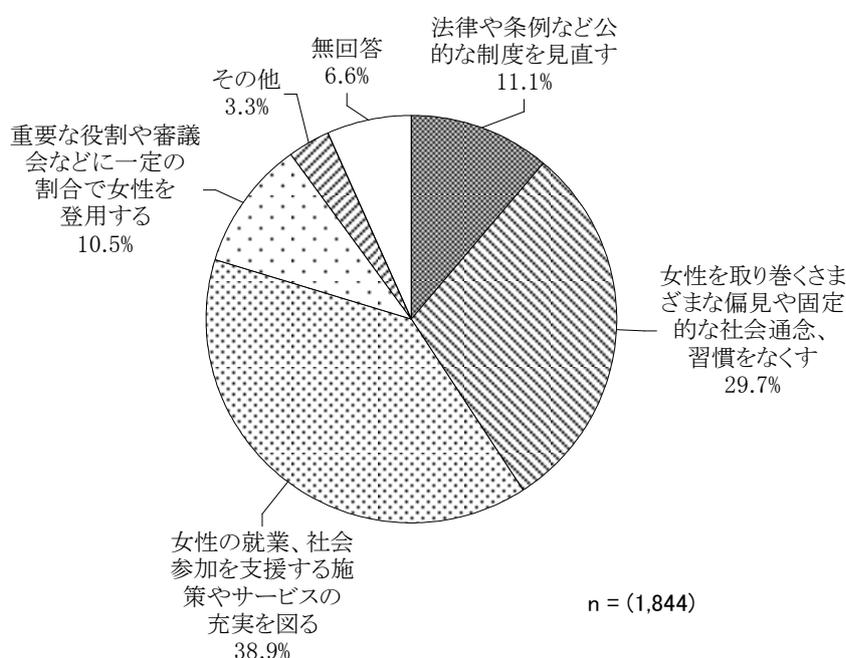
## (2) 男女共同参画社会実現において重要なこと

◇ 「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」は約4割

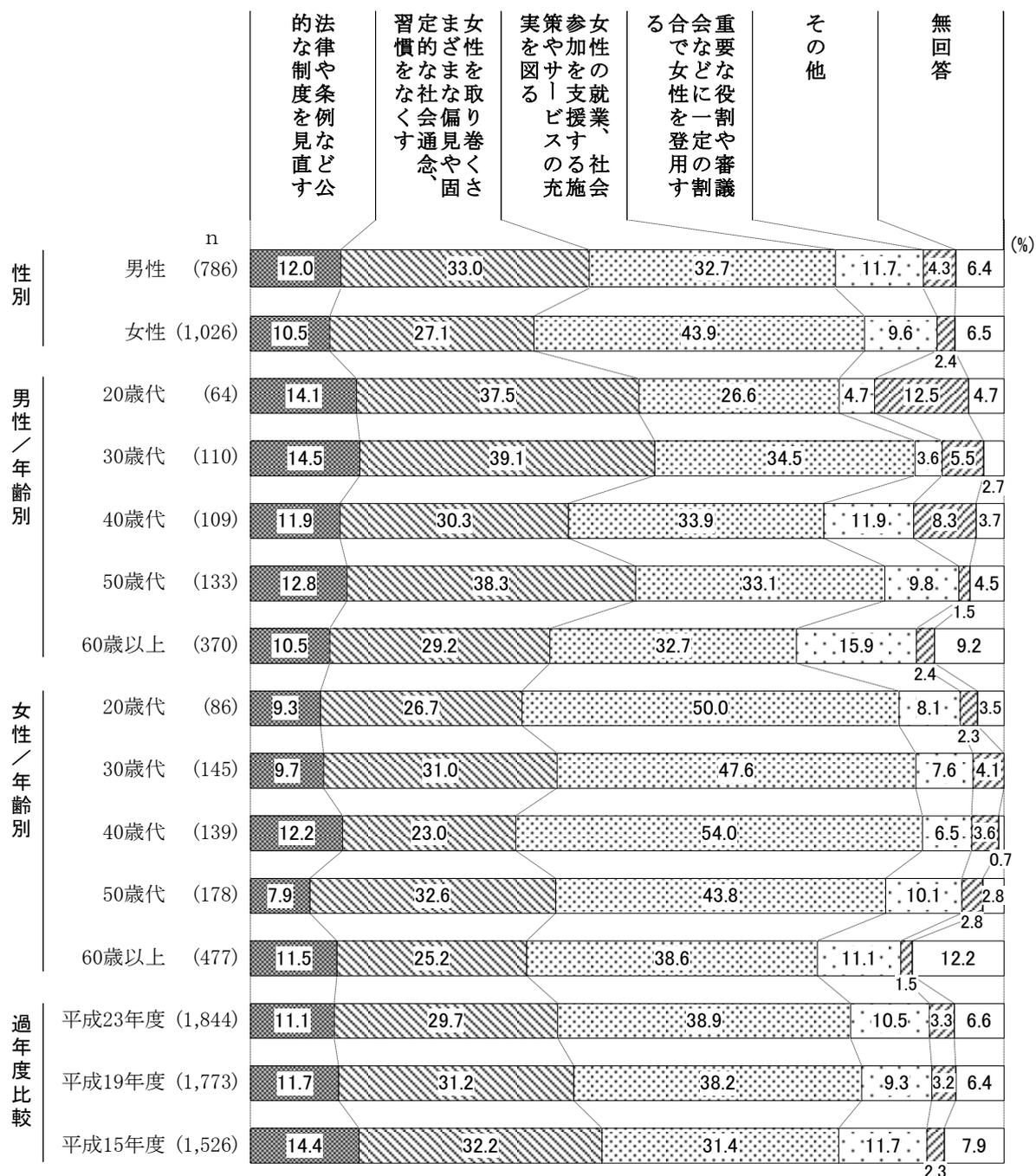
【問19】男女共同参画社会を実現していくためには、何が最も重要だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n = 1,844)

1. 法律や条例など公的な制度を見直す	11.1%
2. 女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす	29.7
3. 女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る	38.9
4. 重要な役割や審議会などに一定の割合で女性を登用する	10.5
5. その他	3.3
(無回答)	6.6



男女共同参画社会を実現していくために重要だと思うことについては、「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」が38.9%と最も高くなっている。次いで「女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす」(29.7%)、「法律や条例など公的な制度を見直す」(11.1%)、「重要な役割や審議会などに一定の割合で女性を登用する」(10.5%)の順となっている。



### 〈性別〉

「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」は女性（43.9%）が男性（32.7%）を11.2ポイント上回っている。「女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす」は男性（33.0%）が女性（27.1%）を5.9ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」は男性では20歳代で26.6%と3割未満で低くなっており、女性では20歳代と40歳代で5割台と高くなっている。「女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす」は男性では30歳代と50歳代で約4割と高く、女性でも30歳代と50歳代で3割を超えて高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、どの項目でも大きな変化はみられない。

## 8. 市政への参加意識

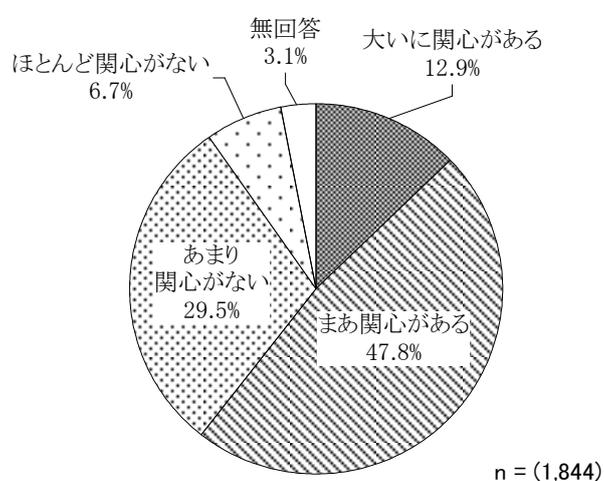
### (1) 市政への関心度

◇ 『関心がある（計）』は6割を超える

【問20】あなたは、市政についてどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n = 1,844)

1. 大いに関心がある	12.9%	3. あまり関心がない	29.5
2. まあ関心がある	47.8	4. ほとんど関心がない	6.7
		(無回答)	3.1



市政への関心度については、「大いに関心がある」(12.9%)と「まあ関心がある」(47.8%)を合わせた『関心がある(計)』(60.7%)は6割を超えている。

一方、「あまり関心がない」(29.5%)と「ほとんど関心がない」(6.7%)を合わせた『関心がない(計)』(36.2%)は3割台半ばとなっている。

#### 〈性別〉

『関心がある(計)』は男性(62.5%)が女性(59.3%)を3.2ポイント上回っている。

#### 〈年齢別〉

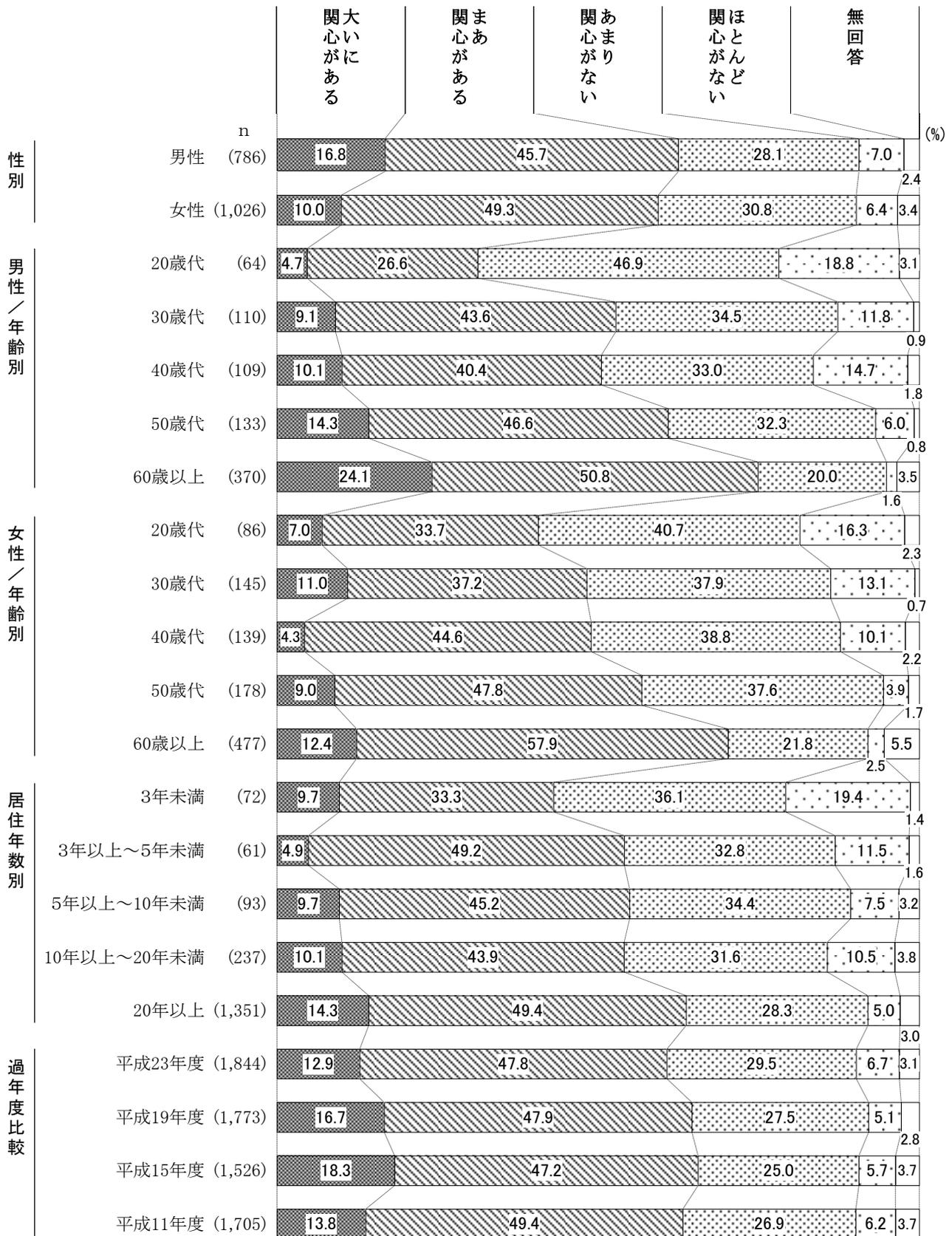
『関心がある(計)』は男女ともに60歳以上で最も高く、7割台となっている。

#### 〈居住年数別〉

『関心がある(計)』は3年未満で43.0%と最も低くなっているが、20年以上では63.7%と最も高くなっている。

#### 〈過年度比較〉

前回調査(平成19年度)と比較すると、『関心がある(計)』は3.9ポイント減少している。



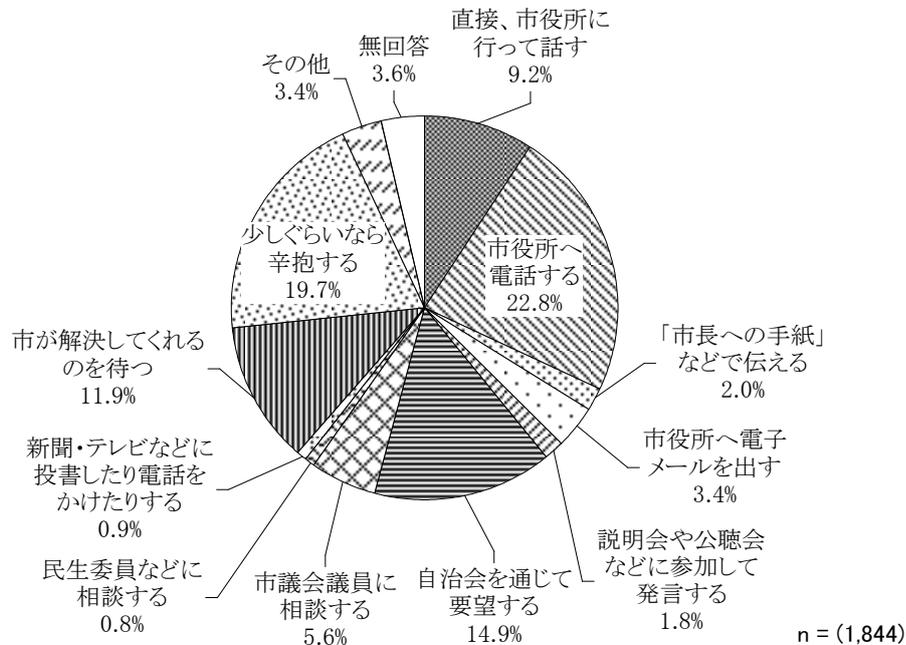
## (2) 市政への意見や不満の伝達

◇ 「市役所へ電話する」は2割を超える

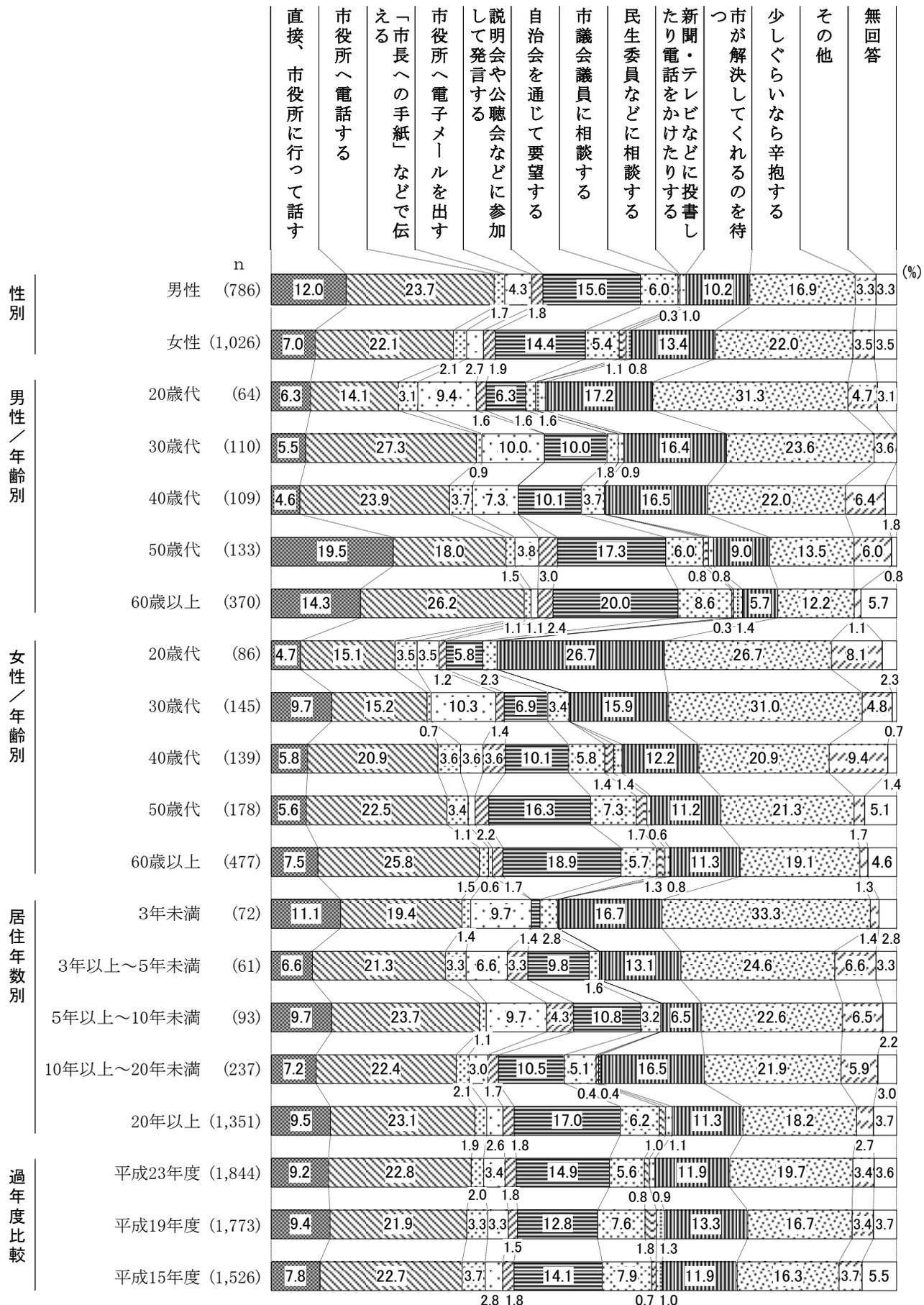
【問21】あなたは、市政に関することで意見や不満があるとき、まず、どのようにしますか。  
次の中から1つだけ選んでください。

(n = 1,844)

1. 直接、市役所に行って話す	9.2%	8. 民生委員などに相談する	0.8
2. 市役所へ電話する	22.8	9. 新聞・テレビなどに投書したり 電話をかけたりする	0.9
3. 「市長への手紙」などで伝える	2.0	10. 市が解決してくれるのを待つ	11.9
4. 市役所へ電子メールを出す	3.4	11. 少しぐらいなら辛抱する	19.7
5. 説明会や公聴会などに参加して発言する	1.8	12. その他	3.4
6. 自治会を通じて要望する	14.9	(無回答)	3.6
7. 市議会議員に相談する	5.6		



市政に関する意見や不満を伝達する方法としては、「市役所へ電話する」が22.8%と最も高くなっている。次いで「少しぐらいなら辛抱する」(19.7%)、「自治会を通じて要望する」(14.9%)、「市が解決してくれるのを待つ」(11.9%)などの順となっている。



### 〈性別〉

「少しぐらいなら辛抱する」は女性（22.0%）が男性（16.9%）を5.1ポイント上回っている。「直接、市役所に行って話す」は男性（12.0%）が女性（7.0%）を5.0ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「市役所へ電話する」は男性では30歳代と60歳以上で2割台半ばを超えて高く、女性では年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられ、60歳以上で25.8%と最も高くなっている。「少しぐらいなら辛抱する」は男性では年齢が下がるほど割合は高くなる傾向がみられ、20歳代で31.3%と最も高くなっている。また、女性では30歳代で31.0%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

「少しぐらいなら辛抱する」は居住年数が短いほど割合は高くなる傾向がみられ、3年未満で33.3%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「少しぐらいなら辛抱する」は3.0ポイント増加している。

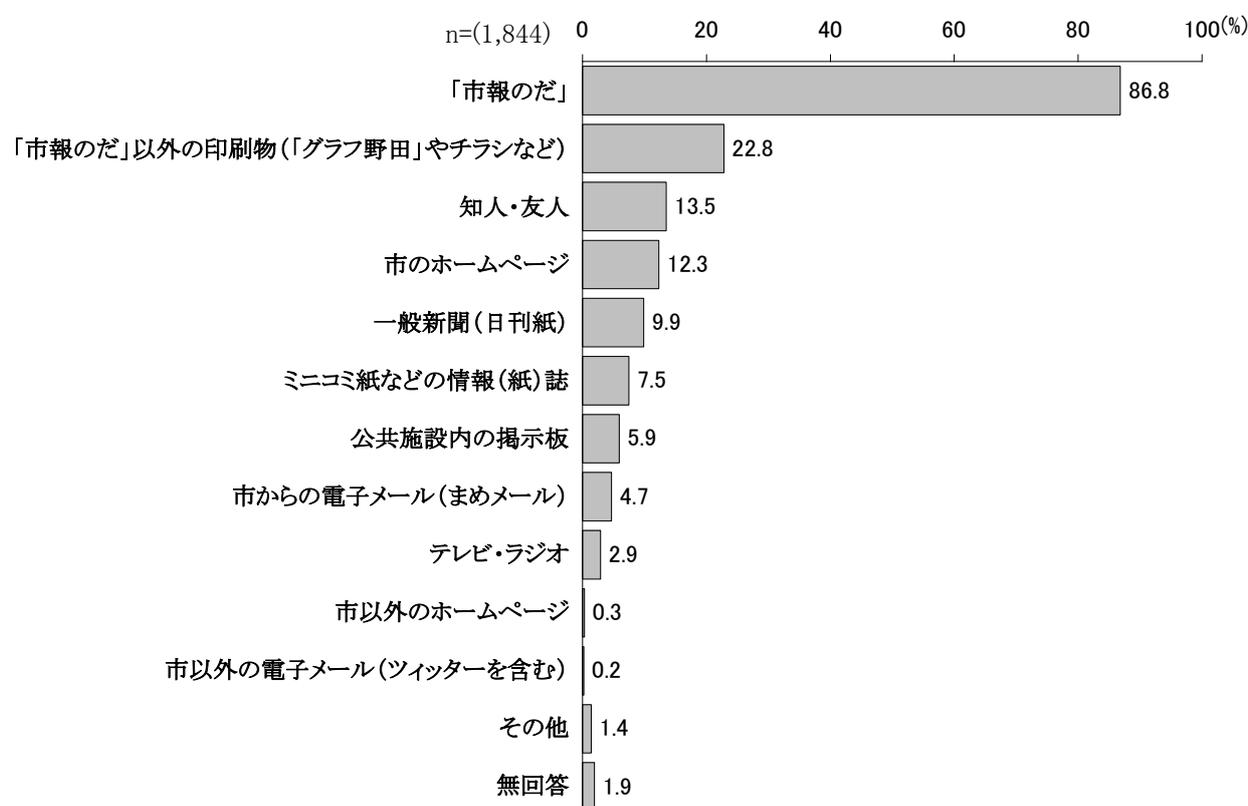
### (3) 市からの情報の媒体

◇ 『市報のだ』は8割台半ば

【問22】あなたは、市に関する情報を主に何によって知りますか。次の中から2つ以内で選んでください。

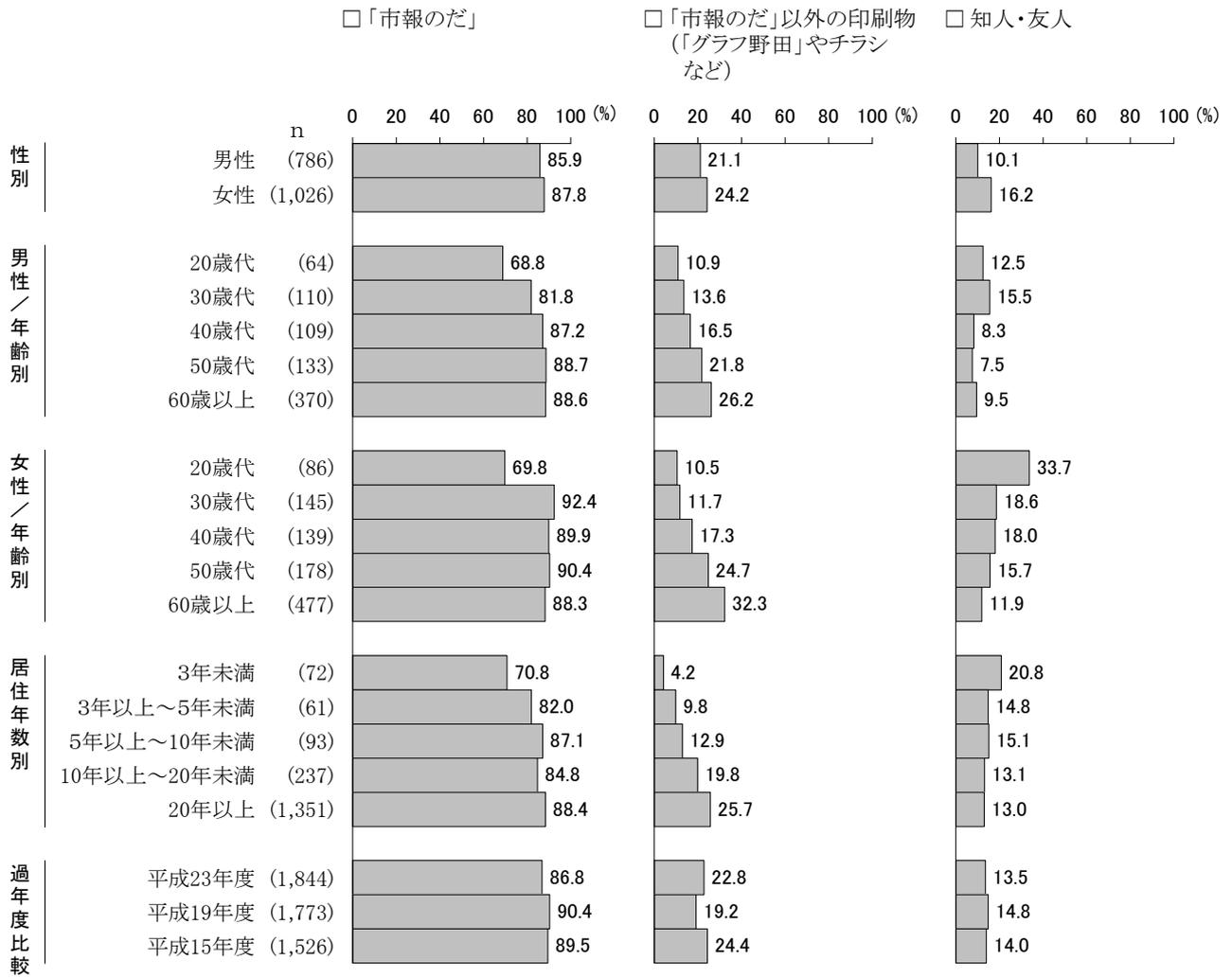
(n=1,844)

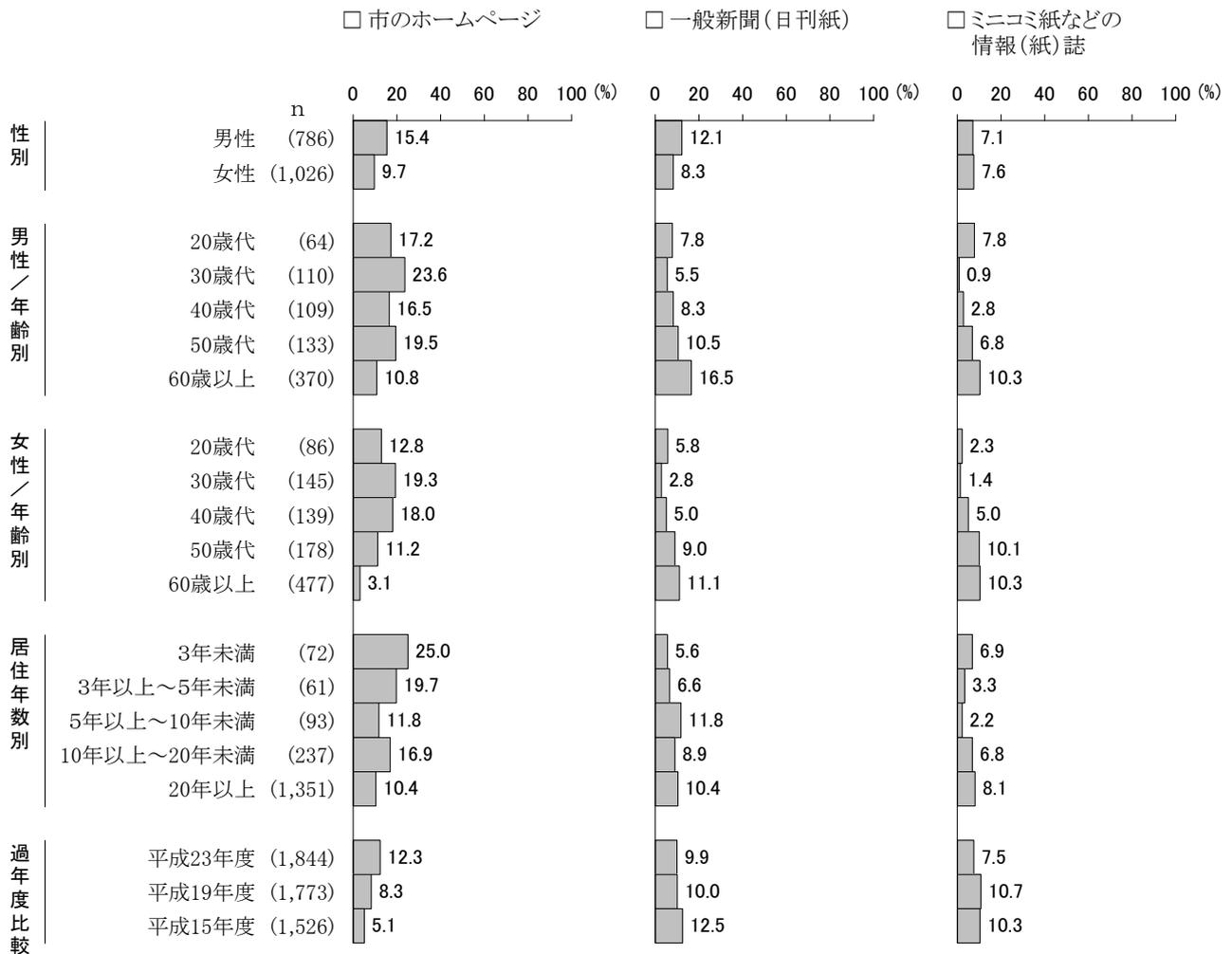
1. 「市報のだ」	86.8%	7. 公共施設内の掲示板	5.9
2. 「市報のだ」以外の印刷物 （「グラフ野田」やチラシなど）	22.8	8. 一般新聞（日刊紙）	9.9
3. 市のホームページ	12.3	9. ミニコミ紙などの情報（紙）誌	7.5
4. 市以外のホームページ	0.3	10. テレビ・ラジオ	2.9
5. 市からの電子メール（まめメール）	4.7	11. 知人・友人	13.5
6. 市以外の電子メール（ツイッターを含む）	0.2	12. その他 （無回答）	1.4 1.9



市に関する情報を得る媒体としては、『市報のだ』が86.8%と最も高くなっている。次いで『市報のだ』以外の印刷物（『グラフ野田』やチラシなど）（22.8%）、「知人・友人」（13.5%）、「市のホームページ」（12.3%）などの順となっている。

## 上位6項目の属性別





### 〈性別〉

「知人・友人」は女性（16.2%）が男性（10.1%）を6.1ポイント上回っている。「市のホームページ」は男性（15.4%）が女性（9.7%）を5.7ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

『市報のだ』は男女ともに20歳代で7割未満と低くなっている。『市報のだ』以外の印刷物（『グラフ野田』やチラシなど）は男女ともに年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられ、60歳以上でそれぞれ26.2%、32.3%となっている。「友人・知人」は女性では年齢が下がるほど割合は高くなる傾向がみられ、20歳代で33.7%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

『市報のだ』は3年未満で70.8%と最も低くなっている。『市報のだ』以外の印刷物（『グラフ野田』やチラシなど）は居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられ、20年以上で25.7%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、『市報のだ』は3.6ポイント減少しているが、『市報のだ』以外の印刷物（『グラフ野田』やチラシなど）と「市のホームページ」はそれぞれ3.6ポイント、4.0ポイント増加している。

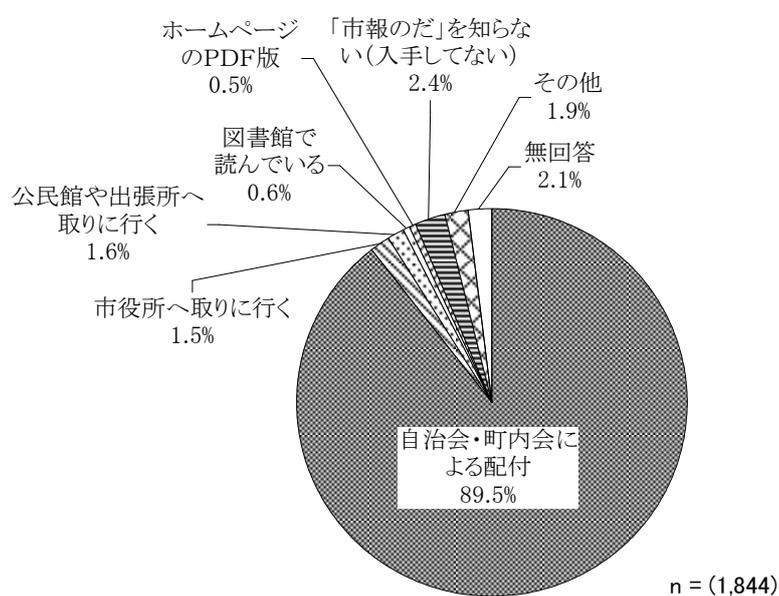
#### (4) 「市報のだ」の入手方法

◇ 「自治会・町内会による配付」は約9割

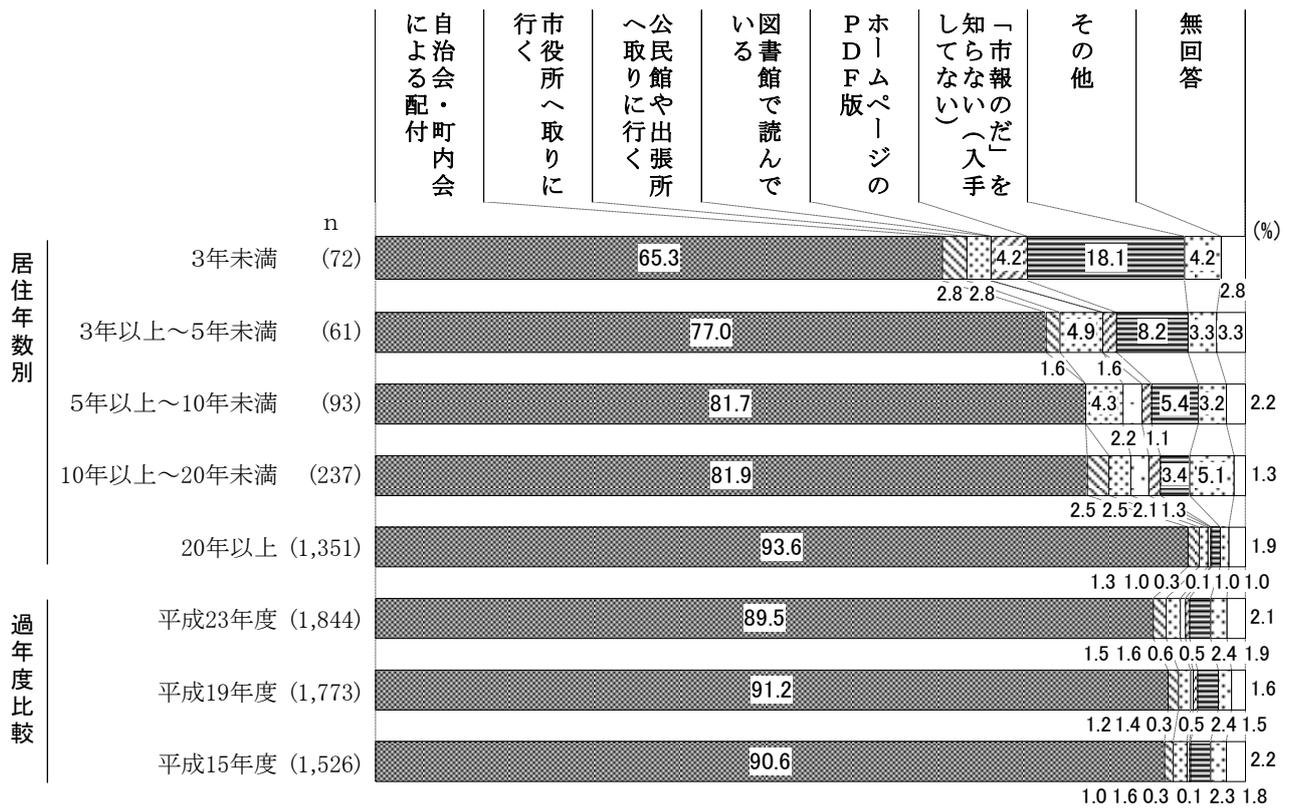
【問23】あなたは「市報のだ」をどのように入手していますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,844)

1. 自治会・町内会による配付	89.5%	5. ホームページのPDF版	0.5
2. 市役所へ取りに行く	1.5	6. 「市報のだ」を知らない(入手してない)	2.4
3. 公民館や出張所へ取りに行く	1.6	7. その他	1.9
4. 図書館で読んでいる	0.6	(無回答)	2.1



「市報のだ」の入手方法では、「自治会・町内会による配布」が89.5%と突出して高くなっている。



### 〈居住年数別〉

「自治会・町内会による配付」は居住年数が長いほど割合は高い傾向がみられ、20年以上で93.6%と最も高くなっている。「『市報のだ』を知らない(入手してない)」は居住年数が短いほど割合は高くなる傾向がみられ、3年未満で18.1%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査(平成19年度)と比較すると、どの項目でも大きな変化はみられない。

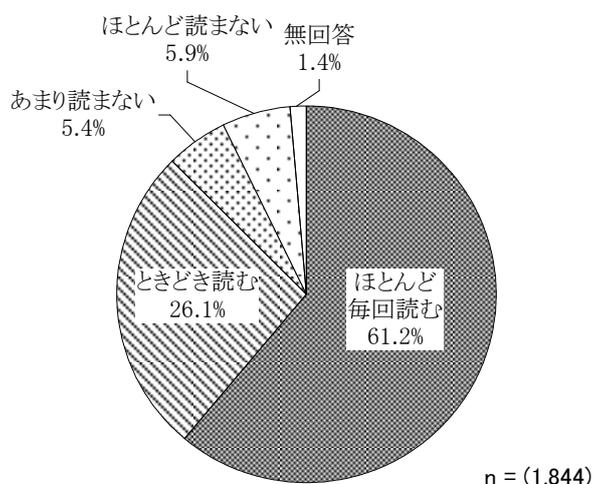
## (5) 「市報のだ」の閲読度

◇ 『読む(計)』は約9割

【問24】あなたは、「市報のだ」をどれぐらい読んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,844)

1. ほとんど毎回読む	61.2%	3. あまり読まない	5.4
2. ときどき読む	26.1	4. ほとんど読まない	5.9
		(無回答)	1.4



「市報のだ」の閲読度については、「ほとんど毎回読む」(61.2%)と「ときどき読む」(26.1%)を合わせた『読む(計)』(87.3%)は約9割となっている。

一方、「あまり読まない」(5.4%)と「ほとんど読まない」(5.9%)を合わせた『読まない(計)』(11.3%)は1割を超えている。

### 〈性別〉

『読む(計)』は女性(89.1%)が男性(85.0%)を4.1ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

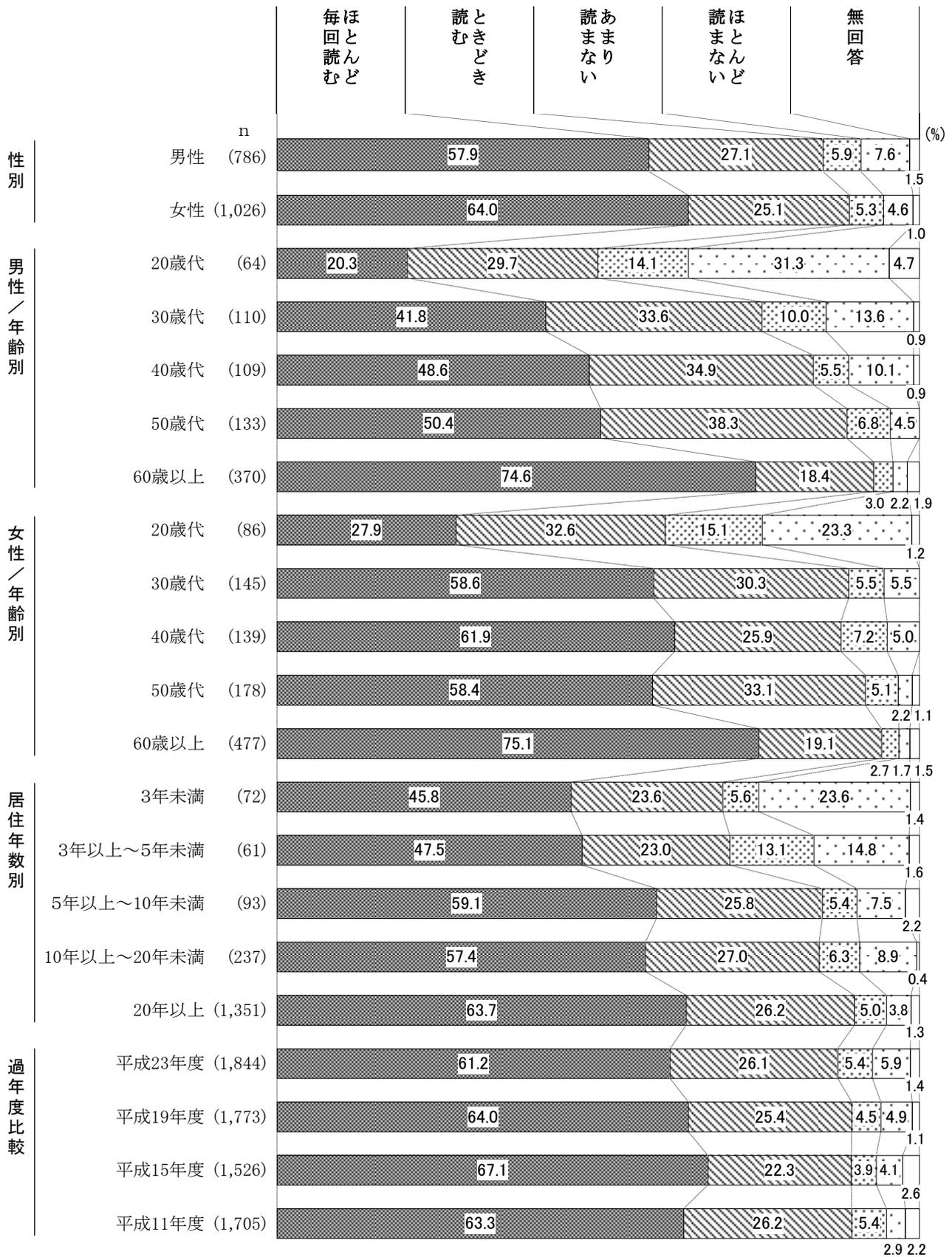
『読む(計)』は男女ともに年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられ、男女の60歳代ではそれぞれ93.0%、94.2%となっている。

### 〈居住年数別〉

『読む(計)』はおおむね居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられ、20年以上で89.9%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査(平成19年度)と比較すると、『読む(計)』はほとんど変化はみられない。



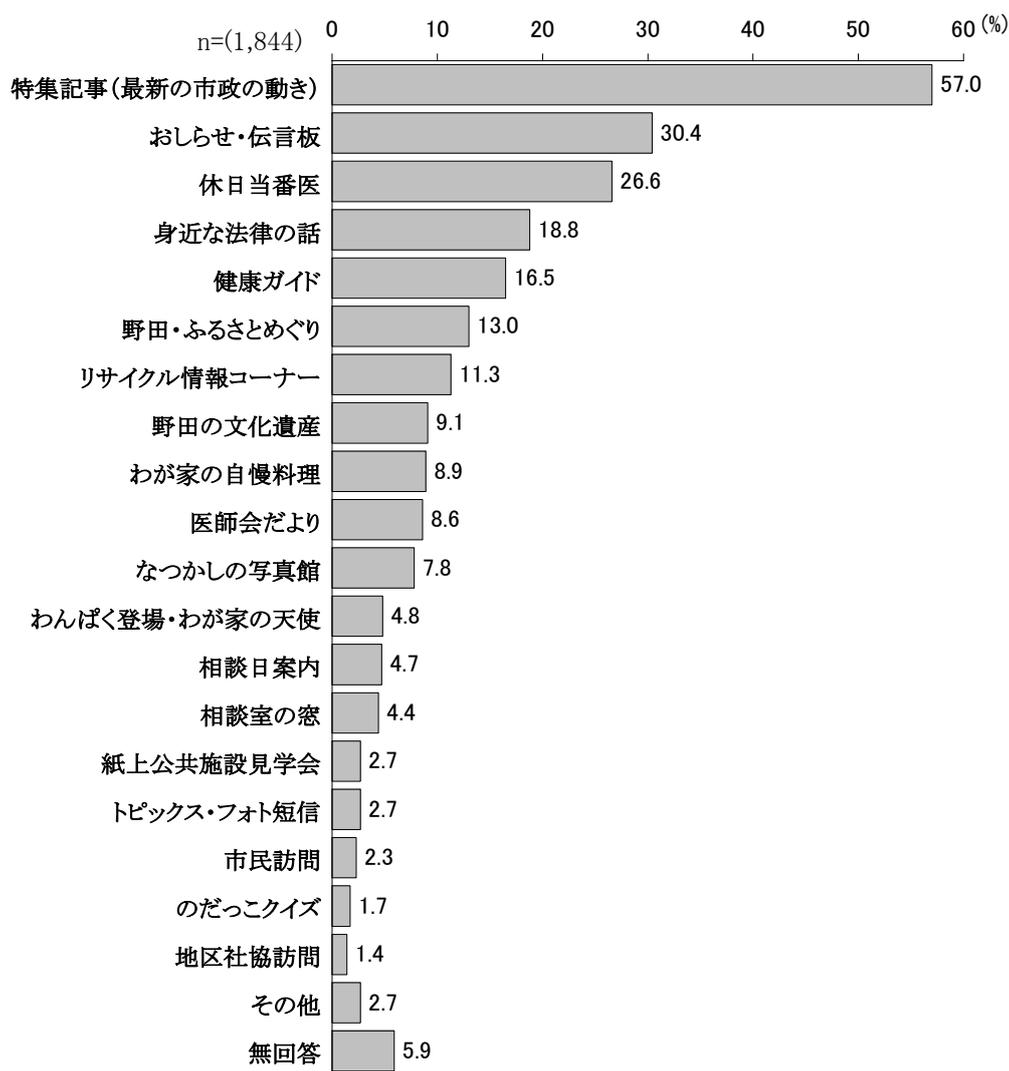
(6) 「市報のだ」でよく読む記事

◇ 「特集記事（最新の市政の動き）」は約6割

【問25】あなたが、「市報のだ」の中でよく読む記事は何ですか。次の中から主なものを3つ以内で選んでください。

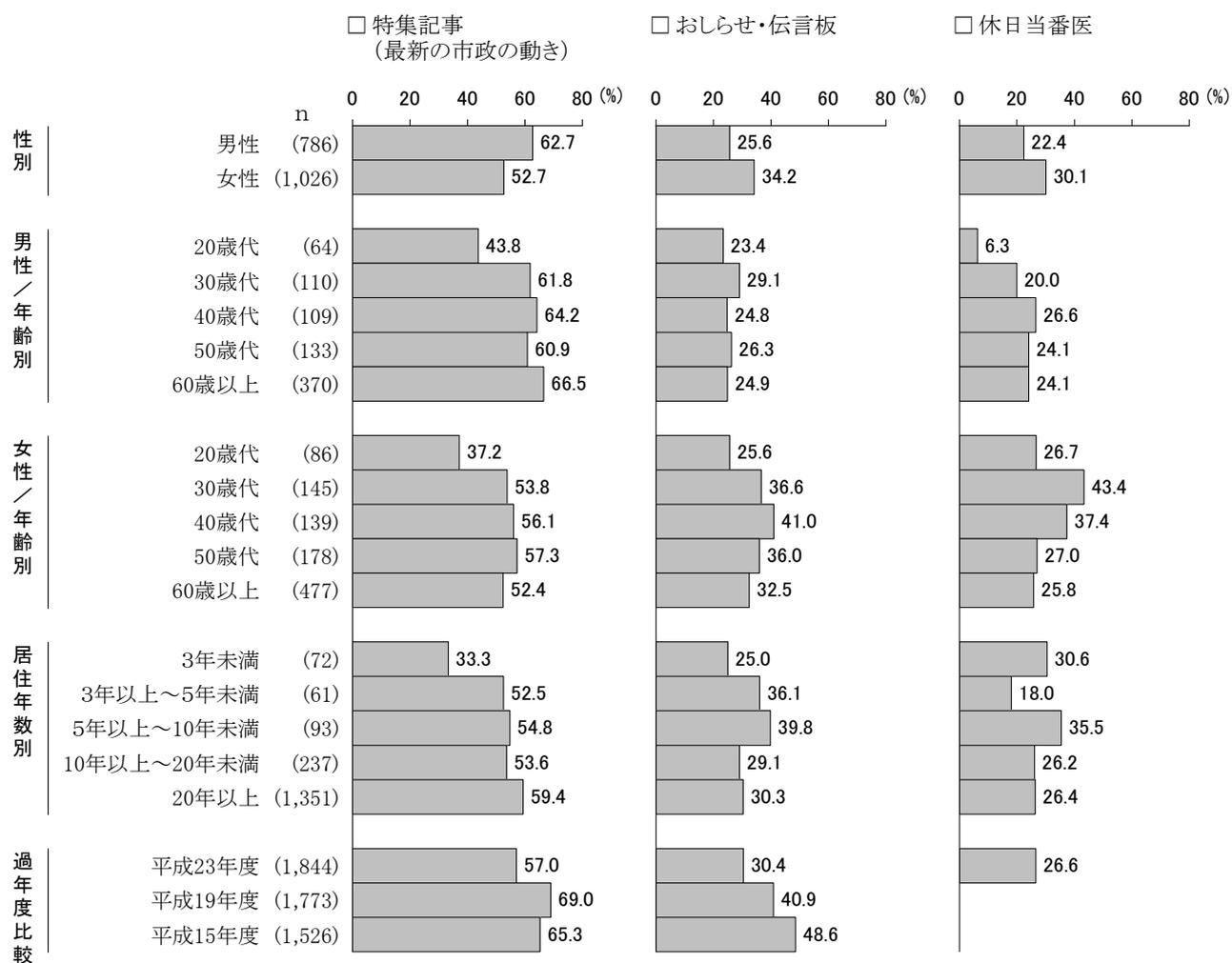
(n=1,844)

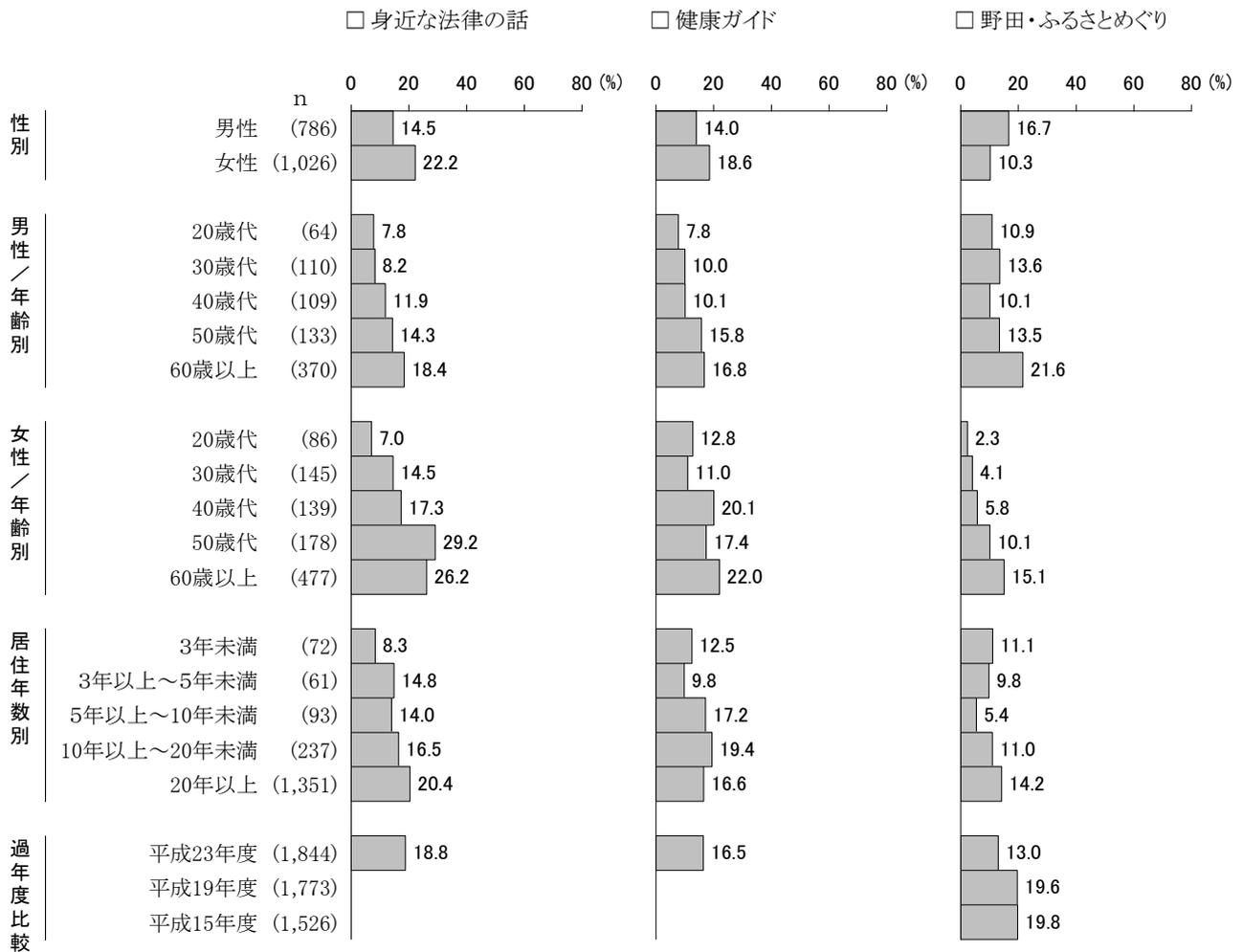
1. 特集記事（最新の市政の動き）	57.0%	11. 相談日案内	4.7
2. 市民訪問	2.3	12. わんぱく登場・わが家の天使	4.8
3. 紙上公共施設見学会	2.7	13. のだっこクイズ	1.7
4. 地区社協訪問	1.4	14. 休日当番医	26.6
5. トピックス・フォト短信	2.7	15. 野田の文化遺産	9.1
6. わが家の自慢料理	8.9	16. 相談室の窓	4.4
7. なつかしの写真館	7.8	17. 身近な法律の話	18.8
8. おしらせ・伝言板	30.4	18. 健康ガイド	16.5
9. 医師会だより	8.6	19. リサイクル情報コーナー	11.3
10. 野田・ふるさとめぐり	13.0	20. その他	2.7
		(無回答)	5.9



「市報のだ」でよく読む記事については、「特集記事（最新の市政の動き）」が57.0%と最も高くなっている。次いで「おしらせ・伝言板」（30.4%）、「休日当番医」（26.6%）、「身近な法律の話」（18.8%）などの順となっている。

### 上位6項目の属性別





※「休日当番医」「身近な法律の話」「健康ガイド」は今回調査から追加

### 〈性別〉

「特集記事（最新の市政の動き）」と「野田・ふるさとめぐり」は男性が女性をそれぞれ10.0ポイント、6.4ポイント上回っている。「おしらせ・伝言板」は8.6ポイント、「休日当番医」と「身近な法律の話」はともに7.7ポイント、「健康ガイド」は4.6ポイント女性が男性を上回っている。

### 〈年齢別〉

「特集記事（最新の市政の動き）」は男女ともに20歳代で最も低くなっている。「おしらせ・伝言板」は女性では40歳代で41.0%と最も高くなっている。「休日当番医」は男性では20歳代で6.3%と極端に低くなっている。また、女性では30歳以上の年齢になると年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。

### 〈居住年数別〉

「特集記事（最新の市政の動き）」は3年未満で33.3%と最も低くなっている。「おしらせ・伝言板」は5年以上～10年未満で39.8%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、参考として掲載する。

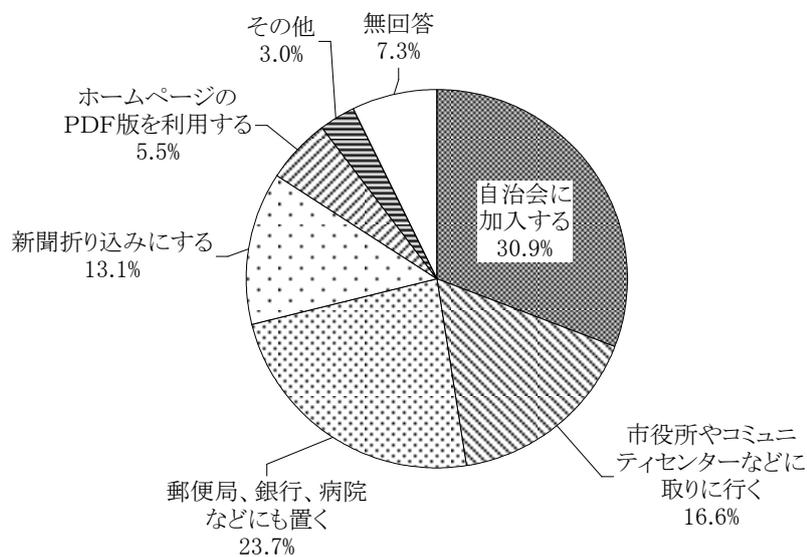
(7) 自治会未加入者への配布

◇ 「自治会に加入する」は約3割

【問26】 現在、「市報のだ」は自治会を通じて配布されていますが、自治会に加入されていない方には配布されていません。あなたは、自治会に加入されていない方が、今後どのようにして「市報のだ」を入手すればよいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

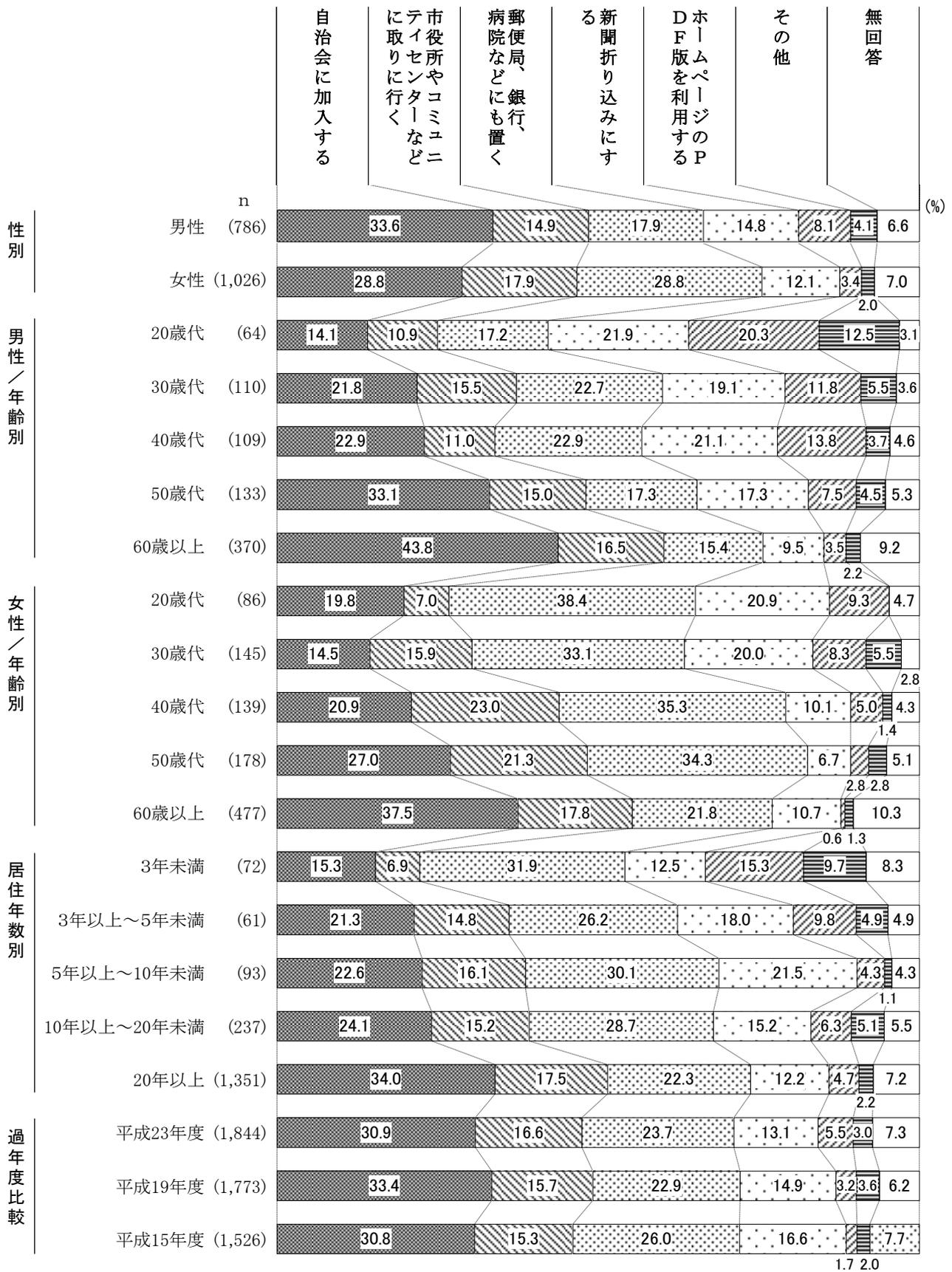
(n=1,844)

1. 自治会に加入する	30.9%	4. 新聞折り込みにする	13.1
2. 市役所やコミュニティセンターなどに 取りに行く	16.6	5. ホームページのPDF版を利用する	5.5
3. 郵便局、銀行、病院などにも置く	23.7	6. その他	3.0
		(無回答)	7.3



n = (1,844)

「市報のだ」の自治体未加入者への配布については、「自治会に加入する」が30.9%と最も高くなっている。次いで「郵便局、銀行、病院などにも置く」(23.7%)、「市役所やコミュニティセンターなどに取りに行く」(16.6%)などの順となっている。



### 〈性別〉

「自治会に加入する」と「ホームページのPDF版を利用する」は男性が女性をそれぞれ4.8ポイント、4.7ポイント上回っている。「郵便局、銀行、病院などにも置く」は女性（28.8%）が男性（17.9%）を10.9ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「自治会に加入する」は男性では年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。また、女性でも30歳以上では同様の傾向がみられる。

### 〈居住年数別〉

「自治会に加入する」は居住年数が長いほど割合は高くなる傾向がみられる。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

## 9. 市政全般

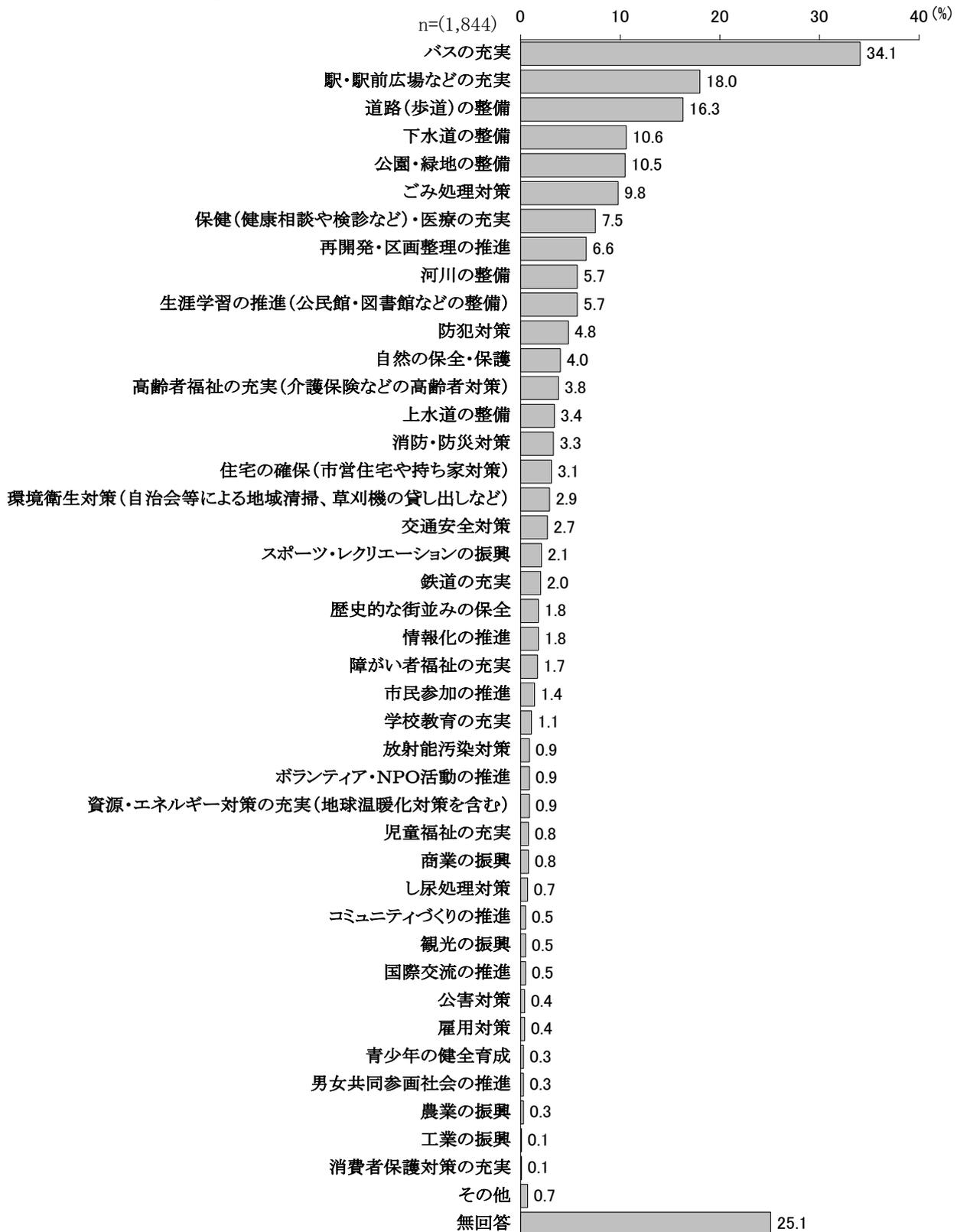
### (1) よくなった施策と力を入れるべき施策

【問27】これまで、市ではさまざまな施策を進めてきましたが、①ここ数年特によくなったと感じるもの、②これから野田市がより住みやすく、豊かなまちへ発展していくために、今後、力を入れていったらよいと思うものを、次の中からそれぞれ3つ以内で選んで下の回答欄に番号を記入してください。

	(n=1,844)	
	よくなった	力を入れる
1. 公園・緑地の整備	10.5%	6.5%
2. 道路（歩道）の整備	16.3	27.8
3. 住宅の確保（市営住宅や持ち家対策）	3.1	1.6
4. 上水道の整備	3.4	1.7
5. 下水道の整備	10.6	9.7
6. 河川の整備	5.7	2.7
7. 再開発・区画整理の推進	6.6	4.0
8. 歴史的な街並みの保全	1.8	2.5
9. バスの充実	34.1	7.9
10. 鉄道の充実	2.0	18.7
11. 駅・駅前広場などの充実	18.0	18.7
12. ごみ処理対策	9.8	4.2
13. し尿処理対策	0.7	0.9
14. 環境衛生対策（自治会等による地域清掃、草刈機の貸し出しなど）	2.9	1.7
15. 公害対策	0.4	3.1
16. 放射能汚染対策	0.9	19.1
17. 自然の保全・保護	4.0	5.3
18. 消防・防災対策	3.3	3.6
19. 防犯対策	4.8	12.8
20. 交通安全対策	2.7	4.8
21. 学校教育の充実	1.1	6.9
22. 青少年の健全育成	0.3	3.2
23. 生涯学習の推進（公民館・図書館などの整備）	5.7	4.5
24. スポーツ・レクリエーションの振興	2.1	3.2
25. 保健（健康相談や検診など）・医療の充実	7.5	8.0
26. 高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）	3.8	16.3
27. 児童福祉の充実	0.8	3.0
28. 障がい者福祉の充実	1.7	3.5
29. 市民参加の推進	1.4	1.4
30. 男女共同参画社会の推進	0.3	1.0
31. ボランティア・NPO活動の推進	0.9	1.3
32. コミュニティづくりの推進	0.5	1.1
33. 雇用対策	0.4	11.9
34. 農業の振興	0.3	3.3
35. 工業の振興	0.1	0.7
36. 商業の振興	0.8	5.3
37. 観光の振興	0.5	3.1
38. 消費者保護対策の充実	0.1	1.1
39. 資源・エネルギー対策の充実（地球温暖化対策を含む）	0.9	5.3
40. 情報化の推進	1.8	2.2
41. 国際交流の推進	0.5	1.4
42. その他	0.7	1.1
（無回答）	25.1	12.7

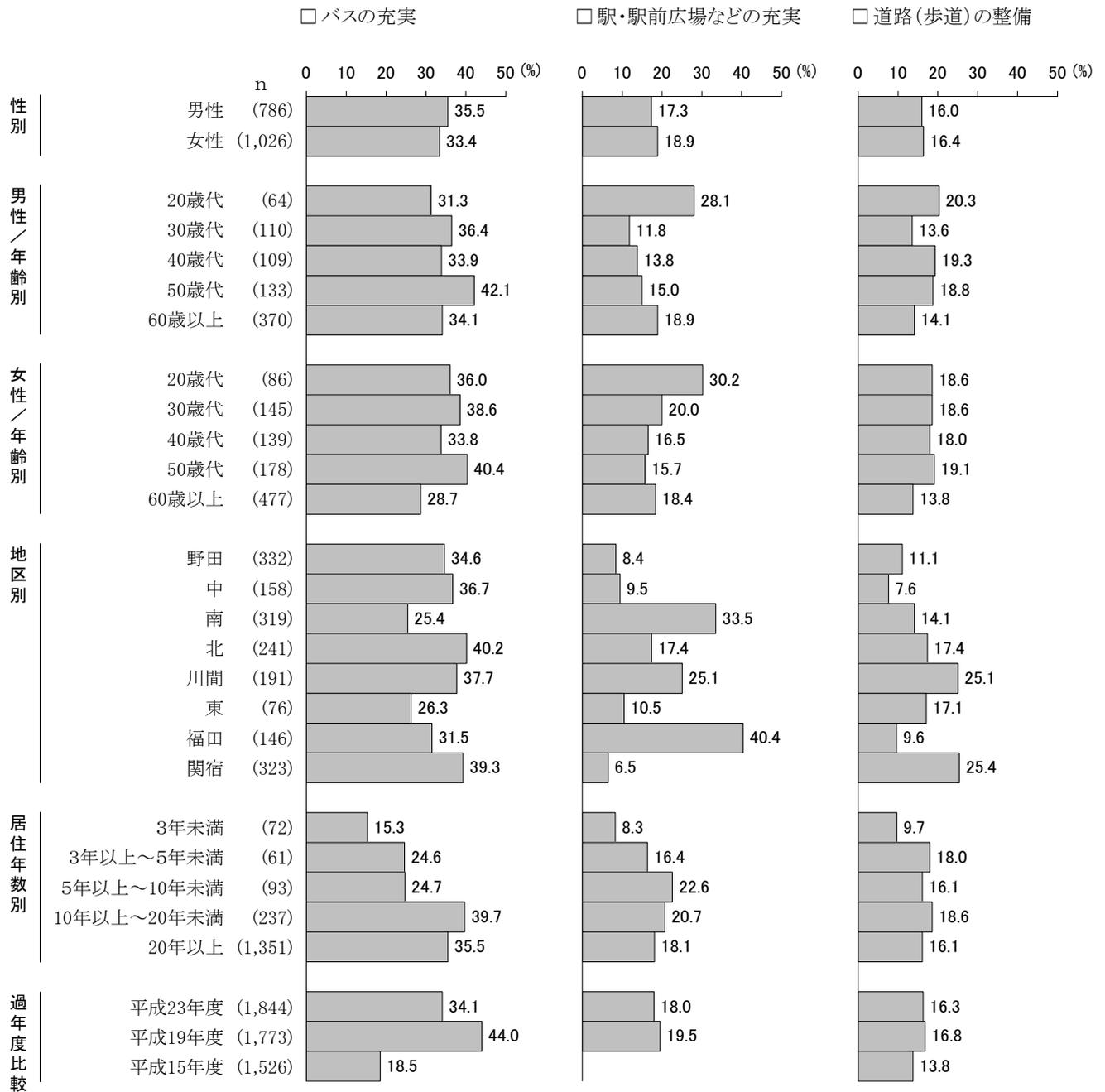
①ここ数年特によくなったと感じるもの

◇ 「バスの充実」が3割台半ば



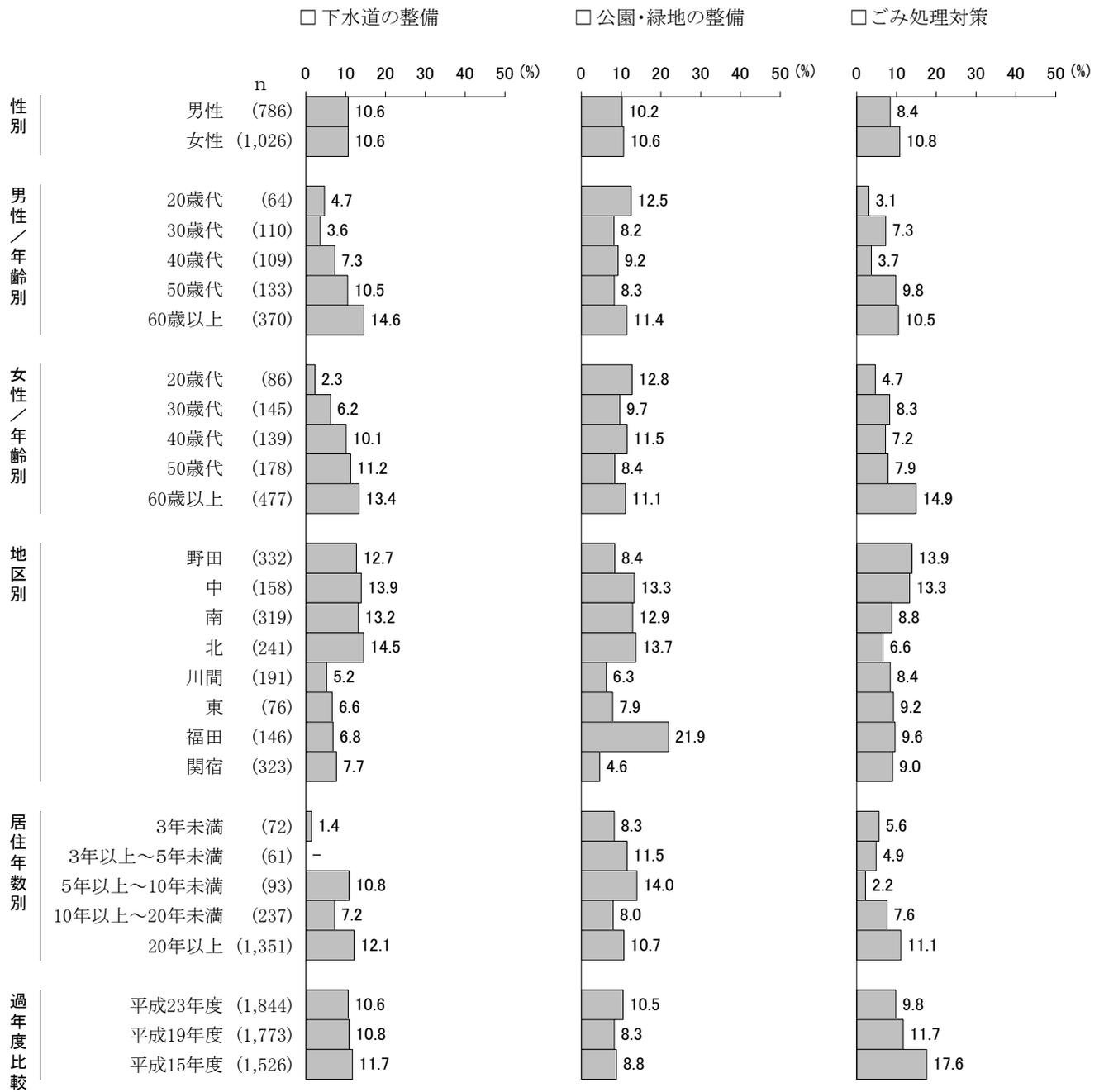
市の施策のなかで、ここ数年特によくなったと感じるものについては、「バスの充実」が34.1%と最も高くなっている。次いで「駅・駅前広場などの充実」(18.0%)、「道路(歩道)の整備」(16.3%)などの順となっている。

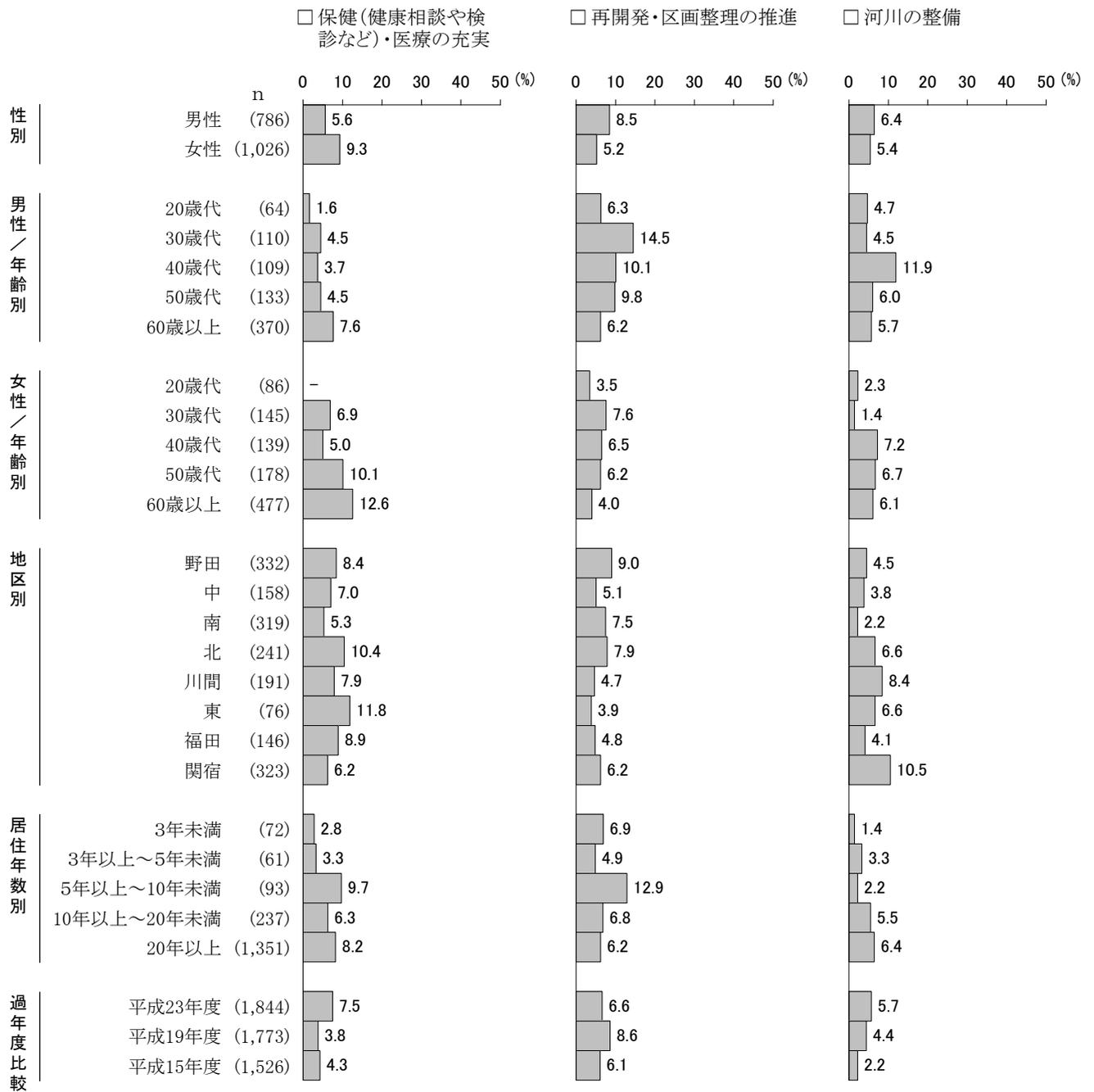
## 上位9項目の属性別



※ 「駅・駅前広場などの充実」は平成19年度から

※ 「道路(歩道)の整備」は平成19年度までは「道路の整備」





### 〈性別〉

「保健（健康相談や検診など）・医療の充実」は女性（9.3%）が男性（5.6%）を3.7ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「バスの充実」は男女ともに50歳代で4割を超えて高くなっている。「駅・駅前広場などの充実」は男女ともに20歳代で3割前後と高くなっている。「下水道の整備」は男女ともに年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

### 〈地区別〉

「バスの充実」は北地区、関宿地区、川間地区で約4割と高くなっている。「駅・駅前広場などの充実」は福田地区で40.4%と最も高く、南地区でも33.5%と高くなっている。「道路（歩道）の整備」は関宿地区と川間地区で2割台半ばと高くなっている。

### 〈居住年数別〉

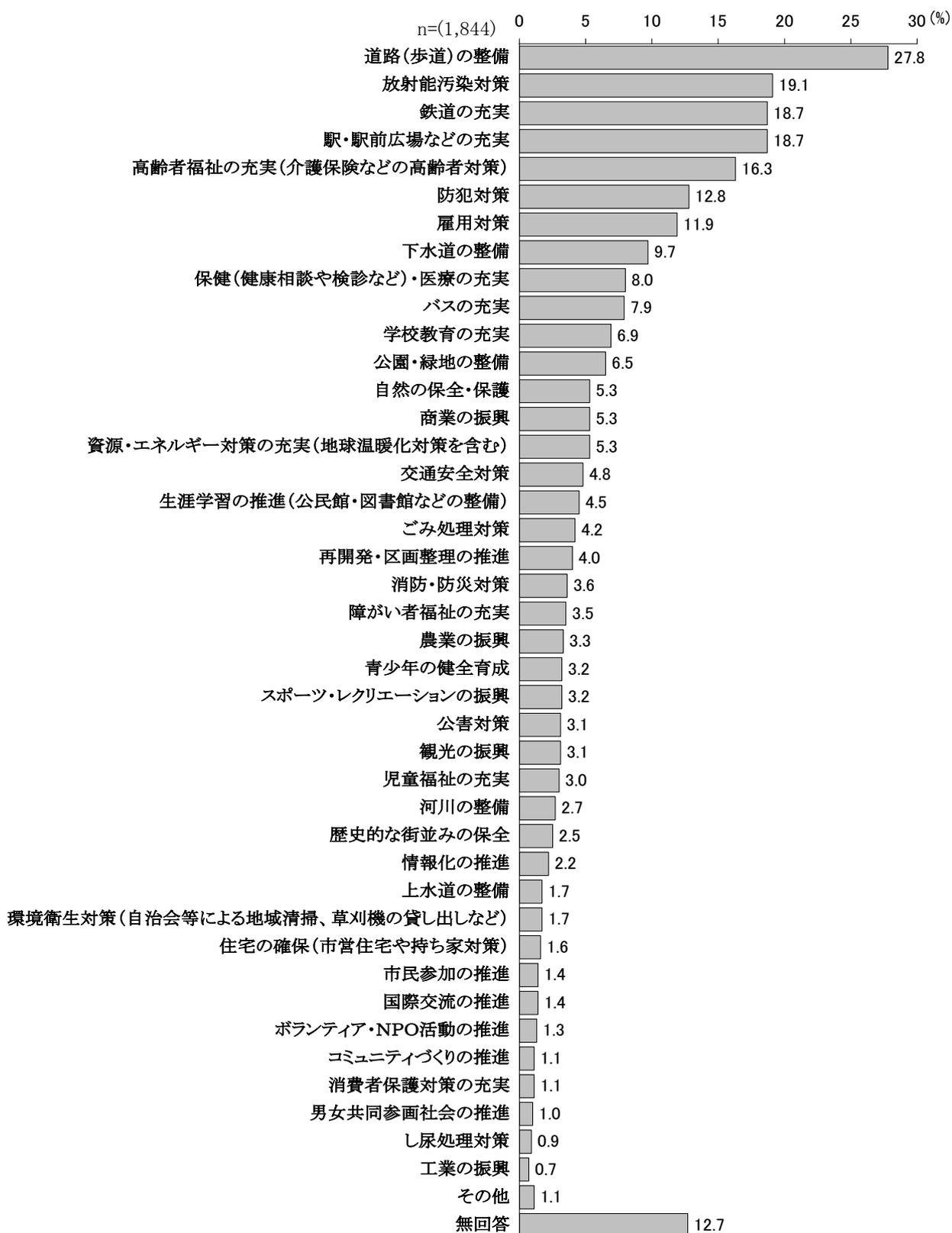
「バスの充実」は10年以上～20年未満で39.7%と最も高くなっている。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「バスの充実」は9.9ポイント減少し、「保健（健康相談や検診など）・医療の充実」は3.7ポイント増加している。

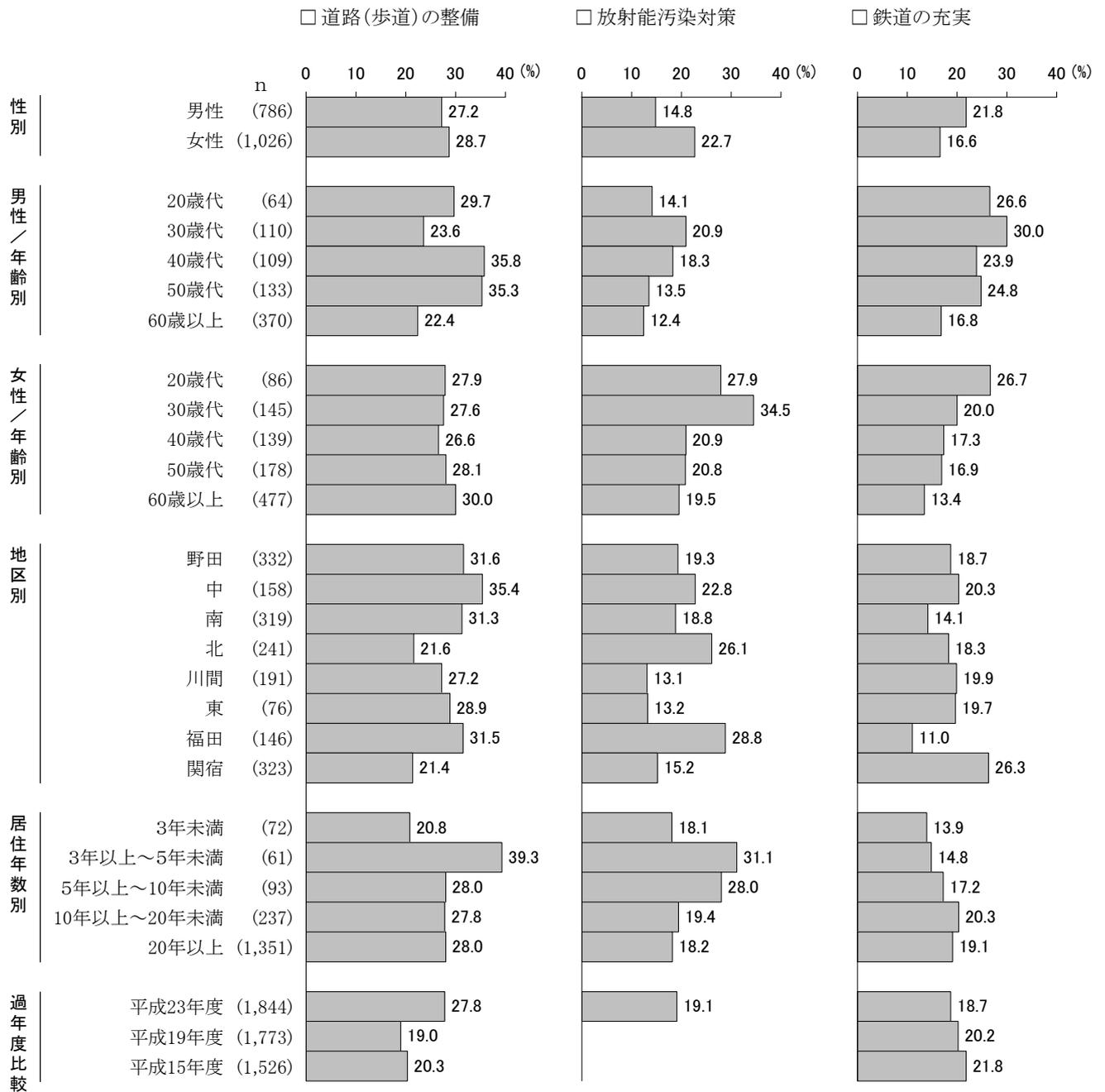
②今後、力を入れていったらよいと思うもの

◇ 「道路（歩道）の整備」が約3割



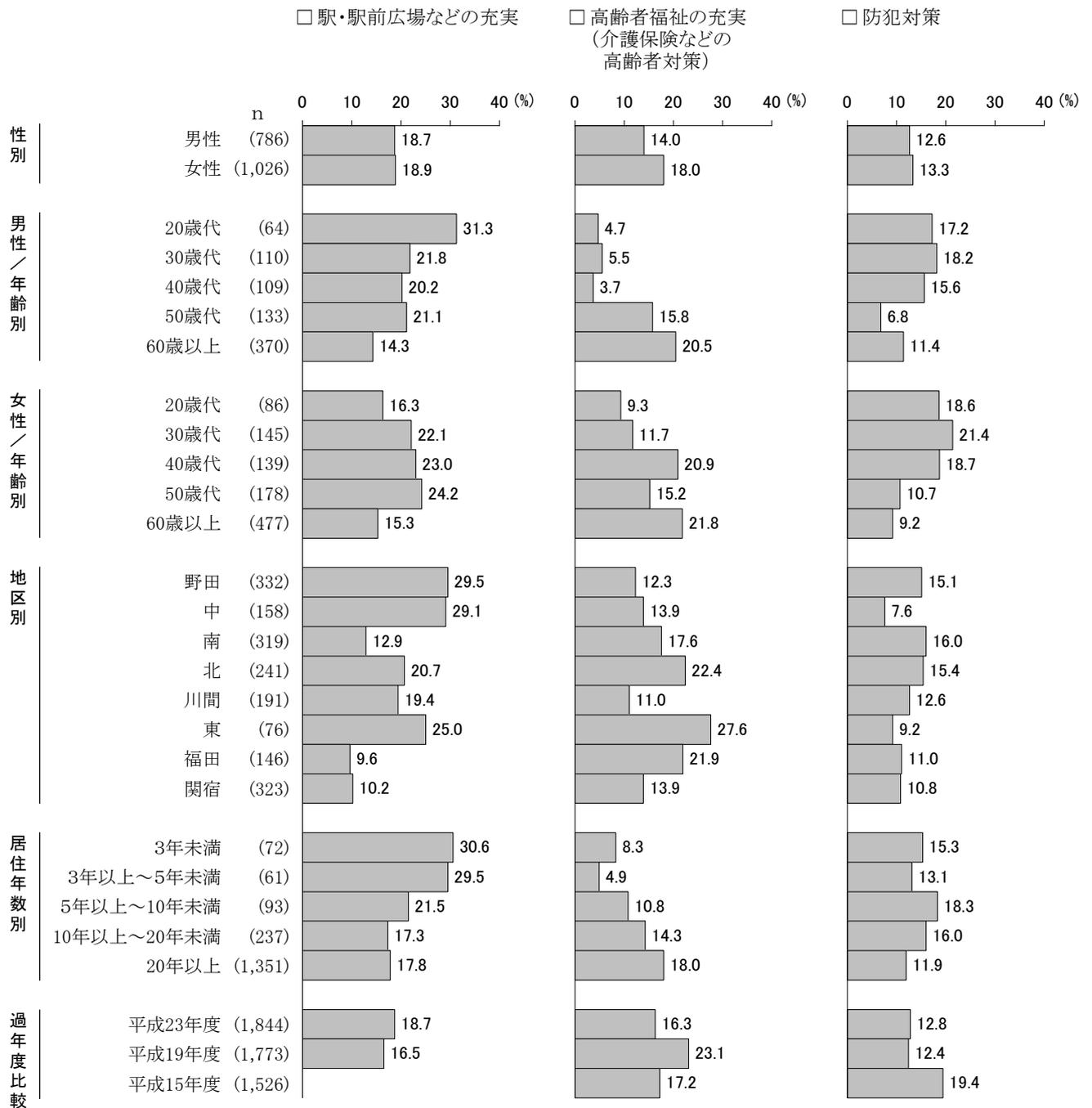
市の施策のなかで、今後、力を入れていったらよいと思うものについては、「道路（歩道）の整備」が27.8%と最も高くなっている。次いで「放射能汚染対策」（19.1%）、「鉄道の充実」（18.7%）、「駅・駅前広場などの充実」（18.7%）などの順となっている。

## 上位9項目の属性別



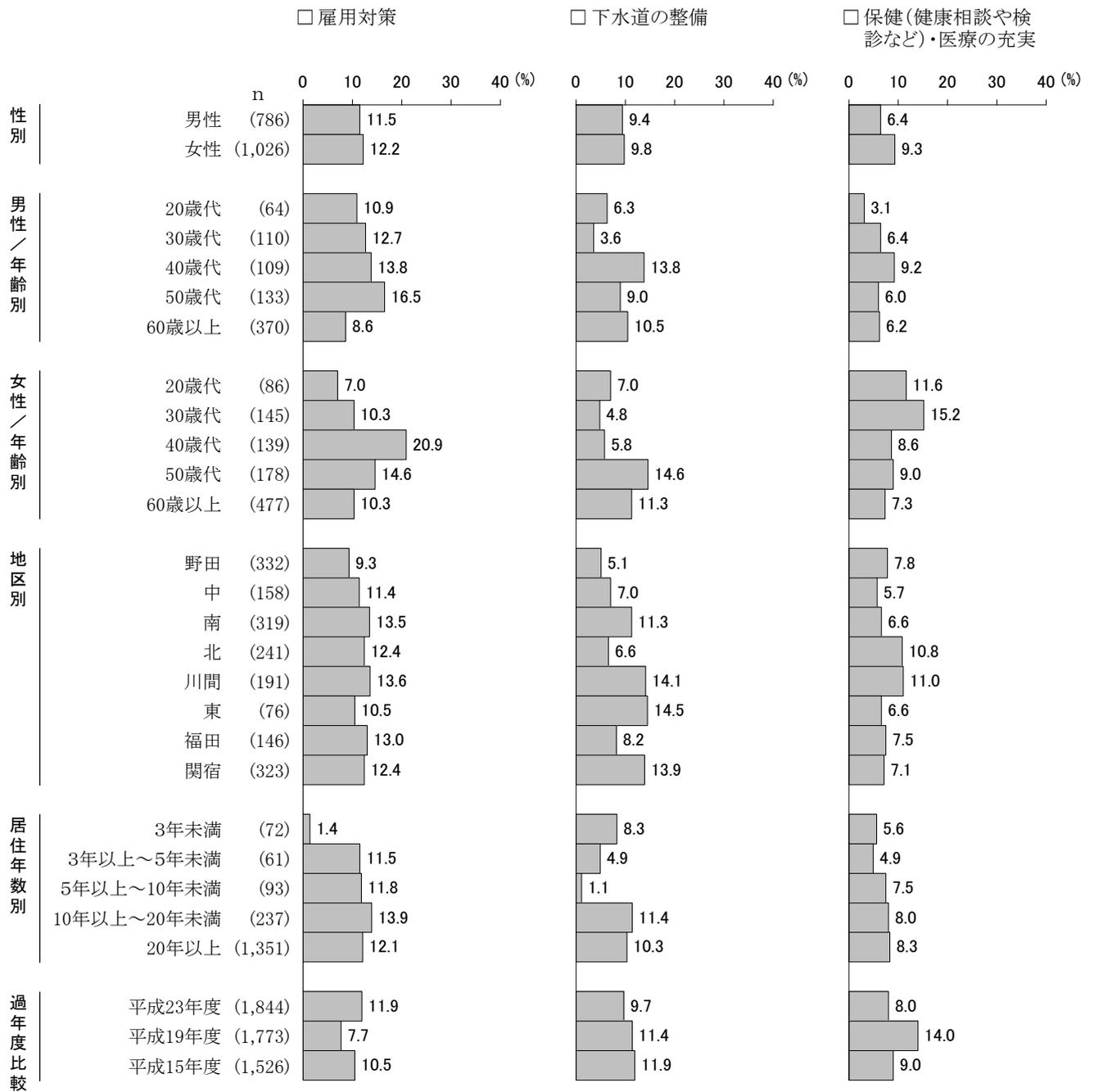
※「道路(歩道)の整備」は平成19年度までは「道路の整備」

※「放射能汚染対策」は今回調査から



※ 「駅・駅前広場などの充実」は平成19年度から

※ 「高齢者福祉の充実 (介護保険など的高齢者対策)」は平成19年度までは「老人福祉の充実 (介護保険など的高齢者対策)」



### 〈性別〉

「放射能汚染対策」は女性（22.7%）が男性（14.8%）を7.9ポイント上回っている。「鉄道の充実」は男性（21.8%）が女性（16.6%）を5.2ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「道路（歩道）の整備」は男性では40歳代と50歳代で3割台半ばと高くなっている。「放射能汚染対策」は男性では30歳以上では年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。また、女性でも30歳代で34.5%と最も高くなっている。「鉄道の充実」は女性では年齢が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。「駅・駅前広場などの充実」は男性では20歳代で31.3%と極端に高くなっている。

### 〈地区別〉

「道路（歩道）の整備」は中地区で35.4%と最も高くなっている。「放射能汚染対策」は福田地区で28.8%、「鉄道の充実」は関宿地区で26.3%と最も高くなっている。「駅・駅前広場などの充実」は野田地区と中地区、「高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）」は東地区でいずれも約3割と高くなっている。

### 〈居住年数別〉

「放射能汚染対策」は3年以上では居住年数が長くなるほど割合は低くなる傾向がみられる。「駅・駅前広場などの充実」でも居住年数が長くなるほど割合は低くなる傾向がみられる。「高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）」は3年以上では居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられる。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「道路（歩道）の整備」は8.8ポイント、「雇用対策」は4.2ポイント増加している。一方、「高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）」は6.8ポイント、「保健（健康相談や検診など）・医療の充実」は6.0ポイント減少している。

※今回、選択肢の一部変更あり（「道路」→「道路（歩道）」）

## 10. 市役所のこと

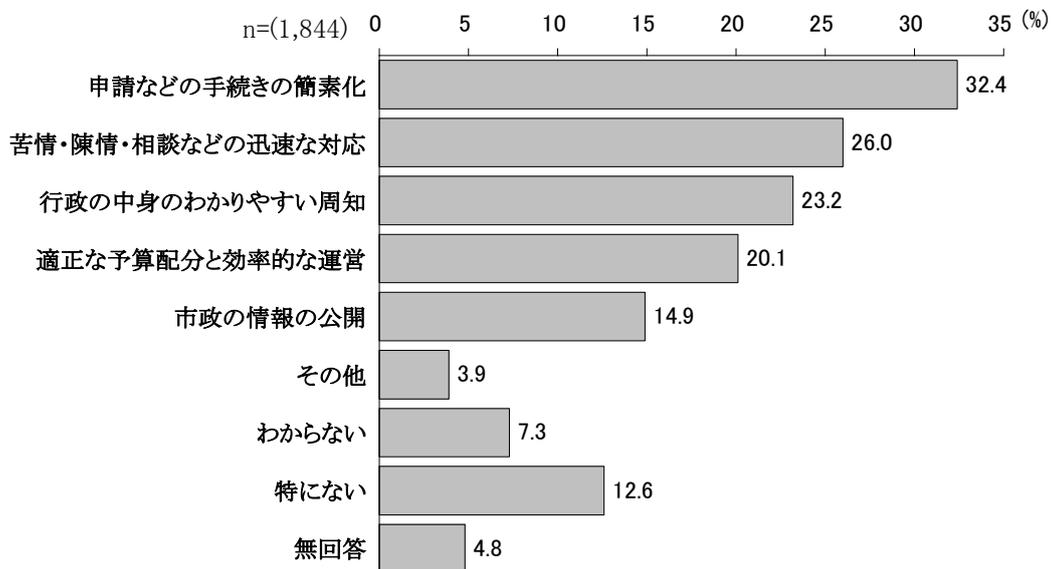
### (1) 市政で改善してほしいこと

◇ 「申請などの手続きの簡素化」が3割を超える

【問28】あなたは、市政や市役所の業務について、改善してほしいことがありますか。次の中から2つ以内で選んでください。

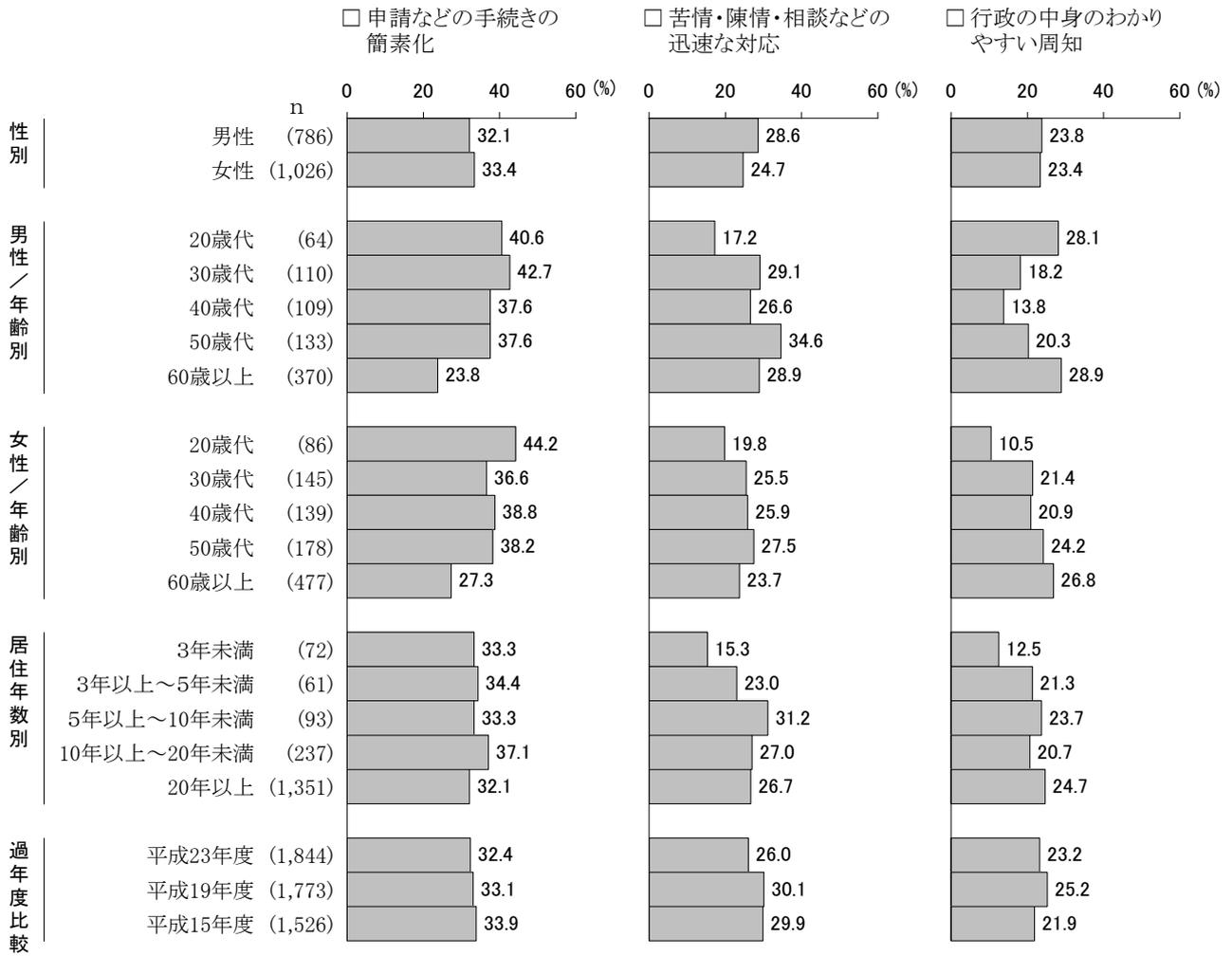
(n=1,844)

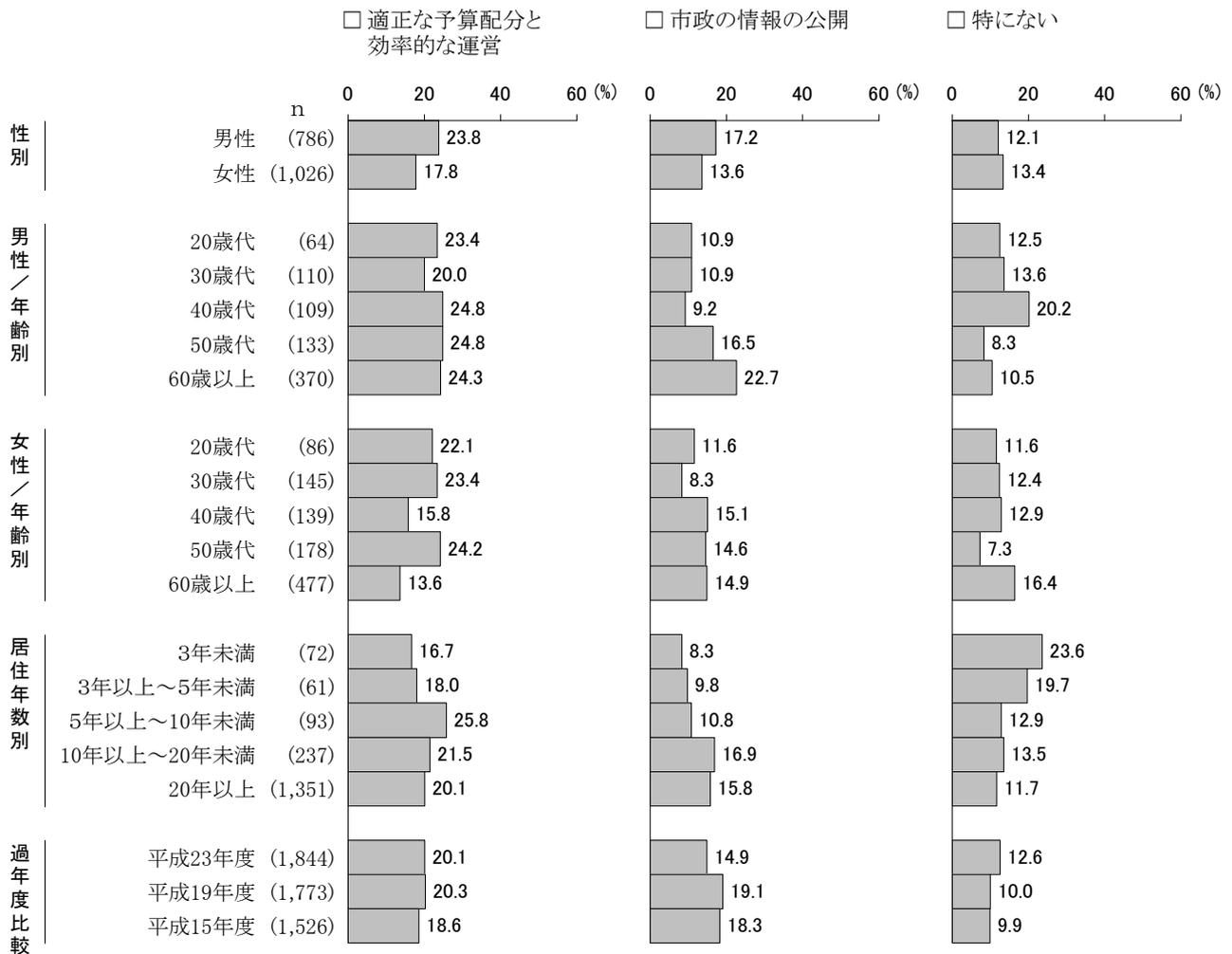
1. 申請などの手続きの簡素化	32.4%	5. 市政の情報の公開	14.9
2. 苦情・陳情・相談などの迅速な対応	26.0	6. その他	3.9
3. 行政の中身のわかりやすい周知	23.2	7. わからない	7.3
4. 適正な予算配分と効率的な運営	20.1	8. 特にない	12.6
		(無回答)	4.8



市政や市役所の業務で改善してほしいことについては、「申請などの手続きの簡素化」が32.4%と最も高くなっている。次いで「苦情・陳情・相談などの迅速な対応」(26.0%)、「行政の中身のわかりやすい周知」(23.2%)などの順となっている。

## 上位6項目の属性別





### 〈性別〉

「苦情・陳情・相談などの迅速な対応」「適正な予算配分と効率的な運営」「市政の情報の公開」は男性が女性をそれぞれ3.9ポイント、6.0ポイント、3.6ポイント上回っている。

### 〈年齢別〉

「申請などの手続きの簡素化」は男女ともに60歳以上で極端に低くなっている。「行政の中身のわかりやすい周知」は男性では20歳代と60歳以上で約3割と高くなっている。「市政の情報の公開」は男性では60歳以上で22.7%と最も高くなっている。

### 〈居住年数別〉

「苦情・陳情・相談などの迅速な対応」は5年以上～10年未満で31.2%と最も高くなっている。「行政の中身のわかりやすい周知」は3年未満で12.5%と低くなっている。一方、「特にない」は居住年数が長くなるほど割合は低くなる傾向がみられる。

### 〈過年度比較〉

前回調査（平成19年度）と比較すると、「苦情・陳情・相談などの迅速な対応」と「市政の情報の公開」はそれぞれ4.1ポイント、4.2ポイント減少している。

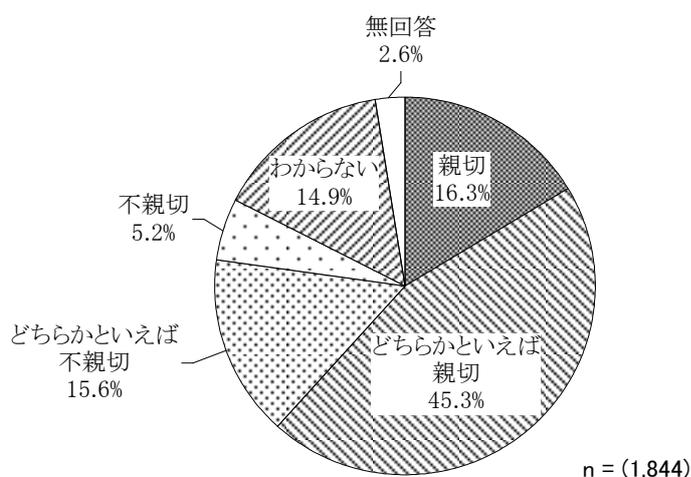
## (2) 市役所職員の対応評価

◇ 『親切 (計)』が6割を超える

【問29】あなたは、市役所の職員の対応について、どのような印象をもっていますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n = 1,844)

1. 親切	16.3%	4. 不親切	5.2
2. どちらかといえば親切	45.3	5. わからない	14.9
3. どちらかといえば不親切	15.6	(無回答)	2.6



市役所職員の対応については、「親切」(16.3%)と「どちらかといえば親切」(45.3%)を合わせた『親切 (計)』(61.6%)が6割を超えている。

一方、「どちらかといえば不親切」(15.6%)と「不親切」(5.2%)を合わせた『不親切 (計)』(20.8%)は2割を超えている。

### 〈性別〉

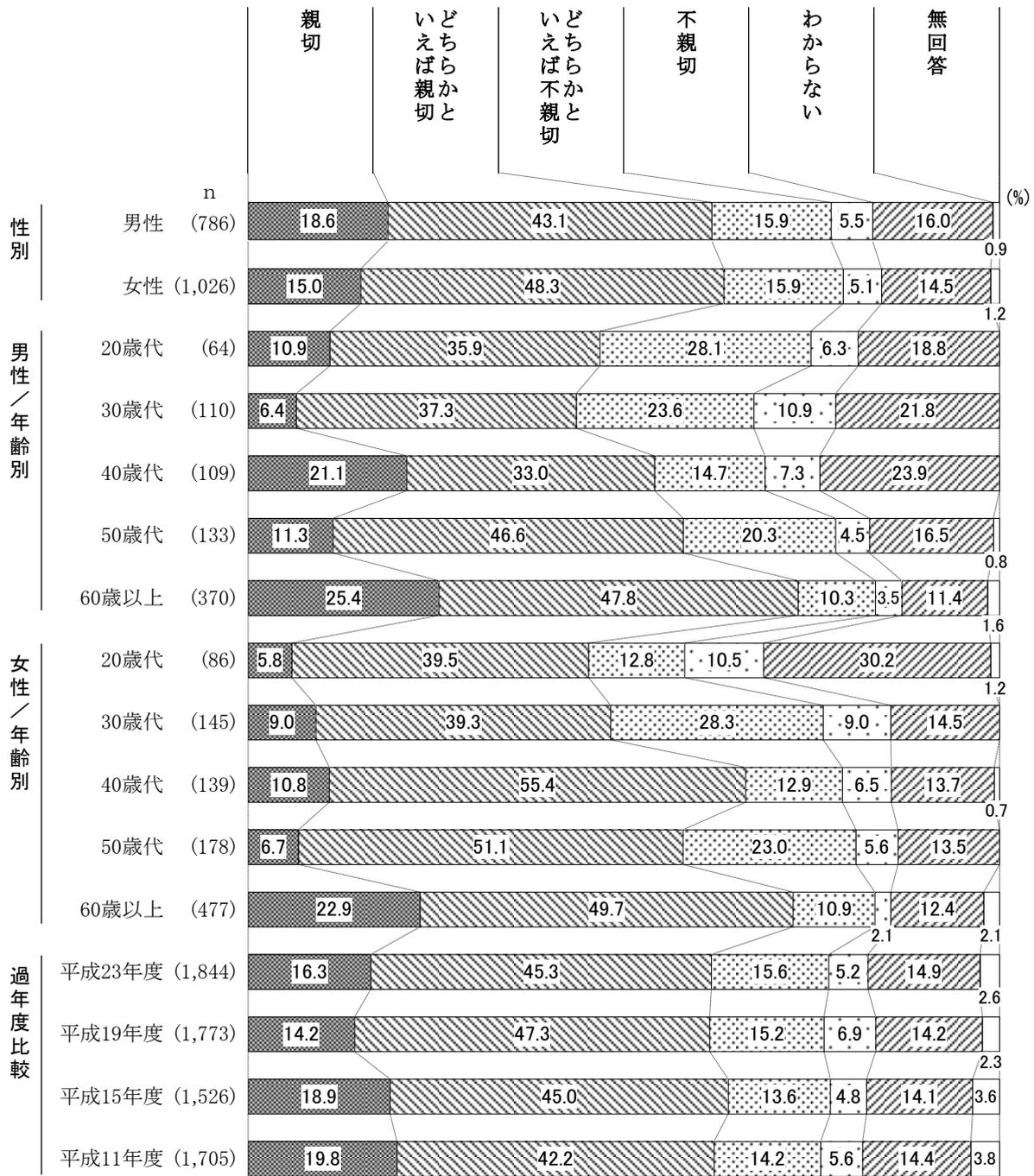
『親切 (計)』は男性 (61.7%) と女性 (63.3%) では大きな差はみられない。

### 〈年齢別〉

『親切 (計)』は男女ともに60歳以上で7割台と最も高くなっており、特に男性では年齢が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

### 〈過年度比較〉

前回調査 (平成19年度) と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。



## 11. 自由意見

質問の最後に、野田市の市政やまちづくりについての意見や要望を自由に記入していただいた。その内容を大別して、主なものを掲載する。カッコ内は（性別／年代）の順である。

### 都市基盤整備について

- 市政が悪いとは思いませんが、野田に引越して来て「田舎なのに田舎の良さがいいなあ」と思っています。町全体が暗く感じます。京都のように緑地と街並みを共存させ、雰囲気をよくしてもらいたいです。道が狭く、歩道がない所が多く、困っています。（男性／20歳代）
- 小さい頃から遊び場が全くなく、いつも自転車でどこかへ行かないといけない状態でしたが、それは今も変わっていません。今、子どもを生み、シングルマザーとして野田に住んでいます、子ども同士が自由に遊べる公園が流山近くの野田には全くないので作ってほしいです。（女性／20歳代）
- 都内へ通勤するのもっと便利にしてほしい。地下鉄の話はどうなったかもっと市報に載せてほしい。地下鉄が通るなら早くしてほしい。（男性／30歳代）
- 上下水道を100%加入にしてほしい。家の近くで生活排水を流しているのも特に夏場は悪臭がひどく、蚊の発生が多い。もしくは排水溝に蓋をしてほしい。（女性／30歳代）
- 自然環境がどんどん減り、無計画に建物を建てている感じがする。もう少し、そのあたりを配慮してもらいたい。（男性／40歳代）
- 新しい家が建ち並び、住宅事情が大変良くなったが、人口の増加と共に交通事情は悪化しているように思う。以前と相変わらぬ道路状況で歩道は少なく、デコボコも多い。障がい者やお年寄り、子供でも安全に戸外に出て散歩できる町になって欲しい。（女性／40歳代）
- 野田市駅の駅前周辺整備を早急に行なって欲しい。朝夕送迎車両（個人車）で道路一杯となり歩行者と接触事故を起こしそうになる。（男性／50歳代）
- 歩道、道路整備および街路灯の拡充。とにかく夜間暗すぎて徒歩で帰宅するのは危険を感じる。引ったくり等犯罪も多い。また違法駐車（路上を駐車場がわりにしている）や歩道に大きくはみ出した植木により、事故になりそうな場面を目にすることがよくある。住民の意識改革と取り締まりを行って頂きたい。（女性／50歳代）
- 野田市、愛宕の駅の高架事業を急いで下さい。両駅の駅前整備を是非お願いします。（男性／60歳代）
- 駅前の景観が45年前とほぼ変わっていません。こんな歴史ある由緒ある町なので、何とかもっと美しく、古い街を誇るような駅舎と駅前にしてほしいです。出来れば、東口も設けて、整備したら、すてきな野田市に生まれ変わると思います。野田市に望むものは一番に駅舎と駅前広場の充実と、東口駅の新設です。駅は街のシンボルだと思います。（女性／60歳代）
- 側溝の蓋をところどころグレーチングにして欲しい。（新しい蓋は集中豪雨の時、入るところが少なくて溢れて困っています）昔の蓋の方が良かった。蓋一枚毎に排水が出来て良かったと思います。（男性／70歳代）
- まめバスについて。1日の時間帯を増やしてほしい。昔に比べると非常に便利になったと思います。ありがたいと思っております。（女性／70歳代）
- ①野田線の複線化を望む。市内が一番遅れ人口減少の中取り残される。②流山街道の梅里駅～南部中学間の歩道整備拡張を望む。③自転車の車道通行が決まり、左側通行の徹底をPRされたい。（男性／80歳以上）
- 駐輪場が満車。整理の人が帰ると歩道に自転車が置いてあるので通行のじゃま。（女性／80歳以上）

## 生活環境について

- 道路や空き地などでゴミが散らかっていたりするのをよく見かけるので、ゴミ拾いのボランティアや家庭で出るゴミのサイクルに関して良いアイデアを考えて欲しい。(男性/20歳代)
- 夜道、街灯が少なく、歩くのが怖い所が野田市には沢山あると思います。街灯が増えればいいなと思います。(女性/20歳代)
- 南部中学校、花井団地近くの林を何とか整備してもらいたい。不法投棄が日常化しているだけではなく、以前、火遊びをしている子どももいて(直径3mほど焼失)ぞっとする事もありました。通学路でもあるので子供達が安心して通れるよう、林の整備をお願いします。(男性/30歳代)
- 16号沿いの緑がなくなっていく事を残念に思っています。大型商業施設が出来るのは、人が集まりにぎやかで良いのですが、バランスをもって建設してほしい。無駄に緑を無くすことが出来ないように計画的に街づくりをして頂けたらもっと野田を好きでいられると思います。(女性/30歳代)
- とにかくゴミのポイ捨てがひどい。街がゴミだらけの印象がある。ゴミの収集や分別が厳しすぎて、若い人達が道端に捨てようとしているように思う。ゴミの分別ができない人たちの対策に力を入れてほしい。(男性/40歳代)
- 家庭ごみを庭のドラム缶で燃やしているのをよく見受ける。煙ダイオキシンや灰の被害がある為、自治会の回覧板等を利用してきちんと注意、禁止を周知して欲しい。今後は剪定枝や枯葉等を燃やすことにより放射線物質が煙と一緒に飛散するのも心配である。(女性/40歳代)
- 駅からの街路灯はあるが、伸びきった枝で光をさえぎっているので意味がない。防犯上危険。自然保護も大事だが、整備された街が十分とはいえない。(男性/50歳代)
- 気軽に集えるセンスの良い公園やサイクリングコース、道の駅など、人が集まりやすい場所、楽しい場所を多く作って頂きたいです。他県の友人にも喜んで来てもらえる明るく楽しい野田市を望みます。楽しいところに人は自然に集まります。(女性/50歳代)
- 資源回収について。常時回収することができるポストを主要場所(公共施設)に設けて欲しい。都合により予定時に出せないことがある。ビンを集める所がない。(男性/60歳代)
- 生ゴミ袋(30リットル)、これから段々年をとっていき、重くなるので、また毎回(週2回)捨てる袋が大きくて余ってしまうので、何とか20リットル位の小さいものを数を増して下さると大変助かります。65歳以上の年寄りの家庭に配布頂きたくご検討の程宜しくお願い致します。(女性/60歳代)
- 最近、犬の糞を放置していく人が多くなり道端を安心して歩けません。犬の飼い主さんに意識付けする為、糞の処理に対する標語の募集をしてみたらと思います。飼い主がペットの後始末をしたくないのに他人にさせると怒りとなってしまう事を分かってもらいたい。相当募集があると思いますよ。(男性/70歳代)
- 緑の多い町、野田市は私達市民の大きな誇りです。貴重な緑を多々残した町づくりをして、いつまでも平和で住み良い町を若い人に残していけたら良いと思います。(女性/70歳代)
- 異常気象等による想定を超える集中豪雨等での災害対策が昨今問題視されています。洪水に強い野田市とはいえ、江戸川、利根川の三角地帯の特殊地理条件下にある当地としても、これまでの想定条件を見直し、ハード、ソフト両面での対策を整備してより安全な都市づくりに努めてほしいと願っております。(男性/80歳以上)
- 私が野田市に移り住んで40年の間にどんなに変化したのか身にしみて感じています。勿論良い方向へです。でもどんどん家が建ち、人も増えてきましたが近くの農家の畑は減り、緑も随分少なくなりました。野鳥の声もすっかり減ってきたのはいささか寂しい気もします。(女性/80歳以上)

## 教育・文化について

- 市内の若者たちはみんな市外へと出てしまいます。もっと若者が集まるようなまちづくりが、野田市が元気になるきっかけにならないかなと日々感じています。そのためには高校・大学等を増やし商業・工業ともに、その後の雇用にもつながるといいと思います。(男性/20歳代)
- 美術館とかも少ないです。上野ほどとは言いませんが目の保養になる所もあるといいです。(女性/20歳代)
- 小・中学校を増やして欲しい。(男性/30歳代)
- 南部小学校は古い上に、児童数も多く校庭も足りない。子どもたちの事を考えると、皆で少しずつ資金を出し合っても早急に対策を考えたほうがよいと思います(女性/30歳代)
- 市立小中学校が使用する備品について不公平に配布されているという声が多い。公平をお願いします。(男性/40歳代)
- 子供が国際的な教育(外国語教育)を受けられるように(女性/40歳代)
- 将来の為に子供への非行防止と教育の充実をお願いします。(男性/50歳代)
- 公民館の講座など平日のものが多く、仕事を持つ者にとって参加しにくい事が多いので、土・日の講座も増やしてもらいたい。(女性/50歳代)
- 気軽に立ち寄れる図書館が近くにあるとよい。各地区に小さくてもいいので作ってほしい。今の図書館は古い本が多く情報誌は使えない。(男性/60歳代)
- これから増えてくる高齢者が気軽に出かけられる地域ごとのスポーツ、体操、レクなどもう少しだけた生涯学習に配慮して頂きたい。(女性/60歳代)
- 老後地域友好を盛んにする為、野田市内における生涯学習を毎年募集し、市内広範囲の友人を作りたい。生涯大学(野田市独自)も年に一度の募集でなく、出来る限り毎年入学させ、2年で卒業の体制を作って頂きたい。(男性/70歳代)
- 高齢化の時代、健康維持の為、室内プールが市営でほしい。通院回数減らす為日頃の運動が大事なので。(女性/70歳代)
- 公共施設の南コミュニティセンター、梅郷公民館までの距離が高齢者には遠く感じます。小学校区内あたりに公共施設、コミュニティセンター等があれば利用しやすいと思っております。(女性/80歳以上)

## 健康・福祉について

- 特別養護老人ホームや保育園がもっと増えればよいです。(男性/20歳代)
- 障がい者に対する偏見が少なくなるとよいと思います。野田市に住んでよかったと思える将来にしていきたいです。(女性/20歳代)
- 高齢者対策(老人だけの世帯のフォロー、健康面、安全面、孤立させない方策等)(男性/30歳代)
- 子どもの医療費は義務教育の間は補助してほしい。小学校3年生まででは短い。(女性/30歳代)
- 子供を安心して育てることができる市になってほしい。(男性/40歳代)
- 子育ての出費は大変です。昔は泳ぐことも勉強することも学校生活の中で充分身に付きました。今はプールの時間も短く、当たり前のようにスイミングに通ったり塾や公文、算盤、家庭がお金を出して子供に習得させています。これでは収入による差が埋まりません。学校生活の充実を望みます。子供の医療費の充実も。自分の老後や親の介護など、将来への不安は尽きません。安心して暮らせる市にして下さい。(女性/40歳代)
- 高齢化社会が加速する中、信頼のおける医療を受けられる施設を充実させて欲しい。(男性/50歳代)

- 老人ホームの入居待ち。お金を持っている老人は少数なはず。上手に税金を運用して少額で安心して入居できるホーム作りを期待しています。(女性/50歳代)
- 大学病院等、先端医療機関の誘致。(男性/60歳代)
- 市民健診の費用は他県で無料で受けていましたが、野田は有料なので考えてほしい。(女性/60歳代)
- 私は70代で独り暮らしです。民間の賃貸住宅のアパートです。3階建ての3階に住んでいます。先々不安です。市に要望したいのは、公営住宅や高齢者向け住宅を年金暮らしの方々に入居させて下さるように要望します。公営住宅、高齢者向け住宅を増すことだと思います。(男性/70歳代)
- 近い将来、車の運転が不可能になった時、買い物等に日常生活に不安を感じています。1人住まいの老人支援を充実させて頂きたいと思います。(女性/70歳代)
- 病院が欲しい。特に市立病院をなぜ作らないのか分からない。(男性/80歳以上)
- 高齢者の安全の確保の充実。(女性/80歳以上)

## 産業・観光について

- 町おこしをしないと市内商店街がなくなるのでは。市が全面的に補助した名物品を創作する。醤油を使用したものや枝豆を使用したもの等を。仙台のずんだ餅はおいしい。日本一の生産量があり、野田ではなぜこの様な餅は作れないのか不思議であるし、疑問である。リスクを考えることが先にあり、なかなか発想があってもできない状態と思われるので、野田市や商工会が中心となって取り組んで、全国に野田市の知名度を広めて素晴らしい所であると宣伝して欲しい。(男性/20歳代)
- 自然と農業を日本一発展させて下さい。野田市の自然が豊かでなければ住み続ける事はできません。森林を守りゴミ拾いなどの活動を大切に。若者が楽しく農業をするように。若者が中心となった農業を。(女性/20歳代)
- 野田市ももっと近隣の市のように市全体と商店街の人達が協力し合って、町のイベントや祭りを盛り上げてにぎやかな町にしたらいと思います。野田市は夏祭りや七夕しかイメージがないので秋祭りや他のイベントも増やした方がいいと思う。(男性/30歳代)
- 愛宕駅周辺の再開発について早急に進めていただき、スーパーの出店を望みます。また、駅周辺について魅力的な街になるような整備をお願いしたいです。(女性/30歳代)
- コウノトリやトキの復活プロジェクトの推進。(男性/40歳代)
- 旧関宿町に住んでいますが、大きなショッピングセンターやファミリーレストランがなく、車がないと生活ができません。1ヶ所で良いから大型のショッピングセンターがあれば生活が便利になります。(女性/40歳代)
- 野田市中心部商店街の活性化について、買い物難民の問題が浮上していて、危機感をもっています。80代の母がいるのですが、自転車です。1.5km先の店で買い物をしています。中心部に空地が増えマンションが建って若い世代も入ってきて良いのですが、その世代は車でどこでもいけます。自力で買い物に行ける商店街を考えていただきたい。皆で交流できる身近な商店街が元気な老後を送るカギになると思うのです。(男性/50歳代)
- 野田市民のほとんどの人が思っている事ですが、駅近くに商店街がなく、他県から来る人は野田市内に住みたいとは思わないのではないのでしょうか。野田市駅が駄目なら愛宕駅だけでも繁華街にしてもらえたらと思いますし、また自然と歴史の文化を保ち、特に公園や建築物を前面に出して(その為には自然保護区を認定し大事にする必要大)、野田市の魅力はそれしかないのだから、自然保護は絶対して下さい。(女性/50歳代)
- 首都圏の人口10万人以上の町で都市銀行が一つもないのは野田市くらい。不満です。(男性/60歳代)

- 商店街が活性化しない様子にこの町の衰退を感じる。醤油という商品があるのだから、もっとキッチンマンと協力して、川越の蔵の町づくりのようなモダンであるが古さを楽しむような、他県からの人を呼び込めるような個性を作って欲しい。(女性/60歳代)
- 愛宕生協、その前にヨーカ堂がなくなり、現在はジャスコでしか買物ができません。そんなに大きくなくても良い食料品や生活雑貨(洗剤、トイレットペーパー)などお店があったら良いと思っています。愛宕駅から市役所までほとんど店がなくなりました。(男性/70歳代)
- 今一番の悩みは回りにお店がなくなったこと。住み良いと思っていたが一番不便になった。便利から不便になることは大変こたえる。一刻も早く何とかして欲しい。(女性/70歳代)
- 野田は一番ださい所と千葉県民の中で言われていたと聞いたことがある。梅郷は高層ビルが建ち、駅も改良されて面目一新ではないかと思う。更なる発展を祈る。(男性/80歳以上)
- 市政として歴史ある醤油、清水公園の桜や自然環境は大いに全国に宣伝することは良いと考えます。(女性/80歳以上)

## 地域(コミュニティ)について

- いつもいつもボランティアで野田の町がきれいになっています。(女性/20歳代)
- もっと働く場所が増えて、子どもたちがいきいきでき、住宅地の仲間意識やワイワイできる町づくり、子ども会や子ども達同志が遊べる環境づくり、老人会と子ども達が仲良く接する環境、地域の寄り合いなど、多くあるといいですね。町全体が仲良くなれば、自然と犯罪も少なくなるはずですよ。警察との関係も、仲良く出来たら、いろいろ情報交換出来るといい。住みやすいとは、地域が誰でも知っていて、助け合いの出来る町なのではないのかなと思います。(女性/30歳代)
- 私共の地域は昔からの自治会があり、何年か前に班長をやり、自治会の大切さを知りました。特に資源回収では推進委員の方が回り、指導していただいている事でスムーズに行えるようになってきたと思います。やはり、きれいな街でいたいです。(女性/40歳代)
- 子どもへの虐待や老人の孤独死のニュースを耳にすると、人間社会に対して空しさを感じます。親や地域から見放された「心さみしい人」がいない野田市にするために、皆が「地域見守り隊」の一員としての自覚を持つべきと考えます。(女性/50歳代)
- 他県より移り住んでいる住宅地なので近所付き合いはあまりなく、色々な方が居住しているので今後震災等が起こった時、不安を感じます。回りを見ても自分の家さえよければと思われるような常識を疑うような方もいます。お互い思いやりとか優しさを持ってほしいのにとと思います。(女性/60歳代)
- 私達の自治会は自治会館がありません。その為自治会活動に支障をきたしています。自治会館設立の補助。(男性/70歳代)
- 独居老人が多くなりました昨今、自治会の有り方等、市の方での指針はあるのでしょうか。元気で長生きし、班長が回って来ても、市報や回覧板の取次ぎ位がやっとかなと思います。お祭り、運動会等の町内のお手伝いも班長の役目と割り当てられます。時には代理を立てるように言われます。あれも出来ない、これも出来ないと断るのも心苦しいことです。班の中で話し合えと言われましても皆様大方老人ばかりですので、この先自治会を脱退するしかないのでしょうか。(女性/70歳代)

## その他

- 東京などに出るにしても何せ遠い（距離はそうでもないのに）。不便な交通の為。最近では以前は不便な近隣な市も、大型商業施設などや鉄道の充実により随分便利な街になってきている。いろいろな面で野田は立ち遅れている。このままではどんどん若い層が野田から出て行き、帰ってこない。他県他市から移り住んだふるさとに、住み続けたい魅力がない。収入や学力高い人達が出て行き、市内の学力も低下しているのでは。雇用も少ないので、どうしても東京へ通勤が便利な所へ自分でも移りたくなる。（男性／20歳代）
- ツイッターなどもっとモバイルからも情報が分かりやすくして欲しい。（女性／20歳代）
- 新しい住宅街ができる一方で古くからの居住者が転居しているように思います。世代の入れ替わりが起きているのでしょうか。コミュニティの構成員の世代ギャップが生じることが予想され、要望する行政サービスも自ずと異なってくるのでしょうか。きめ細やかな行政サービスは市民の声をよく聴くことが大事。議員も重要でしょうが、直接の機会もあれば良いと思います。（男性／30歳代）
- 選挙戦では（市議会選、市長選など）候補者の顔が良く見えますが、当選後は誰が何をどのように仕事しているのか全く見えません。市の為、まちづくりの為にどのような事をされているのか、今以上に具体的に示してもらいたいです。（女性／30歳代）
- きっちり税金を納めている市民に、弱者である市民が気持ちよく生活できる町づくりを。（男性／40歳代）
- 何を言っても話をしてもムダ。市は何もしてくれない。（女性／40歳代）
- 行政がすべて後手後手。老人も大切だが、子どもの未来を優先すべき。（男性／50歳代）
- 市民の目線に立って、分かりやすく、しかも市民が気が付かない部分についても具体的に説明してほしいと思います。手続きなども私達が見落としている所がないか、事細かく説明していただければ何度も足を運ぶことがないと思います。市民から申し出ないと返事をもらえないこともあります。いろいろな手続きが複雑すぎて特に高齢者に難しいです。日ごろ職員の方は一所懸命勤務されていると思いますが、どうしたら市民がより豊かに生活できるか、市民の目線に立ってもう一度取り組んでいただきたいと思います。（女性／50歳代）
- 町会等の役員に関係していないと市政がどのように動いているか分からない。まちづくりが身近に感じられるような工夫が欲しい。出前議会や出前教育委員会などの取り組みの例もある。開かれた市政づくりの進捗が感じられないため、地域拠点としての市政という言葉がピンとこない。（男性／60歳代）
- 各課で担当者が代わった時、前任者からの内容の引き継ぎを徹底してほしい。（女性／60歳代）
- 経費削減、無駄をなくするよう更に努力して下さい。例：文教堂脇の街路樹のけやきを毎年剪定をしているが1年おきにするとか。経費を少なくする方法を検討してはどうかと思います。（男性／70歳代）
- 「み・る・と」によると平均年齢が44.6歳と知り、びっくりしました。私共の居住地域では、60代、70代が殆どのように見受けております。新興住宅に沢山の若い家族の居住かと思えます。したがって、「野田市」は従来のイメージから、もっと新しい街づくりに取り組んで欲しいと思います。希望します。（女性／70歳代）
- 現在の市政は立派と思っています。（男性／80歳以上）
- 税金の高いのが困る。（女性／80歳以上）



## 第4章 調査票



## あなたの声をお聞かせください

### ～ 第14回 野田市民意識調査へのご協力のお願い ～

日ごろ、市政にご協力をいただきましてありがとうございます。

この調査は、市民の皆様のまちづくりに対する意識の変化や、これまでの施策の変化、市政についてのご意見・ご要望を幅広くお聞きし、市民の皆様のご要望に沿った市政運営に役立てていこうとするものです。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの満20歳以上の方3,000人を、住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

なお、調査は無記名で行い、結果はすべて統計的に処理いたしますので、お答えいただいた皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。また、調査結果につきましては、まとまり次第、市報などでお知らせする予定です。

つきましては、お忙しい中、大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

野田市長 根本 崇

#### 【ご記入にあたって】

1. 必ず宛名のご本人がお答えください。
2. ご記入は、ボールペン、濃い鉛筆、万年筆でお願いいたします。
3. 最初から1問ずつ、すべての質問にお答えください。
4. お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。
5. お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を（ ）の中に具体的に記入してください。

すべてのご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にて11月18日（金）までにご投函ください。  
なお、住所、氏名はご記入いただく必要はありません。同封のボールペンは、返信用封筒に入れずに、ご家庭でお使いください。また、この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

野田市役所 企画財政部 秘書広報課 広報広聴係  
電話04-7125-1111（内線2375・2374）



【問3】あなたは、野田市に誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 感じる	3. あまり感じない
2. 少し感じる	4. 感じない
	5. わからない

【問4】あなたの生活環境についておうかがいします。下記の項目（ア～ナ）について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。

		良い	まあ良い	普通	良 あ ま り な い	悪い
安全性	ア) 防犯の面はどうですか	1	2	3	4	5
	イ) 地震や火災、水害等の災害が起きたときの身の安全性はどうですか	1	2	3	4	5
	ウ) 交通面での安全性はどうですか	1	2	3	4	5
利便性	エ) 交通の便はどうですか	1	2	3	4	5
	オ) 買い物の便はどうですか	1	2	3	4	5
快適性	カ) 下水・排水の状況はどうですか	1	2	3	4	5
	キ) 道路の整備状況はどうですか	1	2	3	4	5
	ク) 日照や風通しはどうですか	1	2	3	4	5
	ケ) 騒音や振動はどうですか	1	2	3	4	5
	コ) 大気汚染や悪臭はどうですか	1	2	3	4	5
	サ) ごみの回収状況はどうですか	1	2	3	4	5
	シ) し尿の汲み取り状況はどうですか	1	2	3	4	5
	ス) 公園や子どもの遊び場はどうですか	1	2	3	4	5
	セ) 飲料水の状況はどうですか	1	2	3	4	5
	ソ) 緑の保全や自然環境はどうですか	1	2	3	4	5
保健・福祉	タ) 検診など保健活動はどうですか	1	2	3	4	5
	チ) 病院など医療施設はどうですか	1	2	3	4	5
	ツ) 保育所や幼稚園はどうですか	1	2	3	4	5
	テ) 高齢者・障がい者への福祉施設はどうですか	1	2	3	4	5
教育	ト) 公民館や図書館等の整備はどうですか	1	2	3	4	5
	ナ) スポーツ・レクリエーション施設はどうですか	1	2	3	4	5

【問5】あなたが、次の①「保健・医療・福祉施設」、②「教育・文化・スポーツ施設」、③「生活環境施設」のそれぞれの公共施設の中で、特に充実を望むものをそれぞれ2つ以内で選んでください。

①「保健・医療・福祉施設」

1. 老人福祉施設	4. 医療施設（病院・診療所）
2. 障がい者施設	5. 公営住宅
3. 児童館（子ども館）	6. 保育所

②「教育・文化・スポーツ施設」

1. 幼稚園	6. 文化会館	11. テニスコート
2. 小・中学校	7. 美術館	12. サッカー場
3. 高校・大学	8. 体育館	13. 野球場
4. 図書館	9. 陸上競技場	
5. 博物館	10. サイクリングコース	

③「生活環境施設」

1. 通学路	4. 道路（歩道）	7. 子どもの遊び場
2. 公園	5. 公共下水道	8. コミュニティセンター
3. 駐車場	6. 排水溝	9. 墓地公園

※上記の①②③で例示されたもの以外に充実してほしい施設がある場合は、枠内に3つ以内で記入してください。

--	--	--





## ●● ごみや環境についておうかがいします ●●

【問11】あなたは、ごみ減量や環境をよくするために、日常生活の中でどのようなことを心がけていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 資源回収に積極的に参加している
2. 買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている
3. 使い捨て商品はなるべく買わない
4. 家具や電気製品などは修理して長く使うようにしている
5. 生ごみはコンポストなどを利用して、堆肥化を図っている
6. リサイクルしやすい商品を買っている
7. フリーマーケットやガレージセールに参加している
8. 合成洗剤などはあまり使わない
9. 使用済みの食用油などは排水口に流さない
10. バスなどの公共交通機関を利用し、マイカーの使用を控えている
11. 使わない電気器具のスイッチをこまめに消している
12. 電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている
13. その他 ( )
14. 特に心がけていない

【問12】資源回収についておうかがいします。あなたは、地域の資源回収（品目：金属、空き缶、ビン、紙、布、ペットボトル）に参加していますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 全品目について毎回参加している       | 5. 地区で実施していない      |
| 2. 一部の品目についてはごみに出している    | 6. 実施しているのかどうか知らない |
| 3. 時には回収を忘れてごみに出している     | 7. その他 ( )         |
| 4. 実施しているのは知っているが参加していない |                    |

↓  
 〈問12で「4. 実施しているのは知っているが参加していない」とお答えの方におうかがいします。〉

【問12-1】それはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 実施団体に加入していない     | 4. 分類の方法がよくわからない |
| 2. 回収の周期が長く家に保管できない | 5. 面倒            |
| 3. 実施日や回収場所を知らない    | 6. その他 ( )       |

【問13】あなたは、ごみ減量化のために市にどのようなことに力を入れてほしいとお考えですか。  
次の中から1つだけ選んでください。

1. 資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る
2. 市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる
3. 一般家庭から排出されるごみの分別収集をさらに徹底する
4. 省資源・省エネルギーの啓発運動を積極的に行い、環境問題の重要性を呼びかける
5. 再生紙の利用など、省資源のための具体策を積極的に取り入れる
6. 市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる
7. 環境問題に取り組んでいる市民団体や消費者団体を援助・育成する
8. その他 ( )
9. 特にない

### ○● 福祉やボランティア活動についておうかがいします ●○

【問14】あなたは老後の生活として、どのようなことに生きがいを求めたいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 新たに趣味を持つこと
2. 現在の趣味を生かした活動
3. 新たに仕事を持つこと
4. 自分の専門的技術を生かした活動（仕事）
5. ボランティア活動への参加
6. 自治会、町内会などの地域活動（自主防犯組織、自主防災組織の活動を含む）
7. 世代を超えた友人・隣人との付き合い
8. 子や孫の面倒を見ること
9. いきいきクラブ（老人クラブ）・生涯大学校などで仲間をつくること
10. その他 ( )
11. 特にない

【問15】高齢社会が進む中、あなたは市にどのようなことを期待しますか。次の中から2つ以内で選んでください。

1. 高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保
2. 医療施設の整備・充実
3. 介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実
4. 老人福祉施設などの整備
5. 高齢者の健康相談や検診などの保健サービスの充実
6. 市の公共施設を高齢者が利用しやすいように整備
7. 気軽にできるスポーツ・レクリエーション活動の育成・充実
8. 福祉活動を担うボランティアの充実
9. その他 ( )
10. 特にない

【問16】あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 現在参加している
2. 過去に参加したことがある
3. 参加したことはない

【問17】次のようなボランティア活動について、あなたがやってみたいと思われる活動はありますか。次の中から3つ以内で選んでください。

1. 老人福祉施設の訪問・交流・手伝い
2. 児童福祉施設の訪問・交流・手伝い
3. 障がい者施設の訪問・交流・手伝い
4. 在宅障がい者の世話
5. ひとり暮らしの高齢者の世話
6. 施設などに現金、衣類、切手やベルマークなどの寄付
7. 車による病院や駅などまでの送迎
8. 手話通訳・朗読・点訳
9. 外国人のホームステイ
10. 子ども会活動
11. 地域の清掃
12. スポーツ少年団活動
13. 子どもの非行防止活動
14. その他 ( )
15. 特に参加したくない

## ○● 男女共同参画についておうかがいします ●○

【問18】あなたは「女性が家事・育児を行い、男性が仕事を行う」という考え方について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 賛成である     | 4. やや反対である |
| 2. やや賛成である   | 5. 反対である   |
| 3. どちらともいえない |            |

【問19】男女共同参画社会を実現していくためには、何が最も重要だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 法律や条例など公的な制度を見直す               |
| 2. 女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす |
| 3. 女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る   |
| 4. 重要な役割や審議会などに一定の割合で女性を登用する      |
| 5. その他 ( )                        |

## ○● 市政への参加意識についておうかがいします ●○

【問20】あなたは、市政についてどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 大いに関心がある | 3. あまり関心がない  |
| 2. まあ関心がある  | 4. ほとんど関心がない |

【問21】あなたは、市政に関することで意見や不満があるとき、まず、どのようにしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 直接、市役所に行って話す       | 7. 市議会議員に相談する              |
| 2. 市役所へ電話する           | 8. 民生委員などに相談する             |
| 3. 「市長への手紙」などで伝える     | 9. 新聞・テレビなどに投書したり電話をかけたります |
| 4. 市役所へ電子メールを出す       | 10. 市が解決してくれるのを待つ          |
| 5. 説明会や公聴会などに参加して発言する | 11. 少しぐらいなら辛抱する            |
| 6. 自治会を通じて要望する        | 12. その他 ( )                |









## ○● あなたご自身について ●○

調査結果を統計的に処理するために、あなたご自身についておうかがいします。

### 【F 1】あなたの性別は

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

### 【F 2】あなたの年齢は

- |         |         |         |          |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 3. 40歳代 | 6. 60歳代 | 8. 80歳以上 |
| 2. 30歳代 | 4. 50歳代 | 7. 70歳代 |          |

### 【F 3】あなたの職業は

- |            |              |        |
|------------|--------------|--------|
| 1. 農業      | 4. パート・アルバイト | 7. 無職  |
| 2. 自営業     | 5. 専業主婦      | 8. その他 |
| 3. 会社員・公務員 | 6. 学生        | ( )    |

### 【F 4】あなたのお住まいの地域は

※小学校の学区を参考にお答えください。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 野田地区（中央小、清水台小） | 7. 福田地区（福田第一小、福田第二小） |
| 2. 中地区（宮崎小、柳沢小）   | 8. 木間ヶ瀬地区（木間ヶ瀬小）     |
| 3. 南地区（南部小、山崎小）   | 9. 関宿中地区（関宿中央小）      |
| 4. 北地区（北部小、岩木小）   | 10. 二川地区（二川小）        |
| 5. 川間地区（川間小、尾崎小）  | 11. 関宿地区（関宿小）        |
| 6. 東地区（東部小）       |                      |

### 【F 5】あなたは野田市にお住まいになって、通算で何年になりますか。

※合併以前に関宿町に住んでいた方は、その年数を野田市に住んでいたとみなして加えてください。

- |               |                |                |
|---------------|----------------|----------------|
| 1. 3年未満       | 4. 10年以上～20年未満 | 7. 40年以上～50年未満 |
| 2. 3年以上～5年未満  | 5. 20年以上～30年未満 | 8. 50年以上       |
| 3. 5年以上～10年未満 | 6. 30年以上～40年未満 |                |



第14回 野田市民意識調査報告書

平成24年3月

野田市企画財政部秘書広報課

278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1

電話：04-7125-1111（内線2375）